



1998年1月1日発行（通算342号）毎月1日発行（昭和54年3月20日第3種郵便物認可）

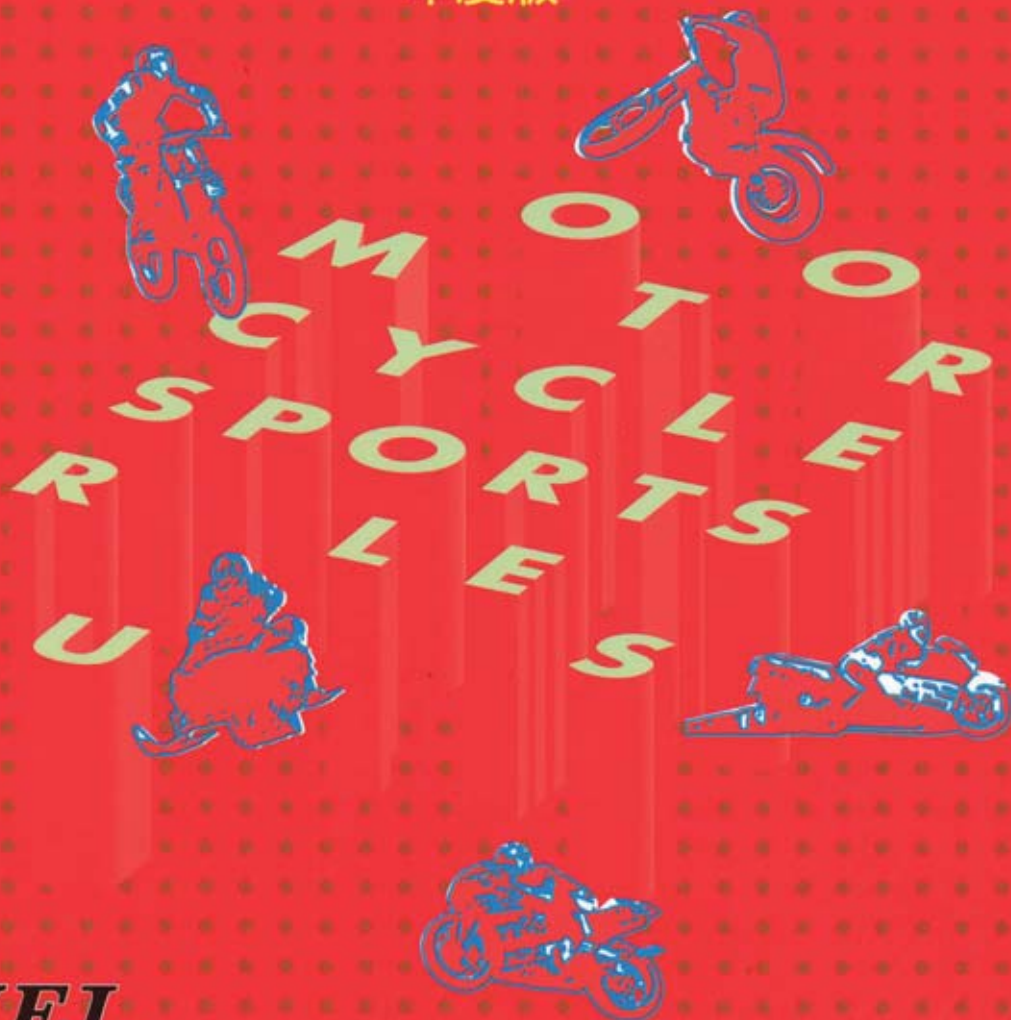
MFJ **ライディング** 臨時増刊

国内競技規則

1998

MOTORCYCLE SPORTS RULES

年度版



MFJ
INTERNATIONAL FEDERATION OF MOTORCYCLISTS

この国内競技規則書は、日本小型自動車振興会からオートレースの公益資金の補助を受けて作成されたものです。

RAPIDE

HYPER RIB

【ハイパーリブ】

サイドアウトから後方へと流れるハイパーリブ構造は、ヘルメット後部下方の剛性を強化。大きな衝撃を受ける可能性が高いという現実のデータをもとに、現役のライダーでもあるアライが選択した新構造である。



MOUTH SLIT

【マウススリット】

新型帽体の特徴である力強く迫力を感じさせるマウススリットの入ったチンバー部分。このフォルムは、アライの開発テーマである「安全性へのあくなき追求」より導かれた新形状として、定評あるアライヘルメットの剛性をさらに高めている。

【DDLダクト】

DDL (ダブルデルタ) ダクトは、F1用ヘルメットに装着されているスポイラーと同様の整流効果を発揮する。エアアウトのデルタダクトを左右一体化したフォルムは、走行中の空気抵抗やリフト感による疲労を軽減させてくれる。

DDL DUCT

【ICダクト】

エアイン用の直径10mmのドレンホールを持つIC (インダクションコントロール) ダクトは、DDLダクト同様に、グローブをつけたままでも開閉が簡単にできる。より強力なクールダウンのための複合ベンチレーションシステムである。

IC DUCT

誕生

RAPIDE



●機種名: ラパイド-L ●帽体: cLe (コンプレックス・ラミネート・コンストラクション) ●規格: スネル1995 JIS C種 ●内装: ハイフィッティング内装 (頬パッド調節可能-特許出願中) ●シールド: スーパーアドシス標準装備 (特許出願中) ●色: 白、黒、ブライトシルバー、チタングレー、キャンディレッド ●サイズ: (53-54) (55-56) (57-58) (59-60) (61-62)

¥36,000



ハイフィッティング内装



DE-L

Arai
HELMET

戦士の称号—レジオン
[Legion]

※価格に消費税は含まれていません
印刷のため、実物とは若干異なって見える場合があります

店頭にてご確認ください
●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください
直営 TEL (048) 645-3661
株式会社 アライヘルメット 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
TEL (048) 641-3825-7

Arai
変わります。

街をつらぬくINAZUMA、もう走らずにはいられない。

1台のバイクにパッケージされている“性能”がある。しかし、どこにもあるような退屈なパッケージや言葉だけの性能では、ライダーの感性を十分に魅了し、また満足させることはできない…。

ここに1台のバイクがある。ミドルクラスの枠を超越したビッグなボディにパッケージされたのは、確かな機能と伝統のメカニズム、ハイクオリティな車体構成、ライダーの感性とシンクロするナチュラルな操縦性、シンプルでストレートなスタイル。形だけでも、言葉だけでもない。そこには1台のバイクとして存在するための圧倒的エネルギーがある——400cc 新基準、INAZUMA。

覇者の到来を告げる雷鳴はいま轟く。





Force of "INAZUMA"

Length:2,140mm Wheel Base:1,460mm Seat Height:760mm

Minimum Turning Radius:2.7m Peak Power:53ps/11,000rpm Peak Torque:3.7kg-m/9,500rpm Tire Size:Front 120/70ZR17(58W), Rear 170/60ZR17(72W) Brake:Front ϕ 290mm+Brembo4pot, Rear ϕ 240mm+2pot Fuel Tank Capacity:18ℓ Utility Space:3.5+2.5ℓ

●価格はメーカー希望小売価格(北海道・東北・沖縄および一部地域を除く)。●価格は参考価格です。詳しくは販売店にお問い合わせください。●価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。●カタログご希望の方は、機種名・雑誌名と住所・氏名・職業を明記し、切手190円分(送料)を同封のうえ、右記までお申し込みください。〒432-91 浜松市高塚町300 スズキ(株)二輪カタログ発送センター・イナズマ係まで。

 **バイクにフレンドシップ** 
見られるためのライトオン

Inazuma



●型式:GK7BA ●エンジン型式:K717-油冷-4サイクル-4気筒
●総排気量:399cc ●最高出力:53ps/11,000rpm
●最大トルク:3.7kg-m/9,500rpm ●燃料タンク容量:18ℓ

●シート高:760mm ●乾燥重量:185kg ●ボディカラー:フラッシュシルバーメタリック、キャンディアカデミーブルー、パールノベルティブラック ●メーカー希望小売価格 ¥599,000

●消費税は別途計算の上、申し受けます。●速度警告灯装備車もタイプ設定しております。(10,000円高)

モトサビ・メンバー募集中。

あなたのスポーツ&バイク・ライフを
もっと楽しく・幅広く・
アクティブに。する
新しいユーザー・ネットワーク
「モトサビ」誕生



moto
SAPIENS.

もっと創性的に、もっとあなたらしく
Personal Best

SUZUKI

NMCA

日本二輪車協会

スポーツバイクライフの促進と
環境保全を推進

NMCA日本二輪車協会 TEL.03-3440-8610 HOMEPAGE <http://www.twice.com/nmca>

Let the good times roll.
人と乗り物と、そして「遊び」のいい関係

ARK はカワサキの
信頼ある正規取扱店です。

'98

新発売!

JEFF EMIG
on the KX250M
Champion
AMA Supercross Series
1997

KXの実力!!

ジェフ・エミグ、'97AMAスーパークロスでチャンプをゲット。

激しい闘いの中で、

KXの実力をいかに発揮しました。

KX250

KX250のエンジンは、全日本モトクロスや世界のレースでその性能を実証した「パワージェットキャブ」の採用や、シリンダーの排気バルブサイズを拡大しパワーアップを図りました。そして前後ホイールのトラクションを向上させるために、前後サスペンションを改良し低車高、低重心を達成しました。

New
KX80/KX80-II!
上級車仕様にまで一気に
レベルアップ。

KIPS搭載! クラッチフィールも向上して、
戦闘力が大幅アップ!

全域パワーアップに貢献するKIPSを採用しパワーコントロールが大きく向上! さらにクラッチの操作性と耐久性も向上させ、軽くて疲れない操作感を得ました。またエアフィルター、クラッチ、キックレバーなどの整備性も高めています。



DUKE'S MOTORCYCLE
1982年設立 日本最大規模のモーターサイクル部品メーカー
カワサキグループの技術力とノウハウを継承し、
モーターサイクル部品を製造販売しています。

NMCA

日本二輪車協会

スポーツ&バイク・ライフの普及と
環境保全を推進

モトサビ・メンバー募集中。

あなたのスポーツ&バイク・ライフを「もっと楽しく・幅広く・アクティブに、する
新しいユーザー・ネットワーク「モトサビ」誕生

NMCA日本二輪車協会 TEL.03-3440-8619 HOMEPAGE <http://www.twics.com/nmca>



MOTO
SAPIENS.

パワーに加えて乗りやすさが好評です。

KX250/KX125

全日本モトクロス選手権でも、その高性能をいかに発揮するKXシリーズ。'98モデルではエンジンのパワーアップに加えてますますテクニックが活きるように、乗りやすさの“冴え”を見せています。

ゆとりの戦闘力こそKXの真髄

'98モデルでは、細部に渡るグレードアップを施しました。
 “パワージェットキャブ”の採用で、さらなるパワーアップが実感できます。
 また125ではニューシリンダー、ニューKIPS[®]も採用！
 戦闘力も大幅に向上しました。

※KIPS:カワサキ・インテグレートッド・パワーバルブ・システム
 カワサキ独自の排気デバイスシステム。常に高い燃焼効率を発揮し、全回転域で優れたトルク特性を誇ります。



KX125

KX125のエンジンは、ニューシリンダー、ニューKIPSを採用するとともに、KX250同様“パワージェットキャブ”やショートコンロッドの採用、さらにチャンパーの変更等によりパワーアップを図りました。また前後ホイールのトラクションを向上させるために、前後サスペンションを改良し低車高、低重心を達成しました。

KX250 ●水冷2ストローク単気筒/ピストンリッドバルブ・249cm³ ●最高出力:40.2kW(54.6PS)/8,500rpm ●最大トルク:14.0N・m(1.0kg・m)/7,500rpm ●乾重量:97kg ●カラー:ライムグリーン ●¥545,000
 KX125 ●水冷2ストローク単気筒/クランクケースリッドバルブ・124cm³ ●最高出力:29.1kW(39.5PS)/11,500rpm ●最大トルク:24.9N・m(2.54kg・m)/11,000rpm ●乾重量:87kg ●カラー:ライムグリーン ●¥475,000

本格的に楽しめるミニモトクロス。ビギナーからベテランまでお気軽にどうぞ。



KX80



KX80-II



KX60

KX80 ●水冷2ストローク単気筒/ピストンリッドバルブ・79cm³ ●最高出力:19.9kW(27PS)/12,000rpm ●最大トルク:16.0N・m(1.63kg・m)/11,000rpm ●乾重量:65kg ●カラー:ライムグリーン ●¥289,000
 KX80-II ●水冷2ストローク単気筒/ピストンリッドバルブ・79cm³ ●最高出力:19.9kW(27PS)/12,000rpm ●最大トルク:16.0N・m(1.63kg・m)/11,000rpm ●乾重量:68kg ●カラー:ライムグリーン ●¥309,000
 KX60 ●水冷2ストローク単気筒/ピストンリッドバルブ・60cm³ ●最高出力:11.0kW(15PS)/12,000rpm ●最大トルク:9.02N・m(0.92kg・m)/10,500rpm ●乾重量:50.5kg ●カラー:ライムグリーン ●¥209,000

●表記価格は北海道および沖縄を除くメーカー希望小売価格です。●“メーカー希望小売価格”は参考価格ですので、詳しくはARKにお問い合わせください。●表記価格には消費税は含まれません。消費税は別途計算のうえ申し受けます。●価格にはスベアパーツセット(ピストン・ピストンリング・メインジェット・ブレイクレバー、クラッチレバー、ガスケット類など)が含まれます。●改良のため仕様および諸元は予告なく変更することがあります。●公道および一般交通の用に供する場所では一切走行できません。●車体カラーは印刷や複製条件などから、実際の色と多少異なる場合があります。

バイクにフレンドシップ
 見られるためのライトオン


Kawasakiに関するご意見、ご要望はお気軽に——お客様相談室

東京: ☎03(3595)0563 明石: ☎078(925)2003

カタログご希望の方は欄名と住所、氏名、生年月日、職業をご記入になり、送料100円分の切手を同封して、下記までお申し込みください。
 〒673 明石市川崎1-1 株式会社カワサキモーターズ ジャパン(カタログ係)まで。

Kawasaki
 株式会社 カワサキモーターズ ジャパン

Come ride with us.  HONDA

 創50 おかげさまで 創立50周年



主要諸元 ● 型式 SC36 ● 水冷4サイクルDOHC4バルブ
トルク 8.7kgm/7,000rpm ● 乾燥重量 193kg ■ 車体
※ 価格はメーカー希望小売価格(北海道、沖縄および一部地域を除く)
まれておりません。 ※ 価格は参考価格ですので、詳しくは販売店にお

■ インターネット 二輪ホームページ <http://www.honda.co.jp/motor/>

バイクが好きだから、セーフティライド。



プロス店よりお届けします。

カタログご希望の方は、カタログ請求券と切手100円(送料)を同封し、機種名と住所・氏名・年齢・職業を明記の上、〒150-8799 東京都渋谷区郵便局留 本田技研工業(株)カタログ係まで。

カタログ請求券
Free Form
100円

両輪で生きる。
(((生き活きホンダ)))

バイクのある暮らしを、試してみよう。

1リッターを愉しむ。

スロットルに、どこまでもリニアなレスポンス。

中樞を刺激する、鼓動感と加速フィールをもたらすスムーズでトルクフルな、新設計90度Vツインエンジン。

軽量でスリムなボディ、しなやかな剛性のフレームが

低速で軽く、高速で安定する、ファイアマジックともいうべきハンドリングを実現。

ピボットレスフレームやデュアルサイドラジエーターなどの新発想の機構。エキゾチックなスタイリング。

高い質感を放つパーツ群。すべては、個性ある走りのために。

1リッターのパワーを、意のままに操縦する快感。

Vツインスポーツの、新しいメッセージ「ファイアーストーム」

輝きのシルバーと、燃える赤と。



Fire Storm

ブV型2気筒・995cm³●最高出力93PS/8,500rpm●最大色：ブーンシルバーメタリック、イタリアンレッド ■ ¥870,000
です。●価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は含まれていません。●速度警告灯設置車もタイプ設定してあります。(10,000円高)

NMCA
日本二輪車協会
スポーツ&バイク・ライフの提案と
環境保全を推進

モトサピ・メンバー募集中。

あなたのスポーツ&バイク・ライフを「もっと楽しく・幅広く・アクティブに、する
新しいユーザー・ネットワーク「モトサピ」誕生

NMCA日本二輪車協会 TEL.03-3440-8619 HOMEPAGE <http://www.twics.com/nmca>



HRC商品のご予約・お問合せは下記取扱い販売店及び ホンダ二輪ディストリビュータ(代理店)へどうぞ。

HRCサービスショップ (97年11月現在)

新ウーエス R/R NS/S 〒980-15 宮城県角田市角田1-132 TEL.0224-62-0871 新ウイングススポーツ ウィー R/R 〒982 宮城県仙台市太白区大野田下5-107-14 TEL.022-946-2819 新TOWNS 藤岡ホビー R/R 〒981 宮城県仙台市青葉区光台2-24-3 TEL.022-257-2700 新ホンダウイング 荘内 R/R 〒998-01 山形県酒田市大字町中道30-1 TEL.0234-82-3838 新ワールドツバキ R/R 〒300-36 茨城県龍ケ崎八十町大字東山字長持869-3 TEL.0296-49-3138 新アイ・ファクトリー R/R NS/S 〒209-02 栃木県宇都宮市千代郷230-6 TEL.0235-45-3073 新ホンダショップ 和光 R/R R/R 〒351-01 埼玉県和光市白子2-23-11 TEL.048-461-7478	新エンデュランス R/R NS/S 〒250 埼玉県川越市山崎1726 TEL.0483-22-7770 新インターテック R/R R/R 〒262 千葉県千葉市美浜区南内1-1 TEL.048-648-0244 モトランドバイク ユーギア R/R 〒271 千葉県千葉市稲毛区1051-4 TEL.0473-61-1501 新ポールポジション・ジャパン R/R 〒185 東京都多摩市池袋102-16-23 TEL.0423-76-7778 オートショップ スガハラ R/R NS/S 〒114 東京都荒川区王子3-20-2 TEL.03-3814-7500 HONDA SPORTS MOTOMI R/R NS/S 〒110 東京都台東区東上野4-13-23 TEL.03-5631-4265 横浜新ホンダ R/R 〒168 東京都目黒区下高井戸2-4-3 TEL.03-3235-0288	新城北ホンダオート R/R NS/S 〒161 東京都目黒区高井戸3-26-6 TEL.03-3552-4004 新ハルウ・プロ R/R NS/S 〒169 東京都大田区南町1-9-2 TEL.03-545-0681 ホンダショップ 成田 R/R 〒211 千葉県成田市成田中野9-438 TEL.044-411-4717 新スーパーウィング まるやま R/R R/R 〒225 東京都川崎市中原区大森町3-20 TEL.0463-24-0851 新ライダーズサロン 横浜 R/R 〒224 神奈川県横浜市西区戸原町18-18 TEL.045-783-3638 ラ・モト・KOHSAKA R/R 〒487 愛知県豊田市長瀬町3-1-6 TEL.05679-5-9991 ホンダワールドホンダ R/R NS/S 〒513 三重県津市南生田町6706 TEL.0593-78-1455	MITANI MOTOR SPORTS SUZUKI R/R 〒513 三重県津市南生田町147-71 TEL.0593-70-2669 モトショップ ヨシハル R/R 〒510 三重県津市南生田町2340-2 TEL.0593-26-7770 スーパーネッシー コタニ R/R 〒621 京都府長岡京市藤原町20-6 TEL.07712-4-4008 新TOM'S R/R 〒603 京都府京都市北区小田原大塚町3-5 TEL.075-415-1700 新アーレス タイチ R/R R/R NS/S 〒516 大阪府大阪市東淀川区3-1-25 TEL.0720-74-3008 新サイクルワールド R/R R/R 〒673 兵庫県神戸市西区高草4-13 TEL.078-928-3232 ミネモーターサイクル R/R 〒654-01 兵庫県伊丹市高草区砂子地字地1038-8 TEL.078-743-5400	新梅木商会 R/R 〒700 岡山県岡山市中央町12-8 TEL.0862-32-0011 新ホンダショップライブ R/R NS/S 〒803 福岡県北九州市小倉南区字千本町3-1-11 TEL.093-963-8800 新HRC R/R NS/S 〒869-12 熊本県熊本市東区平川1784-1 TEL.096-359-3005
---	--	---	--	---

北海道

新オートランド 札幌 R/R R/R
 〒204 札幌市東区南三条1-1-43 TEL.011-862-3323
新ホンダウイング 函館 R/R R/R
 〒940 函館市南町2-1 TEL.0136-56-0510
バイクーズ R/R
 〒953 弘前市中央通り4-14-12 TEL.0144-32-6310
新ナカガワ R/R
 〒964 札幌市中央区南一条西7-8 TEL.011-511-6417
ホンダ札幌販売 R/R
 〒964 札幌市中央区北一条西7-70 TEL.011-641-5267
新ホンダウイング 北 R/R
 〒965 札幌市東区北一条東21-1-41 TEL.011-784-5111
新オートランド 北海道 R/R
 〒986 千歳市道尾4-1-2 TEL.0123-22-3996
江別ホンダ青松村商會 R/R
 〒989 江別市野崎49-9 TEL.011-363-7394

宮城

ホンダ宮城販売 R/R
 〒982 仙台市青葉区3-3-9 TEL.0223-47-0123
新ラッドスポット 仙台 南光台支店 R/R
 〒983 宮城県宮城郡南光台13-32 TEL.022-256-3020

秋田

新車手サイクルセンター R/R
 〒913 新車手市北35-1 TEL.0182-32-9911

山形

新ホンダウイング 夢野 R/R R/R
 〒980 山形市青葉ヶ丘3-23-33 TEL.0236-43-3297
サイクルショップ 川口 R/R R/R
 〒982 米沢市春日2-2-10 TEL.0236-23-8158
ホンダウイング サイトウ R/R
 〒986 新庄市十日町418 TEL.0233-22-1645

福島

モト・ビット・マックス R/R R/R
 〒989-11 安達郡安達町東1-1-10 TEL.0243-33-0455
ホンダウイング 福島 R/R
 〒990-01 福島県福島市東町2-1-14 TEL.0245-45-4047
新南井輪商店 R/R
 〒990-02 福島県福島市東町2-1-10 TEL.0245-47-3588

茨城

モトショップ ユカ R/R R/R
 〒300-48 新治町新治1下宿2520-15 TEL.0296-62-4120
オートショップ 大月 R/R
 〒309-17 高萩市大月町中央1-1-10 TEL.0297-77-6824
モトアール R/R
 〒312 かつお 中野町1614-4 TEL.0292-70-1986
カシマレーシング BIKE SHOP R/R
 〒314 高萩市高萩町311 TEL.0299-83-7428

栃木

宇都宮ホワイトハウス R/R R/R
 〒321 宇都宮市南町58-1 TEL.0286-22-0921
新バウザンク R/R
 〒321-32 宇都宮市南町1314-9 TEL.0286-47-7833
モトバス アスカ R/R R/R
 〒322 鹿沼市下町2-1406 TEL.0285-62-3838
新バイクショップ 竹沢 R/R
 〒302 足利市南町303-31 TEL.0289-76-1030
新小林商店 R/R
 〒305 足利市南町2392 TEL.0284-41-3825
大野輪車 R/R
 〒307-03 真岡市真岡大字大字2864 TEL.0283-62-3266

群馬

新モトショップ シロク R/R
 〒370 高崎市中央町456-4 TEL.0273-61-0222

群馬

新モトウェイ R/R
 〒370-12 高崎市南高崎1695-4 TEL.0273-46-8440
マイティ・スロード ツツミ R/R
 〒370-21 多野郡高崎南町2319 TEL.0273-67-8888
久保田モーターショップ R/R
 〒376 上野原町4中野大塚町1-11 TEL.0277-73-5407
新バイクショップ ツツミ R/R R/R
 〒370-26 北群馬郡高崎小倉4-4-1 TEL.0279-54-5201
オートショップ 倉谷 R/R
 〒379-23 前橋市聖徳町北庄2587 TEL.0277-76-2328

埼玉

新サイクルロードイート R/R
 〒331 大宮市中央1-1498-3 TEL.048-623-3255
新オートショップ ミズヤマ R/R
 〒334 川口市川口1-1-5 TEL.048-246-4537
新インターテック 浦和店 R/R
 〒335 浦和市大宮区浦和1379-1 TEL.048-874-7060
新金城サイクルミサト R/R
 〒341 三浦市平井2181 TEL.0489-56-2780
オートランドTOM R/R
 〒345 北埼玉郡北埼玉町下野2381-1 TEL.0480-35-9819
新モトランド R/R
 〒350-01 上野原町189番118-3 TEL.0492-67-5959
モトショップ ノースアランド R/R
 〒350-02 上野原町11-2 TEL.0492-94-5180
モトウイング 川島 R/R
 〒350-13 川島市下高草1813 TEL.0429-54-7467
南ロッカーズ R/R
 〒350-13 川島市大字原町425-2 TEL.0429-54-6888
新ホワイトハウス R/R
 〒351-01 相模原市大字東台1936-2 TEL.0484-85-2388
南ライオン R/R
 〒352 新倉市北野1-2-16 TEL.048-475-1737
ホンダウイング 2メカハウス R/R
 〒356 川島市南町28-3 TEL.0492-43-9532
ATCZ所沢 R/R
 〒359 所沢市けやき台1-13-12 TEL.0429-24-5211
新佐藤本店 R/R
 〒360 所沢市本町51-114 TEL.0485-21-0313
オートショップ 赤石 R/R
 〒362 上尾市東町1-17 TEL.0487-75-8726
ATCZ浦和 R/R
 〒365 浦和市東町1972-1 TEL.0485-96-5421
バイクショップ ハラチ R/R
 〒366 浦和市東町1-8-1 TEL.0485-43-2323

神奈川

新モトガレージ・トモ R/R
 〒210 川崎市川崎区大島町2-7-12 TEL.044-233-2487
新山上輪車 R/R
 〒211 川崎市中原区小杉町822-113 TEL.044-723-6282
モトブレイク R/R
 〒213 川崎市高津区下町576-2 TEL.044-777-1100
三川モーターサイクル R/R
 〒213 川崎市宮前区新川106 TEL.044-754-0177
新ビッグフォー R/R
 〒222 横浜市中区磯子区大磯町1-25-14 TEL.045-544-4455
新モトワールド R/R
 〒222 横浜市中区北山町1383 TEL.045-472-4741
新小川プロモーションバイククラブ サウティ R/R
 〒227 横浜市中区赤土1-6-1 TEL.045-842-9770
新北総輪車 R/R
 〒228 横浜市中区南町2-12-10 TEL.0427-47-6811
モーターサイクルレミング R/R
 〒228 横浜市中区南町1-1 TEL.0427-47-0862
新モトフット R/R
 〒229 横浜市中区南町2-10-1 TEL.0427-43-0022
新ワークス R/R
 〒229 横浜市中区南町4-1-1 TEL.0427-56-9190
タクミモーターズ 相模原店 R/R
 〒229 相模原市南町1-25-10 TEL.0427-72-6006
新エム・エス・エス R/R
 〒230 千葉市中央区金町1031 TEL.043-237-3837
新エム・エス・エス R/R
 〒232 横浜市中区南町1-1 TEL.045-575-3369
新ウイング マサル R/R
 〒237 横浜市中区南町1-1 TEL.045-611-4816
ホンダウイング 鎌倉 R/R
 〒247 鎌倉市東町2-18 TEL.0467-46-2702
新エムシーラン R/R
 〒250 小田原市東町2-352-1 TEL.0465-35-0434
新田オートサービス R/R
 〒252 東海村南町881 TEL.0466-44-2322
新滝本川原販売 R/R
 〒252 東海村南町4-4-5 TEL.0466-44-6988
新青木輪車 R/R
 〒254 平塚市青木町1-14 TEL.0463-21-3523

千葉

岩内モーターズ R/R
 〒270-01 習志野市南町2450 TEL.0471-84-7950
ホンダウイング ドリームハウス R/R
 〒271 船橋市東町83-42-1 手組ビル1F TEL.0473-68-3202
鎌川モーターサイクル16号店 R/R
 〒276 八千代市田原2-11 TEL.0474-84-2217
レーシングザリフ フクシマ R/R
 〒284 新井町南町5-2396-2 TEL.0434-23-1190
バイクショップ リーディング R/R
 〒280 千葉市東区金町1031 TEL.043-237-3837

東京

新キョウ屋スポーツ R/R R/R
 〒146 東京都葛飾区南千住4-11-3 TEL.03-3831-4265
デルタオート モーティ R/R
 〒115 文京区湯島3-15-11 TEL.03-3908-8453
新岩井製作所 R/R
 〒120 立川市千住東2-11-3 TEL.03-3862-7321
山田オート販売所 R/R
 〒123 立川市東町4-1-11 TEL.03-3655-3391
オートボートS.P. R/R
 〒132 江戸川区南葛西4-57 TEL.03-3678-8798
新平野モーターズ R/R R/R
 〒133 江戸区東小島6-34-10 TEL.03-3657-3106

折越スピードショップ R/R

〒150 渋谷区宮前町41-9-300 TEL.03-3446-0878
マイエーロード ツツミ R/R
 〒152 目黒区目黒東町1-10-15 TEL.03-3710-1379
レーシングサービス カウイ R/R
 〒157 目黒区中目黒1-1-12 TEL.03-3749-4040
新山崎自動車販売 R/R
 〒164 目黒区上原3-53-10 TEL.03-3386-1828
新J'sフィッカル R/R
 〒166 目黒区中目黒町1-19-18 TEL.03-3317-4562
新オートショップ R/R
 〒176 練馬区春日町12-7 TEL.03-3998-8888
新東洋輪車 R/R
 〒179 練馬区北町1-41-22 TEL.03-3932-8384
ブルーポイント R/R
 〒176 練馬区池袋1-34-15 TEL.03-3931-7881
新モトライフ R/R
 〒177 練馬区池袋中1-22-18 TEL.03-3895-7038
モトショップ ユカ R/R
 〒180 武蔵野市東町2-27-5 TEL.0422-32-5900
新サイクルスポーツ R/R
 〒180 武蔵野市高島町1-3-4 TEL.0422-35-4248
新横浜ホンダ R/R
 〒210 横浜市中区南町1-35-10 TEL.0422-21-7371
新ホンダ二輪ファル R/R R/R
 〒182 小平市南町423 TEL.0423-41-7695
ライディングハウス R/R
 〒190 三川市沼田町2-27-9 TEL.0425-38-0465
テクノロードショップ アンドゥム R/R
 〒190-11 羽村町中央町72-16-2 TEL.0425-54-2206
ホンダ販売光栄商店 R/R
 〒198 新倉市南町4-12-18 TEL.0428-24-9032

山梨

新バイクボックス R/R
 〒380 長野市大字野村町304-7 TEL.0262-43-7707
新ホンダショップナガノ上松店 R/R
 〒381 長野市三郷58-10 TEL.0262-35-4044
新ライティングセンター R/R
 〒383 長野市大字南町207-4 TEL.0269-22-3713
ホンダショップ 流経 R/R
 〒180 小田原市甲斐町1510-31 TEL.0267-23-9222
バイクショップ サイトウ R/R
 〒386 上田市大字住吉107-6 TEL.0266-25-3110
新モト・ショップ・ハマ R/R R/R
 〒390 松本市南3-11-12 TEL.0263-32-6031
新スノーニューズ販売 R/R
 〒392 長野市大字南町850-11 TEL.0266-58-2320
新南ホンダ R/R
 〒395 飯田市千代田町2-19-5 TEL.0265-22-3096
モトスポット ヒラサキ R/R
 〒399-43 上伊那郡南木曽町13312 TEL.0265-85-2709

新潟

新潟テクノレーシングクラブ R/R R/R
 〒940 長岡市東区1-13 石谷町 TEL.0256-32-3455
新バイクショップ トムズ R/R
 〒943-01 新潟市上区南町929 TEL.0256-24-1702
ロックアップ R/R
 〒943 新潟市東区3-7 TEL.0256-24-1422
ホンダウイング TAKAHASHI R/R
 〒948 北魚沼郡妙高市南町133-2 TEL.02579-0-0778
モーターショップ ヤマシタ R/R
 〒948 北魚沼郡妙高市南町133-2 TEL.02579-0-3115
モトスポーツ 新潟 R/R
 〒949-64 新潟市東区南町大字南町990 TEL.0257-62-3194
大和ホンダ R/R
 〒949-72 新潟市東区南町大字南町978-8 TEL.0257-76-3021
アカミチバイクショップ 新潟 R/R
 〒950 新潟市東区山崎5-5 TEL.0252-75-2002
MOTO BOX R/R
 〒950 新潟市東区山崎5-5 TEL.0252-573-5719
新モトスポーツ イシバシ R/R
 〒950-12 新潟市東区南町2865-1 TEL.025-373-1123
新金栄安会 R/R NS/S
 〒959-12 新潟市東区14-3 TEL.0256-68-0718

石川

グリーンサイクル R/R
 〒920 金沢市三浦町1-9 TEL.0762-32-4957
ホンダイン・金沢 R/R
 〒921 金沢市三浦2-346 TEL.0762-91-6717
新山
 〒938 富山県新川町43-1 TEL.0765-62-4886
レッドシスター R/R
 〒938 富山県新川町43-1 TEL.0765-62-4886
新ノースウイング 石川店 R/R
 〒930 石川市津波町13-16 TEL.0562-72-8963

新ブルーフォックス R/R

〒254 長野市大野2583-1 TEL.0483-53-2422
新杉山ホンダ販売所 R/R
 〒259 長野市しょうが9886 TEL.0483-87-5005

山梨

オートショップ シムラ R/R
 〒400 甲府市東区宮内1056 TEL.0552-33-1754
モーターサイクルショップ 山梨 R/R
 〒400 甲府市東区宮内1-1-6 TEL.0552-28-3377
ナックカンパニー R/R
 〒405 山梨県上野原市14-2 TEL.0552-32-1623
ホンダOFF・ON R/R
 〒407-01 北杜市南木曽町下中野14-1 TEL.0551-28-8312

長野

新バイクボックス R/R
 〒380 長野市大字野村町304-7 TEL.0262-43-7707
新ホンダショップナガノ上松店 R/R
 〒381 長野市三郷58-10 TEL.0262-35-4044
新ライティングセンター R/R
 〒383 長野市大字南町207-4 TEL.0269-22-3713
ホンダショップ 流経 R/R
 〒180 小田原市甲斐町1510-31 TEL.0267-23-9222
バイクショップ サイトウ R/R
 〒386 上田市大字住吉107-6 TEL.0266-25-3110
新モト・ショップ・ハマ R/R R/R
 〒390 松本市南3-11-12 TEL.0263-32-6031
新スノーニューズ販売 R/R
 〒392 長野市大字南町850-11 TEL.0266-58-2320
新南ホンダ R/R
 〒395 飯田市千代田町2-19-5 TEL.0265-22-3096
モトスポット ヒラサキ R/R
 〒399-43 上伊那郡南木曽町13312 TEL.0265-85-2709

新潟

新潟テクノレーシングクラブ R/R R/R
 〒940 長岡市東区1-13 石谷町 TEL.0256-32-3455
新バイクショップ トムズ R/R
 〒943-01 新潟市上区南町929 TEL.0256-24-1702
ロックアップ R/R
 〒943 新潟市東区3-7 TEL.0256-24-1422
ホンダウイング TAKAHASHI R/R
 〒948 北魚沼郡妙高市南町133-2 TEL.02579-0-0778
モーターショップ ヤマシタ R/R
 〒948 北魚沼郡妙高市南町133-2 TEL.02579-0-3115
モトスポーツ 新潟 R/R
 〒949-64 新潟市東区南町大字南町990 TEL.0257-62-3194
大和ホンダ R/R
 〒949-72 新潟市東区南町大字南町978-8 TEL.0257-76-3021
アカミチバイクショップ 新潟 R/R
 〒950 新潟市東区山崎5-5 TEL.0252-75-2002
MOTO BOX R/R
 〒950 新潟市東区山崎5-5 TEL.0252-573-5719
新モトスポーツ イシバシ R/R
 〒950-12 新潟市東区南町2865-1 TEL.025-373-1123
新金栄安会 R/R NS/S
 〒959-12 新潟市東区14-3 TEL.0256-68-0718

新ノースウイングJC R/R

〒502 岐阜市土岐1-6-1 TEL.0582-94-8421
新ホンダウイングVFO R/R
 〒503 大垣市東区1-218 TEL.0584-86-6741
バイクショップ TRY R/R
 〒504 岐阜市三井田2-44 TEL.0583-43-7722
MCファクトリーフルハウス R/R
 〒507 多治市東区丸根町24-1 TEL.0572-23-8087
ホンダバイクショップ 明光 R/R
 〒509-02 可児市下宿25672 TEL.0574-62-9222

静岡

新エイチ・エスシー R/R
 〒410 静岡市東区山崎1771-2 TEL.0559-24-0636
新ワールドカワチ R/R
 〒411 静岡市東区東町一色字南町14 TEL.0559-87-3480
モトハウス・スギヤマ R/R
 〒419-01 浜岡郡浜岡町東町448-4 TEL.0559-76-1426
ホンダモーター 静岡販売所 R/R
 〒420 静岡市東区南町30-6 TEL.054-255-5538
ホンダモーターショップ スギヤマ R/R
 〒420 静岡市東区南町136 TEL.0542-47-4543
新小島商店 R/R
 〒424 清水市清水東区2-294-1 TEL.0543-45-0148
モトクラフト タカミ R/R
 〒426 静岡市東区南町19-30 TEL.0546-36-2470
アペリアショップ R/R
 〒432 浜松市東区南町18101-9 TEL.053-448-2727
ホンダウイング エフロード R/R
 〒434 浜松市東区南町1008 TEL.053-286-3080
新スピードアソシエティ R/R
 〒435 浜松市東区南町2726 TEL.053-464-5048
プロジェクト・オキス R/R
 〒437 浜松市東区南町18-3 TEL.053-43-2015
新アサヒクラフト R/R
 〒438 静岡市東区南町1818-6 TEL.053-35-7746
新南ホンダ R/R
 〒418 富士宮市北町6-25 TEL.0544-25-3872

愛知

オートショップフリーランド R/R
 〒444-11 安城市南町南町98 TEL.0566-90-9573
新フタバ R/R
 〒444-21 岡崎市南町東区191 TEL.0564-25-4786
新南ホンダ R/R
 〒447 岡崎市東区南町2-28 TEL.0566-41-1189

- 各店の主な取扱い車のカテゴリをロードレースはR/R、トライアルはT/R、NSR150取扱い店はNSR記号で店名の右側に表示してあります。
- ここに掲載してある店名は97年11月現在のものです。
- HRC市販レーサー及びパーツはレース専用ですので一般公道での使用はできません。



株式会社 ホンダレーシング

〒351 埼玉県朝霞市泉水3-15-1
営業ブロック直通
TEL.048-461-8781 FAX.048-469-0306

三重

和加藤ホーリング R/R
〒110 津市中央区小中1-23 TEL.0593-82-8274
ザサキスポーツクラブ R/R
〒131-02 鈴鹿市相生町75-1 TEL.0593-86-5000
ザ・バイク・イサカ R/R T/R
〒101-02 鈴鹿市相生町7990-15 TEL.0593-83-3470

大阪

和左自動車 R/R
〒532 大阪市東淀川区三宮東2-21-5 TEL.06-308-5200
モトスポーツGLAD R/R
〒537 東淀川区大倉15-25 TEL.06-671-8381
モトバイク山手ワールドスレーシング R/R
〒592 大東市大倉野1-15-1 TEL.06-678-0277
長原モーターズ R/R
〒513 鈴鹿市御所町7878-25 TEL.0593-78-1362
和Jリトルファクトリー R/R
〒613 鈴鹿市御所町2147-47 TEL.0593-70-0851
MITANI MOTOR SPORTS R/R
〒519-21 多治郡多治郡町高尾334 TEL.0580-8-2222
レーシングカレージ ニワ R/R T/R
〒513 鈴鹿市佐治町石塚6722 TEL.0593-79-3343
和オートレック R/R T/R
〒515 松阪市蓮生町564 TEL.0548-51-5322

兵庫

ホンダランド小村 R/R
〒322 三木市東町74-45 TEL.079-26-0128

京都

バイク工房岩城 R/R
〒600 京都市下京区中書町19-11 TEL.075-822-0840
和オートショップ阪口 R/R
〒603 京都市北区山崎東町25-11 TEL.075-462-4880
和ビバオート ナカムラ R/R
〒606 京都市東山区南禅寺町1231 TEL.075-722-0670
和車社 R/R
〒606 京都市東山区八幡町198-1 TEL.075-744-3131
モトマック R/R
〒611 宇治市本町西2-26 TEL.0774-33-5454
カニズ・バイク R/R
〒811 守山市守山城町1-109-4 TEL.0774-45-0286
和カスノモーターサイクル R/R T/R
〒612 京都市北区下鴨町南河原町11 TEL.075-662-0825
和久保村モーターズ R/R
〒615 京都市東山区高瀬東大丸町48 TEL.075-314-1581
RSひたあびん R/R
〒615 京都市東山区下鴨大森町27-1 TEL.075-367-0172

ホンダウィング カタヤマ R/R

〒400 稲刈山町山手町190-2 TEL.0773-22-0483
和カメコ トライアルランド R/R
〒821 鳥羽市本柳町西宮西2番地14 TEL.07712-6-3377
石原自動車商会 R/R
〒824 鳥羽市千早番地293-2 TEL.0773-78-7379

奈良

和左自動車 R/R
〒532 大阪市東淀川区三宮東2-21-5 TEL.06-308-5200
モトスポーツGLAD R/R
〒537 東淀川区大倉15-25 TEL.06-671-8381
モトバイク山手ワールドスレーシング R/R
〒592 大東市大倉野1-15-1 TEL.06-678-0277

兵庫

和左自動車 R/R
〒532 大阪市東淀川区三宮東2-21-5 TEL.06-308-5200
モトスポーツGLAD R/R
〒537 東淀川区大倉15-25 TEL.06-671-8381
モトバイク山手ワールドスレーシング R/R
〒592 大東市大倉野1-15-1 TEL.06-678-0277
長原モーターズ R/R
〒513 鈴鹿市御所町7878-25 TEL.0593-78-1362
和Jリトルファクトリー R/R
〒613 鈴鹿市御所町2147-47 TEL.0593-70-0851
MITANI MOTOR SPORTS R/R
〒519-21 多治郡多治郡町高尾334 TEL.0580-8-2222
レーシングカレージ ニワ R/R T/R
〒513 鈴鹿市佐治町石塚6722 TEL.0593-79-3343
和オートレック R/R T/R
〒515 松阪市蓮生町564 TEL.0548-51-5322

福山

和木村商会 R/R
〒701-13 岡山県中津市350-3 TEL.08628-7-2351
和機油モーター R/R
〒704 岡山県倉敷市7-1 TEL.08664-2-3617
和バドック R/R
〒708 津山市二宮662 TEL.0869-26-3131
和ホンダウィング カドヤ R/R
〒708 津山市千手塚27-6 TEL.0869-26-4600
X-LAND オガサワ R/R
〒708 津山市田原4-1 TEL.0869-25-1010

鳥取

HIRO SPORTS R/R
〒680-03 鳥取県鳥取市青島19-5 TEL.0857-64-2158
和オート山田 R/R
〒726 津山市東本庄4-2-8 TEL.0849-22-0689
和バイクステーション 徳島 R/R
〒729-01 徳島市本通町123 TEL.0848-47-0819
和バイクシティ 徳島 R/R
〒730 徳島市中区月形町1-24 TEL.082-235-3388
和ホンダスポスト ステージワン R/R
〒730 徳島市中区高松町10-2 TEL.082-242-8191
和ホンダウィング ワタリ R/R
〒731-01 徳島市安部町長原町1-32-5 TEL.082-257-4111

広島

和オート山田 R/R
〒726 津山市東本庄4-2-8 TEL.0849-22-0689
和バイクステーション 徳島 R/R
〒729-01 徳島市本通町123 TEL.0848-47-0819
和バイクシティ 徳島 R/R
〒730 徳島市中区月形町1-24 TEL.082-235-3388
和ホンダスポスト ステージワン R/R
〒730 徳島市中区高松町10-2 TEL.082-242-8191
和ホンダウィング ワタリ R/R
〒731-01 徳島市安部町長原町1-32-5 TEL.082-257-4111
和相模輪船 R/R
〒731-01 広島市安部町長原町105-15 TEL.082-674-7530
和ホンダランド小村 R/R
〒733 広島市西区長門町86-15-3 TEL.082-235-1051
和バイクワールド エルフ R/R
〒736 広島市東区南河原町11-16 TEL.082-236-8650
和車社 R/R
〒737 呉市呉島町3-5-7 TEL.0825-70-7098
バイクハウス てらそ R/R
〒739 広島市東区長門町148-4 TEL.082-40-1715

山口

和ホンダウィング R/R
〒740 徳島市川島4-1500 TEL.0827-43-5355
和バイクワールド エルフ R/R
〒736 広島市東区南河原町11-16 TEL.082-236-8650

徳島

和オート山田 R/R
〒726 津山市東本庄4-2-8 TEL.0849-22-0689

岡山

和木村商会 R/R
〒701-13 岡山県中津市350-3 TEL.08628-7-2351
和機油モーター R/R
〒704 岡山県倉敷市7-1 TEL.08664-2-3617
和バドック R/R
〒708 津山市二宮662 TEL.0869-26-3131
和ホンダウィング カドヤ R/R
〒708 津山市千手塚27-6 TEL.0869-26-4600
X-LAND オガサワ R/R
〒708 津山市田原4-1 TEL.0869-25-1010

鳥取

HIRO SPORTS R/R
〒680-03 鳥取県鳥取市青島19-5 TEL.0857-64-2158
和オート山田 R/R
〒726 津山市東本庄4-2-8 TEL.0849-22-0689
和バイクステーション 徳島 R/R
〒729-01 徳島市本通町123 TEL.0848-47-0819
和バイクシティ 徳島 R/R
〒730 徳島市中区月形町1-24 TEL.082-235-3388
和ホンダスポスト ステージワン R/R
〒730 徳島市中区高松町10-2 TEL.082-242-8191
和ホンダウィング ワタリ R/R
〒731-01 徳島市安部町長原町1-32-5 TEL.082-257-4111

広島

和オート山田 R/R
〒726 津山市東本庄4-2-8 TEL.0849-22-0689
和バイクステーション 徳島 R/R
〒729-01 徳島市本通町123 TEL.0848-47-0819
和バイクシティ 徳島 R/R
〒730 徳島市中区月形町1-24 TEL.082-235-3388
和ホンダスポスト ステージワン R/R
〒730 徳島市中区高松町10-2 TEL.082-242-8191
和ホンダウィング ワタリ R/R
〒731-01 徳島市安部町長原町1-32-5 TEL.082-257-4111
和相模輪船 R/R
〒731-01 広島市安部町長原町105-15 TEL.082-674-7530
和ホンダランド小村 R/R
〒733 広島市西区長門町86-15-3 TEL.082-235-1051
和バイクワールド エルフ R/R
〒736 広島市東区南河原町11-16 TEL.082-236-8650
和車社 R/R
〒737 呉市呉島町3-5-7 TEL.0825-70-7098
バイクハウス てらそ R/R
〒739 広島市東区長門町148-4 TEL.082-40-1715

山口

和ホンダウィング R/R
〒740 徳島市川島4-1500 TEL.0827-43-5355
和バイクワールド エルフ R/R
〒736 広島市東区南河原町11-16 TEL.082-236-8650

徳島

和オート山田 R/R
〒726 津山市東本庄4-2-8 TEL.0849-22-0689

ホンダ二輪ディストリビューター一覧

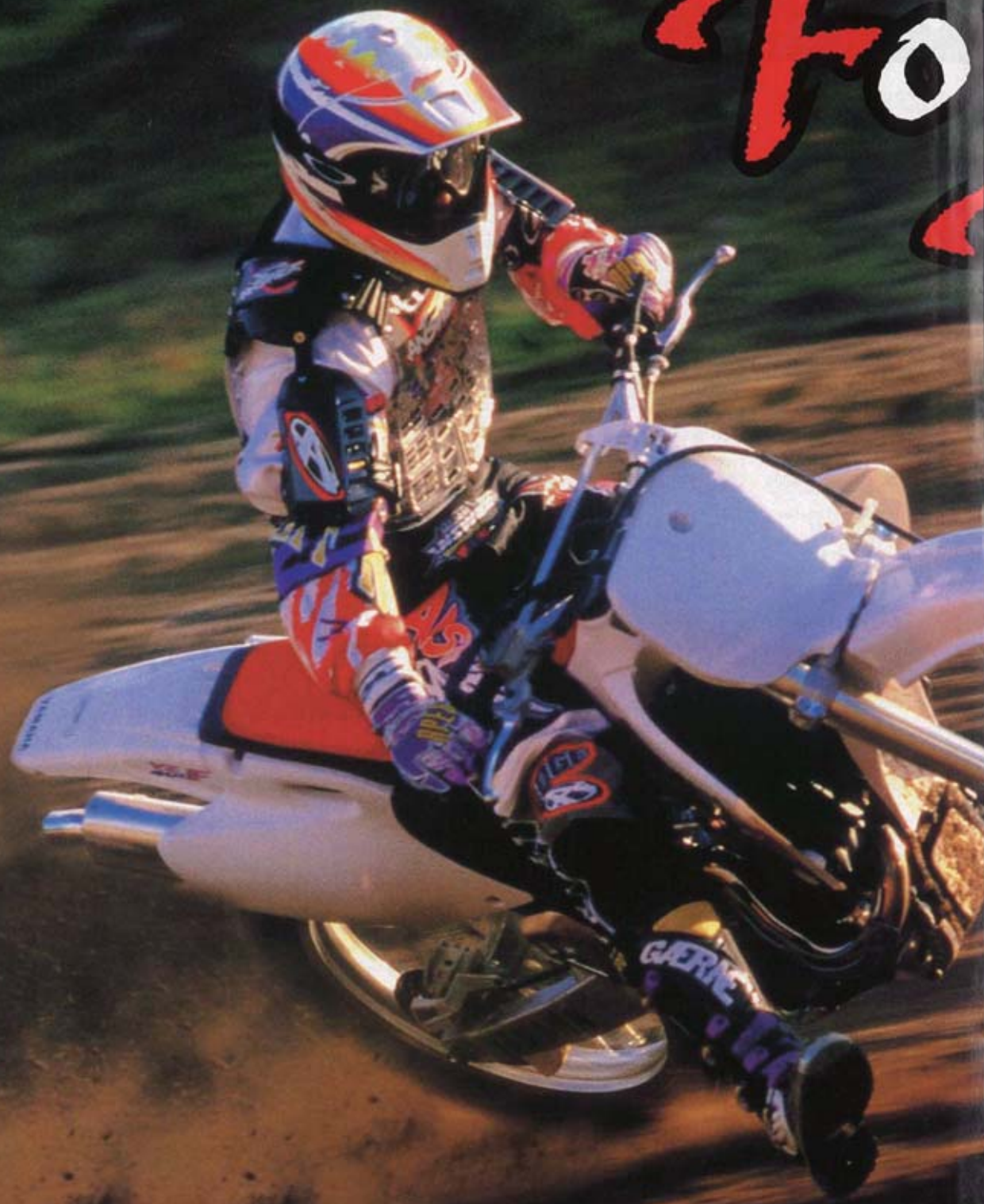
和ホンダ二輪東・本社 〒120 東京都足立区小台1-18-3 TEL.03-3879-5111	和山科ホンダ 〒688 兵庫県豊岡市城東町20-19 TEL.07962-2-5386
和ホンダ二輪東・本社 〒331 埼玉県大宮市大成町4-405 TEL.0482-65-8200	和東ホンダ二輪中国・本社 〒730 広島県広島市中区西白旗5-228 TEL.082-295-7111
和神川川ホンダ販売商 〒208 神奈川県横浜市長谷町7番5号 TEL.0462-55-8801	和ホンダ二輪四国・本社 〒791 愛媛県松山市高岡町43 TEL.089-973-3311
和加藤ホンダ販売商 〒289-25 千葉県旭市2-1725 TEL.0476-63-1511	和康屋商事 〒780 高知県高知市津島9-19 TEL.0888-23-0111
和ホンダ千草二輪 〒780 千草郡千草町中央区丸根1025 TEL.043-261-3121	和ホンダ二輪九州・本社 〒811-01 福岡県相模郡新宮町大字下府331-1 TEL.092-963-3006
和北関東最大販売商 〒308 茨城県下野市中央区北2-904 TEL.0296-24-5305	和西京ホンダ販売商 〒816 福岡県福岡市博多区千代通2-7-70 TEL.092-473-6811
和河原井ホンダ 〒372 群馬県伊勢崎市安子町3034 TEL.0270-21-0211	和京坂ホンダ 〒820 福岡県福岡市大字川2-1-1 TEL.0948-24-1000
和山梨ホンダ販売商 〒400 山梨県甲府市基町9-13 TEL.0556-26-3636	和村上ホンダ販売商 〒851-01 長崎県長崎市下町581-3 TEL.0958-37-8421
和ササナカ 〒394 長野県岡谷市津原1-11-15 TEL.0266-22-7161	和同郡輪業商会 〒882 宮城県仙台市青葉区1-10-12 TEL.0982-33-4681
和ホンダモーター新海販売商 〒951 新潟県新潟市東区長見西之町2244-1 TEL.025-223-6451	和美原モーターズ 〒894 鹿児島県志布志市小浜町30-8 TEL.0997-53-5111
和ホンダ二輪中国・本社 〒460-11 愛知県豊田市長久手町豊田南301 TEL.0561-63-1511	和沖崎ホンダ 〒901-21 沖縄県浦添市字中興1506 TEL.098-877-2558
和ホンダ東海 〒430 静岡県浜松市緑松町1490-1 TEL.0534-54-0111	和ホンダ二輪東北・本社 〒983 宮城県仙台市青葉区六ツ木の目黒町1-12 TEL.022-288-9041
和三重スーパーカブ販売商 〒515 三重県松阪市大塚町361-1 TEL.0598-51-5111	和米沢ホンダ販売商 〒992 山形県米沢市中央町総合卸センター内 TEL.0238-37-5055
和和歌山ホンダ販売商 〒547 和歌山県和歌山市塩屋4-3-36 TEL.0726-21-3395	和北日本ホンダ販売商・本社 〒004 北海道札幌市東区月寒南1番17-5-20 TEL.011-854-8571
和京都ホンダカブ販売商 〒602 京都府京都市東山区大倉山4-3-10 TEL.075-431-2101	和ホンダモーター金ヶ崎商会 〒707 北海道小樽市入船1-6-19 TEL.011-824-1375
和和歌山ホンダ販売商 〒547 和歌山県和歌山市塩屋4-3-36 TEL.0726-21-3395	和ホンダ道北 〒079 北海道札幌市東区月寒南1番17-5-20 TEL.011-854-8571
和炭路ホンダ販売商 〒656 兵庫県洲本市島岡534-1 TEL.0799-23-1701	和徳広ホンダモーター 〒080-24 北海道帯広市西22条1-2-13 TEL.0155-37-5211
和播州ホンダ販売商 〒677 兵庫県高砂市下戸町609-7 TEL.0795-22-3376	
和ホンダ上田販売商 〒672 兵庫県姫路市飾り町野田126 TEL.0792-84-1818	

HRC情報

楽しさ本物 **NSR150** 新登場
¥978,000 (車体本体+スベアパーツ(約1年分)+ソフトウェア含む)
 メーカー希望小売価格(運賃・消費税等別途)
 HRCよりステップアップクラスとして最適の市販ロードレーサー
NSR150好評発売中!
■お問い合わせは上記NSR150取扱店(R/SR)にご相談下さい。

ライダーにすぐに役に立つ、力強い味方!
「HRCメンバーズカード」只今入会募集中です。
 ●全国31店のサービスショップで、パーツ、洋服品等がキャッシュレスで購入出来ます。
 ●各地のサーキット場でHRCのサーキットサービスが優先的に受けられます。
 ●HRCサービスショップ最新情報の提供を優先的にお届けします。
 ●キャッシングサービスが全国のCD機で受けられます。
■お問い合わせは左上のHRCサービスショップ迄お問い合わせ下さい。

FO



●価格はメーカー希望小売価格（北海道および一部地域を除く）●価格は参考価格です●価格には消費税は含まれていません●消費税は別途計算のうえ申し受けます●詳しくは販売店にお問い合わせください●燃料はハイオクタンガソリンを使用してください

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン

モトサビメンバー募集中。
あなたのスポーツライフを
もっと楽しく、幅広く
アクティブにする
新しいユーザーネットワーク
「モトサビ」誕生

nmca
日本二輪車協会
1972年設立

OTO SAPIENS

nmca日本二輪車協会 TEL.03-5460-8610 HOME PAGE: <http://www.nmca.com/>

Four-Stroke Power

オフロード・コンペマシンの
歴史を変える、
圧倒的4ストロークパワー!
YZ400F & WR400F
ついに国内登場!

'97年、アメリカで、ヨーロッパで、ヤマハ初の4ストロークモトクロスサーYZM400Fが衝撃的デビュー。WGPモトクロス500ccクラスで6勝をあげたのをはじめ、熾烈で強豪がひしめくAMAスーパークロス250ccクラス最終戦においても、なみいる2ストローク勢を引き離し、圧倒的なポテンシャルを見せつけながら、見事優勝を獲得した。そのポテンシャルを全身に引き継ぎ、YZ400F & WR400F、ついに国内登場。搭載エンジンは新開発の4ストローク・5Valve・DOHCのパワーユニット。4ストロークならではの広いパワーバンドがトラクションを持続させ、優れたグリップ性を維持。4ストロークエンジンは重く反応が鈍いという常識を根底から覆し、YZ250のエンジンに迫る軽量コンパクトさと、それを上回る性能、加速時に後方からマシンを押し出すようなリニアなHit感を達成した。革命的なエンジンである。加えてボディは、優れた戦闘力と車体コントロール性など、極めて高いポテンシャルを誇るYZ250の走行性能をそのまま活かすことに全力を投入。フレームをオイルタンクとして活用しマスの集中化を図るなど、4ストロークエンジンを搭載しながらも、本来の優秀な重量バランスが変化しないように配慮している。いま、モトクロスとエンデューロの歴史に大きな転換期が訪れた。新たな時代の覇者YZ400FとWR400Fは、あなたという未来のチャンプとの出会いを待っている。



リア18インチホイール、ワイドレシオ
トランスミッション装備など、エンデューロに最適化!

4フットもたらした超戦闘力。
このエンジンが、走りが、モトクロスを変える!

WR400F

YZ400F



発売予定 '98年5月11日



発売予定 '98年3月10日

- WR400F ●水冷・4サイクル・DOHC・5バルブ・単気筒399cm³ ●リターン式5段
- 乗車定員1名 ●カラーリング:ディーパーブリッシュブルーソリッドE

¥649,000

- YZ400F ●水冷・4サイクル・DOHC・5バルブ・単気筒399cm³ ●最高出力55ps (40.5kw)/9,000rpm ●最大トルク4.67kgf・m(45.8N・m)/7,000rpm ●リターン式5段 ●乾燥重量107kg ●乗車定員1名
- カラーリング:パーブリッシュホワイトソリッド1

¥629,000

■WR400F・YZ400Fは予約販売とさせていただきます。予約期間'97年12月5日～'98年1月30日迄

走行写真はプロフェッショナルライダーのテスト走行を撮影したものです。

インターネットホームページ <http://www.yamaha-motor.co.jp/mc/index.html>

●ヤマハモーターサイクルジャパン株式会社(株) 各販売店、下記の本社までお問い合わせください。
お客様相談室 ☎0120-090-819

Y.E.S.S. ヤマハお客様に購入と同時にご入金すると
初年度年会費すべて無料!



ヤマハは、日本人の魂をこめて作り出しています。

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社

コンペモデル
(レース専用車)
01-78 (5桁000)
のキッドパーツは
RSSで揃っ
ています。

RSS Racing
Service
Shop

コンペモデルに関する詳細は技術と信頼のRSSをおたずねします。
お近くのRSSにご来店下さい。



TZ進化論

レーシングフィールドを制するためには、妥協を廃し
究極を求め0.01秒を削り込んでいく。
TZはあらゆる可能性を試み、新たな戦いに挑戦する。



'98 TZ250 ¥1,820,000



'98 TZ125 ¥998,000

※価格には、同梱パーツも含まれます。写真は参考のためにカラーリングしてあります。
※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

●価格にメーカー希望小売価格（北海道および一部地域を除く）●価格は参考価格です。●価格には保険料、税金（含む消費税）、登録などに伴う諸費用は含まれていません。●消費税は別途計算の上申し受けます。●詳しくは販売店にお問い合わせください。

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン

SUPERBIKE
RACING

'98全日本ロードレース選手権
応援しよう、スーパーバイク!

●ヤマハモーターサイクルに関するお問い合わせは、下記のお客様相談室へ。
お客様相談室 ☎0120-090-819

●カタログご来店の方は、お名前・お住所・お電話番号・お名前・お生年・職業を明記し、
新送料として郵便切手190円を同封の上、下記へお申し込みください。
〒430静岡県静岡市中央区2500ヤマハ発動機株式会社広報室広報グループカタログ課

北海道地区

YSP札幌南 RA-MX-TR
北海道札幌市中央区南2条西1丁目1-1
TEL.011-563-6021
YSP札幌西 RA-MX
北海道札幌市西区宮の沢2丁目10-21
TEL.011-662-9526
両ミカ スポーツ RA-MX
北海道札幌市東区北20条東5丁目50
TEL.011-742-9907
YOU SHOPトヨキ MX
北海道札幌市中央区北2条東5丁目7 TEL.011-541-5878
ぱいほうす サンドラ RA
北海道札幌市白石区中央1条5丁目3-16
TEL.011-824-2497
モトガレージA&Mサービス MX
北海道札幌市東区北20条東通1丁目南2-14
TEL.011-961-4191
株オートランド札幌 RA-MX-TR
北海道札幌市東区東1条3丁目1-43
TEL.011-892-3323
YOU SHOP勝木 MX
北海道札幌市東区北18条東3丁目17
TEL.011-741-3132
着ルムス SAPPORO RA
北海道札幌市東区北20条東1丁目3-5
TEL.011-723-4364
バイクプロ RSA RA
北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目1-26
TEL.011-986-1577
新アペ モーターサイクル RA-MX-TR
北海道札幌市豊平区平岸東2条1丁目1-2
TEL.011-952-6600
新オートフレンド北海道 RA-MX
北海道千歳市通達4丁目1-2
TEL.0123-22-3996
YSP小樽 MX
北海道小樽市南町13-211
TEL.0134-33-4433
藤沢オートサイクル RA
北海道滝川市豊栄町148-8
TEL.0136-57-5652
株野村商会 MX-TR
北海道滝川市小坂本町1丁目1-3
TEL.0144-32-4896
YSP旭川 MX
北海道旭川市神楽3条4丁目331
TEL.0166-61-8086
YOU SHOP世紀屋 RA-MX
北海道旭川市大7条3丁目101
TEL.0166-48-0321
バイク屋 にやろめ RA
北海道旭川市豊栄14条5丁目
TEL.0166-33-8978
モーターサイクルプロショップP MX
北海道旭川市南町1条10丁目7
TEL.0166-54-5051
新オートショップワークス RA-MX-TR
北海道苫小牧市南ノ郷582-21
TEL.0144-55-0110
株モトショップワークス RA-MX
北海道旭川市南町9条5丁目
TEL.0166-51-3069
YOU SHOPオカジマ MX
北海道旭川市南町4丁目4-27
TEL.0125-23-2579
YSP帯広 RA-MX
北海道帯広市南町7条25
TEL.0155-48-1417

ハヤシモータープロジェクト RA
北海道旭川市南町294-11
TEL.0155-47-1296
YOU SHOP勇三 RA-MX
北海道旭川市東区東町新通7丁目3-17
TEL.0155-42-8198
YSP釧路 MX
北海道釧路市豊島大通り7丁目9-4
TEL.0154-53-0025
YOU SHOP野上 RA-MX
北海道釧路市豊島南1丁目25-3
TEL.0154-37-8950
函館マシマ株 MX
北海道函館市東区東町17-11
TEL.0138-51-4686
YOU SHOPライトニングボーツ RA-MX
北海道函館市東区東町271-1
TEL.0138-46-0111
新スナダオート RA-MX
北海道函館市東区東町久根町2丁目1-42
TEL.0138-73-7773
YOU SHOP山本 MX
北海道函館市東区東町東園町5-6
TEL.01370-3-3857
YOU SHOP大嶋 MX
北海道函館市東区東町大通り東2丁目20-2
TEL.01527-3-3288
HARADA 北見 MX
北海道北見市東区東町字東3-1
TEL.0157-56-3131
南松村商会 RA
北海道江別市南町40-5
TEL.011-363-7394
モトマタドール MX
北海道夕張市東町松丘3丁目19-8
TEL.01237-2-9171

BS ハタヤマ TR
北海道室蘭市東区東町神谷字文化館通10-25
TEL.022-259-5056
新藤野オート バイパス店 RA
室蘭市いわき市北山地区東崎2丁目6-31
TEL.022-244-1555
YOU SHOP黒松 MX
室蘭市東区東町東町5丁目22-21
TEL.022-234-3582
YOU SHOP山西 MX
室蘭市東区東町東町2丁目1-12
TEL.022-234-2012
YOU SHOP山中央 MX
室蘭市東区東町東町5丁目4-3
TEL.022-299-4222
NOVA モーターサイクル RA-MX
室蘭市東区東町東町2丁目1-5
TEL.022-243-2263
新スピードショップ イノ MX
室蘭市東区東町東町2丁目3-16
TEL.022-271-9393
YOU SHOP台北 MX
室蘭市東区東町東町3丁目41-15
TEL.022-278-9955
ピットイン わたなべ MX
室蘭市東区東町東町2丁目3-10
TEL.022-245-4077
PSSティース RA-MX
室蘭市東区東町東町5丁目1-44
TEL.022-225-2755
モトショップビッグライフ MX
室蘭市東区東町東町4丁目12-1
TEL.022-392-6315
YOU SHOPスカイロード RA-MX
室蘭市東区東町東町2丁目4-8
TEL.0223-29-2339
YSP石巻西 TR
室蘭市東区東町東町新字2丁目5-1
TEL.0223-22-8272
YSP名取 MX
室蘭市東区東町東町3丁目3-43
TEL.022-383-5349
YSP気仙沼 MX-TR
室蘭市東区東町東町3丁目1-8
TEL.0223-24-1301
有3嶋モーターズ TR
山形県山形市東町1-14
TEL.0236-22-0361
YSP山形南 RA-MX
山形県山形市東町5丁目4-1
TEL.0236-21-9707
YSP山形西 RA-MX
山形県山形市東町あやめ3丁目7-26
TEL.0236-44-1316
モトショップワンバイン MX
山形県山形市東町東町2丁目6-28
TEL.0236-94-9623
YOU SHOPテラオ RA-MX
山形県東田川町東町1325-22
TEL.0233-22-2905
YOU SHOPヤマカ RA
山形県東田川町東町11-75
TEL.0238-23-1108
YSP酒田 MX
山形県酒田市のこがね町2丁目1-16
TEL.0234-23-3232
YSP福島南 RA
福島県福島市東区東町野字南950-1
TEL.0245-46-3116
YAP LAND MX
福島県福島市平石町白砂5
TEL.0245-45-0006

新ハイブリッドモーターズ RA
福島県福島市東区東町内19番の1
TEL.0245-45-6411
株モト企画 MX
福島県福島市東区東町大字字藤堂634
TEL.0246-27-2538
YSP福島北 RA-MX
福島県伊達市東町東町16-3
TEL.0245-84-2033
株オエックスレーシング RA
福島県山形市東町東町331
TEL.0249-46-9455
株本館建築会 RA-MX
福島県山形市東町東町10-8
TEL.0249-22-1784
YSP鶴山中央 RA-MX
福島県山形市東町東町1
TEL.0249-38-0095
大倉オート MX
福島県山形市東町東町4-53
TEL.0188-28-2873
太平オート MX-TR
福島県山形市東町東町内住38
TEL.0188-34-0695
YSP秋田大曲 MX-TR
秋田県大曲市東町東町21-13
TEL.0187-66-2968

株スーパーバイク 遼夢 TR
群馬県前橋市東区東町733-5
TEL.0272-53-5364
YSP前橋 MX
群馬県前橋市東町東町3-15-5
TEL.0272-21-4375
株翼 MX
群馬県太田市内ヶ島1447-1
TEL.0276-46-1725
ジェイ・トリック RA
群馬県足利市東町東町小保方2719-2
TEL.0270-63-6255
ザ・オート イシハラ MX
群馬県前橋市東町東町大字東町574-1
TEL.0276-57-0095
YSP大宮中央 MX
群馬県大宮市東町東町4-57-12
TEL.048-663-3730
新サイクルロード・イトー RA-MX
群馬県前橋市東町東町2-197-7
TEL.048-651-7677
ストラダー RA-MX-TR
群馬県上野市東町東町15-17
TEL.048-775-8726
大曲オートサービス RA-MX
群馬県大曲市東町東町大字大字130-1
TEL.0480-33-0079
Mファクトリー RA-MX
群馬県高崎市東町東町11-2-17
TEL.0489-87-0940
モトショップ藤 RA-MX
埼玉県藤岡市東町東町4-1-23
TEL.048-832-2930
YSP川越東 MX
埼玉県川越市東町東町51-6
TEL.0482-25-2305
新ロッカーズ RA-MX
埼玉県東松山市東町東町432-6
TEL.0429-54-6681
YSP上福岡南 MX
埼玉県上福岡市東町東町2-3-11
TEL.0492-66-5550
YSP龍原 RA-MX
埼玉県前橋市東町東町大字山神303-2
TEL.0485-21-1690
南イトウ RA
埼玉県東松山市東町東町1244
TEL.0493-23-0113
テラ・サイクル RA-MX
埼玉県東松山市東町東町22-24
TEL.0483-24-0488
新金城サイクル 三連店 RA
埼玉県東松山市東町東町2181
TEL.0489-56-2780
南フレスト RA
埼玉県三浦市東町東町3番地
TEL.0489-52-8990
スリーA RA
埼玉県東松山市東町東町273
TEL.0489-97-6638
オートプラザ KAME MX
埼玉県東松山市東町東町1-16-4
TEL.043-241-8198
YSP貝塚 MX
千葉県千葉市東区東町東町1108-9
TEL.043-233-4606
YOU SHOP Alice RA
千葉県千葉市東区東町東町453-1
TEL.043-272-9071
コシカモーターズ 1号店 RA
千葉県八千代市東町東町25-1
TEL.0474-84-2217

オートショップクラウド RA-MX
千葉県鎌倉市上津1782-12
TEL.043-461-6725
新スガヤ オートサービス RA
千葉県鎌倉市東町東町1017-1
TEL.0476-63-1558
ピットクルー千葉中央店 RA
千葉県千葉市東区東町東町2丁目2-7
TEL.043-232-7770
YSP松戸東 MX
千葉県松戸市東町東町352-2 コーカンションF
TEL.0473-69-0456
MOTORCYCLE SHOP クラフ MX
千葉県松戸市東町東町87
TEL.0473-48-3500
野田ヤマハ RA-MX
千葉県野田市新野中野4543
TEL.0471-23-2506
YSP市川西 MX
千葉県市川市東町東町4-5-10
TEL.0473-71-8762
YSP南柏 RA
千葉県野田市新野中野2-15-45
TEL.0471-45-9541
RSマスタ RA
千葉県松戸市東町東町254
TEL.0471-46-6981
YSP流山 MX
千葉県流山市東町東町4丁目28-5
TEL.0471-50-1871
YSP足立中央 RA-MX
東京都足立区東町東町2-29-15
TEL.03-3896-5122
村上製作所 RA-MX
東京都東区東町東町6-6-9-6
TEL.03-3866-5865
MCSイイヤマ MX
東京都東区東町東町3-30-11
TEL.03-3612-1345
YOU SHOPヨネクラ RA-MX
東京都東区東町東町180-20
TEL.03-5690-1800
ビストーショントリアングル RA-MX
東京都江戸川区東町東町5-10-8
TEL.03-3698-1207
YSP京葉 MX-TR
東京都江戸川区東町東町12-12-14-14
TEL.03-3656-5485
YSP葛飾南 RA
東京都葛飾区東町東町35-35-13
TEL.03-3696-5556
モタロー RA-MX
東京都目黒区東町東町1-55-10
TEL.03-3321-9999
EIJU PRO RA-MX
東京都目黒区東町東町3-15-9
TEL.03-5716-6337
MHプロダクツ RA-MX
東京都目黒区東町東町3-24-5
TEL.03-3483-6091
YSP練馬 RA-MX
東京都練馬区東町東町1-1-6
TEL.03-3928-7111
YSP谷原 RA
東京都練馬区東町東町3-3-5
TEL.03-3998-1011
太洋モーターズ MX
東京都杉並区東町東町4-6-30
TEL.03-3330-8000
もとしよぶ神楽坂 MX
東京都杉並区東町東町2
TEL.03-3236-3141

関東・甲信越地区

東北地区

※各ショップの取り扱い区分を、RA(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)の記号でショップ名の右側に表示してあります。

●TZ250/125は運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。
●TZ250/125は道路を走行しますと、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。
●私道、社等の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところでも、人や車が自由に出入りできるところは、道路とみなされます。走行場所には十分注意してください。
インターネットホームページ
http://www.yamaha-motor.co.jp/
YAMAHA ヤマハ発動機株式会社

コンペモデル
(レース専用車)
1997年10月30日
のキッドパーツは
RSSで揃っ
ています。

RSS Racing
Service
Shop

コンペモデルに関する詳細は技術と情報のRSSをお読みください。
お近くのRSSに御相談下さい。

YZ進化論

ライダーの五感にあらゆる情報を伝達し、
前へ、前へと進むベクトルを生み出す。
YZはライダーを刺激し、更なるステップアップと
熟成を深める。



※写真はYZ80LWです。

'98 YZ80/LW ¥299,000/¥319,000

'98 YZ125 ¥479,000



'98 YZ250 ¥569,000



'98 WR250Z ¥580,000



TY250Z ¥750,000

※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

●価格はメーカー希望小売価格（北海道および一部地域を除く） ●価格は参考価格です。 ●価格には保険料、税金（含む消費税）、登録などに伴う諸費用は含まれていません。 ●消費税は別途計算の上申し受けます。 ●詳しくは販売店にお問い合わせください。

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン

ヤマハは、いま、大人の週末・バイクライフを応援しています。
週末はバイク人

YSP成増 東京都練馬区成増町3-4-9 TEL.03-3771-9025	RR バイクショップ アミューズ MX 東京都葛飾区新堀町3-7-16 TEL.0425-46-8456	株梅田モータース MX 神奈川県茅ヶ崎市中央555 TEL.0461-83-9000	ティーティースポーツ RR ・ MX ・ TR 新潟県上越市重馬800 TEL.0255-24-1702	新潟トラーゴボレーション RR ・ MX 静岡県掛川市北2104-1 TEL.0538-44-4646	YSP名東本郷 MX 愛知県名古屋市長森5-2-278 TEL.052-773-9557
YSP目黒中央 東京都品川区中央1-10-10 TEL.03-3712-0207	RR ライダーショップケーユー-札幌店 RR 神奈川県横浜港南東区東24-1-22 TEL.0427-51-2121	YSP高屋渋谷 RR ・ MX 神奈川県大和市下和野952 TEL.0462-69-3777	株ブライトン RR 新潟県新潟市東区131 TEL.025-261-0770	ガレージTT MX 石川県金沢市清土5-19-14 TEL.076-244-4592	モロ商会 TR 愛知県名古屋市千代田区東木下2-269 TEL.052-413-0022
ハヤシカスタム RR 神奈川県大田区下丸子2-1-1-101 TEL.03-3756-2160	RR SP忠男 横浜店 MX 神奈川県横浜市保土ヶ谷区泉町11-11-5 TEL.045-333-3544	YSP大和 MX 神奈川県大和市深見西4-1-1 TEL.0462-63-6000	YSP新潟中央 RR 新潟県新潟市東区4 TEL.025-284-6602	バイクーステーション MX 石川県金沢市鏡下町丁378-1 TEL.076-227-1313	バイク&バイク MX 愛知県名古屋守山守山141村町328 TEL.052-784-8705
SP忠男 東京都大田区東中3-6-6 TEL.03-3741-1771	RR B・H・WOOP'S MX 神奈川県横浜港南保土ヶ谷区西谷町750 TEL.045-382-4731	モトショップ OUT RUN RR 神奈川県横浜市東区大4-3-2 TEL.0467-76-0194	YOU SHOP さいとう MX 新潟県中野区敷田町御津5-5-44 TEL.025-381-2917	YSP金沢中央 MX 石川県金沢市野々市町南2丁目295-2 TEL.076-244-6191	スポーツプラザイトウ TR 愛知県名古屋守山区豊台12-128 TEL.052-795-2282
ブルーライトニング RR 東京都大田区下丸子2-14 TEL.03-3753-3028	YSP鶴見 MX 神奈川県横浜市鶴見区駒形3-27-16 TEL.045-575-0895	YSP 相模原中央 RR ・ MX 神奈川県相模原市中央区東5-2-18 TEL.0427-59-4616	YOU SHOP 小林ヤマハ MX 新潟県岡市津田1丁目6-3 TEL.0258-32-2425	YSP富山第一 RR ・ MX 富山県富山市上江町2-1-25 TEL.0764-33-4628	YSP名古屋東 RR ・ MX ・ TR 愛知県名古屋市中区瑞穂2丁目137 TEL.052-803-2524
YSP下丸子 RR ・ MX 東京都大田区下丸子3-18-3 TEL.03-3759-9590	YSP横浜南 RR ・ MX 神奈川県横浜市南区東太田2-160 TEL.045-741-6123	モトウイン マルフク MX 神奈川県大和市大瀬町御本館383 TEL.0463-71-1784	YSP静岡中央 RR ・ MX ・ TR 静岡県静岡市清水1丁目3-2 TEL.0529-32-5078	YSP富山中野 RR ・ MX 富山県富山市中野町2丁目4-12 TEL.0764-21-8289	MOTO BLASTバイクショップ カッパウ RR 愛知県名古屋市天白区平針1丁目1512 TEL.052-804-2178
YSP鶴の宮 RR 東京都中央区新大塚3-2 TEL.03-3825-1479	RR ツツミ モータース RR 神奈川県横浜市港北区小机町1512 TEL.045-471-8186	サンユー バイクサービス RR 神奈川県大和市大瀬町高麗3丁目5-5 TEL.0463-35-6383	YSP静岡南 RR ・ MX 静岡県静岡市中田2丁目7-27 TEL.054-285-4441	YSP福井南 MX 福井県福井市西町7-5 TEL.0776-53-8331	YSP名古屋西 RR ・ MX ・ TR 愛知県名古屋市中区白子平針1丁目1512 TEL.052-804-2178
YSP福生 RR 東京都練馬区福生185-11 TEL.0425-53-2345	RR YSP田奈 MX 神奈川県横浜市青葉区田奈町15-1 TEL.045-982-4650	モーターサイクルショップ いのうえ RR 山梨県甲府市徳田11-11-15 TEL.0552-29-3377	YSP静岡中央 RR ・ MX 静岡県静岡市中田2丁目7-27 TEL.054-285-4441	YSP福井南 MX 福井県福井市西町7-5 TEL.0776-53-8331	YSP名古屋東 RR ・ MX ・ TR 愛知県名古屋市中区瑞穂2丁目137 TEL.052-803-2524
ライディングハウス TR 東京都三軒市西町2-27-9 TEL.0425-28-0455	TR YSP横浜旭 RR ・ MX 神奈川県横浜市旭区東葉巻ヶ丘158 TEL.045-363-5111	YSP甲府ハイパス RR 山梨県甲府市徳田1-12-22 TEL.0552-29-1961	株YSP静岡中央 MX 静岡県静岡市清水1丁目5-14 TEL.054-253-2260	YSP福井南 MX 福井県福井市西町7-5 TEL.0776-53-8331	YSP名古屋東 RR ・ MX ・ TR 愛知県名古屋市中区瑞穂2丁目137 TEL.052-803-2524
秀明サイクルモーター MX 東京都大田区南大塚5-884-12 TEL.0425-05-0775	MX YOU SHOP 港北ニュータウン RR 神奈川県横浜市都筑区港北ニュータウン3-1-27 TEL.045-942-4688	ケニーモーターモーター RR 神奈川県甲府市徳田1丁目9-37 TEL.0552-53-0636	モトショップ スギクラ TR 静岡県静岡市清水13-30 TEL.054-247-4543	YSP岡崎中央 RR ・ MX ・ TR 愛知県岡崎市瑞穂1丁目5 TEL.0564-21-0511	YSP名古屋小 RR ・ MX ・ TR 愛知県名古屋市中区小針町東110 TEL.052-54-3228
バイクロードマスター MX ・ TR 東京都八王子市南大塚157 TEL.0426-76-3304	MX YSP 洋光台 MX 神奈川県横浜市磯子区洋光台6丁目12-1 TEL.045-631-0778	YSP SHOP はらあ RR ・ MX 山梨県甲府市上宮2-2-6 TEL.0554-45-2819	衛モトランド三湾 MX 静岡県静岡市大塚179-4 TEL.0545-71-3829	YSP岡崎中央 RR ・ MX ・ TR 愛知県岡崎市瑞穂1丁目5 TEL.0564-21-0511	YOU SHOP 栗木 RR ・ MX ・ MX 愛知県稲沢市下田1丁目1-119 TEL.0567-32-2762
YSP八王子南 RR 東京都八王子市南大塚町713-1 TEL.0426-36-9426	RR YSP鎌倉 RR ・ MX 神奈川県鎌倉市東町210 TEL.0467-31-8439	YSP中巨摩 RR 山梨県巨摩郡高瀬町西花船2725-2 TEL.0552-73-6640	株中島技術開発研究所 RR 静岡県静岡市大塚1740-1 TEL.0555-24-0617	株YSP静岡南 RR ・ MX 静岡県静岡市中田2丁目7-27 TEL.054-285-4441	YSP名古屋北 RR ・ MX ・ TR 愛知県名古屋市中区北千代目1丁目19-1 TEL.0565-34-0330
YSP八王子中央 RR 東京都八王子市南町7-12 TEL.0426-46-5911	RR YOU SHOP 小野田 MX 神奈川県小野田市3-11-25 TEL.0467-45-5903	YSP長野中央 RR ・ MX 長野県長野市日輪1丁目2-1 TEL.0262-41-7941	クラブ シングルス RR 静岡県駿東郡清水町塩巻1051-3 TEL.0556-34-0370	YSP静岡南 RR ・ MX 静岡県静岡市中田2丁目7-27 TEL.054-285-4441	トールカイト MX 愛知県豊田市南宮町下長瀬 TEL.0565-21-2511
YSP八王子西 MX 東京都八王子市西町551-7 TEL.0426-63-5425	MX YSP南川崎 RR ・ MX 神奈川県川崎市川崎区南川崎1-4-18 TEL.044-233-3333	YSP安曇野 RR 長野県安曇野市豊科4896 TEL.0263-72-2334	石野モータース RR ・ MX 長野県長野市下青島37-1 TEL.054-641-2913	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
YOU SHOP サンライズ MX 東京都武蔵村山市南町1丁目8-1 TEL.0425-63-1148	RR YOU SHOP PHANTOM RR 神奈川県横浜市都筑区北加瀬2-1-1 TEL.044-599-1875	YSP松本 RR ・ MX 長野県松本市北3丁目21-20 TEL.0263-26-2780	中央モータース RR 静岡県静岡市清水町369-1 TEL.053-421-3518	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
衛サム MX 東京都府中市南町2207-16 TEL.0427-26-1123	RR YSP川崎中央 RR ・ MX 神奈川県川崎市川崎区南町847 TEL.044-759-1141	三沢モータース RR ・ MX ・ TR 長野県松本市南大塚1-1-1 TEL.0263-47-3167	株川島モータース MX 静岡県浜松市北町1丁目10-8 TEL.053-417-2543	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
YSP町田中央 RR 東京都町田市南町2-9-4 TEL.0427-29-6456	RR 有モトショップ 裾ヶ谷 RR 神奈川県横浜市港南区下作風218 TEL.044-865-9933	有精武 RR ・ MX 長野県松本市南大塚1-1-1 TEL.0263-47-3167	YSP浜松北 RR ・ MX 静岡県浜松市北町5丁目41-27 TEL.053-434-4127	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
YSP小平 RR ・ MX 東京都小平市小川町1-11-11 TEL.0423-45-4731	RR YOU SHOPAST MX ・ TR 神奈川県横浜市都筑区高石3-13-1 TEL.044-954-5912	バイクショップ ヒロ MX 長野県松本市南大塚1-1-1 TEL.0263-25-6539	YSP松北 RR ・ MX 長野県松本市北3丁目21-20 TEL.0263-26-2780	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
YSP三鷹 MX 東京都三鷹市南町4-3-48 TEL.0422-32-5454	MX 株マックス MX 神奈川県横浜港南区東2丁目11-7 TEL.0468-56-0200	YSP伊那 RR ・ MX ・ TR 長野県伊那市大字伊那1308-2 TEL.0263-71-8395	株川島モータース MX 静岡県浜松市北町1丁目10-8 TEL.053-417-2543	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
YSP東小金井 RR ・ TR 東京都小金井市東町1-7-34 TEL.0422-52-9656	TR 有サカエオート TR 神奈川県横浜市都筑区東2丁目1-10 TEL.0468-36-0010	テクニカルショップQ MX 長野県諏訪郡下諏訪町湯本4555-22 TEL.0266-38-2369	YSP浜松北 RR ・ MX 静岡県浜松市北町5丁目41-27 TEL.053-434-4127	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
YSP小金井 RR ・ MX 東京都小金井市南町5-7-30 TEL.0423-86-6911	RR 株クラブベニテス横須賀 RR 神奈川県横浜港南区東2丁目11-7 TEL.0468-56-0200	YSP小諸 RR ・ MX 長野県小諸市日輪2-300-8 TEL.0267-22-0640	タイラレーシング RR 静岡県浜松市北町5丁目12-7 TEL.053-437-2125	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
YS園分寺 MX 東京都小金井市南町5-12-7 TEL.0423-23-3597	MX ジェス モーターサイクル RR 神奈川県横浜市都筑区海老原1-5-37 TEL.0466-35-5567	北沢モータース RR 長野県小諸市日輪2-300-8 TEL.0267-22-0640	株YSP静岡南 RR ・ MX 静岡県静岡市中田2丁目7-27 TEL.054-285-4441	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
有モトショップ RR 東京都葛飾区新堀町3-4-9 TEL.03-3771-9025	RR YSP 藤沢 RR ・ MX 神奈川県藤沢市藤沢5316 TEL.0466-24-0011	YSP佐久 RR ・ MX 長野県佐久市上野原大字田島新長1115 TEL.0267-82-2008	株YSP静岡南 RR ・ MX 静岡県静岡市中田2丁目7-27 TEL.054-285-4441	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303
YOU SHOP チェイス RR 東京都多摩区西国分寺147 TEL.0423-73-3910	RR YSP 茅ヶ崎 MX 神奈川県茅ヶ崎市本町11-1-5 TEL.0467-51-2983	YSP上田 MX ・ TR 長野県上田市南台1-937-1 TEL.0266-25-2750	株YSP静岡南 RR ・ MX 静岡県静岡市中田2丁目7-27 TEL.054-285-4441	協和自動車株式会社 MX 愛知県豊田市南宮町平手43 TEL.0565-52-8911	YSP一宮中央 MX 愛知県一宮市今伊勢町高砂池233-4 TEL.0586-44-2303

※各ショップの取り扱い区分を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)の記号でショップ名の右側に表示しております。

- YZ250、YZ125、YZ80、YZ80LW、WR250Z、TY250Zは運輸者の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。
- YZ250、YZ125、YZ80、YZ80LW、WR250Z、TY250Zは道路を走行しますと、道路交通法及び道路運送車輛法の違反となります。
- 私道、社内の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところでも人や車が自由に入出入りできるところは、道路とみなされます。走行場所には十分注意してください。

インターネットホームページ
<http://www.yamaha-motor.co.jp/>

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社

コンペモデル
(レース専用車)
価格: ¥500,000
のキットパーツは
RSSで揃っ
ています。

RSS Racing
Service
Shop

コンペモデルに使用する部品は技術者・職人のRSSが手作業で組み立て、
品質よく完成品に加工されています。



'98 YZ400F ¥629,000

**想像では語れない、その走り、そのスペック。
ヤマハのチャレンジスピリットが生み出した新世代モトクロスラー。**

**新開発軽量コンパクト
水冷DOHC5バルブ単気筒エンジン**

新たに設計されたエンジンは軽量コンパクトであること、そしてパワーバンドが広く、過速特性に優れていること等を重点項目として開発。また1軸バランスの採用により、ライダーの疲労軽減に寄与する。更に、FCRキャブレターの採用により、レスポンスに優れたアクセル特性を実現。

信頼の [YZ250] をベースとした新設計セミダブルクレードルフレーム

24年の実績と信頼性を持つ [YZ250] のフレーム構成をダイレクトに再現することにより、高速安定性と優れたハンドリング性能を両立。またダウンチューブ及びガセット内部をオイルタンクとして活用する〈タンクインフレーム〉方式を採用。ロードクリアランスを充分確保するなど [YZ250] の優れた車体特性を継承。前後サスペンション、ブレーキも、[YZ250] ベースのパーツを投入し、高い走破性を実現。



ご注意

このYZ400F及びWR400Fは、各地特設店の取扱範囲・クラス区分・車両種別によっては参加できない場合がありますのでご注意ください。競技会に参加される場合は、競技主催者にYZ400FならびにWR400Fが参加できる事を確認してからご購入、ご使用ください。

※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

**4ストロークエンデュロ
WR400F国内デビュー。**



'98 WR400F ¥649,000

●価格はメーカー希望小売価格（北海道および一部地域を除く） ●価格は参考価格です。 ●価格には保険料、税金（含む消費税）、登録などに伴う諸費用は含まれていません。 ●消費税は別途計算の上申し受けます。 ●詳しくは販売店にお問い合わせください。

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン

SUPERBIKE '98全日本ロードレース選手権
応援しよう、スーパーバイク!

●ヤマハメーカーサイズルに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ。
お客相談室 ☎0120-090-819
●カタログご請求の方は、お名前と住所・氏名・年齢・職業を明記し、郵送料として郵便切手190円分を同封の上、下記へお申し込みください。
〒438 静岡県静岡市駿河区2550 ヤマハ発動機株式会社広報室 〒767-0001 広島県三原市三原2-1-1 ヤマハ三原工場

YSP四日市 RR・MX・TR 石巻県四日市市とわ2丁目11306-1 TEL.0583-53-7371	RSタイチ RR・MX・TR 大阪府大阪市東淀川区3丁目1-25 TEL.0720-74-5315	YSP姫路 RR・MX 兵庫県姫路市北今町1丁目2-12 TEL.0792-93-6498	YSP五色台 RR・MX 香川県高松市西高松4番450-1 TEL.0878-81-5000	YSP南くるめ MX 福岡県久留米市野中町1158-1 TEL.0942-33-9688	YSP那覇 MX 沖縄県那覇市久茂地2-23-12 TEL.098-863-8711
株ナグ エス・イー・ティ RR 岐阜県各務原市大野町3-241 TEL.0583-83-7998	YSP大阪東 RR・MX 大阪府八尾市赤川1丁目1-32 TEL.0729-93-7766	中国地区	株式会社ラルオート RR・MX 香川県高松市高松町3006-18 TEL.0878-43-5566	YOU SHOPS AKO RR・MX 福岡県久留米市荒木町荒木1325 TEL.0942-27-3388	YSP那覇南 MX 沖縄県那覇市古波渡129-1 TEL.098-884-2062
株ケーレーシングクラブ MX 岐阜県高山市中環町415 TEL.0577-34-6303	YOU SHOP エル MX 大阪府高石市数石3丁目8-40 TEL.0722-74-3830	YSP岡山北 RR・MX 岡山県岡山市大和町1丁目8-12 TEL.086-225-2234	有ON&OFF高松 MX 香川県高松市高松町201-2 TEL.0878-47-3715	YSP筑後 MX 福岡県八女市大字吉田799-1 TEL.0943-22-5089	YSP首里 MX 沖縄県那覇市首里首里町1-16 TEL.098-884-7088
関西地区	YOU SHOP クボ MX 大阪府堺市日置丘南町443-1 TEL.0722-87-5378	YSP岡山南 RR・MX 岡山県岡山市南3337-3 TEL.086-225-0769	大林モータース MX 香川県綾歌郡綾歌山下法華寺638-2 TEL.0877-98-2067	モト・ボーイ MX 福岡県大田原市ノ出町3丁目2-1 TEL.0944-57-0089	アクティブ・オート MX 沖縄県石垣市宇野1253-1 TEL.098-893-7028
亀岡トライアルランド TR 京都府亀岡市本郷町西加倉大畑14 TEL.0771-26-3377	YOU SHOP P's products MX 大阪府奈良郡新井田4600-1 TEL.0724-94-0247	株梅木商会 TR 岡山県岡山市東中央町12-3 TEL.086-231-5031	バイクショップのぞき MX・TR 香川県大川郡志度町志度南1330-11 TEL.0878-94-1903	RSSレイルスポーツ RR 福岡県北九州市小倉北区東郷3丁目20-9 TEL.093-951-6672	グリット MX 沖縄県浦添市大坪1-1-2-1 TEL.098-878-9628
モトハウス ボジション MX 京都府京都市中京区町サイの道1-34 TEL.0771-29-1800	YOU SHOP P/Lミタニ RR 大阪府大東市東淀川区下野田3丁目21-4 TEL.06-322-6333	YOU SHOP RSKラシキ MX 岡山県倉敷市中央2220-10 TEL.086-462-8435	YSP徳島西 MX 徳島県徳島市西1丁目19 TEL.0886-32-0187	YSP大分中央 MX 大分県大分市北郷1丁目11-3 TEL.0975-69-6780	YOU SHOP 金城オート MX 沖縄県沖縄市知徳1391-1 TEL.098-924-5215
YSP綾鏡野 RR 京都府京都市伏見区堀端大津原町63-1 TEL.075-822-1313	YSP大阪鶴見 MX 大阪府大阪市鶴見区今津中1丁目4-30 TEL.06-961-2561	オートショップカイ RR・MX・TR 岡山県倉敷市東島塚580-1 TEL.086-475-1144	有YSP徳島東 RR・MX 徳島県徳島市東町4丁目19-4 TEL.0886-53-0282	香川コンペティション RR・MX 香川県高松市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	照屋モータース MX 沖縄県豊後市豊後市宇城125 TEL.098-889-0215
御トムス TR 京都府京都市伏見区小倉野大野町3-5 TEL.075-415-1700	YOU SHOP エピハラ MX 大阪府東大阪市池島町3丁目2-44 TEL.0729-82-1767	倉敷2&4レーシング RR 岡山県倉敷市東中央町7-25 TEL.086-447-0107	有YSP徳島中 RR・MX 徳島県徳島市中1丁目19 TEL.0886-32-0187	香川小川コンペティション RR・MX 香川県高松市小川町東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	YOU SHOP 金城オート MX 沖縄県浦添市知徳1391-1 TEL.098-924-5215
株カスモーターサイクル RR・MX 京都府京都市伏見区下鳥羽内庭町95 TEL.075-622-0225	バイクプラザ 光 MX 大阪府東大阪市柳小路6丁目5-9 TEL.0729-86-1217	YSP津山 RR 岡山県津山市北園町37 TEL.0869-31-1888	YOU SHOP マツモト TR 徳島県徳島市八万町川島57-4 TEL.0886-68-5898	ツチヤオート MX 大分県大分市北郷1丁目11-3 TEL.0975-32-5087	YSP南大分 MX 大分県大分市東郷1丁目5 TEL.0975-45-3050
まつもとモータース TR 京都府京都市伏見区納所野ノ下24-8 TEL.075-631-7144	スライモーターワークス M&I RR・MX 奈良県奈良市南宮町35-5 TEL.0742-24-4411	スペシャルパーツ志勇 広島 RR・MX 広島県広島市中央区昭和町11-14 TEL.082-241-1580	YOU SHOP 2輪館 RR 徳島県徳島市佐古5番町1-9 TEL.0886-54-1003	YOU SHOP 松田 MX 大分県大分市城東2576-4 TEL.0975-92-0071	照屋モータース MX 沖縄県豊後市豊後市宇城125 TEL.098-889-0215
株レオ タニモト西院店 MX 京都府京都市中京区西院西今町13-2 TEL.075-314-0261	YSP飛鳥 MX 奈良県桜井市橋本258-13 TEL.07444-3-0201	YSP広島南 RR 広島県広島市南区出汐2丁目2-24 TEL.082-251-3686	YSP徳島西 MX・TR 徳島県徳島市西1丁目19 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR・MX 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	YOU SHOP 松田 MX 大分県大分市城東2576-4 TEL.0975-92-0071
オートショップ小西 MX 京都府宇治市本郷2中55-2 TEL.0774-32-2879	オートショップイナムラ MX 広島県大田郡山形町小島町110 TEL.07435-6-5749	YSP五日市 RR・MX 広島県五日市市後街2丁目2-1 TEL.082-923-2023	エム・ファクトリー MX 高知県高知市中央57554 TEL.0988-71-7058	有YSP徳島南 RR・MX 徳島県徳島市南郷1丁目3-25 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
バイクハウス ファースト MX 京都府宇治市本郷2中55-2 TEL.0774-32-2879	YOU SHOP TAKAI MX 奈良県奈良市西宮町5丁目9-5 TEL.07457-9-0066	YSP呉 MX 広島県呉市中央6丁目11-15 TEL.0823-21-8198	YSP松山南 RR・MX 愛媛県松山市南郷1丁目3-25 TEL.089-332-7611	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
有YSP長岡 MX 新潟県長岡市今里北ノ町1-12 TEL.075-954-0389	YOU SHOP MOTOTOI MX・TR 和歌山県橋本町3丁目4-9 TEL.0736-34-1025	RSキノシタ MX 和歌山県橋本町3丁目5-17 TEL.0823-25-4824	YSP松山東 MX 愛媛県松山市東郷1丁目3-25 TEL.089-332-7611	有YSP徳島南 RR・MX 徳島県徳島市南郷1丁目3-25 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
バイクハウス 岩城 RR 新潟県長岡市下区中央寺町16-11 TEL.075-822-0843	モトスポーツ マルタ RR 和歌山県橋本町3丁目3-11 TEL.0736-34-1873	YOU SHOPASO RR・MX 和歌山県橋本町3丁目4-9 TEL.0736-34-1025	YSP愛媛 RR 愛媛県松山市緑1丁目1-47 TEL.089-325-0074	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
YSP京都 RR 京都府京都市中京区東内大畑4 TEL.0774-62-5819	YSP和歌山 RR・MX・TR 和歌山県和歌山市平井1丁目5 TEL.0734-26-0750	YSP徳山 RR・TR 山口県徳山市松木3丁目1-25 TEL.0834-26-0122	有YSP徳島南 RR 徳島県徳島市南郷1丁目3-25 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
有ナカキ ホンダ MX 滋賀県近江八幡市上田町合277-1 TEL.0748-37-7111	YSP神戸灘 RR・MX 兵庫県神戸市東灘区宝田町3丁目5-12 TEL.078-843-2747	泉商会 TR 山口県徳山市大宇伊保2554-1 TEL.0820-27-0076	有YSP徳島中 RR 徳島県徳島市中1丁目19 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
有高田モータース TR 滋賀県八日市市栄町7-21 TEL.0748-22-0767	YSP西神戸 RR・MX 兵庫県神戸市西区伊川谷南郷17-2 TEL.078-974-9351	YSP徳山 RR・TR 山口県徳山市松木3丁目1-25 TEL.0834-26-0122	有YSP徳島南 RR 徳島県徳島市南郷1丁目3-25 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
有溝口オート商会 MX 滋賀県彦根市町3-6 TEL.0749-22-2126	YOU SHOP パートII RR 兵庫県神戸市中央区東通2丁目1-24 TEL.078-251-2080	YSP宇部 RR・TR 山口県宇部市南郷1丁目3-36 TEL.0836-31-6476	有YSP徳島中 RR 徳島県徳島市中1丁目19 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
クボヤマ オートバイ RR・MX 大阪府枚方市南港3丁目10-1 TEL.06-943-6615	イシイ MTC RR 兵庫県西宮市上ヶ谷6番町2-45 TEL.0798-52-2034	バイク・サン MX 山口県防府市大字新町111-1 TEL.0835-21-8193	有YSP徳島南 RR 徳島県徳島市南郷1丁目3-25 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
スポーツショップ豊中 MX 大阪府豊中市長興寺町4丁目3-23 TEL.06-962-3877	YSP甲子園 RR・MX 兵庫県西宮市六連寺町2-16 TEL.0798-22-1102	ライダーズスポット ムラ MX・TR 鳥取県鳥取市湖山町北2丁目126 TEL.0857-28-5334	有YSP徳島中 RR 徳島県徳島市中1丁目19 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
YOU SHOP 御殿山 RR 大阪府枚方市南港3丁目30-6 TEL.0720-40-1617	MOTO SHOP ハモト RR・MX・TR 兵庫県尼崎市東1丁目15-11 TEL.06-988-1201	有ワープ・田中オート MX 鳥取県安来市東町293-4 TEL.0854-22-1107	有YSP徳島南 RR 徳島県徳島市南郷1丁目3-25 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811
YSP大阪北 RR・MX 大阪府東淀川区南港2-8 TEL.0720-24-6660	株イタミ カワサキ MX 兵庫県芦屋市南宮町1丁目1-1 TEL.0727-77-0018	有YSP徳島中 RR 徳島県徳島市中1丁目19 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島南 RR 徳島県徳島市南郷1丁目3-25 TEL.0886-32-0187
YSP茨木 MX 大阪府茨木市西野町13-19 TEL.0726-25-8989	オートスポーツ加古川 TR 兵庫県加古川市神野町石守1440 TEL.0794-26-5060	有YSP徳島南 RR 徳島県徳島市南郷1丁目3-25 TEL.0886-32-0187	有YSP徳島東 RR 徳島県徳島市東郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島北 RR・MX 徳島県徳島市北郷1丁目1-40 TEL.0975-51-0811	有YSP徳島南 RR 徳島県徳島市南郷1丁目3-25 TEL.0886-32-0187

※各ショップの取り扱い区分を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)の記号でショップ名の右側に表示してあります。

インターネットホームページ
http://www.yamaha-motor.co.jp/

- YZ400F、WR400Fは運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。
- YZ400F、WR400Fは道路を走行しますと、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。
- 私道、社寺の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところでも人や車が自由に出入りできるところは、道路とみなされます。走行場所には十分注意してください。



流星、サーキットに現れる。

基準は、またしても、クシタニによって変革された 正常進化を果した新作3モデル。ここに個性豊かにラインナップ。その代表モデル「KI-119XX」は、実戦で得た数々の最新テクノロジーをダイレクトに反映。クシタニ独自のXハターン+サイロニット部をさらに進化させ、運動性と通気性をアップさせている。また、より高い安全性を確保するために、各プロテクション部を、素材/デザイン/位置など総合的に改良しプロテクション性能を向上させている。さらに、裏地は丸洗い洗濯が可能な脱着式とし、衛生面を格段にアップさせている。そして、デザイン&カラーリングは大胆な星形ハターン&配色で構成し、腕部ライン及び膝部にメッキコーティングを施し従来にないメタリックな輝きを表現している。もちろん、他の2モデルも同レベルの進化が成されている。これが、レーシングの新しい基準。これが、サーキットの世界標準。

KI-119XX ヒクトリースタースーツ ¥190,000

流星、サーキットに出現。全身に星をイメージした斬新なデザインと特殊プリント採用のサーキットで注目度の高い最新モデル。袖や股部のサイロニット部を拡大し、運動性・通気性を向上させています。●素材：(表)牛革・サイロニット (裏)ポリエステルメッシュ ●仕様：肩、踵に脱着調整式のKフォームを採用。膝パッドはHPI、肘パッドは液型トランスフォーム。洗濯可能な脱着式裏地。●カラー：ブラッシュレッド/ブラック ●サイズ：M、L、LL

KI-121XX コブラスーツ ¥140,000

従来にないシンプルかつ大胆なデザインを採用した、118XXの進化モデル。●素材：(表)牛革・サイロニット (裏)ポリエステルメッシュ ●カラー：ネイビー ●サイズ：M、L、LL

KI-122 コンプリートデイトナスーツ ¥160,000

118XXを基本ベースに、2つの新しいデザインコンセプトを提案する、2ピースタイプの最新スーツ。●素材：(表)牛革・サイロニット (裏)ポリエステルメッシュ ●カラー：ブルー/ブラック ●サイズ：M、L、LL

東京支社：東京都中央区日本橋茅場町1-11-8 紅梅ビル4F 〒103 TEL.03-3681-8788

- | | | | |
|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| ●仙台店022-239-3663 | ●江東店03-3636-7681 | ●北江八幡店0748-37-5373 | ●鳥取店0870-33-1247 |
| ●新潟店025-285-2168 | ●横浜店03-3931-5010 | ●京都店075-53-682-5770 | ●高松店0878-33-0933 |
| ●六甲店0776-55-3023 | ●世田谷店03-3708-3551 | ●茨城店0722-53-8231 | ●松山店089-346-4343 |
| ●大田店03-57-65-2899 | ●甲府店0423-49-3559 | ●松原店0734-46-0006 | ●北九州店093-921-3014 |
| ●墨田店03-54-23-4083 | ●横浜店046-45-8930 | ●高松店0878-33-6641 | ●新潟店092-504-1713 |
| ●高崎店0273-43-2785 | ●茅ヶ崎店0467-87-4890 | ●神戸西店078-671-2600 | ●久留米店0942-43-8017 |
| ●静岡店0483-24-2264 | ●富士店0545-72-1252 | ●徳島店0794-47-4333 | ●長崎店0958-44-9155 |
| ●宇都宮店028-448-5114 | ●高松店083-456-9418 | ●岡山店086-225-8320 | ●大分店0975-33-7620 |
| ●川口店048-231-9290 | ●名古屋店052-522-0749 | ●岐阜店0582-233-7633 | ●熊本店096-379-1752 |
| ●入間店0429-32-7204 | ●名古屋店0561-62-9033 | ●鳥取店0857-28-6760 | ●鹿児島店0994-2-7522128 |
| ●千葉店043-242-8363 | ●神奈川店043-70-0186 | | |

お買得アウトレット製品取扱店：

仙台店・茅ヶ崎店・浜松店・福岡店・熊本店

ホームページアドレス <http://www.jin.or.jp/hcs/kushitani>



安全の世界を創造します。

株式会社クシタニ

静岡県浜松市三島町231-430

TEL 053(44)13251

Born to Win.



もうひとつ、インを攻めたくなる。

High Sport Radial TX15・25/RACE

このハイスポートラジアルには、ミシュランが世界GPで培った、最先端テクノロジーが投入されている。頂点を狙うプロダクションレーサーへ、TX15 RACE/TX25 RACE (公道走行可)、走りを極めるレーサーレプリカへ、TX15/TX25、

- ハイグリップコンパウンド採用、極限まで堪能できるブレーキング&コーナリング。
- マシンの性能を最大限に引き出すため、グラム単位の軽量化を図りバネ下重量低減。
- 狙ったとおりのラインをトレースできる、ニュートラルなハンドリング特性。
- 非常にスムーズな過渡特性、よりレーシーなコーナリングを実現。
- ハイグリップタイヤでありながら、雨に強いオリジナルパターン。

Born to Run.



Front

Rear

TX15/TX15 RACE TX25/TX25 RACE



MICHELIN

<http://www.michelin.co.jp/>



1998年ワールドカップの
公式タイヤ

SIGNAL FLAGS

公式シグナル(シグナル旗およびシグナル)

旗の種類	旗の意味	
	ロードレース	モトクロス
 国旗	レーススタート (通常シグナルで示す)	レーススタート (スターティングマシンで 行なう場合もある)
 黄旗	静止 危険予告・追い越し禁止	危険予告・減速
	振動 コース上(ランオフエリア 含む)に危険がある。 減速・停止準備・追い越し 禁止	危険予告・徐行・停止準備 ・安全確認・追い越し禁止
 白旗	静止 1つ先のポスト付近に徐行 中の介入車両あり	コース上にサービス車両 (救急車等)あり
	振動 直前に徐行中の介入車両あり	
 ホストライヴ付黄旗	コース表面が滑りやすい状 態	
 緑旗	先に出した会場の解除 (コースクリアー)	先に出した会場の解除
 赤旗	レースまたはプラクティスが中 断され、すべてのライダーは最 大限の慎重さと注意を持ってそ れぞれのピットに戻る。サーキ ットを閉鎖する場合にはも用いる。	全ライダー停止
 黒旗+黒地に白文字の サインボード 1	速やかにピットインしオフ ィシャルの指示に従う。(オ イル漏れ等の場合は速やかに 安全な場所に停止する)	サインボードで示された番 号の競技車両は速やかにピ ットインする。
 黒旗+黒地に白文字の サインボード PI	サインボードで示された番 号の競技車両は、速やかに ピットインし一旦停止のペ ナルティを受ける。	
 オレンジポール/ 黒地にオレンジの 円(直径40mm)の旗 3	提示されたゼッケンナンバ ーのライダーに対して彼の マシンが、彼もしくは他の ライダーに危険をおよぼす ような問題に見舞われてお り、早急にコース上から退 去しなければならない事を 知らせるものである。	
 青旗	静止 追い越しシグナル。1台ま たはそれ以上のスピードの 速いマシンが追い越そうと している。	警告、ラップされようとし ている。
	振動 追い越される直前	
 チェッカー旗	レース終了	レース終了
 青旗+チェッカー	・トップライダーはゴール ・トップライダーの直前を 走るライダーはゴールで はない。	

レースナンバープレート

(ナンバープレート色見本)

ロードレース	タテ235×ヨコ285mm		
 GP125	 GP250	 SP	
 SB耐久	 SB	 ストックバイク	
注: タテ×ヨコの数字はナンバープレートの寸法。 数字の書体は、FIMの指定に基づくMFJの正規のものである。			
モトクロス	タテ235×ヨコ285mm		
 ジュニア	 国内B級	 国内A級	
 国際A級 (125cc)	 国際A級 (250cc)	 国際B級	
トライアル	タテ150以上×ヨコ175mm以上		
 ジュニア	 国内B級	 国内A級	
 T.NIPPON 国際B級	 T.NIPPON 国際A級	 T.NIPPON 国際A級スーパークラス	
ヘルメットのMFJ公認マーク			
ロードレース・モトクロス特選 ロードレース用・モトクロス用 トライアル用・ツーリング用			
  			
※MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークが貼付されていないヘルメットは、特別検査料(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。			
レーシングスーツのMFJ公認マーク			
			
※使用するレーシングスーツには、MFJ公認マークが付いていなければならない。			

MFJ

国内競技規則書

1998年度版

CONTENTS

信号旗/レースナンバープレート・ライセンス識別カラー	22
MFJ 国内競技規則	24

ROAD RACE

細則 1	ロードレース競技細則	48
細則 2	'98全日本選手権大会特別規則	63
細則 3	'98エリア選手権大会特別規則	70

MOTOCROSS

細則 4	モトクロス競技細則	88
細則 5	'98全日本選手権大会特別規則	95

TRIAL

細則 6	トライアル競技細則	104
細則 7	'98全日本選手権大会特別規則	113

DRAG RACE

細則 8	ドラッグレース競技細則	119
細則 9	'98全日本選手権大会特別規則	127

TECHNICAL RULES

MFJ 技術規則	136
基本仕様 (ロードレース)	143
基本仕様 (モトクロス)	152
基本仕様 (トライアル)	157
SPクラスの仕様	162
耐久レースの追加仕様	167
国内GPクラスの仕様	169
国内モトクロスの仕様	173
国内トライアルの仕様	177
全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様	179
FIM技術仕様 (モトクロス・トライアル)	194
ドラッグレースの仕様	196
ロードレースジュニアクラスの仕様	204
ミニバイクの仕様	208
ストックバイククラスの仕様	211

SUPPLEMENT

細則10	MFJライセンス昇格・降格に関する規則	216
細則11	MFJ公認クラブ等の名称に関する規程	222
MFJ共済会制度	224	
MFJ公認車両・部品・用品	225	
全国公認サーキット	241	
歴代チャンピオンリスト	245	
ピットクルーに関する指導要項	250	

1998年1月1日発行
ライディング臨時増刊・通巻342号

財団法人 **日本モーターサイクルスポーツ協会**

〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900 FAX03(5565)0907

■発行所：財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会

■編集：亜支株ライディング編集部 ■印刷：河和田屋印刷機

この国内競技規則書は、日本小型自動車振興会からオートレースの公益資金の補助を受けて作成されたものです。

1998

MFJ国内競技規則

▼第1章 総 則

- 1. モーターサイクルスポーツの国内的統括25
- 2. 公認競技会、承認競技会の格式および種目25
- 3. 大会特別規則ならびに公式通知26

▼第2章 競技ライセンス

- 4. 競技ライセンスとその種目27
- 5. 競技ライセンスの取得資格28
- 6. 競技ライセンスの有効期間30
- 7. 競技ライセンスの効力の失効等30
- 8. 競技ライセンス資格の昇格および降格30

▼第3章 競技会

- 9. 競技参加者31
- 10. 競技参加者の遵守事項31
- 11. ライダーの装備(MFJ公認ヘルメット及びレーシングスーツ) 32
- 12. 出場車両33

- 13. MFJ公認車両および公認部品・用品33
- 14. 燃料およびオイル33
- 15. 競技出場申し込み33
- 16. 出場料およびMFJ共済会掛金34
- 17. ライダーおよび車両の変更34
- 18. 車両検査34
- 19. 競 技34
- 20. 優勝者等の決定35
- 21. 入 賞35
- 22. 入賞者の車両検査35
- 23. 競技結果および記録の公表35
- 24. 公式得点(ポイント)35
- 25. 競技会の延期および中止等36
- 26. 損害に対する責任37
- 27. 抗 議37
- 28. 控 訴 権37
- 29. 違反行為に対する罰則38
- 30. 大会審査委員会の権限38

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motocycliste:略称FIM)の国際スポーツ憲章、FIM競技規則に基づいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツ規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。

総則

1 モーターサイクルスポーツの国内的統括

- 1) この規則は、わが国のモーターサイクルスポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正および秩序を保持することを目的とする。
- 2) 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste 以下「FIM」という）の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM 競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- 3) モーターサイクルスポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、本国内競技規則ならびに特別規則等を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- 4) この規則は、MFJの主催またはMFJの公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会（以下「承認競技会」という）についても適用される。
- 5) 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該大会審査委員会が行い、これを最終的なものとする。

また競技会において疑義が生じた場合、本規則に規定されていない事項はFIM 国際スポーツ憲章、FIM 競技規則およびその趣旨により判定する。

2 公認競技会、承認競技会の格式および種目

1) 公認競技会の格式

(1) 国内格式競技会

国内格式競技会は、MFJ ライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営にはMFJ 国内競技規則が適用される。

(2) 国際格式競技会

国際格式競技会は、各国モーターサイクル協会（以下「FMN」という）が発行するFIM インターナショナルライセンスを所持する複数のFMN のライダーが参加することができ、この競技会はFIM 競技規則が適用される。

2) 格式の内訳およびその優先順位は、下記のとおりとする。

公 認 競 技 会			
優先順位	国 際 格 式	優先順位	国 内 格 式
1	世界選手権競技会(FIM カップ含む)	6	全日本選手権競技会
2	国際選手権競技会 (アジア選手権含む)	7	特別競技会
3	日本(MFJ)グランプリ	8	エリア選手権競技会
4	全日本選手権(インターナショナル)	9	地方選手権競技会
5	国際競技会	10	県選手権競技会
		11	その他公認競技会
		12	承認競技会

3) 公認競技会の種目

公認競技会の種目は次のとおりとする。

- | | |
|------------|---------------------------|
| (1) ロードレース | (5) ドラッグレース |
| (2) モトクロス | (6) エンデューロ |
| (3) トライアル | (7) その他 MFJ スポーツ委員会で認める競技 |
| (4) スノーモビル | |

4) 承認競技会の種目は、競技会の格式が銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。

- | | |
|------------|---------------------------|
| (1) ロードレース | (5) エンデューロ |
| (2) モトクロス | (6) ミニバイクレース |
| (3) トライアル | (7) その他 MFJ スポーツ委員会で認める競技 |
| (4) スノーモビル | |

3 大会特別規則ならびに公式通知

- 1) 競技会は、本規則および各種目別細則に基づいて行われるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの特別規則、公示または公式通知によって行われる。
- 2) 大会特別規則および公式通知は、競技会主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。
 - (1) 大会特別規則には次の各項が示される。
 - ① 競技会の名称・格式
 - ② 競技会の組織
 - ③ 主催者の名称、所在地および連絡先
 - ④ 開催日時・場所
 - ⑤ 競技の種目および内容
 - ⑥ 参加資格
 - ⑦ 出場申し込み受け場所
 - ⑧ 出場申し込み期間
 - ⑨ 出場料と MFJ 共済会掛金
 - ⑩ 出走者の定員
 - ⑪ 賞およびその詳細
 - ⑫ その他
- 3) 公式通知には大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および大会特別規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができる。

ただし、その内容は大会特別規則および MFJ 国内競技規則に反するものであってはならない。

第2章

ライセンス

4 競技ライセンスとその種目

- 1) ライセンスには、競技ライセンス、Lライセンスおよびビットクルーライセンスとがあり、競技ライセンスは公認競技会に、Lライセンスは承認競技会に参加するために必要な証書である。
- 2) 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は、次のとおりとする。

●競技ライセンス別の種目

ロードレース		モトクロス/トライアル		スノーモビル	
クラス	国際	クラス	国際A級	クラス	A級
	国内		国際B級		B級
	フレッシュマン		国内A級		ジュニア
	ジュニア		国内B級		
	ジュニア				
	P C (モトクロスのみ)				

ドラッグレース	
クラス	A級
	B級

●競技ライセンス別の参加できる競技会

参加できる種目	取得しているライセンス	競技ライセンス						
		ロードレースライセンス	モトクロスライセンス	トライアルライセンス	スノーモビルライセンス	ドラッグレースライセンス	エンデューロライセンス	Lライセンス
公認競技会	ロードレース	○	—	—	—	—	—	—
	モトクロス	—	○	—	—	—	—	—
	トライアル	—	—	○	—	—	—	—
	スノーモビル	—	—	—	○	—	—	—
	ドラッグレース	—	—	—	—	○	—	—
	エンデューロ	—	—	—	—	—	○	—
承認競技会	ロードレース	○	—	—	—	—	—	—
	モトクロス	○	○	○	○	○	○	○
	トライアル	○	○	○	○	○	○	○
	エンデューロ	○	○	○	○	○	○	○
	ミニバイク	○	○	○	○	○	○	○
	スノーモビル	○	○	○	○	○	○	○
その他 MFJ スポーツ委員会の認める競技会	○	○	○	○	○	○	○	

※運転免許を受けている、ビットクルーライセンス(ライセンスに④と表記されているもの)所持者に限りライダーとして承認競技会に参加できる(Lライセンスと同じ)

'98ロードレースライセンス区分

ライセンス区分	参加可能格式
国際ライセンス (インターナショナル)	世界選手権 (参加資格は別途) 国際選手権 (参加資格は別途) 国内で行われるインターナショナル競技会 全日本選手権 エリア選手権 その他承認・公認競技会
国内ライセンス (ナショナル)	エリア選手権/地方選手権 地方大会/その他承認・公認競技会
フレッシュマン	地方選手権/地方大会
ジュニア	その他承認・公認競技会

3) FIM ライセンス (MFJ を経由して取得)

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することのできるライセンスの区分は、次のとおりである。

種目	競技会	必要なライセンス		申請資格
		シリーズ参加の場合	1大会のみ参加(国外でも使用可)	
ロードレース	世界選手権 GP (グランプリ)	世界選手権 GP 用年間ライセンス	世界選手権 GP 用 1 大会ライセンス	ロードレース国際ライセンス所持者 最低年齢 ・ 125cc = 15歳 ・ 250cc = 16歳 ・ スーパーバイク、その他 = 18歳
	スーパーバイク世界選手権	SB 世界選手権用年間ライセンス	SB 世界選手権用 1 大会ライセンス	
	世界耐久選手権	世界耐久選手権用年間ライセンス	世界耐久選手権用 1 大会ライセンス	
	その他の国際競技会	FIM インターナショナルライセンス年間用 ※国内での国際競技会には必要ありません。	FIM インターナショナルライセンス 1 大会用	
モトクロス	世界選手権 GP (グランプリ) 及びスーパークロス	世界選手権 GP 及びスーパークロス用年間ライセンス	世界選手権 GP 及びスーパークロス用 1 大会ライセンス	モトクロス国際 A 級ライセンス所持者 最低年齢 1 世界選手権用 ① 125cc = 15歳 ② 250cc = 16歳 ③ その他 = 18歳 2 その他の国際競技会用 125cc、250cc = 14歳
	その他の国際競技会	FIM インターナショナルライセンス年間用	FIM インターナショナルライセンス 1 大会用	
トライアル	世界選手権	世界選手権用年間ライセンス	世界選手権用 1 大会ライセンス	トライアル国際 A 級ライセンス所持者 運転免許証を受けていること
	その他の国際競技会	FIM インターナショナルライセンス年間用	FIM インターナショナルライセンス 1 大会用	
エンデューロ	ISDE 等	ISDE 用ライセンス		MFJ モトクロスライセンス所持者でスポーツ委員会にて実績を認められた者
ラリーレイド	ラリーレイド	ラリーライセンス		

海外での競技会への参加に関しては、事前に MFJ に報告し、許可を得なければならない。
(相手国協会に対し MFJ より出場許可を文書で発行する)

5 競技ライセンスの取得資格

競技ライセンス取得申請を行う者は、次の要件を満たしていなければならない。

- 1) 日本にスポーツ国籍を有すること。
- 2) 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に 3 ヶ月以上継続的に居住した期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ本人が所属する国の FMN の承諾書を受けていること。ただし、本人が所属する国の FMN から FIM インターナショナルライセンスの発給を受けており、かつ FMN からの移籍許可を得、MFJ スポーツ委員会が認めた場合は、3 ヶ月の居住証明は不要とする。

MFJ から他国協会 (FMN) にスポーツ国籍を移籍した者は、当該年度内は MFJ ライセンスの再取得はできない。

- 3) 過去 6 ヶ月以内に重大な刑法上の犯罪により処罰された者でないこと。
- 4) 種目による条件

- (1) モトクロス、トライアル、スノーモビル、エンデューロ、Lライセンス
- ① 運転免許（小型特殊免許を除く・以下同じ）を受けていること。
 - ② 運転免許を受けていない者はMFJの公認する競技ライセンス講習会の修了証（発行後6ヶ月以内のものに限る・以下同じ）を受けていること。
 - ③ 運転免許を受けることのできる身体的要件を備えていること。
- (2) ロードレース
- ① 国内ライセンス

下記いずれかの要件を満たしていること。

 - ① MFJの公認するロードレース国内ライセンス講習会の修了証を受けていること。
有効期間：受講日より6ヶ月
 - ② MFJ国内公認以上のサーキットにおける3時間以上の走行証明書を受けていること（走行券や走行カードは不可）。
準国内公認サーキットにおける走行の場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
有効期間：発行日より1年間
 - ③ フレッシュマンライセンスにて、公認・承認ロードレース大会に2回以上出走の実績があること。
準国内公認サーキットにおけるレースの場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
有効期間：前々年度（'96年1月1日以降）の大会より。
 - ④ フレッシュマンライセンスにて、MFJ国内公認サーキット以上の施設で開催された公認・承認ロードレース大会にて下記の成績を得たもの。
準国内公認サーキットにおけるレースの場合は下記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
 - ・予選出走台数が20台以上のレースで10位以内に入賞。
 - ・予選出走台数が10台以上のレースで6位以内に入賞。
 有効期間：前々年度（'96年1月1日以降）の大会より。
 - ② フレッシュマンライセンス

下記いずれかの要件を満たしていること。

 - ① MFJ国内公認以上の格式のサーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けていること。
 - ② MFJ準国内公認サーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けたものは上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
 - ③ MFJの公認するフレッシュマンライセンス講習会を受講し修了証を得たもの。
 - ④ 満16歳以上で運転免許証を有しないものはMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。
 - ③ ジュニアライセンス

満12歳以上16歳未満の者はMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。
- (3) ドラッグレース
運転免許を受けており、下記要件を満たしていること。
MFJの公認するドラッグレース講習会を受講し修了証を受けていること。
- (4) ピットクルー
16歳以上であること。

※本規則でいう「スポーツ国籍」とは競技参加者が最後にライセンスを交付されたFIM加盟の各国モーターサイクル協会「FMN」の国籍とする。

※ライセンス取得後の昇格については別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による。(216頁参照)

6 競技ライセンスの有効期間

1. MFJの発行するライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。
2. MFJライセンスは未更新期間がある場合、ライセンス区分が降格したり、再度走行証明を取得する等の条件が付される場合がある。詳細については別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による。(216頁参照)

7 競技ライセンスの効力の失効等

- 1) 次の者のライセンスの効力は失効し、または停止される。
 - (1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
 - (2) 運転免許の効力を失った者、または停止されている者。
 - (3) 氏名・年齢等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
 - (4) 前条の有効期限を経過し、継続申請をしなかった者。
 - (5) MFJスポーツ委員会の裁定により、停止処分を受けた者(スポーツ委員会の定める期間)。

8 競技ライセンス資格の昇格および降格

- 1) 競技ライセンスの昇格および降格については、別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による(216頁参照)。



第3章

競技会

9 競技参加者

- 1) MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。
 - (1) ライダー
 - ① 当該競技に必要なMFJ競技ライセンスを受け、参加申請した者(効力の停止中の者を除く)で当該競技に必要な身体的条件を備えていること。
 - ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっているもの。
 - ③ 満20歳未満の者は、親権者の承諾書を提出したもの。
 - ④ 負傷しているライダーは、主催者の指定する医師の競技参加の承諾を得ているもの。
 - (2) ビットクルー
 - ① 当該競技に必要なMFJビットクルーライセンスを受けて参加申請をした者。
 - ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっているもの。
 - (3) エントラント
ここで規定するエントラントとは下記の者で競技参加申請を行なった団体または個人を言う。
 - ① MFJ公認クラブ(別に定める「MFJ公認クラブ等の名称に関する規程」(222頁)参照)
 - ② MFJライセンス取得者
 - ③ MFJメーカーライセンスを所有している車両メーカー
 - ④ MFJ賛助会員ライセンスを所有しているコンストラクター、部品関連メーカー※ エントラント資格を有し、エントリー用紙により参加申請をすることによりMFJ国内競技規則に定められている抗議者の資格が得られる。
- 2) 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの提示を求めることにより、ライダーおよびビットクルーの資格要件を確かめることができ、もし本規則に違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

10 競技参加者の遵守事項

- 1) 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。
 - (1) 競技会中は、MFJ国内競技規則に従って行動し、参加者は、すべての行動に対して責任を持たなければならない。
 - (2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では交通規則を守らなければならない。
 - (3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品でいやしい言葉や言動は厳に慎まなければならない。

- (4) 競技に関する業務についているときおよびライダーは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
- (5) 競技会中は、有効なライセンスを必ず携帯していなければならない。
- (6) 競技会に参加することが認められた者が出場しない場合（競技現場での不参加を含む）は、正当な理由をもって、その旨主催者に通告しなければならない。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、主催者は速やかに MFJ スポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
- (7) ライダーまたはエントラントが集団で競技または予選を欠場した場合、または、そのような働きかけをした場合、主催者は速やかに MFJ スポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
- 2) 特にライダーは、上記のほか次の事項を守らなければならない。
- (1) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
- (2) 他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
- (3) 競技中（公式練習も含む）は、他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
- (4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
- (5) 他の者の援助を一切受けてはならない。
他の者による援助とは、そのレースに参加しているライダー、決められた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の競技役員以外の者が車両に触れることをいう。
なお、援助に関する細部については、別に定める競技種目別細則による。
- (6) 競技中の車両には、いかなる者も同乗させてはならない。
- (7) ライダーは、コース（ラン・オフ・エリアを含む）にある間は、MFJ が公認したヘルメットを装着しなければならない。
- (8) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し医師団長もしくは指定医師による診断を受けさせ、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。

11 ライダーの装備(MFJ公認ヘルメット及びレーシングスーツ)

- 1) ライダーの装備は、次のとおりとする。
- (1) ヘルメット
- ① 競技に使用するヘルメットは MFJ が公認したものでなければならない。
- ② MFJ 公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていなければならない。
- ③ MFJ が公認するヘルメットの規格については、各競技種目別細則により定める。
なお、国際競技会においては FIM で認められた各 FMN 規格のマークが前項のマークとみなされる。
- ④ 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査が行われ、MFJ が公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ライダーの安全上その使用を禁止する。
- ⑤ MFJ 公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。
この場合は、別に定める特別検査料（各競技種目別細則による）を支払わなければならない。
- (2) 服装

- ① ロードレースのレーシングスーツについては、MFJ 公認のものでなければならない。
 - ② ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであってはならない。
 - ③ その他細部については、各競技種目別細則により定める。
- (3) 装備の公認とは国内競技規則に合致する事を認めるものであり、その安全性及び耐久性を保証するものではない。

12 出場車両

- 1) 競技に出場する車両のクラス区分等は、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 2) 車両は細則に示す「出場車両」と「基本仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
- 3) 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。
- 4) 本規則に基づき改造・変更を行う場合、その選定・保守・管理は自己の責任において行うものとする。

13 MFJ 公認車両および公認部品・用品

- 1) MFJ 公認車両および公認部品・用品については、「MFJ 車両・部品公認ならびに承認に関する規則」の定めるところによる。
 なお、公認された車両および部品・用品については、MFJ の発行する月刊「ライディング」誌、その他により公示される。
- 2) 公認は、MFJ 技術委員会において審査し、承認された日を基準にして一定の告知期間の後に正式に発効する。告知期間は、MFJ 技術規則第 6 章公認制度 (140頁) を参照のこと。
- 3) 車両は、当該競技会公式車検日時時点で公認が発効されている車両でなければ出場申し込みをすることができない。
- 4) 公認とは国内競技規則に合致する事を認めるものであり、その安全性及び耐久性を保証するものではない。

14 燃料およびオイル

- 1) 競技に使用する燃料・オイル等については別に定める MFJ 技術規則による。
- 2) その他燃料については、次のとおりとする。
 - (1) ガソリンおよびオイルは、オクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。
 - (2) ガソリンにオイルを混合する必要がある場合、安全を確認して作業しなければならない。
 - (3) ガソリンおよびオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法に適合する金属製の容器を使用すること。
- 3) 世界選手権に関しては FIM 規則が適用される。

15 競技出場の申し込み

- 1) 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
 - (1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない（エントリー時で当該ライセンスを取得していること）。
 - ① 車両の登録はエントリー用紙に下記事項を記入すること。参加受理書発送後記入事項に変更がある場合は、選手受付時に車両変更手続きを行わなければならない。

国内競技規則

- ①銘柄 ②車名 ③年式 ④フレーム打刻型式頭番号 ⑤エンジン打刻型式頭番号
- (2) 主催者は、エントラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。
 - (3) 申し込み期間、申し込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
 - 2) 競技出走者数または出場申し込み者数の定員は、大会特別規則に示される。
なお、出場申し込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスの競技会を中止することがある。

16 出場料およびMFJ 共済会掛金

- 1) エントラントまたはライダーは、出場申し込みの時、大会特別規則に明示する出場料を支払わなければならない。
- 2) ライダーは、出場申し込みのときMFJ 共済会掛金を主催者に支払わなければならない。主催者は、その共済会掛金をMFJ 共済会に納める。(別に定めるMFJ 共済会規則による)
- 3) いったん主催者に受理された出場料および共済会掛金は、競技会の延期および中止等(36頁)に合致する以外は払い戻しされない。

17 ライダーおよび車両の変更

- 1) エントリーされたライダーの変更は認められない。
- 2) 登録された車両の変更は、原則として認められない。変更する必要がある場合は、所定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。車両変更手数料は5,000円とする。
 - (1) 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびエンジンなどを交換する必要がある場合は、競技監督に申告し、元の部品を提示して、許可を受けなければならない。
 - (2) 公式車検終了後ライダー間でマシンを交換することは禁止される。
 - (3) 紛争に際して製造メーカーについての立証の責任は、参加者側にあるものとする。

18 車両検査

- 1) 競技車両は、本規則および各競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
- 2) 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない(スタート前チェック)。チェックの時刻およびチェックの場所は、公式通知により示される。
- 3) ライダーが車両仕様申告を行う場合は、車両検査時に大会事務局より配布された車両仕様書をもって申請することができる。

19 競技

- 1) 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝競技出場者を決定することがある。その詳細については、各競技種目別細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 2) スタートの方法は各種目細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 3) 競技中競技役員が合図旗(シグナル旗)を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。

- 4) 合図旗（シグナル旗）とその意味については、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 5) 停止
 - (1) 競技中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないように十分注意しなければならない。
 - (2) 競技中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
 - (3) 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ（中途退場）する場合は、その地点からもっとも近い競技役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイヤ届けを提出しなければならない。
 - (4) ライダーは、リタイヤ届けを提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
 - (5) ライダーは、停止車両をその競技が終了するまで、競技役員の管理下におかななければならない。

ただし、その競技に支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員（コース審判）から指示された場合には、これに従わなければならない。
- 6) ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
- 7) 競技の終了

競技の終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会特別規則に示す時間を経過した時点である。

20 優勝者等の決定

優勝者、入賞者および完走者の定義については、それぞれ種目の細則の定めるところによる。

21 入賞

入賞者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。

また賞は主催者（大会事務局）から交付されるが、これの交付時間等詳細は大会特別規則により示される。

22 入賞者の車両検査

- 1) 競技終了後、原則として1位から6位までの車両は、レース終了後、ただちに車両保管区域に確保され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) その他、種目別細則ならびに大会特別規則による。

23 競技結果および記録の公表

- 1) 競技終了後、暫定結果の公表を行う。
- 2) 競技の正式結果は、暫定結果発表後3時間以内に公表される。
- 3) 参加者は、公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

24 公式得点（ポイント）

- 1) 公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点（ポイント）は、下記のとおりとし、これの詳細は、別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」（216頁）による。

① 全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会

順位	出場台数												
	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4	
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立	
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17		
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15			
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13				
5位	11	11	11	11	11	11	11	11					
6位	10	10	10	10	10	10	10						
7位	9	9	9	9	9								
8位	8	8	8	8									
9位	7	7	7										
10位	6	6											
11位	5												
12位	4												
13位	3												
14位	2												
15位	1												

※出場台数とは競技会に参加した総数であり、予選に参加した台数もこれに含まれる。

② 県大会その他

順位	出場台数					
	12台以上	10~11	8~9	6~7	5	0~4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	
3位	8	8	8	8		
4位	7	7	7	7		
5位	6	6	6			
6位	5	5	5			
7位	4	4				
8位	3	3				
9位	2					
10位	1					

25 競技会の延期および中止等

- 1) 競技は、天候・異変その他安全確保に支障をきたすおそれがある等、特別の理由がある場合にかぎり、競技の一部を打ち切りまたは中止することができる。
- 2) 前項の判断決定は、大会審査委員会が行う。
- 3) すべての関係者は、大会審査委員会の決定した競技の一部打ち切りまたは中止に従わなければならない。
- 4) 原則として中止されたレースは別の日程で再レースを行なわない。
- 5) レースの短縮及び打ち切り
 - (1) 決勝レース出走前の短縮
 - ① 出走前にレース周回数・時間を短縮する場合は、原則として本来のレースの2/3以上とする。(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)
 - ② 2/3以上に短縮し参加者に発表した後にさらに状況が悪化し、短縮が必要となった場合さらにその2/3以上まで短縮することが出来る。
 - ③ 上記を上回る短縮の場合は選手の得点(ポイント)は半分とする。
 - ④ 上記の短縮の決定は大会審査委員会が行い、参加者にこのことが速やかに通知されなければならない。
 - (2) 決勝レース出走後の短縮・打ち切り
 - ① トップ走者(トライアルの場合は、選手の95%以上)が定められた周回数/時間/セクション数の2/3を完走しないうちにレースを打ち切った場合。(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)
 - Ⓐ ロードレース：走行が2周以下=中止・ノーポイント
走行が3周以上=再スタートが不可能な場合は半分の得点(ポイント)
 - Ⓑ トライアル：選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%未満のクラス=中止・ノーポイント
選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%以上のクラス=半分のポイント

◎ モトクロス他：中止・ノーポイント

- 6) トップ走者（トライアルの場合は、選手の95%以上）が決められた周回数（または時間）の2/3以上を完走して競技を打ち切った場合は、大会審査委員会は、その競技の判定結果にその理由を付して発表するものとする。
- 7) 競技の中止と出場料等の返却は、下記表の通りとする。参加者はその他の一切の損害賠償を主催者に請求することは出来ない。

事 例	出 場 料	共 済 会 掛 金
予選が1回も行われず中止	選手受付した全員に返却	共済会の適用となる練習走行が行なわれていなければ返却する
予選は行われ、決勝グリッド発表後中止	決勝進出者のみ返却	返却しない
決勝スタートが行われたのち中止	返却しない	返却しない

- 8) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、抗議することはできない。
※上記の2/3またはパーセント表示で端数が出る場合、小数点以下は切り捨てる。

26 損害に対する責任

- 1) 競技中、車両およびその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。
車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額として、その所有者に補償する。
- 2) 競技会開催期間中、またはその前後に起こされた傷害は、参加者自ら責任を負うものとする。
- 3) 競技役員は、その職務に最善をつくすが、仮に競技役員らの行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいつさいの責任を負わない。

27 抗議

- 1) 抗議は、暫定結果発表後30分以内に当該ライダー及びエントラント代表者だけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。
- (1) 大会事務局に準備されている抗議申し立て書に記載し、1項目ごとに抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。
- (2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受け付けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
- (3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- (4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いつさい抗議することはできない。
- (5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。
抗議保証金は、1項目につき10,000円、ガソリンに関する抗議保証金は100,000円とする。

28 控訴権

- 1) すべての当該競技参加者（ライダーまたはエントラント代表者）は、競技会審査委員会が宣告した罰則または裁定に対し、本協会に控訴する権利を有するものとする。
- 2) 裁定機関
・大会審査委員会決定に関する控訴に関してはスポーツ委員会にて裁定される。

- ・スポーツ委員会決定を最終とする。
 - ・スポーツ委員会が証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、充分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- 3) 控訴の期限
大会審査委員会決定に対する控訴：通知されてから5日間
- 4) 控訴保証金
控訴保証金は5万円とする。
裁定機関は事情に応じて保証金の返還または没収について、または経費処理について指示する。
- 5) 控訴が受理される為に必要な手続き
- ・期日までに控訴文書と控訴保証金がMFJ事務局まで提出されなければならない。
 - ・文書には訴え出る決定の詳細・理由が的確に述べられていなければならない。

29 違反行為に対する罰則

- 1) 大会中(競技中も含む)における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で下記の罰則を科することができる。

軽重 順位	罰 則	内 容	決定機関
1	訓 戒	文書による注意……始末書を提出	大会審査委員会
2	罰 金	現金100,000円以下	大会審査委員会
3	タイム/ポイント/ 周回数に対する罰	当該ライダーの実際の成績に影響を及ぼすタイム/ポイント/周回数の加算・減算のペナルティ	大会審査委員会
4	失 格	大会、イベント、レースまたは結果から失格となる	大会審査委員会
5	資格停止	一定期間競技会に参加する資格を停止する	スポーツ委員会
6	資格剥奪	競技会に参加する資格を剥奪する	スポーツ委員会

※罰金はMFJにて保管され、安全対策等に使用される。

※罰則の詳細はリザルトに提示される場合がある。

違反の事実認定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑ならびに適用は、大会審査委員会の決定によるものとする。

- 2) ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、MFJスポーツ委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止まで及ぶかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

30 大会審査委員会の権限

大会審査委員会は、本規則ならびにその細則に基づき、当該競技会において最終的な権限を行使することができる。

附 則

1. 本規則は、1998年1月1日から施行する。

“鈴鹿育ち”だ!

地方選手権でしのきを削り、自分を磨き
全日本選手権を勝ちあがり、世界へ羽ばたく。
世界選手権の晴れ舞台で、輝かしい活躍を見せる
そんなライダーの多くが“鈴鹿育ち”だ!
だから、マールホロクランプリ・ジャパンや
“スプライトクール”鈴鹿8耐は特別な意味をもつ
鈴鹿には彼らの熱い思いが詰まっているのだ!
世界の頂点は、ここから始まりそして、ここに帰帰する。
新しい“鈴鹿育ち”のチャレンジを待っている!



1998 鈴鹿サンデーロードレース 暫定カレンダー

選手権 ライセンス クラス	大会名	コース	エリア選手権		鈴鹿選手権			承認競技会			主催者 (出場申込先)	
			国際・国内	国内	FRE・国内	FRE・国内	FRE・国際	FRE・国内	FRE・国内	FRE・国内		
			GP250	GP125	GP250	GP125	SP400	SP250	ST250	S-NK	NK4	
2月15日	第1戦	西										テクニカルスポーツ
3月15日	第2戦	東	○	○								テクニカルスポーツ
4月3~5日	第3戦 (WGP併催)	全			○					○東		鈴鹿サーキット
5月9・10日	第4戦	全	○	○						○東		鈴鹿サーキット
5月30・31日	第5戦 (200km併催)	全								全日本選手権	○	鈴鹿サーキット
7月17~19日	第6戦 鈴鹿バイクフェスティバル	全					○予選				○4耐	鈴鹿サーキット
7月23~26日	第6戦 (8耐併催)	全					○4耐決勝			鈴鹿選手権		鈴鹿サーキット
9月5・6日	第7戦 (全日本併催)	全								全日本選手権		鈴鹿サーキット
10月17・18日	第8戦	全	○	○						○東		鈴鹿サーキット
12月5~6日	第34回NGK鈴鹿サンデーロードレース	全	○	○						○東		鈴鹿サーキット
開催戦数			4	4	4	5	5	5	5	4	6	

1998 南コース 新シリーズ 暫定カレンダー

大会名	コース	承認競技会						主催者 (出場申込先)
		ST250	GP125	GP80	GPmini	スーパーバイカース 車両オンロードレース	その他	
5月3日	第1戦	南	○	○	○	○		Jレーシング
6月14日	第2戦	南	○	○	○	○		ミスターヒロ
9月20日	第3戦	南	○	○	○	○		ミスターヒロ
11月22日	第4戦	南	○	○	○	○		Jレーシング
開催戦数			4	4	4	4	4	4



1998 鈴鹿サーキット世界選手権/全日本選手権暫定レースカレンダー

選手権 ライセンス クラス	大会名	コース	世界選手権/全日本選手権			
			国際	GP500	GP250	GP125
4月3~5日	マールホロクランプリ・ジャパン	全	☆	☆	☆	
5月30・31日	鈴鹿スーパーバイク200km	全		○	○	○
7月23~26日	“スプライトクール” 鈴鹿8時間耐久ロードレース	全				☆
9月5・6日	鈴鹿スーパーバイクレース	全		○	○	○

※上記のレースカレンダーは暫定であり、変更になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

トップライダーへの パスポート。

SMSCライセンス

鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC) では鈴鹿サーキット (国際レーシングコース/南コース) でスポーツ走行をお楽しみ頂くための会員を募集中です。世界選手権のレースが開催される世界最高峰のコースに君もチャレンジしてみませんか。



走行ライセンスのご案内

■2輪会員
(国際レーシングコース/南コース)
■ミニバイク会員 (南コース)
講習日:フルコースレースの開催がない日曜日。(あらかじめTELにてご確認ください)

※レース・スポーツ走行でライダーをアシストされる方のための「ピットクルーパーソート会員」も募集しております。(講習不要・毎日受付中)

SMSC会員には鈴鹿サーキット開催レース入場無料 (世界選手権除く) やサーキットホテルの宿泊割引などさまざまな特典がございます。
SMSCライセンスについての詳細は鈴鹿サーキット/SMSC事務局までお問い合わせください。



SUZUKA CIRCUIT

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 鈴鹿サーキット/SMSC事務局 TEL.0593-78-3405

主催者/参加申込先
 ■テクニカルスポーツ 〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6786 TEL.0593-78-1455
 ■チームミスターヒロ 〒580-0012 大阪府松原市立部2丁目499-1 TEL.0723-36-1550
 ■Jレーシング 〒468-0058 名古屋市長久寺町西3丁目901 TEL.052-802-0117

CLASH KING OVERGUARD SUITS

ツーピースで行こう!



サンデーレースからツーリングまで、「セバレット型ツナギ」の旋風!
クラキン印のオーバーガードスーツは おかげさまで大好評。
街では本格派バイクスJACとしてクールに決める。
ツーリングではパンツに付いた脊椎パッドがセーフティにプロテクト。
そして上下ジョイントで真骨頂発揮、
そう「MFJ公認スーツ」としてレースに出場出来るしまうのだ。
ハーレーのワンメイクレース「スポーツスター・カップ」を始め
いろんな草レースじゃもうお馴染み。
要するにコレ、バイクスライフを網羅する究極のアイテムなのである。
デザイン充実、ますます元気なクラキンスーツ、
フルオーダーで右記のプライス。
さあ、ご一考あれ。
気分はもうサーキット、あなたもサンデーレーサーへまっくら!



CLASH KING OVER GUARD SUITS -STD
■マッドブラック×アイボリー
■カラーチェンジ無料
[フルオーダー品: ロゴ入り]
●JACKET: ¥80,000~
●PANTS : ¥90,000~
[フルオーダー品: ロゴ無し]
●JACKET: ¥80,000~
●PANTS : ¥85,000~



CLASH KING OVER GUARD SUITS -OHV SPECIAL
■ホワイト×オレンジ
×ブラック
■カラーチェンジ無料
[フルオーダー品: ロゴ入り]
●JACKET: ¥100,000~
●PANTS : ¥100,000~
[フルオーダー品: ロゴ無し]
●JACKET: ¥90,000~
●PANTS : ¥95,000~

CLASH KING OVER GUARD SUITS -BASIC
■マッドブラック×マッドブラック
■カラーチェンジ無料
[フルオーダー品: デザイン無し]
●JACKET: ¥80,000~
●PANTS : ¥85,000~



CLASH KING OVER GUARD SUITS -FLARE
■マッドブラック×ホワイト
×レッド
■カラーチェンジ無料
[フルオーダー品: ロゴ入り]
●JACKET: ¥100,000~
●PANTS : ¥90,000~
[フルオーダー品: ロゴ無し]
●JACKET: ¥90,000~
●PANTS : ¥85,000~



CLASH KING OVER GUARD SUITS -CLASSIC
■モスグリーン×アイボリー
■カラーチェンジ無料
[フルオーダー品: ロゴ入り]
●JACKET: ¥100,000~
●PANTS : ¥100,000~
[フルオーダー品: ロゴ無し]
●JACKET: ¥90,000~
●PANTS : ¥95,000~

*上下単品でのオーダー、特別仕様の他ワンピースタイプも承ります。
*身長180cm以上、体重80kg以上の場合はUP料金がかかります。
*カラーは好きな色が全額内でオーダー可能。(特色、蛍光色は¥10,000UP)
*オリジナルのデザインは別途料金がかかります。
*文字・マーク等は自由に入られます。(一文字¥600~)

オーダーについての詳細、申し込みは本日までお問い合わせください。
通信販売でのオーダーも受け付けております。
●オーダー申込資料、総合カタログご希望の方は左の三角券と600円分の
切手を同封の上、カドヤ本社通販係までお気軽にご請求下さい。
カドヤ本社通販係 TEL.03 (3842) 2000
〒111東京都台東区西浅草3-29-21

KADOYA

RACING SPIRIT AND CRAFTSMANSHIP
SINCE 1935

(株)カドヤ本店 〒111 東京都台東区西浅草3-29-21 TEL.03(3843)2000
仙台店 〒980 宮城県仙台市青葉区北横2-6-15 TEL.022(233)8000
栃木店 〒326 栃木県足利市大前町688-2 TEL.0284(63)0769
●営業時間/AM10:00~PM7:00 ●定休日/毎週水曜日

CATALOG
MFJ
'98



1998 SUGO RACE CALENDAR ROAD RACE

開催日	大会名
3/21(祝)	SUGOスプリングサウンドフェスティバル
3/29(日)	SUGOロードレース選手権第1戦
4/26(日)	全日本ロードレース選手権第2戦
5/10(日)	SUGOロードレース選手権第2戦
7/5(日)	SUGOロードレース選手権第3戦
7/19(日)	SUGOサマーサウンドフェスティバル
8/23(日)	SUGOロードレース選手権第4戦
9/13(日)	SUGOロードレース選手権第5戦
10/4(日)	スーパーバイク世界選手権レース
10/11(日)	SUGOロードレース選手権第6戦
11/1(日)	全日本ロードレース選手権MFJ GP
11/22(日)	SUGOファイナルサウンドフェスティバル
12/6(日)	SUGOオープン耐久ロードレース

OFF ROAD RACE

開催日	大会名
6/7(日)	全日本モトクロス選手権第5戦
9/6(日)	全日本モトクロス選手権第8戦
10/18(日)	全日本トライアルGP

CAR & KART

開催日	大会名
5/24(日)	全日本ツーリングカー選手権第3,4戦
7/12(日)	全日本カート競技選手権東地区第4戦
8/2(日)	フォーミュラニッポン第5戦
10/18(日)	ジャパンカートGP
10/25(日)	全日本GT選手権レース最終戦
11/15(日)	スーパーN1耐久レース第7戦

(レース日程は97年11月現在、暫定)



レースファンへ贈るこの1枚、 SUGO '98 CLUB SUGOバリューチケット。

モータースポーツファンの皆さんにもっともっとレースを楽しんでもらうために「SUGO '98 CLUB」ではバリューチケットを販売しています。このチケットは、SUGOで行われる2輪・4輪のビッグイベントの予選・決勝両日の入場券・グランドスタンド券・パドックバスから、予選日ランドカー無料レンタル・ピットウォーク・専用のスペシャルルームの提供などたくさんの特典が付いて、しかもお得なチケットです。このバリューチケットには、1年間のビッグイベントに有効なものからレース毎のものまであります。SUGOバリューチケットに興味を持たれた方には、詳しい資料をお送りしますので、下記までお気軽にご連絡下さい。

お問い合わせは

スポーツランドSUGO 特需課 TEL 0224-83-5604



インターナショナル サーキットがキミを待っている。

「ファミリー走行会員」は、もっと手軽に、もっと多くサーキット走行を体験したいと言う方にピッタリの新しいライセンス。しかも、入園料無料・走行料の割引、ビッグイベントへのご招待券プレゼントなど、特典もいっぱいです。

- ファミリー走行会員特典
 - SUGOビッグイベントご招待券1枚進呈。(5,000円相当)
 - 入園料無料。(特別イベント時は入園料20%割引)
 - ファミリー走行料特別割引。(50%割引)

- ファミリー走行の資格
走行に使用する車両の当該運転免許証を所有していること。

- 参加できる車両
2輪、4輪共ナンバー付の車両。ただし、違法改造車は不可。
※2輪は、ヘルメット着用が義務付けられます。

- ファミリー走行会員年会費(2輪・4輪共、98年度中有効)
10,000円(入会金2,000円+年会費8,000円、税込)

- ファミリー走行料金
(保険料込、税込)

	2輪(30分)	4輪(30分)
会員	1,500円	2,000円
ビジター	3,000円	4,000円

お問合せ・
お申込みは、

SUGOスポーツクラブ事務局
TEL 0224-83-3127 FAX 0224-83-3697

情報満載SUGOホームページ公開中!!

アドレスは、<http://www.sportsland-sugo.co.jp>



〒989-1301
宮城県柴田郡村田町菅生6-1
TEL 0224(83)3111(代)

WAKO'S



RT TUBE ライダース 菊池選手
1位松戸選手



勝ちにいく!

セッティングの決め手! 無鉛ハイオク仕様2サイクル
レーシングオイル「RV-R」が流れを変える!



RT TUBE ライダース エンジンチャンピオン 坂井氏



選手権シリーズ
1位松戸選手

1位松戸選手



ホンダRS
IN側が茶状に黒いカーボンが着きセンターに向かってそれよりも若干茶色のカーボンが広がります。



ヤマハTZ
外周が黒くなり、センターが赤茶色に焼けてきます。

有鉛ガソリンから無鉛ガソリンへ

WAKO'Sではすでに2年前から無鉛ハイオク仕様専用オイルの開発を進め、実走テストを重ねた結果「RV-R」は完成した。「RV-R」はエンジンセッティングを明瞭化するため、無鉛ハイオク仕様のレーシングエンジンの燃焼状態に合わせてカーボン発生を意図的にコントロール。セッティングの決め手となっている「焼け」が明確にでき、それを基にベストセッティングが可能となっている。無鉛ハイオク仕様専用オイル WAKO'S「RV-R」のセッティング能力の高さは、その「焼け」を判断基準にした、RT TUBE ライダース菊池選手をはじめとする「RV-R」ユーザーがセッティングに最もシビアな「大接戦」のGP125クラスで上位を占めたこと、GP250クラスのトッププライベートコンパイルレーシングヤマハの松戸選手の活躍等が実証している。WAKO'Sのオイルは進化し続ける。闘う者たちと共に...



RV-R
化学合成油+変性植物油
混合専用2サイクルエンジンオイル
1L/3,800円
推奨混合比 25:1~30:1



TSC TSUKUBA CIRCUIT

筑波サーキットライセンスのご案内

筑波サーキットには「一般(ファミリー)会員」・「スポーツ会員」の2種類のライセンスがあります。

愛車の実力を知りたい、自分のテクニックを磨きたい、レースの世界で自分の可能性を試してみたい方はライセンスの取得をおすすめします。

一般会員……………講習会で取得できます。吸排気系ノーマルの車両(レーサー・市販車改造を除く)によるファミリー走行が楽しめます。

講習会の当日午後1時から2時までに、筑波サーキットにて直接受付をして下さい。予約の必要はありません。

ご利用していただく物

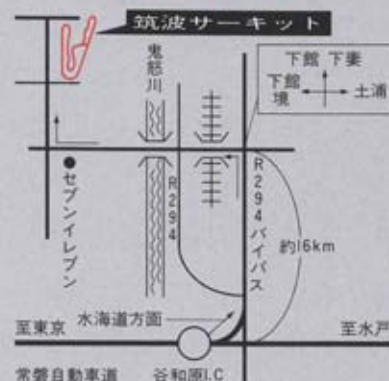
- ①受講料:26,000円(予約金10,000円、MFJフレッシュマンライセンス取得料を含む)
- ②印鑑 ③筆記用具 ④写真:3×2.5cmサイズ3枚(カラー光沢のみ、白黒不可。)
- ⑤ヘルメット(フルフェイス)・グローブ・ブーツ・革ツナギ
- ※講習会時のみブーツ・ツナギのかわりに厚手の服・スニーカーでも可。
- ⑥吸排気系ノーマルの車両(スクーター・レーサー・改造車両は不可)
- ⑦未成年の方は、親権者の承諾書(親権者の署名・捺印のあるもの)

スポーツ会員……………一般会員取得後、申請できるライセンス。

レーサー・レース用改造車両によるスポーツ走行が楽しめます。

一般会員ライセンスを取得後、スポーツ会員入会申込用紙に必要事項を記入・捺印の上、入会金28,000円と写真1枚(3×2.5cm/カラー光沢)を添えて(財)日本オートスポーツセンター宛に、現金書留にてご郵送下さい。

ACCESS



車……首都高速6号線から常磐自動車道に入り、谷和原J.C.で降りる。国道284号線を学園都市方面に20分位走ると、左手にラッキーストライクの看板が見えるので、その先を左折。2つ目のセブンイレブンのすぐ先の交差点を右折。後は直進すればサーキットの正面入口。

電車……上野から常磐線。取手で関東鉄道に乗り換えて泉道駅下車。そこからタクシーで約20分。

'98筑波サーキットライセンス講習会

1月11日(日)	5月10日(日)	9月13日(日)
1月18日(日)	5月24日(日)	9月27日(日)
2月8日(日)	6月7日(日)	10月11日(日)
2月22日(日)	6月21日(日)	10月25日(日)
3月8日(日)	7月5日(日)	11月8日(日)
3月22日(日)	7月20日(祭)	11月22日(日)
4月5日(日)	8月2日(日)	12月13日(日)
4月26日(日)	8月23日(日)	12月23日(祭)

*日程・時間等は、都合により変更する場合がありますので、あらかじめお問い合わせの上、ご来場下さい。

'98TSUKUBA CIRCUIT ROADRACE CALENDAR(暫定)

開催日	大会名	全日本選手権			関東チャレンジカップ(エリア)			関東・筑波選手権					筑波選手権					
		I	I-N	N	N-F	N	N-F	N	N-F	N-F	I-N-F	N-F-J	N-F					
2月14日/15日	筑波①	SB	GP250	GP125	SB	GP250	GP125	GP250	GP125	SP400	SP250	SP125	GP125B	SP400B	SP250B	580	GP80	N-NK
3月14日/15日	筑波②・関東①(エリア)				◆	◆	◆	★	★	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
4月11日/12日	筑波③							☆	☆	○	○	○	△	△	△	△	△	△
5月15日~17日	全日本②	◇	◇	◇														
6月6日/7日	筑波④・関東②(エリア④)				◆	◆	◆	★	★	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
7月11日/12日	筑波⑤・エリア⑤							☆	☆	○	○	○	△	△	△	△	△	△
8月29日/30日	筑波⑥・エリア⑥							☆	☆	○	○	○	△	△	△	△	△	△
9月18日~20日	全日本③	◇	◇	◇														
10月24日/25日	筑波⑦・関東③(エリア⑦)				◆	◆	◆	★	★	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

I: 国際ライセンス F: フレッシュマン
 N: 国内ライセンス J: ジュニア
 ☆: ★自動昇格(資格)対象
 ◇: ●昇格(資格)対象(特別昇格申請可)
 ▲: ▲昇格対象外

◆: ●: ▲は関東ロードレース選手権シリーズの開催クラスです。
 ☆: ○: ●は筑波ロードレース選手権シリーズの開催クラスです。
 ※筑波選手権 GP250・GP125・SP400・SP250・SP125クラスは、関東選手権筑波大会の同クラスで得たポイントに合算することができます。
 ※筑波大会以外の関東選手権で得たポイントは筑波選手権のポイントに合算することはできません。
 また、筑波選手権1・3・5・6戦で得たポイントは、関東選手権のポイントに合算することはできません。

(財)日本オートスポーツセンター(JASC) 〒104-0041 東京都中央区新富1-9-6 新富一丁目ビル6F
 筑波サーキット 〒304-0824 茨城県結城郡千代川村岡西原 TEL:0296-44-3146~7 FAX:0296-43-2952





RUOTE

marchesini

ROAD RACE TOP QUALITY PRODUCT



'98 model

COMPETIZIONE



GIRA
株式会社ジーラ 二輪事業部

〒488愛知県尾張旭市東本地ヶ原町3-20 TEL0561-52-4500 FAX0561-52-4454

■製品についての詳しい内容、デリバリー予定等につきましては、取扱店または当社までお問い合わせください。



FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY

FISCOは
あなたのトライを
待っている。



'98年 FISCOロードレース開催スケジュール

開催日	タイトル ライセンス クラス	関東選手権				エリア選手権 (チャレンジカップ)			FISCO選手権	
		N	N・F	N	SP250	SB	I・N	GP250	GP125	I・N・F
3月28日(土)	関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ①			◎	◎	○	○	○	●	●
5月9日(土)	関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ②	◎	◎	◎		○	○	○	●	●
6月27日(土)	関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ③		◎	△ (耐久)		○	○	○	● (耐久)	
8月1日(土)	関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ④	◎		◎	◎	○	○	○	●	●
9月12日(土)	関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ⑤	◎	◎	△ (耐久)	◎	○			● (耐久)	

◎印は関東選手権ポイント対象 ○印はエリア選手権ポイント対象 ●印はFISCO選手権ポイント対象 △印はノンタイトル

体験走行のご案内

- ◇走行日 レース/イベント開催日、定休日を除く毎日12時～
- ◇料金 1回1台¥2,000 (2輪・4輪)
- ◇受付 当日11:00～12:00まで。
- ◇内容 ベースカー先導により、国際レーシングコース (1周4.47km)を2周まわる。

※ご自分の乗用車・オートバイで気軽にご参加ください。

スポーツ走行ライセンス講習会のご案内

- ◇受付時間 : 9:00～10:00 (当日FISCO教室で受付)
- ◇講習時間 : 10:00～12:30 (講義のみ希望者は体験走行あり)
- ◇必要なもの: ①受講料 20,000円
②運転免許証 (公安委員会)
③印鑑
④証明写真1枚 (3×3)
⑤筆記用具
⑥血液型 (各自調べておく)

◇注意事項 : 16歳未満で2輪講習会をご希望の方は、MFJ・MCFAJライセンス所持者で承認レース以上のレース経験のある方 (要 証明書提出) に限らせていただきます。但し、講習会に親権者の同伴を条件とさせていただきます。(親権者は、身分の証明できるものを提出していただきます。)
免許証をお持ちで20歳未満の方は、所定の契約書に親権者の署名捺印が必要となります。

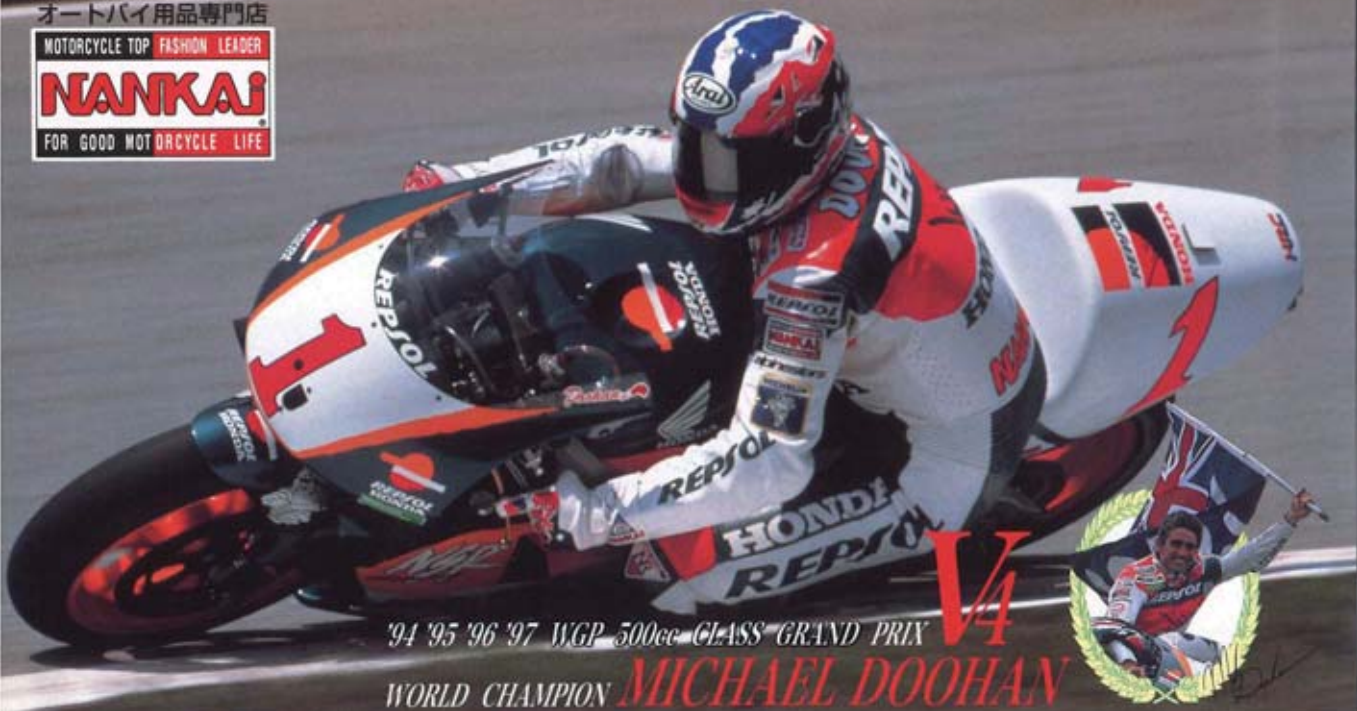
◇お問い合わせ : FISCOライセンス事務局
TEL0550-78-1233



富士スピードウェイ株式会社

■本社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル5F)
TEL.03-3216-5611 FAX.03-3216-5619

■レース場
〒410-1308 静岡県駿東郡小山町大御神
TEL.0550-78-1234 FAX.0550-78-0205



'94 '95 '96 '97 WGP 500cc CLASS GRAND PRIX
WORLD CHAMPION **MICHAEL DOOHAN**

NRG-23

NRG-23
マックスプロテクション
レーシンググローブ
¥15,000
小色/黒/赤
中色/ガンスタ/黒
大色 M.L.L.L

- 素材は、最高級羊革(ジャレイ)を使用。
- 内装素材には耐熱性・耐切削性・耐摩耗性に優れたケブユニットを使用。
- 防水加工(スコッチガード)済。
- オールケブラー糸縫製。

人差し指と親指にかけては雨天時にも滑りにくい、ノンスリップ(NX-1000)を装備。

掌側と親指外側にはショック吸収材"フィットセル"を内蔵した大型パッドを採用。

ナックル(手の甲)部・リスト(手首)部には、ウレタンパッド(5mm厚)を内蔵。

小指外側の指先から手首にかけて、引き裂き強度・耐摩耗性に優れた"ダイナモスロッシュ"を採用。

指と関節部分を切削・衝撃摩擦から保護するために、特殊整形パッド(高性能炭素繊維 TORAYCA)とグラブー織物を組み込み、表面はポリウレタン樹脂で加工を装備。さらにその内側にもショック吸収材"フィットセル"を採用しより安全性を重視。

全体のフォームは、手首のスムーズな動きを実現。また掌側はグリップ時に皮のたるみを無くす立体裁断を採用。走行中の疲労を軽減します。

小指外側にスリットを入れる事により、ライディング時にかかる圧迫感を減少させました。

すべてに
拘る。
安全性・機能性・品質

FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE
南海部品株式会社

〒530 大阪市北区曽根崎新地2-6-28 TEL (06) 344-1581

ツナギの中のツナギ

GPライダーのノウハウが生きる! 高品質で安心できる本格仕様。



柔軟性に優れた国内産の最高級羊革を厳選し、特殊な縫製技術とアドバンスを組み合わせ、着用時に特殊なナメシ加工を施し、引き裂き強度・耐摩耗性・衝撃吸収性に抜群の性能を発揮します。革の厚さも一ミリと薄く、一八ミリと厚い生地の縫製など、パーツ類は長年の経験の中から厳選された部品だけを採用しています。

安全性・耐久性・機能性・耐水性・耐油性・耐熱性に優れた革の性能を最大限に引き出すために、革の厚さも一ミリと薄く、一八ミリと厚い生地の縫製など、パーツ類は長年の経験の中から厳選された部品だけを採用しています。

柔軟性に優れた国内産の最高級羊革を厳選し、特殊な縫製技術とアドバンスを組み合わせ、着用時に特殊なナメシ加工を施し、引き裂き強度・耐摩耗性・衝撃吸収性に抜群の性能を発揮します。革の厚さも一ミリと薄く、一八ミリと厚い生地の縫製など、パーツ類は長年の経験の中から厳選された部品だけを採用しています。

MFJ公認 NANKAIレーシングスーツの3大要素は「革」・「縫製」・「プロテクション」

NANKAI 契約の歴代世界チャンピオン、スペインサー・ガードナー・レイニーたちや、ドゥーハン・ピーター・平など国内外のトップライダーたちから絶大な信頼と絶賛を受けているNANKAIレーシングスーツ。それは30年にわたり蓄積されたNANKAIのノウハウとNANKAI 契約ライダーたちの実戦からの確かなアドバイス、そして厳選された素材と最先端技術を駆使して製作された究極のレーシングスーツ。

ROAD RACE

▼細則1 ロードレース競技細則

1. 適用の範囲	48
2. ロードレース	48
3. 競技会と開催クラス	48
4. 公式シグナル	49
5. 参加資格	50
6. 出場申し込み	50
7. 参加受理	50
8. ゼッケン・ナンバー	51
9. ライダーの装備	51
10. 出場受け付け	51
11. 出場車両の変更	52
12. 車両および装備の検査	52
13. プリーフィング	52
14. 公式予選	52
15. 決勝レース出場台数	54
16. スタート方法	54
17. スタートにおける反則	56
18. “ウェット”および“ドライ”レース	57
19. レース中の行為	57
20. 停車指示	59
21. レースの停止	59
22. 中断されたレースの再スタート	59
23. リタイヤ(棄権)	60
24. レース終了	60
25. 優勝者、入賞順位、完走者および得点	60
26. レース終了後の車両保管と再検査	61
27. レースおよび大会の延期・中止等	62
28. 抗議	62
29. 違反に対する罰則	62
30. 本規則の解釈	62
31. 本規則の施行	62

▼細則2 '98全日本選手権大会特別規則

1. 公 示	63
2. 開催種目と競技会の日程	63
3. 追加のクラス	63
4. コース	63

5. 大会審査委員会	64
6. 参加資格	64
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	64
8. ピット要員	64
9. スポーツ走行	64
10. レース当日の練習走行	64
11. ゼッケンナンバー	64
12. 車両の変更	65
13. タイヤ使用本数制限	65
14. 公式予選	66
15. タイムキーピングシステム	66
16. スターティンググリッド	66
17. レース距離	66
18. 賞および得点	66
19. 2ヒート制の規定	66
20. 主催者の権限	67
21. 本規則の施行	67
*'98全日本ロードレース選手権開催日程	68

▼細則3 '98エリア選手権大会特別規則

1. 公 示	70
2. 開催種目	70
3. 追加のクラス	70
4. 選手権	70
5. コース	70
6. 大会審査委員会	70
7. 参加定員	70
8. 出場料およびMFJ共済会掛金	70
9. ピット要員	71
10. ゼッケンナンバー	71
11. 車両の変更	71
12. タイヤの使用本数制限	71
13. 公式予選	71
14. タイムキーピングシステム	71
15. スターティンググリッド	71
16. 賞および得点	72
17. 主催者の権限	72
18. 本規則の施行	72

細則 1

ロードレース 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のロードレース競技会に適用される（世界選手権を除く）。

2 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットで行われるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。スプリントレースと耐久レースに区別される。

耐久レースの詳細については特別規則による。

スプリントレースの定義：①レースの総走行距離250km以下もしくは走行時間2時間以下
②個人競技

耐久レースの定義：下記いずれかに合致すること。

- ①レースの総走行距離が250km越えるものもしくは走行時間2時間を越えるもの。
- ②2人もしくは3人の交代で行われる。

3 競技会と開催クラス

競技会と開催クラスは下記とする。

出場可能 ライセンス	大会格式	昇格ポイント対象種目				申請昇格		その他承認公認レース (特別昇格は可能)
		自動昇格						
国際ライセンス	全日本選手権	GP125	GP250	スーパーバイク				
国際ライセンス 国内ライセンス	エリア選手権	↑ GP125	↑ GP250	↑ スーパーバイク (国内ライセンス参加)		SP250	SP400	ネイキッド その他シングル/ツインレース等
国内ライセンス	地方選手権	↑ GP125	↑ GP250			SP250	SP400	SP125 ネイキッド GP80 その他シングル/ツインレース等
フレッシュマン ライセンス		↑ GP125				SP250	SP400 ストックバイク	SP125 ネイキッド GP80 MP12(ミニバイク) その他シングル/ツインレース等
ジュニア								GP80 その他

自動昇格＝規定の得点を得た場合は次年度は上級クラスへ強制的に昇格となる。

申請昇格＝規定の得点を得かつ申告をしたもののみ昇格する。昇格申請は'98年1月31日消印有効。

特別昇格＝規定の得点に満たない者または自動/申告昇格対象種目以外のクラスで同等の成績を得たものが申告を行い、審査される。

4 公式シグナル

ライダーは提示される公式シグナルを確認する義務があり、公式シグナルに従わなければならない。

1) 公式練習、予選および決勝レース中は、下記の公式シグナルが使用される。

(1) 寸法

- ・シグナル用旗 60×80cm (最小限)
- ・赤旗 80×100cm

(2) コントロールラインで使用される旗

- ・シグナルライトまたは国旗……レース・スタート
- ・白黒チェッカー旗……レース終了
- ・赤旗……レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さをもってそれぞれのピットに復帰。赤旗はサーキットを閉鎖する場合にも用いられる。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーは次のラップでピット停止。
- ・チェッカーフラッグと青旗を同時に提示……ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップのライダーの前に他のライダーが走行している場合。トップのライダーはチェッカーであるが、直前を走行しているライダーはもう一周しなければならない事を伝える。
- ・オレンジボール旗と白ナンバーを付した黒の合図版との併用……示されたナンバーの車両は本人または他のライダーに対して危険を及ぼすような問題に見舞われている（主にオイルもれ）ので、早急にコース上から退去し安全な場所に停止する。
原則的にはコントロールラインで提示されるが、必要に応じて各ポストにおいても提示される。

(3) 各コーナーポストで使用される旗

- ・黄旗……危険！
静止……追い越し禁止。
振る……減速・停止準備・追い越し禁止。
- ・赤色ストライプ付き黄旗……コース表面滑りやすい。
- ・赤旗……レース停止。コントロールライン上で赤旗が出されたらすぐに提示する。
- ・緑旗……コースクリア。
- ・白旗……コース上に徐行している介入車両あり。
静止……1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり。
振る……直前に徐行中の介入車両あり。
介入車両がコース上に停止したら、すみやかに白旗を黄旗に入れかえる。
- ・青旗……追い越しシグナル。1台またはそれ以上の高速マシンが貴方を追い越そうとしている。
静止……間もなく追い越される。
振る……追い越される寸前。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒のシグナル板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーはピット停止。
フライングによるピットストップの場合は区別する為にPの文字をシグナル板に示す。
オイルもれの場合はすみやかに安全な場所で停止する。

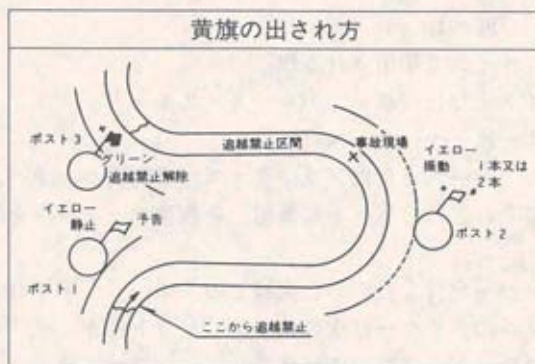
ロードレース競技細則

2) ライトによるシグナル

スタートの際、国旗の代わりに、ライトによるシグナルを使うことができる。

- ・黄色燈の点滅 黄旗と同意味。
- ・緑色燈 緑旗と同意味。
- ・赤色燈 赤旗と同意味、競技監督および監視ポストで使用。

ライトによるシグナルは、スタート時と特に夜間に行われるレースに使用されなければならない。



5 参加資格

1) エントラントおよびライダー

エントラントおよびライダーは、1998年度版 MFJ 国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(31頁)に合致していなければならない。

6 出場申し込み

1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。

2) 出場申し込み手続き

- (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要な事項をすべて記入し、出場料および MFJ 共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
- (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に申し込み書を提出しなければならない。
- (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り日当日の消印のあるものが有効となる。
- (4) 電話による申し込みおよび締切り日以後の申し込みはいっさい受け付けない。
(締切り日以降のエントリー料金返却に際しての郵送料、送金手数料は返却金から差し引かれる)

7 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、金額を大会事務局が受理したもののみ、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ 共済会掛金はいかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加申請が拒否された場合のみ出場料、MFJ 共済会掛金が返却される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、返却されない)

8 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。

9 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
 - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJ が公認したものでなければならない。
 - (2) MFJ の公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付されている。
 - (3) 競技会の車両検査受付時に、ヘルメット検査が行われる。MFJ の公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
 - (4) MFJ 公認ヘルメットであっても、MFJ の公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料 (1,000円) を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。
- 2) ライダーの服装
 - (1) レーシングスーツ
 - ① 革もしくは革と同等の素材 (MFJ の許可を得たもの) であり、MFJ の公認したものでなければならない。
 - ② MFJ が公認したレーシングスーツには、公認マークが貼付されている。
 - ③ 競技会の車両検査受付時にレーシングスーツの検査が行われ、合格しなかった場合は、ライダー本人の安全上使用を禁止する。
 - ④ 競技会使用時には公認時のパット類が装備されていること。



MFJ が公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならない

- (2) ブーツ・グローブ
 - 革もしくは革と同等の素材 (MFJ の許可を得たもの) であり、フックなどが外部に突出していないものでなければならない。
 - (3) 競技中のライダーは、レーシングスーツの下に肌着を着用しなければならない。ただし、レーシングスーツに裏地がついている場合は着用しなくてもよい。

10 出場受け

- 1) 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者が MFJ ライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJ ライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

11 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(34頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

12 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。これ以後の検査は競技監督が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用する事は出来ない。
- 5) 同一車両で複数の種目へのエントリーはできるが、競技運営進行上支障をきたさないことを条件とする。
- 6) 車両検査時持込み台数は、エリア選手権・地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られ、全日本選手権は2台までとする(Tカーは同一メーカーに限る)。
- 7) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 8) テレメトリーは禁止される。
- 9) 音量測定は車検時に全車測定、もしくは予選通過車両全車に対して行なう。
- 10) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行う権限を有する。
- 11) ガソリン
 - ① 地方選手権大会/エリア選手権/全日本選手権においては2サイクル・4サイクルともにMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。MFJの定める無鉛ガソリンの定義はMFJ技術規則による。
 - ② 使用するガソリンおよびオイルはMFJ技術規則(141頁参照)に合致していなければならない。
 - ③ 使用するガソリンは当該レースのサーキットで供給するものを使用しなければならない。供給されるガソリンの仕様は特別規則もしくは公式通知に記載される。
 - ④承認競技会における使用ガソリンとその仕様並びに供給方法については各大会特別規則による。

13 ブリーフィング

主催者がブリーフィング(競技に関する要領説明)を行なう場合はライダー本人が必ず出席しなければならない。出席なき場合は罰則が課せられる場合がある。

14 公式予選

- 1) 公式予選
 - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - (2) 公式予選の日程および時間は、特別規則に示される。
 - (3) 公式予選は、タイムトライアル方式とレース方式がある。
通常はタイムトライアル方式で行う。レース方式で行う場合は、特別規則または公式通知等に示される。

2) 公式予選の内容

- (1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
- (2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全チェックがなされた後にスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、また再スタートすることができる。
- (3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、ベストラップタイムが甚だしく劣る者はたとえ定員内であってもレース出場資格を与えられない場合がある。

●予選通過基準タイム

全日本選手権：トップタイムの110%以内

エリア選手権以下：トップタイムの120%以内

複数の予選がある場合、予選通過基準タイムはいずれかの予選ごとに上記に示すタイムをクリアすれば、通過基準タイムを満たしたものとす。

- (4) 公式予選において測定される各ライダーのベストラップタイムにより、大会特別規則に示されたレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。ベストラップタイムが同じ場合は、セカンドラップタイムによる。
- (5) 各クラスの公式予選義務周回数、特別規則に示される。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- (6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
- (7) 予選が複数の組にわかれて行われる場合の予選順位
 - ① 予選結果を総合タイム順によって決定する場合と予選組ごとの順位により決定する場合がある。
 - ② 天候の変化等により路面状況に大きな差異が認められると競技監督が判断した場合には各予選組ごとの順位によって決定する。この決定に対する抗議は一切受けつけない。
 - ③ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合のグリッドは各予選組のトップのタイムを比較しその順番で振り分けることとする。
 - ④ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合にグリッド数によって端数が出る場合の優先順序は下記とする。(ウエイティングも同様)

例：グリッド数30台、予選4組

 - ① 予選組上位7台で28台が選抜される。
 - ② 残り2台を予選組の8位(4台)のなかから決定するには…
 - ・各予選組の1位のタイムと8位のタイムを比較する。
 - ・各予選組8位のものからタイム差の少ない順に2名を選出する
- (8) 最終的な予選選出方法とスターティンググリッドは大会審査委員会の決定による。
- (9) 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届け出なければならない。
- (10) レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがいた場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
- (11) ウエイティング(繰り上げ出場)の方法
 - ① 予選結果発表後主催者が規定する時間以内にウエイティングの願い書を提出する。
 - ② 願い書提出者のうち上位3名のみは、全装備にてスタート前チェックを済ませてコーシングートにて待機する。
 - ③ 主催者が規定する時間内にリタイヤがない場合は出走は不可となる。

15 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は、各サーキットごとに定められ、特別規則に示される。

16 スタート方法

- 1) レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく、公式予選の結果によって決定される。
- 2) スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類がある。通常はクラッチスタートにて行われる。
 - (1) 押しがけスタート
 - (2) クラッチスタート
 - (3) ルマン式スタート (耐久)
- 3) スタート位置は、すべてのライダーが正規のスタートラインからスタートされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。
- 4) クラッチスタートの場合のスタート手順は以下の通りとする。
 - (1) スタート約30分前
ライダーはスタート前チェックを受け、マシンとともにコース外のウエイティングエリアに待機する。
 - (2) スタート15分前
サイティングラップの為にピットレーン出口が開放される。ピット出口で5分、4分、3分、2分、1分前のカウントダウンボードが表示される。
 - (3) スタート10分前
ピットレーン出口が閉鎖される。サイティングラップは義務づけられない。サイティングラップに参加しないライダーはウォーミングアップラップ開始の5分前まではオフィシャルの指示に従って自分のマシンをグリッドに押してゆくことができる。
ライダーが所定の位置に着くのを助けるために、コースサイドでオフィシャルがグリッド列を示すボードを掲げる。この段階で競技監督はレースを「ウェット」または「ドライ」のいずれかを選んで宣言する。この宣言はグリッド上にいるライダーとピットレーンにいるライダーに対してボードで示す。ボードが出されない場合は自動的に「ドライ」とみなされる。
グリッドに着く際には十分に徐行し、所定のグリッドに着かなければならない。
サイティングラップ中に技術的なトラブルに見舞われたライダーは、ピットに戻って調整またはマシンの交換（Tカー登録可能競技のみ。以後同様）を行うことができる。
この場合当該ライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始しなくてはならない。
この段階でグリッド上のライダーはマシンの調整を行ったりコースコンディションに合わせてタイヤ交換を行うことができる。グリッド上でのタイヤウォーマーの使用は許可されるが、ジェネレーター、バッテリーまたはその他の電源をグリッドに持ち込むことは禁示される。
サイティングラップが開始されてからの給油と、余熱以外のタイヤウォーマーの使用は厳禁される。
すべての調整は「3分前」のボードが出るまでに完了しなければならない。このボードが提示されたら、さらに調整を行うことを希望するライダーはマシンをピットレーンまで

押してゆき、そこで調整またはマシンの交換を行うことが出来る。この場合当該ライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始する。サイティングラップが開始されてからの給油は厳禁される。

- (4) ウォームアップラップ開始5分前ボード
グリッド上で5分前のボードが提示される。
- (5) ウォームアップラップ開始3分前ボード
グリッド上で3分前のボードが提示される。
この時点でライダー1名につき1名のメカニックとそのライダーのために傘を持って立つ1名、主催者の認めるTVクルー、および必要なオフィシャル以外の人間は全員グリッドから退去しなければならない。
- (6) ウォームアップラップ開始1分前ボード
グリッド上で1分前のボードが提示される。(エンジンスタート)
この時点でライダー1名につき1名のメカニック以外の全員がグリッドから退去する。このメカニックはライダーが押しがけするのを助けその後速やかにグリッドから退出する。
(車検で許可された外部スターターの使用が認められる)
- (7) ウォームアップラップ開始30秒前ボード
グリッド上で30秒前のボードが提示される。
全ライダーはエンジンが始動している状態でグリッドの所定の位置に着かなくてはならない。これ以降メカニックの援助は禁止される。マシンをスタート出来ないライダーはマシンをピットレーンに移動し、そこでさらにマシンを始動するよう試みるかマシンを交換することが出来る。このようなライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始することが出来る。
- (8) ウォームアップラップ開始(レースのスタート約2分前)
ウォームアップラップの開始を示す為にグリーンライトが点灯される。ライダーは各列ごとに役員の指示に従ってスタートし、1周走行し、その後ろにセーフティーカーが続く。集団が通過したらピットレーンで待機していたライダーはウォームアップラップに加わることが許可される。その後ピットレーン出口は閉鎖される。
ウォーミングアップ走行が開始されたら各ポストはライダーに旗の提示位置を確認させる為にグリーンフラッグを提示する。
グリッドに戻って来たらライダーはモーターサイクルのエンジンを始動したまま、フロントホイールをグリッドポジションを示すラインに合わせ、所定の位置につかなければならない。グリッド最前列の前には赤旗を持ったオフィシャルが立つ。
セーフティーカーが到着した後でグリッドに戻ってきたライダーはピットに導かれ、ピットからレースをスタートする。
ウォームアップラップ途中でトラブルに見舞われたライダーは、ピットレーンに戻って修理またはマシンの交換が出来る。
グリッドでエンジンをストールさせたライダーまたはその他のトラブルに見舞われたライダーは、モーターサイクルにまたがったままの状態で腕を上げる。その方法によって意図的にレースのスタートを遅らせることは許可されない。
グリッドの各列が整列したらオフィシャルは担当する列が整列したことを示す為にグリッド列ボードを降ろす。ある列のライダーがエンジンをストールさせた、または他のトラブルに見舞われている時にはその列のボードは降ろされない。すべてのボードが降ろされて、セーフティーカーが戻ってきたら、グリッド後方に待機するオフィシャルがグリーンフラッグを振る。

その後スターターはグリッド前方で赤旗を掲示するオフィシャルにコースサイドに歩くよう指示を出す。

- (9) レッドライトが点灯しその2～5秒後にグリーンライトが点灯しレースがスタートする。フライングをしたライダーに対しては30秒間のタイム加算もしくはピットストップのペナルティが与えられる。ペナルティは当該ライダーのピットクルーにも通達されなければならない。

グリーンライトが点灯された後で、マシンがストールした場合、オフィシャルはエンジンがかかるまでそのマシンをコースに沿って押すことを補佐する。それでも始動しない場合にはオフィシャルの指示に従ってマシンをピットレーンに押しに行かなければならない。ピットレーンでは当該ライダーのメカニックがエンジンを始動させる為に援助する事とマシンを交換することが許可される。

ライダー達の集団がピットレーン出口を通過したらオフィシャルはピットレーンに待機するライダーをスタートさせる。

トップを走行するライダーが1周目を終えてフィニッシュラインを通過した後ではレースが中断されない限りマシンの交換は許可されない。

スタート時の安全性を脅かすようなトラブルがグリッド上で発生した場合にはスタートを受け持つオフィシャルがイエローライトを点滅させ「スタートディレイド」のボードを掲示する。この場合ライダーはエンジンを停止させなければならない。各ライダーについて1名のメカニックがエンジン始動を補佐するためにグリッドに立ち入ることが許可される。

スタート手順は「1分前」ボードの段階から再開され、ライダーは追加のウォームアップラップを1周走行し、レース周回数は1周減算される。

※サイティングラップスタートの時間、グリッド列ボードの配列(隔列の場合もある)、またはその他の手順について省略する場合がある。この場合、各特別規則ならびに公式通知に示される。

17 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについて車両およびライダーは、スタート用意からスタート合図が出されスタートが終了するまでスタート合図の統制下にある。
- 2) スタート合図が行われる前に自分のスタートポジションから前進した場合は、競技監督の決定により、下記いずれかのペナルティが科せられる。
 - (1) 競技結果への30秒の加算。
 - (2) ピットストップ
 - ① 所定の場所での一旦停止
 - ② 当該ライダーに黒旗と黒のシグナル板にPの文字とゼッケンナンバーを付したペナルティボードを提示する。
 - ③ 当該ライダーが停止指示を出したのちに停止しなかった場合、失格となる。
 - ④ 同時に複数のフライングが発生した場合、原則的に一周ごとに停止させる。停止の順番は予選タイムに基づきタイム順に停止の指示を出す。ボードは複数同時に提示する場合もある。
 - ⑤ ピットストップする前に赤旗中断で再レースになった場合、再レース開始後停止することを要求される(30秒加算の場合もある)。ペナルティを抱えたまま再レースのスタートでもフライングをした場合、当該ライダーは、失格となる。
- 3) ピットクルーがスタートの規則に従わなかった場合も反則とみなされ、当該ライダーに1

分間もしくは失格のペナルティが科せられる。

- 4) ペナルティは、当該ライダーのピット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は一切受けられない。

18 “ウェット” および “ドライ” レース

- 1) すべてのレースはウェットかドライに分けられる。グリッド上で、ボードが表示される。ボードが表示されない場合にはレースは自動的にドライとなる。この分類の目的は、ライダーにレース中天候状況の変化による影響があることを示すためである。
- 2) ドライレース
ドライレースと分類されたレースは天候状況が路面状態に影響を及ぼし、ライダーがタイヤ交換を望む可能性があるとき競技監督が判断した場合に中断される。
- 3) ウェットレース
ウェットレースと分類されたレースは、変化して行く状況、またはウェットの状況で通常開始され、天候の理由により中断されることはない。タイヤ交換を望むライダーはレース中ピットに入りタイヤ交換する。
- 4) すべての場合において、最初にレースが天候上の理由により中断された場合、再スタートは自動的に“ウェット”レースとなる。

19 レース中の行為

- 1) 走行中の遵守事項は、国内競技規則・第3章【⑩競技参加者の遵守事項】(31頁)のほかに次による。これに違反した場合罰金が課せられる。
 - (1) ライダーは、指示を伝えるフラッグシグナルに従わなければならない。
 - (2) もしライダーがコースアウトしたら、ライダーは、オフィシャルが指示した場所または、そのライダーが有利にならないような場所からレースに復帰することが出来る。
※この際オフィシャルは下記の補助ができる。
 - ・マシンを起こす補助。
 - ・修理・調整が行われている間マシンを支えている。
 - ・ライダーの再スタートを補助する。
 - (3) リタイヤする場合ライダーは自分のマシンをオフィシャルに指示された安全な場所に止めなければならない。
 - (4) もしライダーがレースからリタイヤを余儀なくされるようなマシントラブルにあった場合、そのライダーは遅いスピードでピットまで戻ろうと試みず、コースアウトしてオフィシャルの指示に従い、安全な場所にマシンを止めなくてはならない。
 - (5) コース上にオイル等の液体をまき散らす恐れのあるようなトラブルにあった場合、そのライダーはピットまで戻ろうと試みず、コースアウトして安全な場所にマシンを止めなければならない。
又、停止後再スタートを希望する場合はオフィシャルの確認を必要とする。
上記に違反した場合、最低罰金10,000円以上の罰金が課せられる。
 - (6) 修復作業のためにゆっくりと戻るライダーは、出来るかぎりピット設置側を走行しなければならない。
 - (7) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。
 - (8) いかなる場合でも、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は罰金が科せられる。

- (9) レース中（予選中を含む）直線部分では前車を追い越すためあるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは禁止される。
- 2) ピット
ピットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業を行うことを目的に、ライダーに与えられた区域である。
- 3) ピットイン
- (1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入口手前よりピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確認してピットロードを徐行しなければならない。
- ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。
- (2) ピットインする車両のライダーは、自己のピットに出来るだけ近いピットロードからピットエリアに入り、出来るだけ自己のピットに近づけて車両を停車させなければならない。
- (3) ピットインしてピットエリアに入った車両及び当該車両のライダーやピットクルーは、ピットロード及びピットエリアにおいて他の車両の通過を妨げてはならない。
- (4) ピットインの際、自己のピット前を通り過ぎて停車した車両のライダーは、競技役員の承認を得て、当該車両のライダーおよびピットクルーによって押し戻し、自己のピットにつけることが出来る。
- 4) ピットアウト
- (1) ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。
- (2) ピットロードに出てコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
- (3) ピットでエンジンを止めたライダーは、メカニックの補助を受けてマシンを再スタートすることができる。
- 5) ピット作業
- (1) レース中、車両の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によって行わなければならない。給油中は、必ずエンジンを停止しなければならない。
- (2) ピット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちに清掃しなければならない。
- 6) ピット作業人員
- (1) 大会の格式によって登録できるピットクルーの人数が大会特別規則に示される。
- (2) レース中にピットインした車両に対しての作業は、登録した2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。（全日本選手権は細則2全日本選手権特別規則〔⑧ピット要員〕参照）（64頁）
- (3) ライダーに対するピットクルー（メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー）の合図は、大会競技役員の使用する合図旗にまぎらわしいものであってはならない。また主催者により定められたピット区域またはピットサインエリアのみで合図を送ることができる。
- (4) ピット作業を行う者は、すべてピットクルーライセンス所持者で、大会への参加申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加は一切認められない。ただし参加申請がなされている者の変更は認められる（変更料1,000円）。
- (5) ピットクルーは競技期間中を通じて、すべて大会競技役員の指示に従わなければならない。
- (6) ピットクルーが諸規則に違反した場合の責任は、そのピットクルー担当のライダーに帰属し、罰則が科せられる。

20 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じるか、レースから除外することができる。
- 2) 天災、大事故等の不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。

21 レースの停止

- 1) 競技監督が天候上の理由、あるいはそのほかの理由からレースを中断することを決定したら、赤旗がスタートラインとすべてのマーシャル・ポストで掲示される。ライダーはただちにスローダウンし、ピットレーンに戻らなくてはならない。当該レースの結果は前の周を終えた時点でのものとされる。
したがって、結果はレースを続行していたライダー全員が、赤旗が掲示されずにフルラップを完了した時点でのものとされる。
- 2) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が3周未満しか走行していないことを結果が示した場合、当該レースは無効とされ、まったく新たにレースが行われる。もしレースの再スタートが不可能だと判明した場合、このレースは中止になったと宣言される。
- 3) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が3周以上、しかし本来のレース距離の2/3未満(小数点以下切り捨て)であった場合、レースの最終結果は二つのレースの周回数とタイムを合計して出される。もしレースの再スタートが不可能だと判明した場合、ポイントは半分与えられる。

30週のレースの場合の例：

トップのライダーは9周目を終えて10周目に入ったが、その他のライダー全員が9周目を終えていない時点で赤旗が掲示された場合、レース結果は8周目を終えた時点でのものとされ、セカンド・ヒートは22周となる。

トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が9周目を終えて10周目に入っていた時点で赤旗が掲示された場合、レース結果は9周目を終えた時点でのものとされ、セカンド・ヒートは21周となる。

- 4) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が本来のレース距離2/3(小数点以下切り捨て)を走行した場合、当該レースは完了したとみなされ、ポイントはフルに与えられる。

22 中断されたレースの再スタート

レースが再スタートされる場合、再スタートはコース・コンディションが許すかぎり早く行われなくてはならない。ライダーがピットに戻りしだい、競技監督は新たなスタート時刻を発表する。このスタート時刻は状況が許すかぎり最初の赤旗が掲示されてから30分以内に設定される。

- 1) 競技結果が2周以下の場合の再スタートには下記各項が適用される。
 - (1) 全ライダーがスタート出来る。
 - (2) マシンは修理・給油が出来る。
 - (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
 - (4) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
 - (5) 周回数は原則的にもとのレースと同じとする。
 - (6) グリッドポジションは本来のレースと同じとする。

ロードレース競技細則

- (7) 再スタート出来ないライダーのグリッドはそのまま空席とする。
- (8) スタートの手順は通常にサイティングラップから始める。
- 2) 競技結果が3周以上2/3(小数点以下切り捨て)未満の場合の再スタートには下記各項が適用される。
 - (1) 前回のレースでトップの周回数の2/3(小数点以下切り捨て)を走行しているライダーだけが再スタートできる。
 - (2) 第2レースが開始される前に、第1レースの結果が公示されなくてはならない。
 - (3) 転倒車両を使用するには車検長の許可を必要とする。
 - (4) マシンは修理・給油ができる。
 - (5) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
 - (6) 第2レースの周回数は、本来のレース距離を満たすために必要な周回数とする。(前回のレース結果の周回数に基づく)
 - (7) グリッドポジションは第1レースの結果に基づく。
 - (8) レースの最終結果は、二つのレースの周回数を合算し、最大数の周回のライダーが優勝者となる。周回数が同数の場合二つのレースのタイムを合計したタイムによって順位が決定される。

23 リタイヤ(棄権)

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章〔⑩競技〕(34頁)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイヤする場合、ライダーは車両をレース(または予選)終了まで競技役員の管理下におこななければならない。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。

24 レース終了

- 1) トップのライダーにチェッカーフラッグが提示された後、引き続き後続ライダーにも特別規則に示す時間提示される。この時間が経過した時をもってレース終了となる。
※原則的にコース1周の距離1kmにつき1分とする。
- 2) ファイナルラップにフィニッシュライン手前でトップのライダーのすぐ前に他のライダーがいる場合、スタート・フィニッシュマーシャルは同時にチェッカーと青旗を掲示する。これはトップを走行するライダーはレースを終了するが、そのすぐ前を走っているライダーはファイナルラップを完走しチェッカーフラッグを受けなければならないということを意味する。
- 3) トップを走行するモーターサイクルが、所定の周回数を完了する前にレース終了の合図が出された場合、当該レースはその時点で終了したものとみなされる。
何らかの理由によって、レース終了の合図が遅れた場合でも、レースはそれが本来終了する時点で終了したものとみなされる。

25 優勝者、入賞順位、完走者および得点

- 1) 優勝者
 - (1) 優勝者は規定の距離(周回数)または時間を完走して最初にフィニッシュライン(コントロールライン)を通過したライダーである。
 - (2) 写真判定が用いられる場合には勝者の決定はフロントホイールの先端がフィニッシュ

インを最初に通過した方を有利とする。

- (3) 優勝者がフィニッシュラインを通過したら他のライダーはその時点で走行している周回を終え、フィニッシュラインを通過したら終了となる。

2) 入賞者および順位の優先順位

優先順位：

1. チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。同周回数の場合はフィニッシュラインの通過順位による。
2. チェッカーを受けなかった完走者を周回数の多い順に決定する。同周回数の場合はコントロールライン通過順位による。
チェッカーは優勝者がフィニッシュラインを通過したのち特別規則に示す時間、フィニッシュラインで提示される。

3) 完走者

優勝者の周回数の75%（少数点以下切り捨て）以上を走行したライダー。

4) 得点

得点は、国内競技規則・第3章〔㉔公式得点〕(35頁)によって与えられる。

26 レース終了後の車両保管と再検査

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなければならない。
- 2) 上位入賞車両は、音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査を行うことがある。
- 3) 上位入賞車両は、暫定結果発表後30分間保管される。

4) 燃料検査

燃料検査の手順

- (1) 燃料検査は各大会の審査委員会が必要と認めた場合実施できる。
- (2) 燃料検査を行う対象クラス、ライダーは審査委員会が決定する。
- (3) 燃料テストは審査委員会が必要と認めた場合レース期間中いつでも行うことができる。
- (4) レース終了後に燃料タンク内に検査に必要な量が残っていなければならない。
- (5) 各分析ごとに、それぞれ検査に必要な量のサンプルを2サンプル摂取する。
ひとつは検査用、ひとつは保管用として封印され、当事者によってサインが施され、主催者が保管する。

潤滑油を混合した場合は混入したオイルも添えて提出しなければならない。

車検にて判別出来ない場合はMFJ指定の機関にて分析を依頼し検査する。

サンプルはエントラントに提出義務があり、その対価は自己負担とする。

- (6) 結果が不合格であった場合、当事者は本人の費用負担によってMFJ指定の別の機関にて保管用サンプルの分析を依頼することが出来る。

(7) 分析の費用負担は下記の通り

- ① 大会審査委員会の決定により、特定の大会もしくはクラスに検査を行う場合。
 - ・最初の検査の費用は主催者が負担する。
 - ・結果が不合格で当事者が再度検査を要求する場合は当事者が負担する。
- ② 抗議が出され特定のライダーの検査をする場合は抗議者が費用を負担し、検査の結果違反が立証された場合は返却される。
- ③ 検査の結果違反が立証された場合は違反者が検査料を負担しなければならない。

(8) 競技結果

ロードレース競技細則

サンプル分析の結果、違反が立証された場合 MFJ スポーツ委員会に報告され、罰則が課せられる。又、当日受領した賞典等は返却しなければならない。

- 5) 出場者は、車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

27 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申し込み後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ 共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

28 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔②抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。
- 3) ガソリンに関する抗議の場合の保証金は100,000円とする。

29 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔②違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

30 本規則の解釈

規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

31 本規則の施行

本規則は、1998年1月1日より有効となる。

細則 2

'98全日本 ロードレース選手権大会 特別規則

1 公示

全日本ロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と全日本選手権シリーズを通じて、共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきFIM・MFJ公認の国際格式競技会として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

1) 開催種目は下記とする。

INT GP125

INT GP250

INT スーパーバイク (スーパーネイキッド混走)

スーパーネイキッドクラスの詳細 (出場車両・ポイント等) はライディングに公示する。

2) レースウィークの日程

① 全日本選手権は下記日程で開催される。

月～木曜日：当該大会にエントリーしている選手は走行してはならない。これに違反した場合罰則が適用される。

金曜日：スポーツ走行 各クラス最低30分×2回

土曜日：公式予選 各クラス最低20分×2回

日曜日：午前 ウォーミングアップラン 各クラス10分、

10:30～16:00以内 決勝レース

3) 競技会の日程は巻末 (68頁参照) に示す。

3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されても良い。ただし全日本選手権対象クラスを含めて全体で6クラスを限度とする。また併催クラスを追加する場合下記の条件が満たされなければならない。

・パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選時間、決勝レース距離を設定できること。

4 コース

コースはMFJが国際公認もしくは準国際公認したコースとする。

各施設ごとの同時出走最多台数は以下の通り。

施設	決勝	予選
SUGO	40	48
筑波	32	38
もてぎ	40	40
鈴鹿	44	52
TI	40	48
CP MINÉ	36	43

5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長はMFJロードレース委員会の委員もしくは主催者が指名する1級競技役員でMFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。
- 3) ライダー代表 (RMA) が同席する。

6 参加資格

- 1) MFJロードレース国際ライセンス保持者。
- 2) エントリーが定数を越えた場合の選択は主催者が行う。
- 3) エントリーを行ない主催者に連絡なく欠席した場合、または選手受付を行なった後に正当な理由なく出場しなかった場合は、以降の当該年度のエントリーは受けつけられない。

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：1クラス	14,000円
MFJ共済会掛金 1人	3,000円 (旧4,000円)
合計	17,000円

8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して6名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について3名のピットクルーが作業できる。

9 スポーツ走行

- 1) スポーツ走行は各クラス (予選組) ごとに最低下記時間が設定され、MFJライセンスにて走行できる。
無料のスポーツ走行時間：30分間
有料のスポーツ走行時間：30分間
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

10 レース当日の練習走行

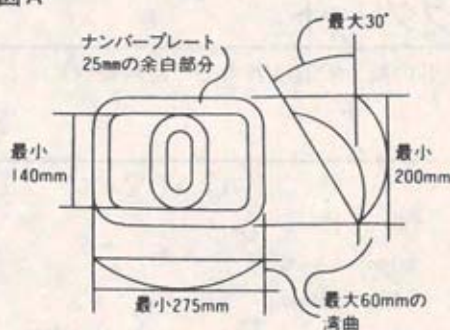
- 1) レース当日の朝、各クラスごとに最低10分間の練習走行が行われる。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

11 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

- 3) ランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを変更する場合はスポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。
- 4) 全日本選手権ゼッケン（ナンバープレート）規定
 - ① モーターサイクルのフロントと両サイドにナンバーが装着され、観客と競技役員が明確に識別できるようにしなくてはならない。
 - ② 文字およびバックグラウンドは、図Aに記載されている寸法に適合していなくてはならない。
 - ③ 文字の色は黒か白とし、バックグラウンドの色と判別しやすようにされなくてはならない。
 - ④ バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなければならない。蛍光色は禁止される。
 - ・幅=275mm ・高さ=200mm
 - ⑤ ナンバープレートは、垂直から30°以上傾斜してはならない。
 - ⑥ ナンバープレートは、湾曲による突出が水平方向からも垂直方向からも60mm以上あってはならない。
 - ⑦ 文字の周囲には最低25mm幅の余白が残されていなくてはならない。
 - ⑧ ナンバーの明瞭度に関して議論が持ち上がった場合、車検長の決定を最終のものとする。判別しにくいと判断された場合はすみやかに修正しなければならない。

図A



12 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 公式車検終了後選手間でのマシンの交換はできない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換する事が出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き、通常、Tカーとのマシン交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

13 タイヤの使用本数制限

- 1) 予選において使用出来るタイヤは2セットに制限する。
 - ① 雨天時のレインタイヤの使用本数の制限はない。
 - ② 「雨天時」とは路面が一部でも濡れている状況をいう。
 - ③ 「レインタイヤ」とはスリックタイヤ以外のすべてのタイヤをいう。

カットスリックもレインタイヤとみなすが、カットスリックのレインタイヤ判定は競技監督が行なう。

- 2) 予選のスタート前チェック時にペイントを行う。
- 3) 予選終了後は制限しない。

※上記制限は1エントリーに対するものとし、Tカーも含み以上の本数とする。

14 公式予選

1) 公式予選

(1) 予選

- ① 予選は各クラス・予選組ごとに最低20分間を2回行う。但し、天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。
- ② 予選の同時出走最多台数は決勝レースグリッドの120%である。
- ③ 予選組数は2組までを原則とするが、エントリー数が著しく多い場合は3組を上限に予選組数を増やすことができる。

15 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

16 スタートグリッド

スタートグリッドの数、配置は各大会の特別規則に示される。

17 レース距離

- 1) 各クラスの決勝レースの距離を下記のように定める。

GP125 50km～130km

GP250 60km～130km

スーパーバイク 60km～250km

- 2) 天候等やむを得ない理由によって上記の距離から短縮される場合がある。

18 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章〔②公式得点〕(35頁)によって与えられる。
- 3) 2ヒート制で行なわれる場合は⑨2ヒート制の規定参照。
- 4) MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えられるが、全日本選手権の得点が与えられない。(但し下位は繰上げない)
- 5) MFJグランプリ大会については上記の得点に3点が追加される。
- 6) 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定基準(221頁)に示される。

19 2ヒート制の規定

- (1) 第1レース、第2レースとも独立したレースとして行われる。
- (2) 走行距離: 2つのレースは同周回数とし、トータルの走行距離は開催規定内にあること。
- (3) 第1レース、第2レースともにグリッドは予選結果に基づき決定される。
- (4) 第1レース、第2レースの間は原則として最低3時間のインターバルを設けること。

- (5) 2ヒート制の場合の賞金の配分については規定の半分づつそれぞれのヒートの結果に基づき与えられる。
- (6) 2ヒート制の場合のポイントは、各ヒートごとに通常のポイントが与えられる。
- (7) 第1レースにて完走しなかったライダーも第2レースに出場できる。
- (8) 両レースの間にマシンを交換することが許可される。ただしこの場合両方のマシンがTカーとして登録され車検を通過していること、そして両方が同じ型式であることを条件とする。

20 主催者の権限

- 1) 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ない理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

21 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1998年1月1日より適用される。

1998年1月1日
全日本ロードレース選手権
大会事務局長

'98全日本ロードレース選手権大会特別規則

'98全日本ロードレース選手権開催日程

※併催地方大会がある場合は特別規則に示す。

開催月日	大会名/開催クラス	周回数	出場申し込み先	出場申込期間
4月10日(金) ↓ 4月12日(日)	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 もてぎスーパーバイクレース 会場: ツインリンクもてぎ ☎0285(64)0001	SB: 22L GP250: 20L GP125: 17L	㈱ツインリンクもてぎレース事務局 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町檢山120-1 ☎0285(64)0200	3月3日(火) ↓ 3月12日(水)
4月24日(金) ↓ 4月26日(日)	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 SUGO スーパーバイクレース 会場: スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	SB: 25L GP250: 20L GP125: 18L	SUGO スポーツクラブ 〒989-1394 ☎0224(83)3127	3月17日(火) ↓ 3月26日(水)
5月15日(金) ↓ 5月17日(日)	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 筑波スーパーバイクレース 会場: 筑波サーキット ☎0296(44)3146	SB: 30L GP250: 30L GP125: 25L	(財)日本オートスポーツセンター 〒104-0041 東京都中央区新富1-9-6 新富一丁目ビル6F	4月7日(火) ↓ 4月16日(水)
5月29日(金) ↓ 5月31日(日)	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 鈴鹿スーパーバイク200km 会場: 鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	SB: 35L GP250: 17L GP125: 15L	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-0295 ☎0593(78)3405	4月21日(火) ↓ 4月30日(水)
8月7日(金) ↓ 8月9日(日)	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 CP MINÉ スーパーバイクレース 会場: セントラルパーク MINÉ サーキット ☎08375(8)0321	SB: 26L GP250: 22L GP125: 18L	セントラルパーク MINÉ サーキット 〒759-2152 山口県美祿市西厚保町 ☎08375(8)0321	6月30日(火) ↓ 7月9日(水)
9月4日(金) ↓ 9月6日(日)	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 鈴鹿スーパーバイクレース 会場: 鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	SB: 未定 GP250: 17L GP125: 15L	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-0295 ☎0593(78)3405	7月28日(火) ↓ 8月6日(水)
9月18日(金) ↓ 9月20日(日)	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 筑波スーパーバイクレース 会場: 筑波サーキット ☎0296(44)3146	SB: 30L GP250: 30L GP125: 25L	(財)日本オートスポーツセンター 〒104-0041 東京都中央区新富1-9-6 新富一丁目ビル6F	8月11日(火) ↓ 8月20日(水)
10月16日(金) ↓ 10月18日(日)	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 TI スーパーバイクレース 会場: TI サーキット英田 ☎08687(4)3311	SB: 25L GP250: 20L GP125: 16L	TI サーキット ㈱全日本 RR 事務局 〒701-2612 岡山県英田郡英田町滝宮1210 ☎08687(4)3311	9月8日(火) ↓ 9月17日(水)
10月30日(金) ↓ 11月1日(日)	MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 MFJ グランプリスーパーバイクレース in SUGO 会場: スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	SB: 25L GP250: 20L GP125: 18L	SUGO スポーツクラブ 〒989-1394 ☎0224(83)3127	9月22日(火) ↓ 10月1日(水)

※全大会とも3日制: 金曜日・公式練習/土曜日・公式予選/日曜日・決勝レース

※全大会とも FIM 公認国際規格レース

'98世界選手権競技会の開催日程

開催月日	大会名/会場	開催クラス	出場申込先
4月3日(金) ↓ 4月5日(日)	FIM ロードレース世界選手権第2戦 マールボログランプリ・ジャパン 会場: 鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	GP500 GP250 GP125	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-0295 ☎0593(78)3405
7月24日(木) ↓ 7月26日(日)	FIM 世界耐久選手権第4戦 スプライト・クール鈴鹿8時間耐久ロードレース 会場: 鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	スーパーバイク ク・スーパーネ イキッド	㈱鈴鹿サーキットランド SMSC 事務局 〒510-0295 ☎0593(78)3405
10月2日(金) ↓ 10月4日(日)	FIM スーパーバイク世界選手権第13戦 SUGO スーパーバイク日本大会 会場: スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	スーパーバイク	SUGO スポーツクラブ 〒989-1394 ☎0224(83)3127

※鈴鹿サーキットランド・スポーツランド SUGO への郵便物は郵便番号と宛て名のみで届きます。

モータースポーツ情報はFAXに聞け!

身近なマルチメディア

ハローFAX

レース結果表などの他、様々な情報が24時間いつでも好きな時に、手元のFAXで簡単に取り出せます!!

0990-60-8602

ハローFAX Qネットセンター(利用料1分50円/平均3分/福岡)
※プライベートサービスにより一般回線から利用も可能!

- ①FAXに接続の電話機から上記にダイヤルして下さい。
※ダイヤル回線の方はダイヤル後、トーンに切替えて下さい。
②音声案内に従って*ボタンに続けて番組Noと#をプッシュ!
③後は音声案内に従ってFAXのスタート、又は通信ボタンを押して、受信操作をすれば希望の情報が取り出せます。

語句説明

*1755#: タイスケ

↑ ↑
番組No. 月間スポーツ走行
スケジュール表

※レース結果表は全てサーキット発行の公式結果表で、レース毎に更新されます。

富士スピードウェイ

*1756#: 予選
*1757#: 決勝
*1755#: タイスケ

0990-60-8602

SUGOサーキット

*1751#: 予選
*1752#: 決勝

0990-60-8602

筑波サーキット

*1761#: 予選
*1762#: 決勝

0990-60-8602

HSR九州サーキット

*1741#: 予選
*1742#: 決勝

0990-60-8602

'98全日本ロードレースの最新レース結果表を提供中! 番組No. *9802#

T1サーキット・英田

*1176#: 予選
*1177#: 決勝
*1171#: タイスケ

0990-60-8602

MINEサーキット

*1731#: 予選
*1732#: 決勝
*1730#: タイスケ

0990-60-8602

SPA直入サーキット

*1746#: 予選
*1747#: 決勝
*1745#: タイスケ

0990-60-8602

番組No. 情報内容 【総合メニュー表: 番組No. *1000#】

- *1713# レースや練習の時にタイムやセッティングを記入するレーシングノート。コピーしてお使い下さい。
- *1714# スポンサー等にレースの結果を報告する時に使える報告書フォーマット。コピーしてお使い下さい。
- *1711# 市販のカッティングシートでレース用のゼッケンナンバー(0~9)を作る時の型紙(雛形)です。
- *1701~*1710# 希望のNoの型紙だけ取り出せます。1ヶタ目が数字に対応。例: 5 = 番組No*1705#
- *9720# '97全日本ロードレースの全レース結果表が、レース・クラス単位など、色々な条件で取り出せます。

上記以外にも有益情報が満載! 是非一度【総合メニュー表】をご覧下さい。

年間レースカレンダーライセンス取得案内を無料提供中!

東京: 03-3847-8602 関西: 06-324-8602
川崎: 044-455-0862 福岡: 092-662-8602
大分: 0975-22-0975

情報No.	情報内容	情報No.	情報内容	情報No.	情報内容
*1750#	SUGOサーキット	*1760#	筑波サーキット	*1755#	富士スピードウェイ
*1171#	T1サーキット・英田	*1730#	MINEサーキット	*1740#	HSR九州サーキット
*1745#	SPA直入サーキット	*7000#	過去のレース結果表を蓄積! 希望レースをお選び下さい。		

他にもマル得情報が満載! 【総合メニュー表: 情報No. *1000#】

●ファクシミリ放送局 ハローFAX 事業本局 〒813-0013 福岡市東区香椎駅前1-3-15 ☎092-662-8629 【情報提供者募集中!】
※各種レースの主催者様、レース結果表のFAXサービスを実施してませんか? 無償で引き受けさせていただきますので、お問い合わせ下さい。

サーキット毎に専用のFAXサービスがあります

'98エリア選手権大会 特別規則

1 公示

エリア選手権ロードレースはFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則とエリア選手権レースの共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式競技会として開催される。

2 開催種目

参加資格：国際／国内ライセンス所持者

クラス：GP125 SP250

GP250 SP400

スーパーバイク

3 追加のクラス

エリア選手権には併催クラスが追加されてもよい。

4 選手権

- 1) エリア選手権はサーキットごと、もしくは複数のサーキットにまたがって開催される。
- 2) 選手権のランキング設定は主催者によって任意に設定されるので各主催者より発行される特別規則による。

5 コース

コースはMFJが国内公認したコースとする。開催上限クラスはその施設の公認された上限クラスに限定される。

6 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は主催者が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時まで会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

7 参加定員

参加定員は定めない。

8 出場料およびMFJ共済会掛金

エントリー料金は主催者によって定められる。

MFJ共済会掛金は3,000円(旧4,000円)

9 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して最大4名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について2人のピットクルーが作業出来る。

10 ゼッケンナンバー

ライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

- 1) 国内ライセンスのプレートカラーはクラスごとに下記に定められる。

GP125	黒地に白文字	SP	黒地に黄文字
GP250	緑地に白文字		
スーパーバイク	白地に黒文字		
- 2) 国際ライセンスのプレートは全日本特別規則II-4)・65頁のプレートカラーの規定とする。

11 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 車検終了後の選手間でのマシンの交換は出来ない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換することが出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き、マシン交換はレーススタート後トップのライダーが1周するまでとする。

12 タイヤの使用本数制限

- 1) 予選・決勝を通じ使用出来るタイヤは2セットとする。
 - ① 雨天時のレインタイヤの使用本数の制限はない。
 - ② 「雨天時」とは路面が一部でも濡れている状況をいう。
 - ③ 「レインタイヤ」とはスリックタイヤ以外のすべてのタイヤをいう。カットスリックもレインタイヤとみなすが、カットスリックのレインタイヤ判定は競技監督が行う。
- 2) 予選または決勝のスタート前チェック時にペイントを行う。
- 3) 上記チェックの実施については主催者が定め、公式通知に公示する。

13 公式予選

公式予選は主催者により設定される。(最低時間は設けない)

14 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなくてはならない。

15 スターティンググリッド

スターティンググリッドの数、配列は各大会の特別規則に示される。

16 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則第3章〔㊸公式得点〕(35頁)によって与えられる。
- 3) 耐久レースの場合は2倍のポイントがそれぞれのライダーに与えられる。ただしチームが3人からなる場合、レースの総距離あるいは総走行時間の20%以上を走ったライダーに得点が与えられる。
- 4) 国内ライセンスで獲得する昇格ポイントは総合順位によって与えられる。
- 5) やむを得ず排気量クラスの混走を行う場合のポイントは、それぞれのクラスの子選出走台数から適用する。
- 6) 国内ライセンスにて出場し優勝した場合は、国際ライセンスに昇格する権利を与えられる。

17 主催者の権限

- 1) 参加者申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ない理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

18 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1998年1月1日より適用される。

1998年1月1日

エリア選手権

大会事務局長

2輪雑誌最強最速のバイヤーズガイド!

バイヤーズガイド



~毎月アツ!と驚く情報満載!~

🚩 ニューモデル
ふっち切りスcoop!!

🚩 人気バイク&グッズ
徹底テスト!!

🚩 最新ロードレース情報も
満載!!

毎月1日発売 定価570円(税込)

(株)内外出版社 〒110 東京都台東区台東4-19-9 ☎03-3833-2565 振替口座00180-9-36541

BIG MACHINE

—すべての大型免許ライダーへ—

- 全ページビッグバイク関連の記事で構成
- ビッグバイクを買う・操る・楽しむ・いじるを応援します

毎月6日発売・定価860円(税込)



ロードレースにおける 2次災害防止について

最近転倒後に後続車にひかれる2次的な事故が多発しております。

転倒、もしくは故障で停止したときに2次事故防止に十分に気を配って行動して下さい。

転倒、又は故障停止したら

2次災害防止を基本的に

転倒したら2次災害の防止。つまり、後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等、事故の増大を防止するよう心がけて下さい。

まず逃げる

転倒したら、まず安全な所にできるだけ早く逃げて下さい。

特に、オイルによる転倒は、後続車も同じ所に次々と転倒してきます。

後続車への合図

ポストから黄旗が振られますが、できるかぎり後続車に知らせる努力をして下さい。タイミングを見て、電源と燃料コックをOFFにして火災やガス漏れの防止をして下さい。

障害物のかたづけ

オフィシャルと協力して散乱部品のかたづけを素早く行って下さい。オイルやガソリンがこぼれていたなら処理作業も素早く行って下さい。安全上、走ってくるレーサーに背中を向けないよう心がけて下さい。

コース内はヘルメットを

自分が転倒した所は他のライダーも転倒しやすい場所です。いつ飛び込んで来るか分かりません。

ガードレールの外に出るまではヘルメットを被ったままで行動して下さい。コース内（グリーンも含む）にライダーがいる間は黄旗が振られ、追い越し禁止です。他のライダーを拘束しますので、出来るだけ早くコース外に退場して下さい。

転倒車両を見たら

転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす可能性があります。

走行中に転倒車を目撃したら次の周には充分注意をして通過して下さい。

再スタート

マシンが再スタートが可能かどうかの確認をして下さい。

マシンの点検はコース内の危険な場所で行わないで下さい。オフィシャルの指示に従い安全な場所に移動して下さい。

- 1) オイル、ガソリン、冷却水、ブレーキオイル等の漏れがないか確認をして下さい。オイル漏れなどがあった場合は、無理にピット帰還はしないで下さい。
- 2) 走行に危険のある部分の破損、重要保安部品の破損がないか、また破損部分が鋭利になり2次被害を与えないか確認して下さい。
- 3) カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないかを確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはいけません。後方の安全を充分に確認し余裕をもってコースに復帰して下さい。

サーキット走行に関する 指導要項

平成9年5月16日制定

1. 目的

本指導要項は、財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下 MFJ という）が、ロードレースコース（サーキット）において走行する際の基本的な走行方法、マナーなどについて指導するための基準である。

2. 定義

1) サーキット走行は、全ての者が、その持ち得る技量及び車両の能力において、でき得る限りより速く、かつ安全に走ることを目的として走行しなければならない。（後述のロー走行除く）

2) レコードラインの定義

レコードラインとは、そのサーキットをでき得る限りより速く、かつ安全に走るための理想的走行ラインをいう。

3. サーキット走行における遵守事項

サーキット走行する際は、各サーキットごとに定められた規則を熟知し、当該施設の指導員・係員等の指示に従わなければならない。

1) 優先権

(1) サーキット走行においては、基本的にはレコードラインを走行する者に優先権がある。

(2) ロー走行中の者は、レコードラインを走行する者を妨げてはならない。

ロー走行とは、以下をいう。故障車両／初心者／ならし運転中の者／コース慣熟走行中の者。

ロー走行車は基本的にはコースピット側を走行する。

(3) ピットロードにおいては、ピットインしてくる車両に優先権がある。

(4) ピットアウトしてコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまでは、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。レコードラインへの合流に際しては、十分な速度まで加速しなければならない。

2) 走行中の遵守事項

(1) シグナル

フラッグおよびシグナルを確認し、その指示に従う義務がある。

(2) 通常予想できない地点での不必要な急減速をしてはならない。

(3) いかなる場合も、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。

(4) 直線部分では、前車を追い越す以外の目的で進路を著しく急激に変更することは禁止される。

(5) 他のライダーの走行を妨害するような走行をしてはならない。

(6) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、また外に突き出したりするような危険な姿勢をとってはならない。

3) 転倒・コースアウト

(1) コースアウト

- 1 もしコースアウトしたら、復帰する場合は後方を確認したのちコースに復帰することができるが、マシンの確認（破損・オイル漏れ・グラベルの砂利等）も留意しなければならない。
- 2 トラブルなどで走行を止める場合は、マシンをコース外の安全な場所に止めてから退去する。

(2) 転倒

- 1 自分が転倒した場合、2次災害の防止つまり後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等の事故の増大を防止するように心がけなければならない。
- 2 転倒したらまず安全な所へ避難すること、特にオイルによる転倒は、後続車も同じ場所ですべて転倒してくる可能性があるので注意すること。
- 3 安全な場所から、でき得る限り後続車へ知らせる努力をすること。安全なタイミングを見て電源と燃料コックをオフにして火災やガス漏れを防止する。また、可能な限り散乱部品を撤去すること。
- 4 ガードレールの外に出るまでは、ヘルメットを着用していなければならない。
- 5 転倒したマシンは、オイル・ガソリン等をこぼす場合が多いので、転倒車両を目撃したら次の周回は充分注意して走行すること。

(3) コースへの復帰

- 1 安全な場所にてマシンが走行可能かどうか確認する。
- 2 オイル・ガソリン・冷却水・ブレーキオイル等の漏れがないか確認する。漏れがあった場合は、無理にピットまで帰還しないこと。
- 3 走行に危険がある部分の破損、重要保安部品の破損、または破損部が鋭利になっていないかを確認する。
- 4 カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないか確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはならない。
- 5 後方の安全を充分に確認して余裕を持ってコースに復帰する。

4) マシントラブル

- (1) 走行中にマシントラブルに見舞われた場合、レコードラインを走行するライダーの妨げにならないように注意してピットに戻ることができるが、後方の安全を確認し合図をしてからピット設置側を走行すること。
- (2) コース上にオイル等の液体を撒き散らす恐れのあるようなトラブルがあった場合は、スロー走行でピットに戻ろうとはせずに、すみやかにコースアウトして安全な場所にマシンを止めなければならない。
- (3) 車両は、自己の責任において安全装備等各サーキットにて要求される仕様を満たし、完全に整備されていなければならない。

5) ピットイン

- (1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入り口手前より後方を確認したのち、ピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確保しピットロードを徐行しなければならない。
ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。
- (2) ピットインする車両は、自己のピットにできるだけ近いピットロードからピットエリアに入り、自己のピットにできるだけ寄って停車しなければならない。
- (3) ピットロードのスピード制限を設けてある場合は、当該サーキットの規則に従わなければ

ばならない。

6) その他

- (1) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、品格を疑われるような言動は厳に慎まなければならない。
- (2) 走行時には、アルコール類あるいは薬品（興奮剤等）を使用してはならない。

4. 損害に対する責任

- 1) 走行中自己の車両及びその付属品及び安全装備等が破損した場合、またサーキットの付帯設備等を破損した場合も、その責任は自己が負わなければならない。
- 2) 走行に際して起こった負傷等は、参加者自らが責任を負うものとする。





2輪をわかっている人、2輪を知りたい人、
そういう人を満足させる!

燃えてる若者の

**モーター
サイクリスト**

毎月 1日発売 ● 定価560円

MCライフに欠かせない
フレッシュで充実した
情報をキメ細かく編集
キミのハートを魅了します。

2輪を知りつくした世代の

別冊 **MOTOR
CYCLIST**

毎月15日発売 ● 定価660円



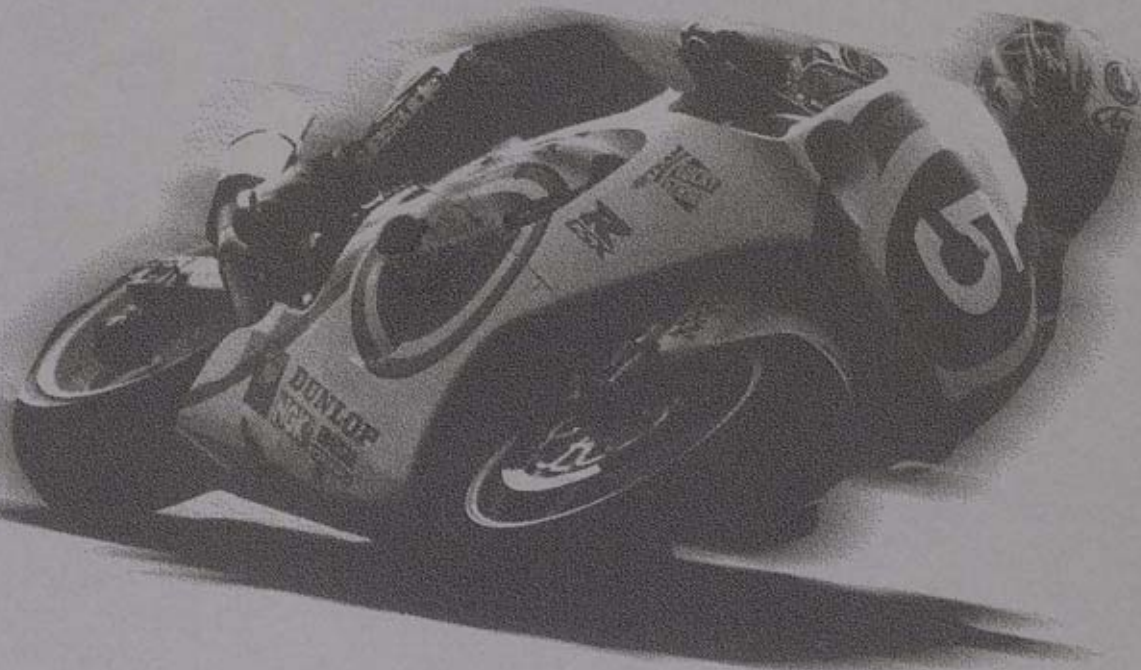
八重洲出版

東京都中央区八丁堀4-5-9

☎03-3552-8431

(定価は税込み)

Central Park Miné Circuit 1998



CP MINÉ CIRCUIT PROFILE

Total length: 3.238 Km, Width: 10m - 15m, Circularity: 10m.
 House Road: 10m, Safety Zone: 5m - 8m.
 F1: 40m, F2: 40m, Tire Service: 40m (30m).
 Auditorium: Total 50,000 Seats, Parking: Total 123,300m².
 Entrance Gate: Main Gate (3 Lines), East Gate (3 Lines).
 Course Authority: FIA, FIM, JAF, WFA.

1998 CP MINÉサーキットロードレースカレンダー (暫定ですので変更になる場合があります)

開催日	レース名	承認競技				地方選手権				エリア選手権			KART
		L	F-INT	F-NAT	NAT	NAT	NAT	NAT	NAT	INT			
2/8	西日本ロードレース第1戦	S5	NK	ST	S80	SP250	SP400	GP125	GP250	SP125	GP250	SB-NK1	
3/8	西日本ロードレースエリア選手権第1戦					○	○	○	○	○	○	○	
4/12	西日本ロードレース第2戦		○		○	○	○	○	○				
5/3	MOTOBUSTER	耐久	○	○	○								○
6/14	西日本ロードレース第3戦(エリア2)					耐久	耐久			○	○	○	
7/12	西日本ロードレース第4戦		耐久		○			○	○				
8/3	全日本ロードレース選手権第6戦(西日本)	GP125, GP250, SA(全日本)				SP250(地方)							
9/6	MOTOBUSTER	耐久	○	○	○								○
9/27	西日本ロード選手権第6戦(エリア3)				○	○	○	○	○	○	○	○	
11/8	西日本ロード選手権第7戦		○		○	○	○	○	○				
12/6	西日本ロードレースエリア選手権第4戦				○	○				○	○	○	

モータースポーツの歴史と共に26年
 セントラルパークMINÉサーキットは
 ミニバイクからスーパーバイクまで幅広くロードレースを応援します。

セントラルパークMINÉサーキット

〒759-2152 山口県美祿市西摩保町 TEL:08375-8-0321 FAX:08375-8-0323

BRIDGESTONE

グリップ・イン・ザ・サーキット。

全国のスポーツプロダクション・レースを駆け抜ける
闘つためのサーキット・グリップ。BT-90 RADIAL。
そのグリップ性能は、レーサーの闘争心に応える。

BATTLEAX



BT-90 RADIAL

TIサーキット英田はモータースポーツを愛するすべてのひとを、応援します。



走るために生まれてきた人がある。
勝利するために生まれてきた人がある。

TIサーキット英田は、モータースポーツを愛する人々に、
最高のコンディションのコースと、最大級の声援を送り続けます。

Run!

もっと、もっと速く、そして力強く。

1998年TIロードレース選手権シリーズレースカレンダー

大会名称	開催日	開催クラス											出場申込期間	
		地方選手権									エリア選手権			
		承認競技会					公認競技会				GP125	GP250		
F-NK	N250①	N250②	S80	MH80	SP250	SP400	GP125①	GP125②	GP250					
TIロードレース選手権 第1戦	2月8日(日)				●		●	●	●	●				1月5日(月)～12月12日(月)
TIロードレース選手権 第2戦	3月8日(日)	●	●	●		●						●	●	2月2日(月)～2月9日(月)
TIロードレース選手権 第3戦	4月12日(日)				●	●		●	●	●			●	3月9日(月)～3月16日(月)
TIロードレース選手権 第4戦	5月17日(日)		●	●		●	●	●	●	●				4月10日(金)～4月20日(月)
TIロードレース選手権 第5戦	7月5日(日)		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	6月1日(月)～6月8日(月)
TIロードレース選手権 第6戦	8月30日(日)						●	●	●	●		●	●	7月27日(月)～8月3日(月)
TIロードレース選手権 第7戦	9月27日(日)		●	●			●	●	●	●		●	●	8月24日(月)～8月31日(月)
TIロードレース選手権 第8戦	11月18日(日)				●	●		●	●	●		●	●	9月28日(月)～10月5日(月)
TIロードレース選手権 第9戦	11月29日(日)	●	●	●	●	●					●			10月26日(月)～11月2日(月)
開催数		2	5	5	5	5	6	6	6	6	6	5	5	

※全日本ロードレース 10月17日～18日(スーパーバイク・GP250・GP125)

●ARC入会のご案内

ARC(アイダレーシングクラブ)では、モータースポーツへの参加を希望するすべての方を対象とし、楽しくTIサーキット英田でのスポーツ走行をしていただくクラブです。

入会資格

満12才以上で親権者の承諾を得られる方

講習会スケジュール

基本的に毎日開催しておりますのでご希望の日程をあらかじめお電話にてご予約下さい。当日のスケジュールは講義、実技走行の約半日となります。

当日ご用意していただく物

- 入会費用 50,000円(税別)
- 運転免許証(お持ちの方のみ)
- 競技ライセンス
- 印章
- 顔写真 2枚
- 実技走行に必要な車両
- アツナギ、ヘルメット、ブーツ、グローブ

●交通のご案内

- JR山陽新幹線岡山駅より車で約60分
- JR山陽本線吉永駅より約18km
- 中国自動車道美作ICより約25km
- 山陽自動車道和気ICより約25km



●お問合せ・お申込先

TI Circuit AIDA

〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮1210 TEL 08687-4-3311

ロードスポーツマガジン
毎月1日発売!!



CYCLE SOUNDS

「サイクルサウンズ」は
ロードレースの
総合誌です

SINCE
1982

すべての悩めるライダーに贈る
**神谷忠のレーシング
スクールBOOK**

神谷 忠著 本体1456円(税別)
マシンの動きは物理の法則に縛ら
れている。レースとは法則の限界に挑戦するスポ
ーツだ。勝つための、そして観戦時の着眼点をつかむ
ための一冊。



サーキット
ライディングを
科学する

**サーキットライディングを
科学する**

和歌山利宏著 本体1748円(税別)
ライディングの本質とセッティングの真理を知
れ! 走り方を科学的に考え、本質を捉えたセッテ
ィングを知るための本。



**ケニー・ロバーツ
ロードレーシングテクニック**

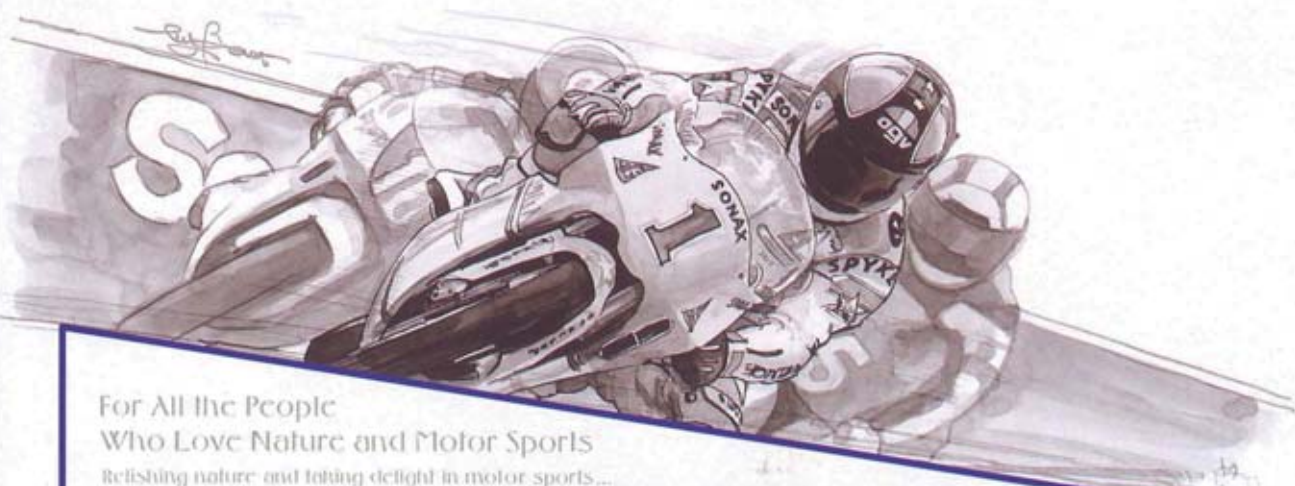
ケニー・ロバーツ著 本体2718円(税別)
キミのテクニックに関する疑問はケニーがこの
本で答えてくれる! テクニックからメンタル強
化術タイヤ・マシンまで

山海堂

〒113-8430 東京都文京区本郷5-5-18 TEL03(3816)1617 (営業) FAX03(3816)1619

Nasu

MOTOR SPORTS LAND



For All the People
Who Love Nature and Motor Sports

Relishing nature and taking delight in motor sports...
That will bring the infinite power of passion
and open the door

1998年度那須ロードレース選手権シリーズ・レースカレンダー

開催日	那須ロードレース選手権										併催レース			
	関東ロードレース選手権			ノーマル250				那須スーパーミニマシナ			⑤ミニ耐久	R: ニーラ (ワイドカー)	NSR150 (SP150)	
	GP125	SP125	S80	GP125B	GP80	NSR	TZR	RGV-r	MP12/SP50	スウェット				
3月22日(日)												△		
4月 5日(日)	●	●	●	○	○	○	○	○						
5月16日(土)												△(1納期)		
5月17日(日)												△(2納期)	△	
6月21日(日)		○		○	○	○	○	○	○	△				
7月26日(日)					○									
8月 9日(日)	●	●	●	○	○	○	○	○	○	△				
8月27日(日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△				
10月25日(日)						○	○	○	○	△			△	

*那須ロードレース選手権すべてのクラスにシリーズポイントが付きます。 *関東ロードレース選手権は、該当クラスにポイントが付きます。 *スケジュールは変更される場合がありますのでご確認ください。



モスラ倶楽部会員募集中!
サーキット走行をお楽しみ頂くためのモ
スラ倶楽部会員を募集しています。お気軽
にお問い合わせください。



NASU MOTOR SPORTS LAND

栃木県黒磯市寺子字坂の上677 〒325
TEL.0287 (63) 7300(代) FAX.0287 (63) 7301

SPORTS COMMUNICATIONS
from MOTOR SPORTS

Project μ

驚くべき制動力と耐摩耗性
勝つために生まれたレーシングアイテム
"METAL"

SPECIAL METAL PADS

ほしかったのは、この性能。

驚異のストップパワー、リニアな制動感
ドライ、ウェットでも安定した動きをキープ
新しいブレンドの開発により、信じられない耐摩耗性を実現
ブレーキツボポイントを変える程の確かな
制動力を持ちながら、入力に対して素直な
コントロール性とリリース性を発揮します
かつてない性能をもって生まれた
レーシングメタルパッド
この"パッド革命"を体感して下さい

価値ある豪華

高いと思われるその価格
しかし、実戦重視の
高スベックを持ちながら、
耐摩耗性を2倍以上も高めた
レーシングメタルパッドは、
けっして高価な消耗部品ではなく、
その驚異の性能が
必ずライダーの欲求を満たし、
強力なアイテムとなるはずですよ

ライダーの選択

アリスレーシングプロジェクト、テクニカルスポーツ関東、K&T、Jha...
ノービス、エリア、全日本を通じ、テクニカルアドバイザーチームの
ライダーから熱い支持を得ています
プロジェクト μ 伝説

いま、サーキットに新たな神話が生まれようとしています。

SPECIAL METAL PADS
RACING
EVOLUTION

¥9,800
1 caliper

レース専用 バリッドスプリング、錆防止プレートが
装着出来ない車種があります。御了承下さい

BP-101M

CB400SF,GSX400Impulse,CBR400RR...etc.

BP-105M

NSR250 ('88~'94),NC35/30,BIG-1,
CBR900RR,RC30/45...etc.

BP-106M

ZEPYHR400,BALIUS,ZRX...etc.

BP-107M

GPZ900R,ZZR1100/400

BP-117M

for Brembo,TZ250,GSF1200...etc.

BP-118M 新発売

RGV250F ('96~),ZXR400 ('91~)

Jhaレーシング
プロジェクト・ミュウ製品
取扱開始!!



全日本ロードレース選手権
125ccクラス
Jha岡田純一選手
スペシャルメタルパッドで活躍中

'97 全日本ロードレース選手権シリーズ
GP125クラス 秋田 貴志 選手 (Jレーシング)
Project μ
SPECIAL METAL PADSで シリーズチャンピオン獲得!!

Project μ Motorcycle
Brake Pads Series



Hyper Carbon Pads

通入本数多
ALMIGHTY ¥4,800

Racing Spec Pads

通入本数多
Racing Line ¥6,800

G/Four スーパーブレーキフルード「ジーフォー」
DOT-4 250ml ¥900



総販売元 **NPROJECT** 株式会社 日京 Nプロジェクト事業部
〒245 神奈川県横浜市戸塚区東俣野町1009 Phone 045-853-1185
Fax 045-853-1189 (24Hours)

製造元 **Project μ** 株式会社プロジェクト・ミュウ
〒190-12 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原8-7 Phone 0120-44-3688 (Free Dial)

販売代理店 (株) アクティブ
〒470-01 愛知県日進市折戸町藤塚56-290
Phone 05617-2-7011 Fax 05617-2-7012

販売代理店 (株) スピリット
〒181 東京都三鷹市新川4-8-6
Phone 0422-45-7177 Fax 0422-46-7141

全国取扱店募集中

'98 スカラシップライダー募集中!!
詳しくは、NPROJECTレーシングサービス長岩まで



TWIN RING MOTEGI



コース走行

マイカーで、レーシングカー同様で、本物のレーシングコースを自分の肌で感じられるメニューが盛りだくさん！コースの貸切もできます(カートランド、ダートトラック、マルチコース)。

■ Experience Run(同乗走行)

インストラクターの運転でスーパースピードウェイ、ロードコースを走行。ストックカーも体験できる。

■ Family Drive & Touring(体験走行)

マイカーでスーパースピードウェイ、ロードコースを走行(先導車有り)。バイクはロードコースのみ。

参加することから始まる モータースポーツがここにあります。

観る、走る、遊ぶ「ツインリンクもてぎ」は、気軽に楽しめる、さまざまなステージをご用意しました。



ロードレース



ダートトラック



オートキャンプ場



イエローバードツインリンクドライブ

もてぎスクール オブ レーシング

気軽に本格的アメリカンモータースポーツを楽しめるレーシングスクール。



フライングミジェットカー



モディファイミジェットカー



バランスコース



講習風景

A.S.T.P.M. (Active Safety Training Park Motegi)

危険な状況を体験しながら気軽に楽しく学ぶ。21世紀の交通環境に向けた新しい安全運転トレーニング。

T.R.M.C.-S (ツインリンクもてぎクラブスポーツ)

— 走行会員募集中 —

TRMC-Sは、スーパースピードウェイ、ロードコースをはじめとする、さまざまなコースを走ることが目的。楽しく走りたいたい人、トップレサーを目指す人など、とにかく走りたいたい人のためのクラブです。

●受付・お問合せ ☎ 0285-64-0202
ツインリンクもてぎクラブスポーツ (TRMC-S)

M.O.S.C. (エムオースポーツクラブ)

— オフィシャル会員募集中 —

●受付・お問合せ ☎ 0285-64-0202
ツインリンクもてぎM.O.S.C.

T.R.M.C. FAN CLUB CARD

— ツインリンクもてぎファンクラブカード —

モータースポーツファンのための特典が満載です。

●お問合せ先 ☎ 03-5276-7855
ミリオンインフォメーションセンター
受付時間/AM9:00~PM5:30(土・日・祝日も営業)



'98年春OPEN!
ホテルツインリンク



ホンダコレクションホール



ACCESS

— 交通のご案内 — 東京からクルマで2時間!



■電車でご来場の場合
JR宇都宮駅下車、西口よりバスで約90分
真向鉄道・茂木駅下車、バスで約15分
JR烏山線・烏山駅下車、車で約25分
JR常磐線・水戸駅・水戸駅下車、北口よりバスで約90分
■車でご来場の場合
常磐自動車道・水戸インター・那珂インターより約40分
東北自動車道・湯浅インターより約90分・宇都宮インターより約80分

1998 RACE CALENDAR (2輪)

シリーズ	日	レース	コース	全日本				もてぎ選手権			その他					
				5日	GP250	GP125	サバート	GP250	GP125	SP400		SP200	S-NK	NK4	ポイント	
①	3月1日	もてぎロード	東コース													
	4月11-12日	全日本ロード	フルコース	●	●	●	●									
②	5月24日	もてぎロード	東コース													
③	7月5日	もてぎロード	東コース													
④	11月8日	もてぎロード	東コース													
⑤	11月20日-29日	もてぎロード	フルコース													

○は関東選手権レース、○はもてぎロードレース選手権レース 上記内容は変更される場合がございます。(97年12月4日現在)

■8月21日・22日 もてぎ耐久「サマーエンデュランスフェスティバル in MOTEGI」
競技規則につきましては、別途ご案内いたします。

■「ダートトラック」レース全6戦で開催予定!! 開催日につきましては、別途ご案内いたします。

■①~⑤はもてぎロードレース選手権、②④関東選手権併催

ツインリンクもてぎ

●ツインリンクもてぎ 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町大字植山120-1 TEL.0285-64-0001 FAX.0285-64-0009
●本社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-20 TEL.03-3278-0777 FAX.03-3278-0733
●ホームページ http://www.twinring.co.jp

※営業時間は変更される場合がありますので、お問合せください。 休業日:設備保守点検のため、休業させていただきます場合があります。



鍛!

きたえる

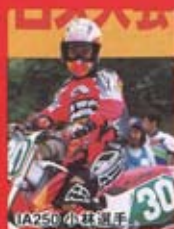


WHAT'S WAKOS ?

知っていますか? WAKOSのレーシングオイル。
 知っていますか? 実戦で生まれ、実戦で開発したことを。
 知っていますか? そして、実戦で鍛え続けていることを。
もっと知って欲しい。



IA250 藤村 隆夫



IA250 小林 健夫



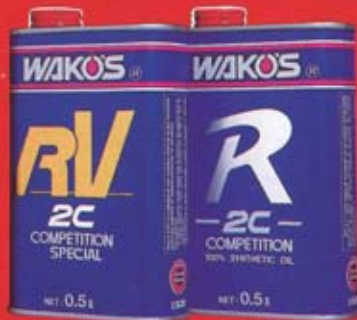
IA250 森田 隆夫



IA125 大塚 進平



IA125 小宮 博幸



WAKOS モトクロス用 レーシングオイル

推奨混合比
35:1~40:1

2CR (写真右)

100%合成油なのでビギナーから上級者までフォローし、レスポンスとコストパフォーマンスに優れ、ノーマルエンジンのポテンシャルをあまりなく引き出します

●100%化学合成油 500ml/1,800円

2CRV-R (写真左)

上級者及びチューニング・エンジンの要求に応える、ロードレース生まれのヘビー指向のオイル。パーツ寿命を延ばしつつ、カーボンの発生量を抑える。

●化学合成油+変成植物油
500ml/2,200円



IA125 藤本 進平



IA125 藤田 健夫

写真は'97年のものです

●お求めはお近くの

WAKOS

ステッカーのお店で。

(株) 和光ケミカル

神奈川県小田原市前川16-2 TEL.0465-48-2211 (F)

モトクロス

MOTO CROSS

▼細則 4 モトクロス競技細則

1. 適用の範囲	88
2. モトクロス	88
3. コースの仕様	88
4. レース中の公式シグナル (合図)	88
5. 出場車両	88
6. MFJ公認車両・公認部品	89
7. ライダーの装備	89
8. 参加資格	89
9. 出場申し込み	89
10. 参加受理	90
11. 公式通知・タイムスケジュール	90
12. 参加定員	90
13. ゼッケンナンバー	90
14. 燃料およびオイル	90
15. 出場受付	91
16. 車両検査	91
17. ライダーの変更	91
18. 車両の変更	91
19. 部品の変更	91
20. フリープラクティクスおよび公式練習	91
21. ビットおよびサインエリア	92
22. 公式予選	92
23. 決勝レース出場台数	92
24. スタート位置の決定方法	92
25. ウォーミングアップ	92
26. レース	92
27. レースの終了	93
28. 優勝者、入賞者、完走者および得点	93
29. 入賞車両の検査	94
30. レースおよび大会の延期、中止等	94
31. 抗議	94
32. レース中の違反行為に対する罰則	94
33. 本規則の解釈	94
34. 本規則の施行	94

▼細則 5 '98全日本選手権大会特別規則

1. 公示	95
2. 競技会開催日程等	95
3. 運営・実行組織	95
4. 開催部門・クラス	95
5. 参加資格	96
6. 出場申し込み	96
7. 出場料および共済会掛金	96
8. 参加受理	97
9. 競技内容	97
10. 賞および得点	97
11. 出場車両	98
12. ゼッケンナンバー	98
13. ガソリンおよびオイル	98
14. 車両検査	98
15. 車両の変更	99
16. フリープラクティクスおよび公式練習	99
17. 決勝レース出場資格	99
18. スタート	99
19. レース	100
20. 入賞車両の検査	100
21. 総合順位の決定方法	100
22. 抗議	100
23. 本規則の解釈	100
24. 本規則の施行	101
'98全日本モトクロス選手権開催日程	101

※'98年度の規則変更点は太字で示されています。

モトクロス 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づきすべての国内のモトクロス競技会に適用される。(世界選手権は除く)

2 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変するような地形のところで行われるクロス・カントリーレースである。国内競技規則および本細則により管理される。

3 コースの仕様

コースの長さは1周1km以上、2km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コース等は、別に定めるモトクロス会場に関する規則に準拠し、適切なレーシングコンディションと安全性とが確保されていなくてはならない。

4 レース中の公式シグナル(合図)

- 1) 公式シグナル(合図)は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

シグナル	意味
赤旗	全員走行停止
黒旗とゼッケンを記したボード	当該ライダーは走行停止
黄旗(静止)	危険予告
黄旗(振動)	徐行、安全確認、追い越し禁止
青旗	警告、ラップされようとしている
緑旗	先に出した合図の解除、コースクリア
白黒チェッカー旗	レース終了

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴールを通過した時点から、残りの周回数を示すボードが提示される。

5 出場車両

車両は、国内競技規則・第3章 [②出場車両] (33頁)の限度を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

尚、改造されて型式(モデル)が判別できないような車両は競技会に出場することはできない。

6 MFJ 公認車両・公認部品

MFJ 公認車両及び公認部品は、国内競技規則・第3章 [⑬MFJ 公認車両および公認部品・用品] (33頁) による。

7 ライダーの装備

1) ヘルメット

- (1) ヘルメットはジェット型かフルフェイス型のもので、MFJ が公認したものでなくてはならない。
- (2) MFJ の公認したヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJ の公認したヘルメットであっても当該ライダーの安全上、その使用を禁止される。
- (4) MFJ 公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査を受け、公認ヘルメットと判明した時点で、公認シールが貼付される。その際、特別検査料 (1,000円) を支払わなければならない。



2) ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用は一切禁止される。枠は柔軟な素材を使用したもので転倒による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなくてはならない。

3) ライダーの服装

- (1) 服装は、レース中ライダーの身体の安全を確保し、車両の操縦を防げるものであってはならない。
- (2) 耐火性で溶けない素材の丈夫な生地で作られた自由な動作を妨げない長袖のジャージを着用しなければならない。
- (3) 突出部分のない革、または革と同等以上の性能を持つ手袋及びブーツを着用しなければならない。
- (4) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。
- (5) プロテクター (プレストガード等) の着用が望ましい。

8 参加資格

参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (31頁) に合致していなければならない。

9 出場申し込み

- 1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。
- 2) 出場申し込み手続き
 - (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料及び MFJ 共済会掛け金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合でも、申込書は1枚でよい。ただし、2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。
 - (3) 郵送の場合は現金書留を使用し、締切日当日の消印のあるものまでが有効となる。
 - (4) 締切日以降の申し込み及び電話・FAX 等の申し込みは一切受けつけない。

10 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、及び所定の金額を大会事務局が受理したもののみ、参加受理書が発送される。
- 2) 大会が中止された場合、また参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申込者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない)にのみ出場料、共済会掛金が返却される。
- 3) いったん受理された出場料・共済会掛け金は、上記2)及び国内競技規則・第3章 [㊸競技会の延期および中止等] (36頁)の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。

11 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に通知される。

12 参加定員

定員は定めない。

13 ゼッケンナンバー

- 1) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(22頁参照)
- 2) 年間指定ゼッケンナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にゼッケンナンバーを記入しなければならない。
- 3) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。
- 4) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行したり、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
- 5) 雨天の場合、競技監督の指示によりヘルメット後部に補助ゼッケンプレート (9 cm×9 cm 程度) を取り付けなければならない。
数字は切り抜きにすることが望ましい (泥がついても視認性がよい)。



14 燃料およびオイル

- 1) ガソリンは無鉛ガソリンに制限されている (AV ガス、航空機用燃料等は使用できない)。ガソリン及びオイルに関する詳細は国内競技規則・第3章 [㊸燃料およびオイル] (33頁) 及び MFJ 技術規則第7章、ガソリン・オイル・クーラント (141頁) による。
- 2) ガソリンの銘柄及びその詳細が主催者によって指定された場合は、当該指定ガソリンを使用しなければならない。

- 3) ガソリンの運搬については、消防法第16条の規定に従った方法で行わなければならない。

15 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受理書および健康保険証を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

16 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されるタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人又は当該ライダーのメカニックが車両仕様書とともに持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行わない。
- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

17 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

18 車両の変更

登録された車両の変更は原則として認められない。変更する必要がある場合は、所定の書式に従って変更申請を行い、競技監督が認めた場合に限り認められる。(国内競技規則第3章⑮競技出場の申し込み、⑰ライダーおよび車両の変更(33~34頁)による)

- 1) エントリー車両と、車検を受ける車両の変更
参加受理書発送後エントリー用紙記入車両に変更がある場合、選手受付時に車両変更手続きをしなければならない。
- 2) 車検終了後の車両変更
車検終了後の変更は、大会事務局にて車両変更手続きをしなければならない。
- 3) 車両変更は同部門、同クラス間の変更のみ許可される。車両変更手数料は5,000円とする。

19 部品の変更

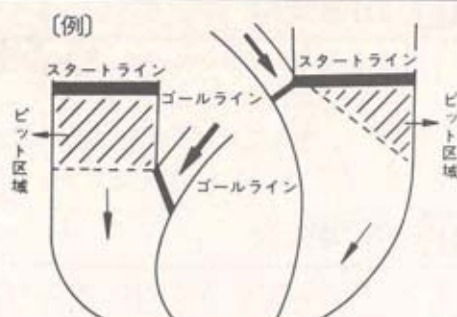
フレーム、クランクケース、サイレンサーの変更は原則として認められない。ただし、交換のためあらかじめ検査を受けたサイレンサーは除く。フレームの変更、クランクケースの変更は、車両の変更とみなされる。

20 フリープラクティスおよび公式練習

ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた公式練習(フリープラクティス)に参加しなければならない。

21 ピットおよびサインエリア

- 1) ピット及びサインエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアは、スタートラインからゴールラインまでの、周回走行にさしつかえのないコースサイドまたはコース上である。
- 2) ピットクルーはサインエリアの区分を厳守しなければならない。
- 3) レース中に、ピット区域以外のパドックに戻った場合は失格となる。



22 公式予選

各クラスの出場申し込み台数が、決勝レース出場台数を越えた場合、決勝進出者決定のために公式予選が行われる。

- 1) 公式予選の内容
 - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - (2) 公式予選の日程は、特別規則に示される。
 - (3) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。

23 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は原則として30台とするが、各サーキットごとに定められる公式通知に示される。

24 スタート位置の決定方法

スタート位置の決定方法は、大会特別規則もしくは公式通知に示される。一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

25 ウォーミングアップ

- 1) エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された場所及び時間帯に限られる。
- 2) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

26 レース

- 1) スタートまでの行動
 - (1) ライダーは、特別規則に定められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
 - (2) ライダーは、スタート前チェックの後車両とともに指定区域内に待機してなければならない。
- 2) スタート
 - (1) スタートの方法については、原則として各部門ともスターティングマシンを使用したエンジンランニングスタートとする。ただしスターティングマシンを使用しない場合は、必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。

- (2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは、一切考慮されない。
 - (3) スターティングマシンが使用される場合は、車両の位置はスターティングマシンの後方の区域内とする。
 - (4) スタートの合図は、スタート係の合図（国旗等）によって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合は、この限りでない。
 - (5) スタート時にフライングが認められた場合は、スタートライン前方（第1コーナー付近）において赤旗が張られ、スタートをやり直す。ただし、同一ライダーが再びフライングをした場合、当該ライダーは失格となる。
- 3) コースアウト
ライダーは、走行中、やむを得ず定められたコースを外れ、再びコースに戻る場合には、外れた地点よりコースに進入しなければならない。
- 4) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内に限定される。
 - 5) レース中、サイレンサー、マフラー、チャンパーが外れた場合、または破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示される。提示されたライダーは速やかにピットインし、修理しなくてはならない。修理後競技役員の許可を得れば、再出走が認められる。

27 レース終了

- 1) レース終了は、優勝者の完走後、チェッカー旗が振られ、マーシャルが定位置を離れるか、またはマーシャルがコースを一巡することによって示される。
- 2) トップを走行するモーターサイクルが、所定の周回数を完了する前にレース終了の合図が出された場合、当該レースはその時点で終了したものとみなされる。
何らかの理由によって、レース終了の合図が遅れた場合でも、レースはそれが本来終了した時点で終了したものとみなされる。

28 優勝者、入賞者、完走者および得点

- 1) 優勝者
優勝者は、定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーとする。
- 2) 入賞者及び順位の優先順位
入賞者及び入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。
- 3) その他の順位の優先順位
周回数の多いものを優先する。同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 4) 完走者
 - (1) 優勝者の75%（少数点以下は切り捨てる）以上の周回数を完了したライダーを完走者とする。
 - (2) レース途中でリタイヤしたライダーも完走周回数を完了している場合は、完走者とみなされる。
- 5) 得点
 - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [②公式得点(ポイント)] (35頁) によって与えられる。
 - (2) 得点は完走者に与えられる。
 - (3) オープンクラスに関しては、自動昇格得点対象外とする。

29 入賞車両の検査

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

30 レースおよび大会の延期、中止等

国内競技規則・第3章 [㉔競技会の延期および中止等] (36頁) による。

31 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章 [㉔抗議] (37頁) による。
- 2) 抗議は、暫定結果発表後30分以内（全日本選手権では20分以内）に当該ライダーおよびエントラント代表者だけが行うことができる。
- 3) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合は、抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に用いた費用は車検長が算定する。
- 4) 車両の分解検査に立ち合う者は、車検長及び抗議を受けた当事者のみとする。

32 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督並びに大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課することができる。

- 1) 失格
 - (1) 故意に走路を妨害した場合。
 - (2) レース中に他の援助を受けた場合。
 - (3) コースを逆走した場合。
 - (4) 示された合図旗に従わなかった場合。
 - (5) 1度コース外に出て、明らかに自分に有利となる所より再びコースに復帰したと判断された場合、1周減算または失格とする。
 - (6) フライングを2度繰り返した場合。
- 2) 1周減算
 - (1) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。
 - (2) 上記1)失格(5)の場合。

その他、競技規則に対する罰則は、国内競技規則・第3章 [㉔違反行為に対する罰則] (38頁) による。

33 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

34 本規則の施行

本規則は、1998年1月1日より有効とする。

細則 5

'98全日本 モトクロス選手権大会 特別規則

1 公 示

全日本モトクロス選手権は FIM 国際スポーツ憲章に基づいた MFJ 国内競技規則、モトクロス競技細則と、全日本選手権シリーズを通じて共通した項目をまとめた本特別規則と、各大会の特別規則に基づき開催される。

2 競技会開催日程等

- 1) レースウィークの日程
月～木曜日：占有走行は禁止される。スポーツ走行は開催されてもよい。
金 曜 日：すべての練習走行は禁止される。
土～日曜日：競技会日
- 2) 競技会の日程は巻末に示す（101頁参照）。

3 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

4 開催部門・クラス

- 1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

部 門	国際B級	国際A級
クラス	125cc・250cc	125cc・250cc

- 2) 全日本選手権は原則として国際B級、国際A級の2部門にて開催されるが、事前に選抜された2クラスまでのレース、およびエキジビション（ポイント対象外）レースを併催することができる。ただし併催レースは全日本選手権のクラスに影響しない範囲に限り認められる。
- 3) 国際A級部門は、125ccクラスと250ccクラスを開催し、各クラスの選手指定は下記のとおり行う。
 - (1) 125ccクラス
 - ① 前年の全日本モトクロス選手権 (IA125)、MFJ スーパークロス選手権 (IA125) の総合ランキング4位～15位の者で、身体的理由(当該年度31歳以上になる、または身長が165cm以下)により125ccクラスへの残留申請を提出し、認められた者。(事務局への申請が必要)
 - ② 前年の全日本モトクロス選手権 (IA125)、MFJ スーパークロス選手権 (IA125) の総合ランキングにおいて16位以下の者。ただし、16位～20位の者は、250ccクラスを選択することができる (MFJ 事務局への申請が必要)。

- ③ 前年の全日本モトクロス選手権 (IA250)、MFJ スーパークロス選手権 (IA250) において、得点を得られなかった者。
 - ④ 国際B級からの昇格者。ただし、前年度全日本モトクロス選手権総合ランキングの上位3名までは、250ccクラスを選択することができる。(MFJ事務局への申請が必要)
- (2) 250ccクラス
- ① 前年の全日本モトクロス選手権 (IA250)、MFJ スーパークロス選手権 (IA250) において、得点を得た者。ただし5ポイント以下の者は125ccクラスを選択することができる。(MFJ事務局への申請が必要)
 - ② 前年の全日本モトクロス選手権 (IA250)、MFJ スーパークロス選手権 (IA250) において、得点を得られなかったが250ccクラスへの残留申請を提出し、認められた者。(事務局への申請が必要)
 - ③ 前年の全日本モトクロス選手権 (IA125)、MFJ スーパークロス選手権 (IA125) の総合ランキング15位以上の者。
 - ④ その他スポーツ委員会が特に認めた者。
- ※各クラス指定の申請手続きは、当該年の12月31日までにおこなうこと。
- 4) 予告：国際B級部門は、125/250のいずれかにのみ出場できる。したがって1大会で両クラスに出場することはできない。出場するクラスは大会毎に選択できる。(1999年1月1日より適用)

5 参加資格

- 1) 参加者及びライダー
参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (31頁) に合致していなければならない。
- 2) 年齢制限
大会に出場できる最低年齢を、下記のように定める。
125：15歳 250：16歳
※いずれも大会予選日に誕生日を迎えていること。ただし'97年全日本選手権における実績を有する者は、スポーツ委員会にて審査される(MFJ事務局への手続きが必要)。(1998年1月1日より適用)

6 出場申し込み

- 1) 競技会への出場申し込みは主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、競技規則を厳守することを誓約しなくてはならない。(エントリー時点で当該ライセンスを取得していること。)
- 2) 申込期間、申込先などの詳細は101ページ参照。
- 3) ピットクルーの登録
 - (1) 出場申込後に、ピットクルーの追加は一切できない。但し大会当日の出場受付時間内に、他のピットクルーライセンス所持者と変更することはできる(変更手数料が必要)
 - (2) ひとりのピットクルーを、複数のライダーに登録することはできない。
 - (3) 参加ライダー本人を自分のピットクルーとして登録することはできない。(但し作業はできる)

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料およびMFJ共済会掛金は、以下の通りである。

	総額	内訳	
		出場料	共済会掛金
1クラス	12,000円	10,500円	1,500円
2クラス(Wエントリー)	20,000円	18,500円	1,500円

8 参加受理

モトクロス競技細則 [⑩参加受理] (90頁) による。

9 競技内容

1) 公式予選

公式予選の有無、周回数、予選組分け、その他の詳細は公式通知、またはプログラムに示される。

2) ラストチャンスレース (国際A級・国際B級に適用)

下記規定に則り、ラストチャンスレースが開催される。

- ① 公式予選総出場台数が決勝出走台数を越えた場合に開催される。
- ② ラストチャンスレースの順位により決勝レース出場者、およびリザーブライダー(2名)の優先順位が決定される。
- ③ 決勝レースへ公式予選より出場できる人数、ラストチャンスより出場できる人数は、予選組数、グリッド数によって異なるため、公式通知に示される。
- ④ ラストチャンスレースのグリッドは公式予選レースストップタイムの早い組順とする。但し、予選順位のつかない場合、(1周もまわらずにリタイヤした場合等)、予選出走のグリッド順を優先する。
- ⑤ その他、当該大会審査委員会は天候等の理由により、ラストチャンスレースの有無について決定することができる。

3) レース距離 (レース時間) ※天候等の理由により、変更する場合がある。

- ① 公式予選 国際A級：15分+2周、国際B級：公式通知に示す。
- ② ラストチャンス 国際A級：5分+2周、国際B級：公式通知に示す。
- ③ 決勝レース 国際A級：30分+2周、国際B級：25分+2周
決勝スタート前に、コース下見のためのサイティングラップ(1周)を行なう。

10 賞および得点

1) 賞の詳細は、公式通知に示される。

2) 全日本選手権ランキングの得点

- (1) 得点は国内競技規則・第3章 [⑩公式得点] (35頁) によって与えられる。
- (2) 日本グランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。
- (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その得点合計によって決定される。
その詳細は、全日本選手権ランキング決定基準 (221頁) に示される。

3) 賞及び得点の制限

国内競技規則・第3章 [⑩公式得点] (35頁) による。

11 出場車両

車両は、細則4 [⑤出場車両] (88頁) を遵守しなければならない。

12 ゼッケンナンバー

- 1) 国際A級の一部及び国際B級の一部(30番まで)のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割り当てられる。

指定ゼッケンを与えられた選手については、ジャージ背中側に指定ゼッケンの印刷を義務付けられる。

国際B級から国際A級への昇格者上位9名及び国際A級125ccより250ccへのクラス移籍者上位9名については、ルーキーゼッケンとし、01番より09番を与えることとする。

- (1) 国際A級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。

① 125ccクラス

- IA125クラスを指定された者で、前年の全日本モトクロス選手権(IA125)、MFJスーパークロス選手権(IA125)の総合ランキング順に指定する(有得点者のみ)。
- 250ccクラスからの移籍者を、前年の全日本モトクロス選手権(IA250)、MFJスーパークロス選手権(IA250)の総合ランキング、次いで前年の年間指定ゼッケン順に指定する。
- 国際B級からの昇格者を、前年の全日本モトクロス選手権総合ランキングにより指定する。
- 上記以外の選手は、大会ごとに主催者によって定められる。

② 250ccクラス

- IA250クラスを指定された者で全日本モトクロス選手権(IA250)、MFJスーパークロス選手権(IA250)の総合ランキング順に指定する(有得点者のみ)。
- 前年度全日本モトクロス選手権(IA250)、MFJスーパークロス選手権(IA250)で得点を得られなかった者で、残留申請を提出し、認められた者を前年度指定ゼッケン順に指定する。
- 125ccクラスからの移籍者を125でのシリーズ総合ランキング順に指定する。
- その他、特に250ccクラスに認められた者を指定する。

- (2) チャンピオンゼッケン

前年度国際A級シリーズチャンピオンおよび前年度MFJスーパークロスシリーズチャンピオンは、チャンピオンゼッケンとして赤地に白文字とする。

- (3) 国際B級(30番まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。

- 125/250クラスを比較し、順位が高いクラスをそのライダーの代表クラスとする。
- 代表クラスの順位を比較し、上位の者が優先される。
- 代表クラスが同順位の場合、そのクラスの上位入賞回数が多い者が優先される。
- ③で決定できない場合は、代表クラスの排気量の大きい方を優先する。
- ④まで決定できない場合は、スポーツ委員会にて最終決定する。

- 2) 上記(1)、(2)に記載されている他のライダーには、大会毎に主催者によってゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。

13 ガソリンおよびオイル

ガソリンは無鉛ガソリンに制限されている。(AVガス、航空機用燃料等は使用できない) MFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラント(141頁)参照。

14 車両検査

- 1) モトクロス競技細則 [⑩車両検査] (91頁) 参照。

- 2) 車両検査持ち込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定し、国際A級部門については制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は一切認められない。

15 車両の変更

- 1) モトクロス競技細則 [⑬車両の変更] (91頁) 参照。

16 フリープラクティスおよび公式練習

- 1) 競技会前日の練習走行は禁止される。
2) ライダーは、主催者が設けた公式練習に参加する義務がある。

17 決勝レース出場資格

- 1) 公式予選通過者 (予選通過人数は各大会による)
2) ラストチャンスでの上位者 (人数は各大会による)
3) リザーブライダー
ラストチャンスにて決勝レース出場資格を得られなかったライダーのうち、上位2名は、リザーブライダーの権利を得る。
リザーブライダーは、各決勝レース前のウェイティングエリアで待機し、ウェイティングエリア閉鎖までに不出場があった場合に限り、優先順位上位者より決勝レースへ出場できる。

18 スタート

- 1) スタートの方法
(1) 原則として、各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。
(2) スターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- 2) スタートの手順
(1) スターティングエリアへは、スターティンググリッドに着くために移動する以前は、ライダーであっても立入りが禁止される。
(2) ライダーはスタートの10分前までにウェイティングエリアに待機していなければならない。ウェイティングエリアは、ウェイティングエリアから最初のライダーがスターティンググリッドに着くために移動した時点で閉鎖される。
(3) 出場ライダー全員がスターティンググリッドに着くまでグリーンフラッグが、提示される。
(4) ライダー全員がスターティンググリッドに着いたことが確認された後、15秒ボードが15秒間提示される。
(5) 15秒ボードに引き続き5秒ボードが提示される。
(6) 5秒ボードが提示されて5～10秒以内にスタートとなる。
- 3) 予選におけるスタート位置を選択する優先順位
スタートの位置は、抽選結果の順位による。
- 4) 決勝レースのスタート位置を選択する優先順位

国際B級

スタート位置を選択する優先順位は、予選順位に基づき決定される。

国際A級

両ヒート (第1、第2ヒート) ともそれぞれの予選組のトップ走者の周回数が多い組。同

周回の場合はタイムの早い組から、交互に上位より順番に選択できる。

- 5) ウォーミングアップ
エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯及び場所に限られる。
- 6) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。
- 7) 予選・決勝におけるスタート位置の選択
決められた優先順位に従い、グリッドを選択するために、ウェイティングエリアから移動することができる。
一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

19 レース

- 1) レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章 [⑩競技参加者の遵守事項] (31頁) による。
- 2) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内とする。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示される。提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

20 入賞車両の検査

モトクロス競技細則 [⑨入賞車両の検査] (94頁) 参照。

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後20分間（全日本選手権以外では30分）保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

21 総合順位の決定方法

レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の決定は、以下に記すとおりとする。

- 1) 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。
- 2) 1ヒート、2ヒートの合計得点が同点の場合は、上位入賞者を優先する。
- 3) 上記1)、2)で決定できない場合は、2ヒート目の成績を優先する。

22 抗議

モトクロス競技細則 [⑪抗議] (94頁) および国内競技規則第3章 [⑫抗議] (37頁) による。

- 1) 抗議は、暫定結果発表後20分以内（全日本選手権以外では30分以内）に当該ライダー及びエントラント代表者だけが行うことができる。

23 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

24 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則・細則4・モトクロス競技細則による。

1998年1月1日
全日本モトクロス選手権
大会事務局長

'98全日本モトクロス選手権シリーズ開催日程

開催日	大会名	出場申込先	会場	出場申込期間
4月11日(出) 4月12日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第1戦 近畿大会	MFJ近畿 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(534)6422	奈良県 名阪スポーツランド	3月3日(火) 3月12日(水)
4月25日(出) 4月26日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第2戦 中国大会	MFJ中国 〒733-0036 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	広島県 グリーンパーク弘楽園	3月17日(火) 3月26日(水)
5月23日(出) 5月24日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第3戦 九州大会	MFJ九州 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-11-9 メゾンド水巻1F-B ☎092(473)2616	熊本県 HSR九州	4月14日(火) 4月23日(水)
6月6日(出) 6月7日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第4戦 SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-1394 ☎0224(83)3127	宮城県 スポーツランド SUGO モトクロスコース	4月28日(火) 5月7日(水)
7月4日(出) 7月5日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第5戦 北海道大会	MFJ北海道 〒007-0823 北海道札幌市東区東雁来3条1丁目4-3 札幌地区軽自動車会館2F ☎011(782)1492	北海道 わっさむサーキット (予定)	5月26日(火) 6月4日(水)
7月18日(出) 7月19日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第6戦 東北大会	藤沢町モータースポーツ協会 〒029-3405 岩手県東磐井郡藤沢町藤沢字町裏105番地 藤沢町役場内 ☎0191(63)3333	岩手県 藤沢スポーツランド	6月9日(火) 6月18日(水)
9月5日(出) 9月6日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第7戦 SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-1394 ☎0224(83)3127	宮城県 スポーツランド SUGO モトクロスコース	7月28日(火) 8月6日(水)
10月24日(出) 10月25日(回)	MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第8戦 第36回モトクロス日本グランプリ大会	MFJ関東 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-31-11 共栄大塚ビル5F ☎03(3943)6105	埼玉県 ホンダエアポートライ ダースパーク(HARP)	9月15日(火) 9月24日(水)

'98モトクロス主要競技会開催日程

開催日	大会名	出場申込先	会場
8月23日(回)	第2回MFJオフロード 全国大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900	埼玉県・ ホンダエアポートライ ダースパーク(HARP)

※スポーツランド SUGO への郵便物は郵便番号と宛て名のみで届きます。

RIDER'Sビック保障プラン

加入している方へ
追加契約
受付中!

1 無配当新定期保険

(災害人特約、疾病入院・手術特約付)

給付金の種類	支払事由	給付金額
災害入院給付金 【入院日額 × 入院日数 - 4日】 1入院120日、通算700日限度	災害で5日以上 継続入院したとき	日額 5,000円
疾病入院給付金 【入院日額 × 入院日数 - 4日】 1入院120日、通算700日限度	疾病で5日以上 継続入院したとき	日額 5,000円
手術給付金 手術に応じて 【入院日額の50・30・15倍】	災害または疾病で 所定の手術を受けたとき	手術種類により 25・15・7.5万円
災害死亡 高度障害保険金	災害によって死亡 所定の高度障害のとき	500万円
疾病死亡 高度障害保険金	疾病によって死亡 所定の高度障害のとき	500万円

■月払保険料表【抜粋】

【無配当型・特約保険料含む】

年齢	男性	女性	年齢	男性	女性
5才	1,830円	1,725円	30才	2,620円	2,370円
10才	2,030円	1,810円	35才	2,915円	2,595円
15才	2,310円	1,980円	40才	3,495円	3,000円
20才	2,455円	2,125円	45才	4,335円	3,555円
25才	2,495円	2,240円	50才	5,700円	4,285円

3 RIDER'Sビック保障プラン Q&A

Q1.趣味としてモーターサイクル・スポーツを楽しんでいますか？

もち論、保障します。
ロードレース・モトクロス・トライアル・スノーモビル・ドラッグレース
エンデューロなどモーターサイクルスポーツ中（練習・予選・決勝を含む）
に発生したケガ/死亡を国内/海外と場所地域を問わず保障します。
また、海岸・河川敷・林道など一般公道以外で発生した事故もOKです。
さらに【一般公道上の交通事故】、【スキー・ダビング等レジャー中の事故】
【仕事上の労災事故】そして【病気】【成人病】【ガン】までも保障します。
誠にオールマイティな保障を重点においた保険です。
つまり、モーターサイクルスポーツシーンを含み、キミの生活を24時間にと
わり一般には加入出来ない割安な保険料で保障する素晴らしい保険です。

※参考 一般の傷害保険（交通傷害保険・傷害保険等）は「危険なスポーツでの傷害事故は免
責（保障対象外）」と約款（契約上の取り決め）で定めています。つまり、モーターサイ
クルスポーツは一般的傷害保険では「危険なスポーツ」とされ保障されません。ご注意ください。

Q2.申込締切日と保障開始日とその支払方法は？

- 申込書の締切日は 毎月1日
事務局から保険会社へ提出する締切日が毎月1日。
事務局には毎月20日ごろまでご返送下さい。
- 保障の開始日は 翌々月の1日～
- 保険料は 第一回目から安心確実な口座自動振替

Q3.通院や自宅で療養中の場合は保障されますか？

残念ながら、通院・療養・療養は保障の対象外です。
また、たとえ入院であっても人間ドックなど検査を目的とする入院や出産
（異常出産は適用）も保障の対象外です。つまり治療入院が対象です。

Q4.現在ケガで通院中ですが、このプランに加入出来ますか？

残念ながらご契約出来ません。契約する時点が【健康な方】が条件です。
ケガをしっかりと治したあとにお申し込み下さい。
なお、現在リハビリ中の方、骨折されてキブス/プレート/針金等で固定中
の方、また医師の指導/指示をうけ薬を服用中の方、病気などで定期検査
を指示されている方、また妊娠中の女性の方も同様に申し込み出来ません。
また、ご職業・既往症などによってもお申し込みが出来ない場合もありま
すのでお問い合わせください。
「備えあれば、憂いなし」ということわざがあります。保険も重要なパー
ツです。マシンとともにメンタル部分もチューンナップが必要。
是非、ナニかが起こる前に、ご加入する事をおすすめします。

2 資料請求について

■お気軽にお電話で資料請求ください。

●9:30~16:00（土曜/日曜/祝祭日を除く）



0120-893104
MFJ保険事務局（直通）

045-201-2188

日本団体生命(株) 財日本モーターサイクルスポーツ協会 担当まで

■おハガキで資料請求する場合は下記要領で

■資料請求■

- 〒 ●住所(フリガナ)
- 氏名(フリガナ) ●性別
- 電話 ●生年月日
- ライセンス番号
または証券番号

追加契約を希望

積立型と比較希望

50 1014-0101415

東京都中央区
築地2-11-24
第29興和ビル 別館

財団法人
日本モーターサイクル
スポーツ協会 内
ライダーズビック保障プラン
保険事務局 係

- ご契約の際には「ご契約のしおり・約款」・パンフレットを必ずご覧下さい。
- ご職業・既往症・居住地域などによってはご契約が出来ない場合があります。
- このプランは【満期金】【配当金】がない掛捨て型の生命保険です。
- 加入年齢は5歳~60歳。医師の診断などはしない【告知なし 書類審査】です。
- 保障料は抜粋です。ご契約時点の年齢で1才ごみで保障料は異なります。
- 保障期間は【保険期間10年・自動継続型・主契約85才・特約80才】です。
- 保障料は一般契約よりも割安な【集団割引・月払保険料】です。
- 引渡保険会社 日本団体生命保険株式会社

Q5.モーターサイクルスポーツ中の保障を具体的に教えてください？

- 大腸骨骨折で90日入院。接合手術あり（抜釘手術含む）の場合。
- | | |
|----------------|------------------------------|
| 災害入院給付金 | 430,000円 (5,000円×(90日間-4日間)) |
| 手術給付金(給付倍率15倍) | 75,000円 (5,000円×15倍) |
| お支払い合計 | 505,000円 |

1事故ないし1入院のお支払対象期間は120日が限度です。
保険期間中の通算日数はケガ・病気とも700日間、計1400日間を保障致します。

Q6.加入資格、またモーターサイクルスポーツを卒業された場合は？

このプランは、財団法人、日本モーターサイクルスポーツ協会に登録され
た会員の方、またその家族に限り加入することが出来ます。保険料は一般
に契約するよりも割安な集団割引を適用した団体保険です。契約後、モ
ーターサイクルスポーツをご卒業されたとしても、MFJメンバーサービス
としてそのままの保険料で継続いたしますので大丈夫。なお保険期間は10
年間。さらに自動継続制度で終期85歳(特約80歳)まで保障。継続時がた
たとえ傷病中であってもその時点の年齢別保険料で自動継続します。

Q7.保障の額を引き上げたいのですが？また積立型はありますか？

まずはこのプラン【無配当新定期保険】にご加入ください。
なお、死亡保障額を引き上げたい方はお電話でご相談ください。
また【積立型】をご希望の方、無配当新定期保険と比較したい方はお電話
または資料請求時に【積立型と比較希望】と明記して下さい。

Q8.すでに加入しています。追加の契約が出来ますか？

■情報 すでにRIDER'Sビック保障プランをご加入されている方に情報。追加契約
が出来ますのでご活用下さい。【積立型】や従来型【医療保険】もあります
のでお気軽にご活用下さい。ただし【医療保険】は2口加入が出来ません
のでご了承ください。

すでに契約されている方も追加OK

MFJ 会員の皆様へ
RIDER'Sビック保障プランは【安い保険料】
【幅広い保障】でキミのレーシングライフを
24時間体制でサポートいたします。

トライアル

TRIAL

▼細則6 トライアル競技細則

1. トライアルの定義	104
2. 適用の範囲	104
3. コース	104
4. セクション	105
5. 持ち時間(タイムキーピング)	105
6. 練習	106
7. 出場に関する手続き	106
8. 技術規則関連	106
9. ペナルティ	107
10. 定義	108
11. 結果の記録	109
12. セクションの閉鎖	109
13. 結果と順位	109
14. 大会の中断	109
15. 同点	109
16. 賞	110
17. 抗議	110
18. 本規則の解釈	110
19. 本規則の施行	110
附 則	111

▼細則7 '98全日本トライアル選手権大会特別規則

1. 適用の範囲	113
2. セクション	113
3. 開催クラス	113
4. 参加資格	113
5. 出場料およびMFJ共済会掛金	113
6. ゼッケンナンバー	114
7. ヘルパー	114
8. 車両検査	114
9. スタート	115
10. 採点カード	115
11. 持ち時間(タイムキーピング)	115
12. ペナルティ	115
13. 賞および得点	115
14. 本規則の施行	116
'98全日本トライアル選手権開催日程	117

本年度トライアル規則は、規則記載内容の整理と簡素化を図るため、編集を改めました。加えてペナルティの解釈等で一部変更がありますが、これは競技規則はできるだけFIM規則と同一にする、という原則のためです。

この規則の訂正、解釈の統一、規則の変更などがありましたら、MFJライディングで公示されます。

トライアル 競技細則

1 トライアルの定義

トライアルとは、ライダーの技術および正確性が結果の基盤をなす、モーターサイクル競技である。

コースのなかにセクションが配置される。セクションとは走行するライダーの技術が観察され、減点が科される区間である。加えてコースを走行するにあたり、コースの一部またはコース全体に時間制限が与えられる。

コースはクロスカントリーの地形（小道、田舎道、林道など）で構成されても良いし、インディアに設定されても良い。

2 適用の範囲

国内のトライアル競技会は以下に記すトライアル競技細則、国内競技規則(24～38頁)、および各大会の主催者より配布される大会特別規則（公式通知）によって開催される。

3 コース

競技は大別して、同時にスタートして各セクションを自由にめぐり、コースを定めて順次セクションをめぐり、方式がある。大会特別規則（公式通知）で特に定めない限り、コースを定めて順にセクションをめぐり、方式が採用される。

コースとはスタート地点から最終ゴール地点まで、定められた順路全体を指す。

コースを定める場合、移動は原則として一方通行となる。例外的に交互通行となる場合、通路を分けけしたり、オフィシャルを配置するなど、安全上の対策がされる。

完走者¹となるためには、そのライダーの車両が、その車両自身の推進力かライダー自身の努力によって、コース全体を走りきらなくてはならない（主催者が特に認めた補助や、認められたショートカットコース²の使用は例外的に認められる）。

これに違反した場合、失格となる。

1) 距離

コース全長は、特別規則（公式通知）に記載される。

2) コース指示（コースマーク）

コースはコースマーク（案内矢印）、看板、コーステープによって表示される。

表示されたコースを正確に通らなくてはならない。コースから離れてしまったライダーは、離れてしまった地点からコースに復帰しなくてはならない。

3) コース内での補助

コース上では誰からでも品物を受け取ることができる（セクション内を除く）。ただし車両

1. 完走者：競技を完了した者。順位が認定されるための資格。

2. ショートカットコース：コースをセクション順にまわらずにパドックに戻るための、主催者により設定された通路、近道。

の補修、部品の交換などの作業はライダー本人がしなくてはならない（全日本選手権ではルールが異なる）。

4) ライダーパドック

主催者の定めるライダーパドック（選手用駐車場）内であれば、車両の補修、部品の交換などであっても、誰からでも補助を受けることができる。

5) コース移動に関する義務

コースの移動は原則として時速20km以下とし、観客の移動を最優先しなくてはならない。

4 セクション

大会のセクション数は、特別規則書（公式通知）に記載される。

すべてのセクションには、セクション番号が明確に表示されている。ライダーはその番号の順序に従って、第1セクションから順にトライしなくてはならない。

すべてのセクションには、“セクション入り口”を「IN」と、“セクション出口”を「OUT」と明確に表示される。

“セクション入り口”と“セクション出口”の間のセクション区間内は、右側がセクションテープ（色の区別はない）または赤色セクションマーカー。左側はセクションテープ（色の区別はない）または青色セクションマーカーによって示される。これらのセクションを示すために使われるテープ、杭、マーカー等すべてを「セクション表示物」と呼ぶ。

セクションの幅は、セクションマーカーによって制限される場合1.2m以上、セクションテープによって制限される場合2.0m以上の幅があることを原則とする。

セクション内にいた時間とは、車両のフロントホイールの中心（ホイールスピンドル）が“セクション入り口”の表示を通り過ぎてから、“セクション出口”の表示を通り過ぎるまでの時間をいう。“セクション入り口”“セクション出口”の表示をリヤホイールがフロントホイールより先に通過した場合“失敗³⁾”となる。

1) 各クラス用ゲート

ひとつのセクションを複数クラスが混走する場合、クラス別専用ゲート⁴⁾を設ける。この場合、各クラスとも自クラスのゲートを通過しなければならない。

他クラス用ゲートは通過しても、通過しなくても良い。しかし、セクション表示物の現状を変化⁵⁾させると“失敗”となる。

5 持ち時間（タイムキーピング）

1) 持ち時間

ライダーの持ち時間は特別規則に記載される。すべてのライダーに、完走するための持ち時間が同様に与えられる。

スタート時間に遅れたペナルティは1分まで毎に1点。20分以上の遅れは失格となる。

ゴール時間に遅れた場合、失格となる。（全日本選手権ではルールが異なる）

2) スタート時間管理

スタート時間コントロールは、スタート地点で行われる。

3) ゴール時間管理

特別規則（公式通知）に特別に記載されなかった場合、最終タイムコントロールは最終セクションを出てすぐに、明確に、そして良く見えるように設置される。しかし最終ゴール地点でゴールチェック（車両チェック）を受けるまで、ライダーは競技の管理下にある。

4) セクション持ち時間

セクション個々に持ち時間が設定される場合、持ち時間はどのライダーにも、どのセクシ

3. “失敗”：セクションの走行技術に関して、最も重い減点（5点）。定義は後に述べる。

4. ゲート：セクションを部分的に制限する関門のこと。左右一体のゲートマーカーで表示され、原則的に左右1.2m以上の間隔で制限される。

5. 現状の変化：テープ、マーカー、杭などに車両、ライダーが干渉して壊す、たるませる、移動させる、押し倒す、引きちぎる等の行為。

ョンにも同様に与えられ、時間管理の方法とともに特別規則に記載される。持ち時間以内にセクション完走が果たせなかったライダーは、そのセクションに関して“失敗”となる。

6 練習

設定されたコース中での練習と、セクションでの練習は、大会日以前であっても禁止される。これに違反した場合は失格となる。

大会会場で練習が認められる期間と場所は、特別規則（公式通知）に記載される。

大会期間中に練習することが認められている場所を、ウォーミングアップエリアと呼ぶ。

7 出場に関する手続き

1) 大会へのエントリー

出場申し込み方法の詳細は特別規則に記載される。申し込み用紙に必要な事項をすべて記入し、定められた出場料、および共済会掛け金を添えて申し込むこと。

締め切り日以降のエントリーは認められない。電話による申し込みなど、定められた以外の方法は認められない。

受理された車両は、同メーカー同型式の場合を除いて変更できない。しかし競技監督に書類で申し込み、許可が得られた場合は例外とされる。（手数料5000円）

2) エントリー費用

エントリー費用は特別規則に記載される。

3) ライダー、ヘルパーのゼッケンナンバー

ライダーおよびヘルパーは、主催者から指定されたナンバーを車両検査までに、規定の書体、規定の色分けて記入してはならない。

4) ヘルパーの登録

ヘルパーの登録は、全日本選手権にのみ認められている。

5) 出場者受付

大会当日にライダーとヘルパーの出場資格の確認を行なう。

確認するもの：MFJ ライセンス、参加受理書

出場者受付の時間は、特別規則（公式通知）に記載される。

8 技術規則関連

1) モーターサイクルの装備

車 両：車両は国際A級、国際B級はトライアル基本仕様（157頁）に合致した車両。国内A級以下はトライアル基本仕様と国内トライアルの仕様（177頁）に合致したMFJ公認車両でなくてはならない。改造されて型式が判別できない車両は、出場が認められない。

タ イ ヤ：国内A級以下では、タイヤはMFJ公認のものだけが認められる。

ガソリン：トライアル技術規則に適合するガソリンだけが認められる。

これらの規則に完全に適合しない場合、失格となる。

ヘルパーの使用する車両は、MFJ公認車両でなくてはならない。

2) ライダーとヘルパーの装備

MFJ公認ヘルメットの着用が義務づけられる。MFJ公認ヘルメットには、公認マークが貼付されている。

服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。手袋、および足首以上を保護する突出部分のないブーツなど革靴、またはゴム長靴が義務づけられる。

3) 音量規制

競技前に、車両の音量が車両規則に沿って計測される。不合格の車両は、基準に達するまで調整したり、部品を交換することができる。テストに合格したサイレンサーだけがマーキング⁶を受ける。

音量の規制値は、FIM方式（50cm離れて5000回転）で測定し、94dB/Aを超えないこと。

4) 車両検査

大会当日出場資格の確認後、ライダーとヘルパーの車両検査を行なう。検査を受ける車両は、ライダー、ヘルパー各1名に対し1台までに制限されている。

5) 部品のマーキング

部品がマーキングされる場合、その詳細が特別規則（公式通知）に掲載される。マーキングされた部品は、競技期間中交換が禁止される。

サイレンサーがマーキングされた後ダメージを受け、大幅に音量が増した場合、サイレンサーを交換するか走行を停止しなくてはならない。サイレンサーを交換した場合、オフィシャルに申し出なくてはならない。サイレンサーを交換した車両は、最終ラップのマシンチェック後、主催者によって車両が保管され音量検査がされる（規制値を超えていた場合、失格となる）。

6) ライダーの責任

マーキングが行われた場合、ライダーはパーツが適正にマーキングされたことを、自分の責任で確認してから競技を開始しなくてはならない。

7) 部品のチェック

主催者は、競技中にどの車両でも、いつでも部品をチェックすることができる。マーキングされた部品からマークが消えていた場合、その部品を交換したとみなされる。

9 ペナルティ

1) タイムペナルティと持ち時間関連

スタート遅れ1分まで毎に：	1点
スタート遅れ20分を超えた場合	失格
最終タイムコントロール遅れ	失格（全日本選手権ではルールが異なる）

2) 減点

セクションにおいて

足つき1回	1点	足つき2回を超える	3点
足つき2回	2点	失敗	5点
セクション持ち時間以内にセクション完走ができない			5点
セクショントライしないことを、ライダー本人がセクションオフィシャルに申告した			5点
ライダーまたはヘルパーがセクションを変更した			5点
セクション見落とし（次のセクションにトライしてしまった場合、見落とししたセクションに対して）			10点


ひとつのセクションでいくつかの減点が累積する場合、最も重いペナルティだけが適用される。

しかし以下のペナルティは加算される。

ヘルパーが、セクションでのペナルティに関するオフィシャルの裁定に反論した	追加5点
失敗後、速やかに指示した場所から去らない。	追加5点
セクションを1番から順にトライしなかった。	追加20点

6. マーキング：車検を受けた部品であることを証明するため、ペンキなど落ちにくい塗料で部分的に塗装する。

図A

セクショントライへの減点は0-1-2-3-5				
減点ゼロ おみごと/ クリーンです	減点1 残念、 足つき1回	減点2 残念なり 足つき2回	減点3 足バタバタ 3回以上	減点5 ミスりました 失敗です
				
トライを放棄すれば減点10				

以下の3)罰金、4)失格は審査委員会の承認に基づき、競技監督からライダーへ通告される。

3) 罰金

オフィシャルへの暴力的な言動や行動 5万円以下の罰金

4) 失格

ライダーは以下の行為により失格となる。

- オフィシャルへの暴力的な言動、行動（重大な場合）
- ヘルメットを着用しないでの走行
- コース指示の見落とし（コースまちがい）
- 競技中の車両、またはライダーの変更
- 認められないタイヤの使用
- 認められないガソリンの使用
- ゼッケンナンバーの変更
- コースを見失った地点以外からのコース復帰
- 競技期間中のセクションでの練習

10 定義

以下の定義は、その他の解釈が特別規則（公式通知）に明確に記載されない限り適用される。

1) 足つき

- *足つき以外の行為であっても、1点減点となる行為を便宜上足つきと呼ぶ
- 車両が前進し続けながら、ライダーのからだのどこかの部分、または以下に記す例外以外のマシンのどこかの部分が、地面に接したり、地形⁷によりかかった場合。
- 車両の前進の解釈のうえで、エンジンが停止したかどうかは関係ない。
- 足つきの解釈において、足を着いた場所がセクション内であってもセクション外であっても車両がセクション内にあれば、同じ足つきと解釈される。
- 地面に触れてペナルティの対象とならないのは：タイヤ、フットレスト⁸、エンジンケース⁹、エンジンカバー¹⁰

2) 失敗

- 車両がコースに沿った前方へ進むのを止めてしまったときの足つき
- 停止中の足つき、後方へ動いているときの足つき
- ライダーが車両から落ちてしまった。（車体片側に両足をついた場合を含む）
- 車両がセクションの境界を超えてしまったとき、超えたそのホイール（タイヤ含む）が接地した場合。
- ゲートマーカー、およびセクションマーカーが示す方向以外へ車両が進んでしまった。
- *複数クラスが混走するためクラス別ゲートが使用される場合、自分のクラス用のゲートだけを通過すれば良い。

7. 地形：地面、木、枝、壁、石、岩、杭など総称して「地形」と呼ぶ。
 8. フットレスト：ステップの別称。
 9. エンジンケース：ここではクラシクケースを指す。
 10. エンジンカバー：ここではアンダーガードを指す。

—セクション表示物の現状を変化させる。

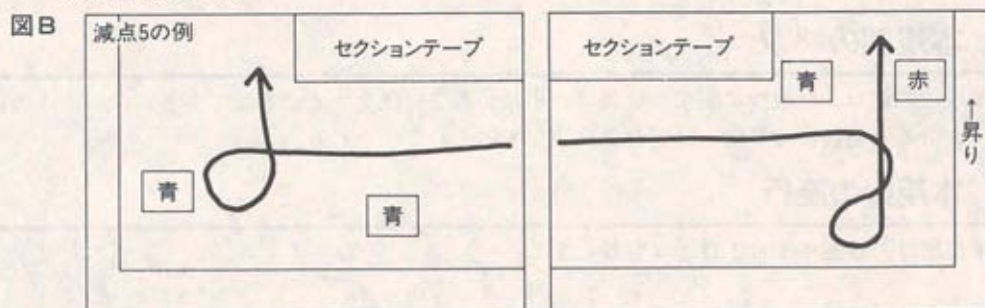
*複数クラスが混走するためクラス別マーカーなどが使用された場合で、自分のクラス用以外のセクション表示物の現状を変化させても減点の対象となる。

—セクション内で車両、またはライダーが外部から援助を受ける。

—セクション内でライダー自身の車両がつけたわだちちに再び触れたり、踏みついたり、または飛び越えた。(図参照)

—フロントタイヤまたはリヤタイヤがテープの上から外に出て、地形に接触した場合。

—“セクション入り口”“セクション出口”の表示を、リヤホイールがフロントホイールよりも先に通過する。



11 結果の記録

パンチカードが使用される場合、溶けにくい素材でできたカードが配布される。

ライダーは自分のスコアカードに各セクションでマークを受け、求められたときにはリザルトオフィシャルにスコアカードを手渡す責任がある。

12 セクションの閉鎖

競技時間が残されていても、最終ライダー通過後バックマーカー¹¹がセクションを閉鎖する場合がある。

同時スタート方式の場合、タイムスケジュールで定められた時刻にセクションが閉鎖される。

13 結果と順位

大会の優勝者は、[⑨ペナルティ] (107頁) による減点数がもっとも少ないライダーである。

14 大会の中断

大会が終了前に中断されてしまった場合、審査委員会はその大会を無効・取り消しとするか、その結果と賞が正当とするか、状況によって判断する。

15 同点

同点が生じた場合、0点が多いたライダーを勝者とする。依然として同点だった場合1点が多いたライダー、2点が多いたライダー、3点が多いたライダーという順序で判断する。

それでも同点だった場合、少ないタイムペナルティ (または、計っていたら所要時間) で完走したライダーを勝者とする。

11. バックマーカー：オフィシャルの役職名。セクション閉鎖を指示する。

16 賞

得点は国内競技規則第3章 [㉔公式得点] (35頁) による。

17 抗議

抗議は国内競技規則第3章 [㉕抗議] (37頁) による。

セクション審判が下したジャッジには抗議できない。

車両の分解検査に要した費用は、抗議不成立の場合提出者、抗議成立の場合対象者が負担する。費用の算定は車検長が行なう。

18 本規則の解釈

本競技細則および競技に関する疑義は、事務局あて質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定を最終的なものとして示される。

19 本規則の施行

本規則は、1998年1月1日より有効とする。



附則 1 判例集

以下は現在までの適用例をまとめたものです。規則に準じて適用されます。

マナーに関することから

競技中の事故や、競技の参加を取りやめる（リタイヤする）場合は、すみやかに大会本部へ連絡しなくてはならない。

ライダーはセクションに入る準備ができしだい、手を挙げてセクションオフィシャルに合図しなければならぬ。

ライダーの装備に関して

1. MFJ 公認ヘルメットであっても MFJ の公認マークの貼付されていない場合、特別検査によって公認ヘルメットであることが確認され、かつ安全性が確認されればその競技で使用することができる。（検査料1000円が必要）

競技の進行に関して

2. ライダーは、スタートの合図を受けて始めてエンジンを始動することができる。
3. ライダーはセクション内で一切の援助を受けてはならないが、“失敗”後は例外である。

ライダーへの援助

4. 許可された場所以外で、外部から整備の援助（部品の交換を含む）を受けた場合、失格となる。

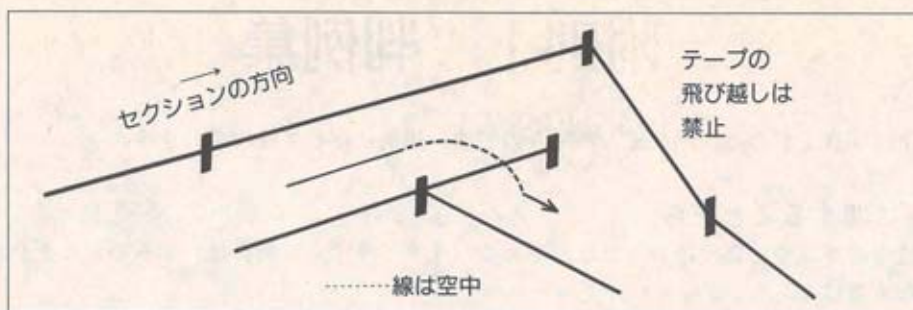
セクション関連

5. ゲート通過後に再びゲートを逆に通過した場合、ゲート不通過とみなされる。
6. 複数クラスが混走するためクラス別ゲートが使用される場合で最下位クラス用ゲートが設けられていない場合、同クラスはセクション内のどこを通っても良い。

ペナルティ関連

7. 以下の場合、車両が前進していれば1回の足つきとみなす。
 - 一体の部分で手、足についてはその付け根から先を同一とみなす。したがって足つきと同時にひざを接地しても、1回の足つきである。
 - 足つき状態でつま先とかかとを交互についた。
 - 片足を軸にして、車両を回転させた。
 - 手を立ち木、壁についた。
 - 身体または車両が地形にもたれかかり、バランスを修正した。
8. 以下の場合、“失敗”とみなす。
 - 上り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤが浮いてタイヤがバックした。
 - テープを飛び越えた（112頁図参照）。

図



9. 以下の場合、“減点”または“失敗”とみなされない。

- セクション内でライダー自身の車両がつけたわだちに触れた場合で、リバースやホップアップの最中。
- ライダーの身体や車両の部分が地形に接触したが、明らかなバランス修正はしなかった。
- セクション表示物への単純な接触で、現状は変化しなかった。
- テープの上からフローティングターンなどによりフロントタイヤ、リヤタイヤのどちらか片方がテープ外に出て、地形に接触しないでテープ内に着地した。
- ゲートマーカー、セクションマーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回で、テープ内にあるタイヤの接地面はマーカーの内側を通った。
- V字型の地形でフットレスト（ステップ）がかみ込んで停止した場合、フットレスト（ステップ）に足が乗っていれば“失敗”にならない。そのフットレスト（ステップ）上のつま先、足の裏部分が接地していても、意識的なバランス修正が無い場合、減点の対象とならない。
- エンジンカバー（アンダーガード）が引っかかりシーソー状態となり、エンジンが停止しても“失敗”とならない。この状態から足を接地させずにエンジンを始動させ、競技を続行することもできる。

'98全日本 トライアル選手権大会 特別規則

1 適用の範囲

トライアル全日本選手権は以下に記す全日本選手権特別規則、トライアル競技細則（104～110頁）、国内競技規則（24～38頁）、および各大会の主催者から配布される大会特別規則（公式通知）によって開催される。

2 セクション

大会前日に査察が行なわれ、査察団によって最終的にセクションが認定される。査察団は審査委員長を団長とし、競技監督、セクション設定責任者、選手会代表で構成される。

3 開催クラス

国際A級部門、国際A級スーパークラス部門、および国際B級部門とする。

4 参加資格

国際A級スーパークラス：

前年度全日本選手権国際A級スーパークラスポイント獲得者。国際A級ランキング上位3名。
当該年に有効なライセンス所持者。

国際A級、および国際B級：

それぞれ当該年に有効なライセンス所持者。

ヘルパー：

当該年に有効な国内B級以上のライセンス所持者。

5 出場料およびMFJ共済会掛金

	総額	内訳	
		出場料	共済会掛け金
国際A級部門(スーパークラス含む)	12,000円	11,700円	300円
国際B級部門	12,000円	11,700円	300円
ヘルパーライダー	6,000円	5,700円	300円

参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理書、公式通知等が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛け金はいかなる理由があっても返還されない。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛け

金が返還される。(申込者が必要な手続きを怠った場合は、これに当てはまらない)

6 ゼッケンナンバー

全日本選手権の年間指定ゼッケンは以下の基準による。

国際A級

- (1) 前年度全日本選手権国際A級スーパークラス上位から指定する。(ポイント獲得者)
- (2) 次いで、国際A級上位から指定する。(ポイント獲得者)
- (3) 次いで、国際B級からの昇格者を指定する。

国際B級

- (4) 国際A級への昇格者を除く、前年度のランキング上位から指定する。(ポイント獲得者)
- (5) 上記以外は大会ごとに指定する。

ナンバープレートの色は以下のとおり。

国際A級スーパークラス：赤地黄色文字

国際A級（スーパークラス除く）：赤地白文字

国際B級：緑地白文字

国際A級のヘルパー（スーパークラス含む）：白地赤文字

国際B級のヘルパー：白地緑文字

ゼッケン番号は、ヘルパーを登録するライダーと同じ。

7 ヘルパー

1) ヘルパーの登録

ライダー1名に対し、1名のヘルパーが認められる（登録できる）。

ヘルパーは、ライダーの出場申込みの際同時に登録する必要がある。この場合ライダーは、登録したヘルパーの行動すべてに責任を負うことを認めたものとみなされる。(ヘルパーの受けた罰則は、登録したライダーがその罰則を受ける。)

登録したヘルパーは、有資格者であれば変更が認められる。この場合大会当日の出場者受付に変更手数料（1000円）を添えて申し込まなければならない。

ライダー単独でエントリーした場合、大会当日のヘルパー登録はできない。

大会により、ヘルパーの登録を認めない場合がある。

2) ヘルパーの義務

ヘルパーミーティングが開催される場合、これに出席しなくてはならない。

移動コースは、特に指示の無い場合ライダーと同一とする。逆走はできない。

ヘルパーは、登録したライダーと同時にスタートしなくてはならない。

3) ヘルパーの行なって良い行為（下記以外は認められない）

パドック以外での車両整備（部品の交換を含む）は、選手本人およびその選手に登録されたヘルパーのみが行なうことができる。

ヘルパーは原則としてセクション内に立ち入ることはできない。ただしトライ失敗の際の補助として、その選手に登録されたヘルパーがセクションオフィシャルの許可を受けた場合に限り、そのセクション内への立ち入りが認められる。

8 車両検査

競技前の車検に合格した車両にはステッカーが貼付され、以下の部分にマーキングを行なう。マーキングを受けた部品以外は、車検後でも交換することができる。

パーツ名	ペイント部分
フレーム	フレーム前方(ステアリングヘッド)右側
クランクケース	右側
サイレンサー	サイレンサー本体

9 スタート

第1戦のスタート順序はゼッケン下位からとする。

第2戦以降は、ポイント獲得者以外のゼッケン下位の者から先にスタートし、次いで前戦までのランキング下位の者からスタートする。

10 採点カード

- 1) ライダーはスタート時に採点カードを受け取り、各ラップごとに交換すること。
- 2) セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認すること。
- 3) セクションをトライしてもパンチを受けないで次のセクションへ入った場合、前セクションは“セクション見落とし”とみなされる。
- 4) 採点カードの破損等によって、採点が確認できない場合、当該セクションはエスケープとみなされる。
- 5) 採点カードは選手自身がパンチを受け、管理しなくてはならない。
- 6) 採点カードを紛失した場合、失格とされる。
- 7) 採点カードはコンピューター処理されるので、折り曲げたりしてはならない。
- 8) 採点カードの交換場所は、大会特別規則（公式通知）に示される。

11 持ち時間（タイムキーピング）

- 1) ゴールに遅れたライダーは、1分まで毎に1点の減点が科せられ、20分以上の遅れは失格とする。
- 2) ゴールタイムチェックを受けたライダーは、定められたコースに従い10分以内にカード交換場所に戻り、採点カードを係員に提出すること。この時点でゴール完了となる。ゴール完了前に指定されたコース外に出たり、パドックに入ったりしてはならない。

12 ペナルティ

トライアル競技細則に定める減点に加え、下記減点を科す。

- 1) セクションで持ち時間
各セクションごとに2分の持ち時間が与えられ、2分以内にセクションアウトできなかった場合は、“失敗”となる。

13 賞および得点

- 1) 各大会ごとに国際A級、国際B級の各クラス（スーパークラスは除く）へベストクリーン賞が与えられる（クリーン数が同数の場合は、成績が上位のものとする）。
- 2) 国際A級、国際A級スーパークラス、国際B級部門全日本選手権ランキングの得点
 - (1) 得点はMFJ国内競技規則第3章 [②公式得点] (35頁) によって与えられる。
 - (2) 日本グランプリトライアル大会については、規定の得点にさらに3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
 - (4) 国際A級スーパークラスは、出走台数に関わらず上位10位までにポイントが与えられる。

(5) 詳細は全日本選手権ランキング決定基準(221頁)に示される。

14 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則、トライアル競技細則による。

1998年1月1日
全日本トライアル選手権
大会事務局長



'98全日本トライアル選手権シリーズ開催日程

開催日	大会名	出場申込先	会場	出場申込期間
2月28日(土) 3月1日(日)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第1戦 九州大会	MFJ九州 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-11-9 メゾンド水巻1F-B ☎092(473)2616	長崎県 トライアルパーク 宝蔵寺	1月20日(火) 3月1日(日)
3月14日(土) 3月15日(日)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第2戦 近畿大会	MFJ近畿 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(534)6422	兵庫県 猪名川サーキット	2月3日(火) 2月12日(水)
5月9日(土) 5月10日(日)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第3戦 関東大会	MFJ関東 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-31-11 共栄大塚ビル5F ☎03(3943)6105	茨城県 真壁トライアルランド	3月31日(火) 4月9日(水)
7月25日(土) 7月26日(日)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第4戦 北海道大会	MFJ北海道 〒007-0823 北海道札幌市東区東福来3条1丁目4-3 札幌地区軽自動車会館2F ☎011(782)1492	北海道 夕張市	6月16日(火) 6月25日(水)
9月5日(土) 9月6日(日)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第5戦 中国大会	MFJ中国 〒733-0036 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	岡山県 原山トライアルパーク	7月28日(火) 8月6日(水)
10月3日(土) 10月4日(日)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第6戦 中部大会	MFJ中部 〒466-0812 愛知県名古屋市中区八事富士見1603 ☎052(833)9676	岐阜県 坂内バイクランド	8月25日(火) 9月3日(水)
10月17日(土) 10月18日(日)	MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第7戦 第26回日本グランプリ トライアル大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900	宮城県 スポーツランド SUGO 特設会場	9月8日(火) 9月17日(水)

'98トライアル主要競技会カレンダー

開催日	大会名	出場申込先	会場
11月8日(日)	トライアルグランドチャンピオン大会	MFJ中部トライアル委員会 〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町諸輪字東脇59-99 鈴木唯一様方 ☎05613(8)0736	岐阜県 坂内バイクランド

ドラッグレース

D RAG RACE

▼細則 8 ドラッグレース競技細則

1. 適用の範囲	119
2. ドラッグレース	119
3. レース出場車両	119
4. 参加資格	119
5. 出場申し込み	119
6. 参加受理	120
7. セッケン・ナンバー	120
8. ライダーの装備	120
9. 出場受付	120
10. 出場車両の変更	121
11. 車両および装備の検査	121
12. スタート方法とスターティングシステム	121
13. スタート手順	122
14. 競技	123
15. 順位の決定	124
16. 計測システムと計時結果	125
17. 禁止行為	125
18. リタイヤ(棄権)と停止	125
19. 賞典	125
20. レース終了後の車両保管と再車検	125
21. レースの成立	126
22. レースおよび大会の延期・中止等	126
23. 抗議	126
24. 違反に対する罰則	126
25. 本規則の解釈	126
26. 本規則の施行	126

▼細則 9 '98全日本ドラッグレース選手権大会特別規則

1. 公示	127
2. 開催種目と競技会の日程	127
3. 追加のクラス	127
4. コース	127
5. 大会審査委員会	127
6. 参加定員	127
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	127
8. ビット要員	127
9. セッケンナンバー	128
10. 公式予選	128
11. 決勝レース	128
12. コース選択	128
13. 賞および得点	128
14. 主催者の権限	129
15. 本規則の施行	129

※'98年度の規則変更点は太字で示されています。

ドラッグレース 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技に基づき、すべての国内のドラッグレース競技会に適用される。

2 ドラッグレース

- 1) ドラッグレースとは完全にクローズドされたコースで行われ、2台の車両が先着を競う競技である。
- 2) 区間タイム (Elapsed Time : 以降 E.T. という) を測定するコースの長さは下記3種類が設定される。
 - ① SS1/4マイル (402.33m)
 - ② 1,000フィート (304.8m)
 - ③ SS1/8マイル (201.165m)

3 レース出場車両

- 1) 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 2) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。

4 参加資格

- 1) エントラント及びライダー
エントラント及びライダーは、1998年度版 MFJ 国内競技規則第3章〔⑨競技参加者〕(31頁)に合致していなければならない。

5 出場申し込み

- 1) 出場申込場所は、大会特別規則の定めるところとする。
- 2) 出場申込手続き
 - (1) 各クラスとも所定の申込書に必要事項をすべて記入し、出場料および MFJ 共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に、申し込み書を提出しなければならない。
 - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締め切り当日の消印のあるものが有効となる。
 - (4) 電話による申込及び締め切り日以降の申込は一切受けない。

6 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ 共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合のみ出場料、MFJ 共済会掛金が返還される（申込者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない）。

7 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査以降においても、判断しにくいと判断された場合には修正が要求される場合がある。
- 4) 最初決められたゼッケン・ナンバーは、年度末まで変更できない。

8 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
 - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJ が公認したものでなければならない。
 - (2) MFJ の公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付される。
 - (3) 競技会の車両検査受付時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJ の公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
 - (4) MFJ 公認ヘルメットであっても、MFJ の公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料（1,000円）を支払い、特別に検査を受けなければならない。
- 2) ライダーの服装
 - (1) レーシングスーツ
 - ① 皮もしくは、同等の素材であること。MFJ 公認スーツが望ましい。スーツはワンピースデザインもしくはウエストでつながるジッパータイプ。



MFJ が公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いている。

- (2) ブーツ・グローブ
ブーツはくるぶしが完全に覆われるもので、皮製、サイドボタンタイプ。
グローブは、手を覆うサイドボタンタイプ。
- 3) 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

9 出場受付

- 1) 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者が MFJ ライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。

- 3) MFJ ライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

10 出場車両の変更

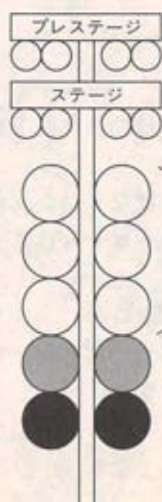
- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(34頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

11 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査の車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済ませなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車両検査持ち込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られる。
- 5) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 6) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

12 スタート方法とスターティングシステム

- 1) スタート方法はスタンディングスタートとし、下記の2種類とする。クラス毎のスタート方法は大会特別規則に示す。
 - (1) プロスタート
スリーアンバーライト(プレスタートライト)(3個同時)が点灯してグリーン(スタート)ライトが点灯までの間隔0.4秒。
 - (2) スtockスタート
スリーアンバーライト(プレスタートライト)(上よりカウントダウン)が点灯してグリーン(スタート)ライトが点灯までの間隔0.5秒。
- 2) スターティングシステム(クリスマス・ツリー)



クリスマス・ツリー

Pre-Stage light : スタートするために、まずプレステージライトを点灯させる。

Stage light : デュアルスタートの場合、対戦相手がプレステージライトを点灯させる前にステージライトを点灯させてはならない。

Three Amber Light : ステージライト点灯後1~5秒後に点灯。

(Pre-Start light)

① Pro-Start : 3段同時点灯。

② Stock-Start : 上段より順次点灯。点灯間隔0.5秒。

Green-Start light : スリーアンバーライト(プレスタートライト)点灯後

① Pro-Start : 0.4秒、② Stock-Start : 0.5秒で点灯。

Red light : Foul Start : グリーンライトが点灯する前にスタート/ガードビームを横切った場合に点灯。

3) スタートライン (ビーム)

スタートエリアには下図のようなライン/ビームがある。



- (1) ブルーライン (FIM イベントのみ設置)
スターターの合図でステージングする際、フロントホイールがブルーラインを超えたら何者も車両に触れてはならない。
- (2) プレステージビーム
このビームを横切るとプレステージライトが点灯する。
- (3) ステージ/スタートビーム
このビームを横切るとステージライトが点灯する。
スタートの計時を開始するための光電管。
- (4) ガードビーム (任意に設置)
車両の低い位置に着いている部品がステージビームを遮断したままの状態ではフライングスタートが切られることを防止する。
ステージビームが遮断されたままガードビームが作動した場合、ファールとなる。

13 スタート手順

- 1) バーンアウト
 - (1) クラスにより場所を制限する。
 - (2) バーンアウトの際にセンターラインを超えてしまっても失格にはならない。
 - (3) バーンアウト後ピットクルーが安全確認のために車両進行方向修正を行なう以外に車両に触れることは禁止される。
 - (4) **ドライホップは1回まで許可される。**
- 2) コース選択
 - (1) タイムトライアルでは、コースイン順に競技役員の指示に従って行われる。
 - (2) ラダー競技では、前のヒート (公式予選含む) のタイムの良い方に選択権がある。
- 3) ステージング
 - (1) コースインした時点でスタート準備が完了していること。
 - (2) セルフスタートし、セルフステージしなければならない。
※セルフとは車両のエンジン動力で行うことを言う。
 - (3) ステージビームと車両の位置を確認するために機械や電子装置等補助具を使用してはならず、ライダーの肉眼のみで行うこと。
 - (4) ステージビームに進む前にプレステージライトを点灯させなければならない。デュアルスタートの場合は両者がプレステージライトを点灯するまでステージビームに進んではならない。
 - (5) スタートするためには、プレステージライトを点灯させなければならない。ステージ完了前にステージライトを消灯した場合は、失格となる。ただし決勝ヒートにおいて両者がステージライトを消灯してしまった場合は再スタートするものとする。
 - (6) ステージのために与えられる時間のリミットはスターターに委ねられる。このリミットを越えた場合およびスターターの指示通りステージしない場合失格となる。

(7) ステージ完了後ステージし直すことは禁止される。

4) スタート

(1) クリスマスツリーのグリーンライトが点灯した時をスタート合図とする。

(2) 決勝レースにおいてステージ完了後、スリーアンバーライトが作動（点灯）する前にステージライトを消灯した場合は、当該ヒート無効とする。

(3) リアクションタイム（以下RTと呼ぶ）によって反則とみなされる場合を以下に示す。

① ファールスタート

a. プロスタートの場合：RTが0秒以上～0.4秒未満

b. ストックスタートの場合：RTが0秒以上～0.5秒未満

② ジャンプスタート

RTが0秒未満

14 競技

競技方法は次の2種類とする。

1) タイムトライアル競技

2～3回のタイムトライアルを行いE.T.（区間タイム）を競う。

2) トーナメント競技

(1) 公式予選

① 決勝のライダーポジションを決定するために、タイムトライアルを行なう。

② 各ライダーは、最低1回公式予選に出走しなければならない。

③ 予選の優先順位

a. 有効なスタートを行なったライダーのE.T.順。

b. 有効なスタートを行なったがゴールに到着しなかったライダー（タイム表示は59.999秒となる。複数の場合はRT順）。

c. ファールスタートのライダーのE.T.順。

d. ファールスタートでゴールに到着しなかったライダー（複数の場合はRTが0.4秒に近い順）。

e. 有効なスタートを行なったが、ファールスタート以外の当該ヒート無効の反則をした者（複数の場合はRT順）。

※ジャンプスタート（RTが0秒未満の場合）はE.T.は計測不能で基本的に予選不通過であるが、予選出走台数が決勝制限台数に満たない場合、競技監督は出走を認め、ライダーポジションを決定することができる。

(2) 決勝

① 決勝レース出場台数は、大会特別競技規則に示される。

② 決勝出走台数は、原則として8台または16台とし、決勝出走組合せ（ライダーポジション）は、タイムトライアルの順位によって下記の表の通りとする。

③ 9～12台の車両で競う決勝レースのライダーポジションは、競技監督の決定による。

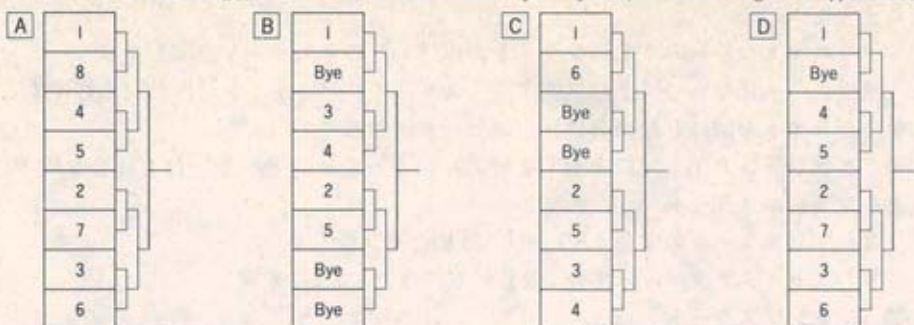
④ 一度決まったペアリングは主催者が必要としない限り変更はできない。

⑤ 決勝レースは、先にゴールラインを通過した者を勝者とする。

ドラッグレース競技細則

競技者が8名以下の場合

American Pro ladder by-run system(FIM Road Racing Rules Appendix028)



A : 8名ラダーの組み合わせ

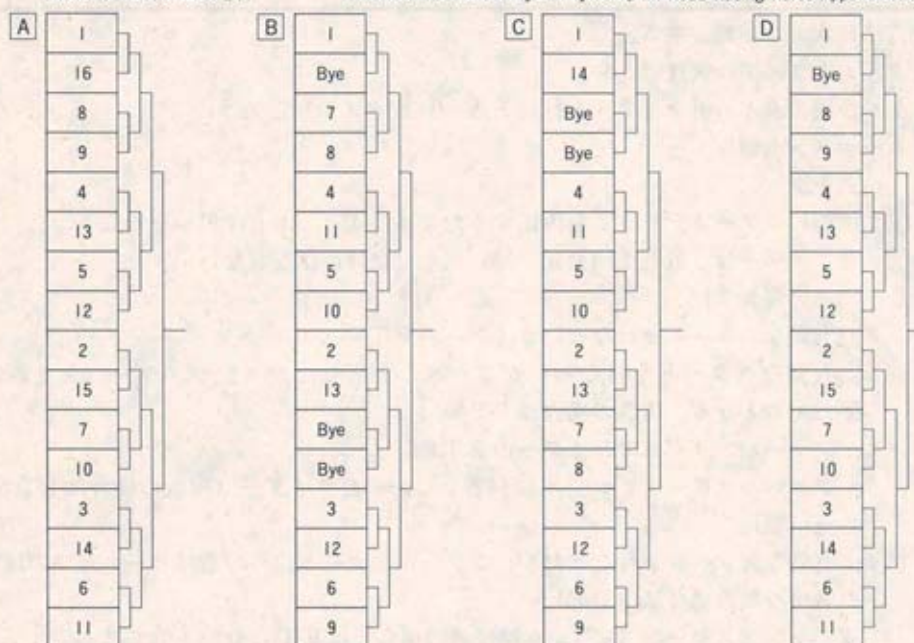
C : 8名ラダーで6台参加の場合の組み合わせ

B : 8名ラダーで5台参加の場合の組み合わせ

D : 8名ラダーで7台参加の場合の組み合わせ

競技者が13名以上の場合

American Pro ladder by-run system(FIM Road Racing Rules Appendix028)



A : 16名ラダーの組み合わせ

C : 16名ラダーで14台参加の場合の組み合わせ

B : 16名ラダーで13台参加の場合の組み合わせ

D : 16名ラダーで15台参加の場合の組み合わせ

15 順位の設定

タイムトライアル、公式予選	トーナメント、決勝レース
<ol style="list-style-type: none"> 1. E.T.のベストタイム早い者が上位。 2. 1.が同タイムの場合、トップスピードの速い者が上位。 3. 2.が同速度の場合、リアクションタイムの早い者が上位。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 勝者の決定 <ol style="list-style-type: none"> (1) 2台同時にスタートし、先にゴールラインを超えた者が勝者。 (2) (1)で同着の場合、E.T.の早い者が勝者。 (3) (2)が同タイムの場合、トップスピードの速い者が勝者。 (4) (3)が同速度の場合、前ヒートのE.T.の速い者が勝者。 (5) (4)が同タイムの場合は大会審査委員会の決定による。 2. 順位の決定 <ol style="list-style-type: none"> (1) 最終ヒートの勝者がWINNERとなる。 (2) 最終ヒートの敗者がRUNNER-UPとなる。 (3) 3位以下の順位は当該ライダーの完了したヒートごとのE.T.順に決定する。

16 計測システムと計時結果

1) タイム計測

- (1) E.T.を光電管計測装置を使用し、1/1000秒単位まで計測を行う。
- (2) 光電管計測装置が故障、事故等によって使用できない場合はストップウォッチを使用し手動計測で1/10秒単位まで計測する。

2) タイム発表は原則としてE.T.のみとする。

3) タイム計測ができない場合およびレース中の反則行為の取り扱い。

(1) 当該ヒート無効	① ステージング完了前にステージライトを消灯した場合。 ② ステージング後スタートシステム作動前にステージライトを消灯した場合。 ③ 相手側がプレステージまたはステージングしてから著しくプレステージまたはステージングが遅い場合。 ④ ファールスタート ⑤ センターライン等コースを区分するラインを超えた場合。 ⑥ コースの設備、計測装置に接触した場合。 ※ラインを超えるとは、タイヤの一部でもライン塗装上を超えることを言う。ただしデュアルスタートで相手との接触を避けるためにラインを超えた場合は反則とは見なされない。
(2) 計測不能	① グリーンランプ点灯後5秒以内にスタートしない場合。 ② ジャンプスタート
(3) 59.999秒	タイムトライアル・予選においてスタート後ゴールラインを超えられない場合。

4) 速度計測

ゴールラインの手前に設置された光電管によりゴールラインの通過速度(トップスピード)を測定する。

17 禁止行為

次の行為を行った場合失格となる。

- 1) パーンアウトで車両を後退させることができない場合：旋回してスタートラインへ戻ることは禁止される。
- 2) スタート前に2回エンジンが止まった場合：エンジンの再始動は1回のみ許される。
- 3) 競技役員の許可なしにコースを逆走した場合。
- 4) パドック内、リターンロードでの最低速度遵守違反。

18 リタイヤ(棄権)と停止

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章 [19競技] (34頁) による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。

19 賞典

- 1) 賞典は大会特別規則または公式通知にて示される。
- 2) 賞典は参加台数により制限される場合がある。この制限は、大会特別規則または公式通知にて示される。
- 3) 全日本選手権、地方選手権ポイントは、細則9 [13賞および得点] (128頁) による。

20 レース終了後の車両保管と再車検

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置により競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなくてはならない場合がある。
- 2) エンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再車検を行う

ことがある。

- 3) 出場者は、必要に応じて車両保管を行うことがある。

21 レースの成立

1) 成立の条件

各クラスの参加者が全員1回の走行が終了していればその時点で競技は成立したものとす。走行とは、タイムスケジュールに基づき競技役員の指示によってコースインを完了した以降をいう。この判定に対する抗議は受け付けない。

2) レース中断/中止時の順位の設定

タイムトライアル、予選	トーナメント、決勝レース
1. 完了したヒートのE.T.のベストタイムが速い者が上位。	1. 公式予選のみ完了の場合、タイムトライアルに準ずる。
2. 1.が同タイムの場合、ドップスピードの速い者が上位。	2. 完了したヒートの勝者のE.T.の速い者が上位。
3. R.T.の速い者	3. 完了したヒートの敗者のE.T.の速い者が上位。
4. 3.が同じ場合、大会審査委員会の決定による。	

22 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申込後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ 共済金掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

23 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔②抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

24 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔②違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

25 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は事務局宛に質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

26 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。本規則は、1998年1月1日から施行する。

'98全日本 ドラッグレース選手権 特別規則

1 公 示

全日本ドラッグレース選手権は、FIM 国際スポーツ憲章に基づいた MFJ 国内競技規則と各大会の特別規則に基づき MFJ 公認の国内格式として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。
ドラッグレースライセンスA級 プロストックバイク (PB)
- 2) 競技会の日程は後日、ライディングにて発表。
- 3) ドラッグレースA級所持者であっても全日本選手権に出場するためには、一定の制限が設けられる場合がある。

3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されてもよい。但し下記の条件が満たされなければならない。パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選・決勝レースを設定できること。

4 コース

コースは MFJ が国内公認したコースとする。

5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は、MFJ が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は次席の者がこれにあたる。

6 参加定員

制限が設けられる場合がある。

7 出場料および MFJ 共済会掛金

出場料：40,000円 (MFJ 共済会掛金1,500円 (旧2,000円)含む)

8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して3名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要である。エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認めら

れない。

9 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

10 公式予選

- 1) 公式予選は、タイムトライアル方式により最低1回行う。

11 決勝レース

- 1) 16台によるトーナメント（勝ち抜き方式）によって行われる。また参加台数によって32台のトーナメントを行う場合がある。

12 コース選択

- 1) コース選択は、経過タイムにより決定する。予選のE.T.（直線の区間タイム）の速い方が第1ヒートのレーン選択ができる。続くヒートでは、前回のヒートの速い方がレーン選択ができる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者が優先される。

13 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点はトーナメント競技では、下記のポイント表の通りとする。

Winner (1位)	Runner-up (2位)	Semifinalists (3位~4位)	Quarterfinalists	1st-round loser
150	120	90	60	30

- a) 予選に参加し予選を通過して決勝トーナメントに残ったライダーには、10ポイント追加される。
- b) 予選に参加したライダーに、その順位により下記のポイントが与えられる。

予選	1位………60	5、6位………30
	2位………50	7、8位………30
	3位………40	9~12位………20
	4位………40	13~16位………10
- c) 大会を通じてベストE.T./ベストR.T./トップスピード（予選を含む）をマークしたライダーにそれぞれ20ポイント追加される。
- d) 競技が当初よりタイムトライアルで行われた場合、a)、b)項は削除し、下記のタイムトライアル競技の〈ポイント表〉に従いポイントが与えられる。

また、トーナメント競技において不可抗力により競技の途中で続行が不可能になった場合は、その時点で決定された順位により、下記のタイムトライアル競技の〈ポイント表〉に従いポイントが与えられる。この場合、a)、b)項のポイントは有効となる。
- e) 出走台数が2台に満たない場合はポイントは与えられない。

タイムトライアル競技では、得点は、下記の〈ポイント表〉の通りとする。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	16位
150	130	110	100	90	80	70	60	55	50	45	40	35	30	25	20

※ドラッグレースの全日本選手権・地方選手権は上記の得点を公式得点とする。

14 主催者の権限

- 1) 参加申込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの指名登録又は変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダーピット要員およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

15 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

1998年1月1日
全日本ドラッグレース選手権
大会事務局長

※'98年 MFJ 全日本ドラッグレース選手権日程は調整中であり、後日ライディングにて発表する。

用語の解説

- ラダー (Ladder)
トーナメント競技の組み合わせ表のこと。
- E.T. (Elapsed Time)
スタートからフィニッシュまでの区間タイムのこと。
- R.T. (Reaction Time)
リアクションタイムのこと。スリーアンバーライトが点灯してから車両が動き出すまでの反応時間。
- バーンアウト (Burn Out)
タイヤのグリップ向上を目的として、スタートエリアに着く前に指示されたエリアで水を撒き、後輪を空転させて暖める行為。
- ドライホップ (Dry Hop)
バーンアウト後にタイヤに付着したタイヤかすを飛ばしたり、水を乾燥させるために行う短い前進。
- ステージング (Staging)
スタートエリアに入り、プレステージライトを点灯させるために移動を始めてから、ステージライトを点灯させるまでの一連の行動。



大阪支店 TEL.0727(24)1555
大阪府箕面市豊野2-4-0
●新御堂筋・171号交差点そば



練馬店 TEL.03(3904)3147
東京都練馬区高野台4-19-5
●環八通り・目白通り交差点そば



藤沢店 TEL.0466(81)2757
神奈川県藤沢市亀井野3263-4
●藤沢町田跡の、藤沢バイパスからは入れません



平塚店 TEL.0463(24)2888
神奈川県平塚市西之宮427-1
●129号線より平塚駅に向いすぐそば

あなたの探し物、ここにあります。

コミネショップは現在14店。ウェア・パーツからアクセサリ・オイルまで国内外の一流ブランドを取り揃え、皆様のご来店をお待ちしております。



世田谷店 TEL.03(3327)7732
東京都世田谷区下高井戸1-10-19
●20号線沿い、京王線村上水駅そば



世田谷2 TEL.03(5300)2087
東京都世田谷区下高井戸1-18-14
●世田谷店から調布方面に30m



246・駒沢店 TEL.03(5486)4258
東京都世田谷区駒沢3-16-13
●246号線沿い、新町1丁目交差点そば



多摩店 TEL.0425(51)9623
東京都福生市馬川1115-7
●横田基地第5ゲートそば



相模原店 TEL.0427(52)3686
神奈川県相模原市橋山2-15-0
●相模原市役所通り沿い



千葉店 TEL.043(232)1884
千葉県千葉市中央区都町3-22-5
●126号、都町五差路そば



鳩ヶ谷店 TEL.048(284)2961
埼玉県鳩ヶ谷市桜町1-6-11
●122号線沿い、川口高校そば



東松山店 TEL.0493(23)0335
埼玉県東松山市今泉277
●旧道254号沿い



高崎店 TEL.0274(42)3215
群馬県高崎市立石11221
●関越自動車道・17号線交差点そば



太田店 TEL.0276(32)0438
群馬県太田市南朝通99-1
●新橋古河線沿い

アンサー/ダイネーゼ 日本代理店

KOMINE

株式会社コミネオートセンター

本社・〒111-0056 東京都台東区小島2-20-11
TEL03(3862)9811(代) FAX03(3866)5134(代)

ライダーが知りたい
情報フルパック!

モーターマガジン社

MM4大ニ輪雑誌!!

ライダーズスピリットを結集!

オートバイ

毎月1日発売! 定価570円

We're Windy people!

Mr. Bike

毎月6日発売! 定価300円

FIRST MAGAZINE FOR FRESH RIDER

Mr. Bike BG

毎月14日発売! 定価330円

Magazine for Bike People

GOGGLE

毎月24日発売! 定価500円

この世で一番カッコイイ乗り物は、
オートバイだ。

モーターマガジン社

〒105 東京都港区新橋5丁目33番10号

☎03(3434)3151(代表)

+++++ベストライダーの皆さまへ+++++

ベストライダーに欠かせない

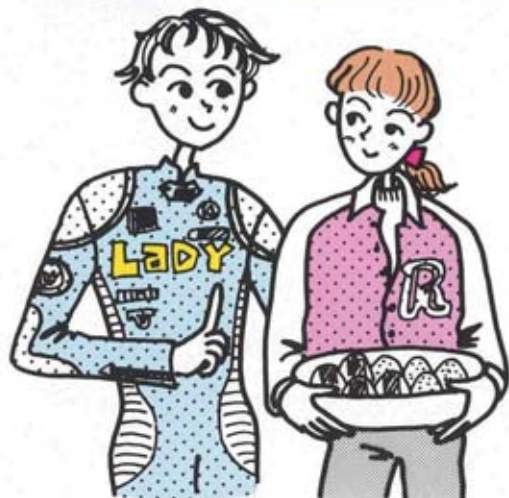
バイクの《自賠責保険》

★法律によって加入が義務づけられている保険です。

大きな安心、
おとどけします

自賠責保険をつ
けずにバイクを
運転すると

- ◎6ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
- ◎6点の減点
- ◎30日の免許停止処分



バイクの自賠責保険料

(平成9年5月1日改正)

	原付自転車 (125cc以下の2輪)	軽二輪自動車 (125cc超 250cc以下)
3年	11,250円	27,000円
2年	9,500円	20,300円
1年	7,700円	13,250円

損害保険代理店

ホンダ開発株式会社

本社 〒107 東京都港区南青山2丁目1番1号(ホンダ青山ビル) ☎03-3423-2312

事業部

和光事業部 〒351-01	埼玉県和光市本町9番1号	☎048-461-0843
狭山事業部 〒350-13	埼玉県狭山市新狭山3丁目9番2号	☎0429-53-7351
浜松事業部 〒433	静岡県浜松市葵東1丁目13番2号	☎053-436-2241
鈴鹿事業部 〒513	三重県鈴鹿市大池3丁目13番20号	☎0593-79-5407
熊本事業部 〒869-12	熊本県菊池郡大津町大字平川1500番地	☎096-293-6222
栃木事業部 〒321-33	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56番地2	☎028-677-3108



DIRT

Cool

隔月刊モトクロス専門誌

ダートクール

偶数月24日発売

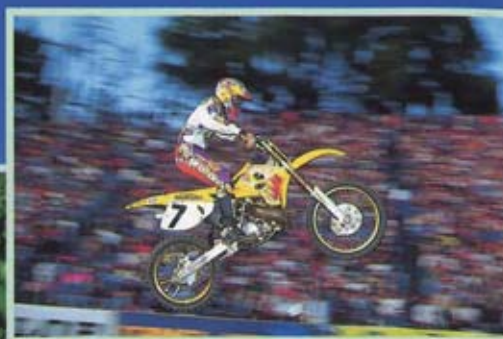
発行所/株式会社ニュース出版

〒154 東京都世田谷区三宿2-4-7 Tel. 03-5430-4440 (販売)

編集室/有限会社エアタイム

〒150 東京都渋谷区広尾1-11-5-804 Tel. 03-5423-5464 (広告・編集)

「人と自然とバイクの
よりよい共存」が
ガルルのテーマです。



OFF-ROAD BIKE体感マガジン月刊ガルル

GARRR

New Excellent Off-Road Bike Magazine

毎月6日発売

●A4変型判/定価490円(税込)

〒104 東京都中央区銀座1-3-9
*1998年2月より郵便番号が104-8233に変わります。

実業之日本社 TEL.03-3535-4441

技術規則

TECHNICAL RULES

■ MFJ 技術規則	136
■ 基本仕様〈ロードレース〉	143
■ 基本仕様〈モトクロス〉	152
■ 基本仕様〈トライアル〉	157
■ SP クラスの仕様	162
■ 耐久レースの追加仕様	167
■ 国内ロードレース GP クラスの仕様	169
■ 国内モトクロスの仕様	173
■ 国内トライアルの仕様	177
■ 全日本・エリア選手権ロードレースの仕様	179
■ FIM 技術仕様〈モトクロス・トライアル〉	194
■ ドラッグレースの仕様	196
■ ロードレースジュニアクラスの仕様	204
■ ミニバイクの仕様	208
■ ストックバイクの仕様	211

3 小分類ナンバー

国内の各種目別の規則においては、各「条」に出てくる対象部分には共通の小分類ナンバーが与えられ、許可または制限されていない場合はその項目番は削除されています。

小分類ナンバー	項目	小分類ナンバー	項目
1	エンジンの型式	31	発電機、スパークプラグ、バッテリー
2	シリンダーの数	32	ワイヤーハーネス
3	ピストンストローク	33	予備
4	ケース、シリンダー、シリンダーヘッド、ギヤボックスの材質と形状	34	コントロールワイヤー関係
5	クラッチの型式	35	灯火器
6	エンジン、ミッションの内部の動く部品の材質	36	メーター関係
7	4サイクルの圧縮比、バルブの径とリフト量	37	予備
8	2サイクルのポートタイミング、ポートサイズ、圧縮比	38	保安部品関係
9	ケースに対するシリンダー・シリンダーヘッドの位置	39	予備
10	吸排気のバルブ、ポート、キャブの数	40	ドライブチェーン
11	クランクケースカバー裏りの材質、形状	41	ファイナルスプロケット
12	シリンダー、シリンダーヘッド関係	42	リヤホイール
13	クランクシャフト、ピストン、リング関係	43	リヤブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
14	カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブ	44	フロントホイール
15	予備	45	フロントブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー
16	キャブレター	46	ブレーキペダル
17	フュエルタンク、フュエルコック、フュエルライン	47	予備
18	エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー	48	タイヤ
19	ラジエター、水ポンプ、キャッチタンク（冷却系）	49	予備
20	予備	50	フレームボディ、ステップ関係含む、カウルステア類
21	予備	51	フロントフォーク
22	クラッチ関係（プライマリーを含む）	52	リヤクッション、リヤフォーク、サスリンクージ
23	ミッションギヤ関係（ドライブスプロケット含む）	53	ハンドル、トップ・ボトムブリッジ、ステアリングダンパー
24	シフト関係、チェンジペダル	54	ストリームライニング（カウリング）とステア
25	スタート装置	55	シートカウル、フェンダー
26	分離給油オイルポンプ関係	56	ワイヤーロック（安全）
27	ブリーザーシステム、エアクリーナーボックス	57	オイルクーラント
28	予備	58	ゴソリン
29	材質	59	調整、仕上げ
30	イグニッションコイル、点火ユニット	60	軽量化
		61	ウイリーバー

MFJ 技術規則

モーターサイクルとは、ホイールが4つまでで、エンジンによって推進され、ひとり、あるいはそれ以上の人間（そのうちのひとは車両のドライバーとなる）の輸送のためにデザインされたすべての車両を意味している。ホイールは、瞬間的またはある種の例外的な場合を除いて、通常路面に設置していなければならない。

第1章 目的

- 1 安全の確保
- 2 平等性を最大限に維持する。
- 3 車両のコスト上昇を極力抑える。

第2章 クラス

1. ロードレース

GP フォーミュラ

50cc	50cc以下
80cc 50ccを越え	80cc以下
125cc 100ccを越え	125cc以下
250cc 175ccを越え	250cc以下
500cc 250ccを越え	500cc以下

スポーツプロダクションフォーミュラ

		2st	4st
50cc	50cc以下	○	○
80cc 50ccを越え	80cc以下	○	○
125cc 100ccを越え	125cc以下	○	○
250cc 175ccを越え	250cc以下	○	○
400cc 250ccを越え	400cc以下	—	○

※スーパーバイクは全日本・エリア選手権技術仕様参照

2. モトクロス

80cc 50ccを越え	80cc以下
125cc 100ccを越え	125cc以下
250cc 175ccを越え	250cc以下

3. トライアル 排気量区分は定めない
4. エンデューロ 別に定める
5. スノーモビル 別に定める
6. ドラッグレース 別に定める

(参考) ライセンス区分と規則の適用範囲

	ライセンス区分				
	(全日本・エリア選手権)		(地方選手権)		
ロードレース			J		
モトクロス	IA	IB	NA	NB	J
トライアル	IA	IB	NA	NB	
	FIM 規則をもとに定める		MFJ 規則による		MFJ・J 規則

第3章 排気量

総排気量はシリンダー容積を測定するのに用いられる幾何学公式に依って計算される。すなわち直径はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

$$\text{公式} \quad \text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数}$$

D=ボア C=ストローク 単位=cm 小数点以下4ケタで切り捨て

測定の際にはボアに1/10mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても排気量が当該クラスのリミットを越える場合、エンジンが冷えた状態で再測定が1/100mmのリミットまで行われる。

シリンダーのボアが真円でない場合断面積を測定し、計算することとする。

全てのカテゴリーにおいて、スーパーチャージは禁止される。

第4章 テレメトリー

走行中のモーターサイクルから、またはモーターサイクルへの無線等による情報交換は行っていない。

車両には公式計測装置が義務付けられる場合がある。

第5章 重量

参加車両は以下に定める最小限重量値を半乾燥重量で満たしていること。バラストによる調整は認められない。ただし重量規制が変更され、新たな規則が実施される初年度に限り、5.0kgを限度として完全に固定されたバラストの使用を認める。

レース終了後は1%の誤差が認められる。

1.1) ロードレース

GP フォーミュラ	スポーツプロダクション	スーパーバイク
50cc 70kg	50 70kg	162kg
80cc 70kg	80 70kg	
125cc 70kg	125 95kg	
250cc 100kg	250 115kg	
500cc 4気筒 131kg	250F 130kg	
3気筒 116kg	400 145kg	
2気筒以下 101kg	750 165kg	

重量測定の際、燃料タンクを外した場合には、下記が規定重量より差し引かれる。

GP フォーミュラ：2kg (スーパーバイク：4kg)

※いずれも排気量による違いはない

ただし、世界選手権を除く国内競技会において、上記の方法で規定重量を下まわった場合、燃料を抜いたタンクを装着し、通常の規定重量にて再度計測を受けることができる。

2) モトクロス

80cc 61kg

125cc 88kg

250cc 98kg

3) トライアル 特に定めない

4) エンデューロ 特に定めない

- 5) スノーモビル 特に定めない
 6) ドラッグレース PBは249.47kg (ライダーが乗車した状態)、他は特に定めない

第6章 公認制度

公認制度の目的

公認車両制度は種目別に出場できる車両を指定し、また車両を種目別規定の範囲内で改造を実施する際に、平等性と低コストと安全性を最低限確保することを目的とする。

従って平等性を確保するために最低数を設定する。制度設定の主旨に合わないとは判断された場合は、公認されない場合もあり得る。

1. 参加車両は市販レーサーまたは一般生産型車両で、MFJの公認を受けた車両に限定される。
 2. 完成車公認

公認申請を行うには、下記の条件を満たしていること。

1) 台数

最低台数が出荷されていること。

	国産車				輸入車	
	レーサー	市販車		レーサー	市販車	
ロードレース	25台	250cc以下 250cc越える	500台 250台	10台	25台	
モトクロス	100台	250cc以下 250cc越える	500台 250台	10台	25台	
トライアル	5台	250cc以下 250cc越える	500台 250台	5台	25台	
スノーモビル	5台	—		5台	25台	

2) 種目別付帯条件

スポーツプロダクション (SP) については各々の種目別公認条件を満たしていること。

第11章 08条……SP

(スポーツプロダクションのコンプリート車両の公認申請を行うには、ベース車両が市販車として公認を受けており、ベース車両からの改造の範囲はSPの仕様以内であること。)

3. 部品公認

1) 公認範囲

部品名	ロードレース			モトクロス	トライアル
	SP	SS	GP	80, 125, 250	
シリンダー		○	○	○	
シリンダーヘッド		○	○	○	
カムシャフト		○			
ミッションギヤ	○			○	
キャブレター	○		○	○	
クラッチ	○				
フロントフォーク		○	○	○	
リヤクッション		○	○	○	
リヤフォーク		○	○	○	
タイヤ	○				○
エアクリナーボックス	○				

- 注) 1. ○印は公認時に組み込まれていた部品の追加加工に限定される。またリヤフォーク以外は材料の削除による改造に限る。
 2. SP用タイヤは一般公道用として製作されたもの、またはレーシングレインタイヤに限る。

2) 数量

最低数量が出荷されていること。

カテゴリー	数量
ロードレース GP	25個以上
ロードレース SP・SS	50個以上
モトクロス	50個以上
トライアル	50個以上

3) 制限

公認申請に際しては各々の部品の仕様は各々のカテゴリー、クラスの種目別仕様に合致し

ていること。

4. 公認申請資格

- 1) 車両及び部品の公認申請を行うことのできる資格者は、MFJの特別会員であるモーターサイクル製造会社または賛助会員であり、かつ当該製品の製造会社、または輸入総代理店でなければならない。申請会社代表者は毎年、車両及び部品の公認申請に関する担当責任者を登録し、その者のみが公認申請を行うことができる。
- 2) 公認申請書は必要書類を添付し、定例技術委員会の開催される月の20日までに事務局に送付されていないといけない。

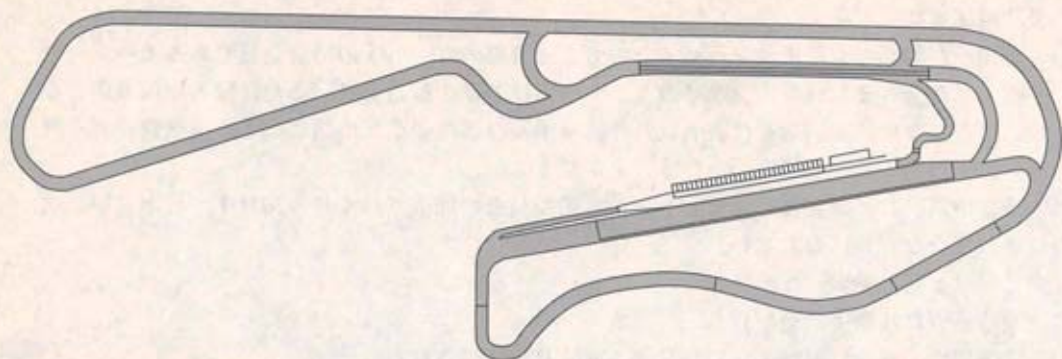
5. 公認発効と有効期限

- 1) 公認審査は技術委員会が行う。
- 2) 定例技術委員会は原則として毎月第4火曜日に開催される。
- 3) 審査に合格した車両で、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。
発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付きて公認発効する。
- 4) 審査に合格した部品で、すでに発売されている部品の場合は会議日から1ヶ月後の同日付きて公認発効する。
発売日が会議日以降の場合は、発売日の1ヶ月後の同日付きて公認発効する。
- 5) 競技専用車両（市販レーサー）の場合は上記車両の公認発効までの期間を、各々会議日の翌日、発売日が会議日以降の場合は、発売日の当日付きて公認発効する。
- 6) 有効期限は発効年を含み5年間とし、5年目の12月末日で失効する。
- 7) 失効した車両または部品は、再申請することができる。

第7章 ガソリン・オイル・クーラント

- (1) 競技に使用できるガソリン（ドラッグレース・スノーモビルは特別規則による）
競技に使用できるガソリンは下記の項目のすべてに合致していなくてはならない。
 - ① 競技用ガソリンとは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいはMFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるガソリンとする。（ロードレースに関しては大会時にサーキットにて購入できるガソリンに限る）
 - ② 競技用ガソリンは下記のMFJの定める仕様以内（無鉛ガソリン）に制限される。
（AVガス、航空機用ガソリン等は使用できない）
 - ㉔ 鉛の含有量は0.013g/l以下であること。
 - ㉕ リサーチオクタン価が100.0 (RON)、モーターオクタン価が89.0 (MON) 以下であること。
 - ㉖ 密度は15℃において0.725g/ml～0.780g/mlであること。
注意：'97年1月1日より、ロードレース2ストロークエンジンに対しても、上記無鉛ガソリンに制限されている。
 - ③ 大会特別規則（全日本選手権特別規則等）によって、ガソリンの銘柄、および供給方法等を指定した場合、それに従わなくてはならない。
- (2) 競技用ガソリンには販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。ただし一般に販売されているスタンダードの潤滑油および1.5%以下のアルコール（燃料精製中に混入されているものに限る）については認められる。
- (3) 水冷エンジンの冷却水は、水あるいは水とアルコールの混合物に限られる。

HSR九州サーキットコース 1998年5月3日リニューアルオープン



HSR九州コースライセンス取得のご案内

HSR九州では、サーキットコース、ドリームコースで走行するために、施設を安全かつ有効に利用して頂くためのライセンスが発行致します。

HSR九州において、個人でスポーツ走行やファミリー走行を行う方は、必ずコースライセンス講習会を受講して下さい。

●受講料

ライセンス区分	対象	受講月	1月～9月	10月～12月
		有効期間	12月末日迄有効	翌年12月末日迄有効
スポーツ走行ライセンス	レーサー、SP、GP、NKで走行		25,000円	27,000円
ファミリー走行ライセンス	ミニバイク、市販車で走る		12,000円	14,000円
MFJ国内ライセンス1日バック	1日でMFJ国内ライセンスが取れる		41,000円	43,000円

※MFJ国内ライセンスバックはMFJライセンス発行料を含めて更にお安くなりました。

※ライセンス講習会の詳しい内容についてはお問い合わせ下さい。

※申し込み方法は電話で予約して下さい。

※開催日

5月4日・16日・24日	6月6日・7日・14日・27日
7月12日・18日・25日	8月1日・16日
9月6日・15日・27日	10月4日・17日・31日
11月3日・14日・29日	12月6日・12日

※必要な物

運転免許証、健康保険証、写真2枚(2.5×3cm) 印鑑、筆記用具、受講料、車両、ツナギ、ヘルメット、グローブ、ブーツ、同伴者1名

'98HSR九州カレンダー《暫定》

●ロードレースイベント

開催日	レース名	内容
5月3日(日)	オープニングイベント	
5月17日(日)	クシタニカップミニバイクレース第1戦	6時間耐久ミニバイク
6月21日(日)	九州ロードレース選手権第3戦	SP,GPクラス
7月5日(日)	ライディングスポーツカップドリームフェスタ第1戦	S&T,ノーマルクラス
7月19日(日)	九州ロードレース選手権第4戦	SP,GPクラス
8月23日(日)	'98モトパラダイスin九州ミニバイクレース	4時間耐久ミニバイク
9月13日(日)	九州ロードレース選手権第6戦	SP,GPクラス
9月20日(日)	ライディングスポーツカップドリームフェスタ第2戦	S&T,ノーマルクラス
10月11日(日)	九州ロードレース選手権第7戦	SP,GPクラス
11月1日(日)	ライディングスポーツカップドリームフェスタ第3戦	S&T,ノーマルクラス
11月15日(日)	クシタニカップミニバイクレース第2戦	6時間耐久ミニバイク
12月13日(日)	クシタニカップミニバイクレース第3戦	6時間耐久ミニバイク

●バリアブルコースイベント

開催日	レース名	内容
1月11日(日)	'98二輪車ジムカーナ大会第1戦	タイムトライアル
3月22日(日)	'98二輪車ジムカーナ大会第2戦	タイムトライアル
5月31日(日)	'98二輪車ジムカーナ大会第3戦	タイムトライアル
7月26日(日)	'98二輪車ジムカーナ大会第4戦	タイムトライアル
9月27日(日)	'98二輪車ジムカーナ大会第5戦	タイムトライアル
11月29日(日)	'98二輪車ジムカーナ大会第6戦	タイムトライアル

※上記内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

※上記イベントの他に、四輪走行会やジムカーナ大会、四輪車、二輪車のスクール、コース貸切イベント等行っております。詳しくは内容は下記までお問い合わせ下さい。

●ドリームコースイベント(二輪)

開催日	レース名	内容
3月1日(日)	モトチャンピ杯ミニバイクレース選手権	N,SP,Sクラス
3月20日(日)	原付き何でもレース第1戦	スクーターレース
5月10日(日)	モトチャンピ杯ミニバイクレース選手権	N,SP,Sクラス
5月24日(日)	原付き何でもレース第2戦	スクーターレース
8月30日(日)	モトチャンピ杯ミニバイクレース選手権	N,SP,Sクラス
10月25日(日)	モトチャンピ杯ミニバイクレース選手権	N,SP,Sクラス
11月3日(日)	原付き何でもレース第3戦	スクーターレース

●モトクロスレースイベント

開催日	レース名	内容
1月18日(日)	HSR九州新春熊本モトクロス大会	NA,NB,Jr
3月1日(日)	HSR九州春のモトクロス大会	IHT,NAT
5月10日(日)	九州モトクロス選手権シリーズ熊本大会	IB,NA,NB,Jr
5月23日(土)	全日本モトクロス選手権第4戦九州大会	IA,IB
5月24日(日)	全日本モトクロス選手権第4戦九州大会	IA,IB
7月26日(日)	熊本県モトクロス選手権第2戦	NA,NB,Jr
9月13日(日)	九州モトクロス選手権シリーズ佐賀大会	IB,NA,NB,Jr
10月18日(日)	九州モトクロス選手権シリーズ熊本大会	IB,NA,NB,Jr
12月20日(日)	HSR九州年末モトクロス大会	IHT,NAT

2/15, 6/14, 8/9, 11/29	'98エンジョイモトクロスフェスティバル	IHT,NAT
------------------------	----------------------	---------

《お問い合わせ先》ホンダセーフティ&ライディング・プラザ九州
熊本県菊地郡大津町大字平川1500番地 ☎096-293-1370

ロードレース 基本仕様

*ロードレース基本仕様は'97年版 FIM ロードレース技術規則をもとに、'98年からの FIM のおもしろな変更点をもり込んで MFJ ロードレース基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった FIM 規則の項目番号が表示してあります。

01.25 基本仕様

下記仕様はロードレースのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、主催者が特別の指示を与えた場合は例外とする。ある種の競技へはさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則 (SR) に明記される。

25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

01.26 フレームの定義

フレームとは図 (151頁、図D) で示す通り、エンジンが取り付けられる部分を中心にステアリング取り付け部分とリヤサスペンションの取り付け部を含む構造全体をいう。シートを取りつける為のサブフレームはフレーム本体に溶接されている場合はフレームと見なし、ボルトオンタイプ (脱着可能) のものはフレームとみなさない。

01.27 スタート装置

スタート装置は耐久レースに関してのみ義務づけられる。

01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。

- 31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 31.02 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出方法であってはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

01.33 ハンドルバー

- 33.01.02 ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm。80ccを越えるマシンは最低450mmとする。
- 33.04 ハンドルバーの最低幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。……150～151頁の図参照
- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.06 ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各15°以上なくてはならない。……150～151頁の図参照
- 33.07 ストリームライニングがある場合、ハンドルバーがどの位置にあってもフロントホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 33.08 ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっばいに切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間で最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 35.03 各コントロールレバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

01.38 フュエルポンプ

- 38.01 電動フュエル・ポンプは、事故の際に自動的に作動するサーキット・カットアウト（回路開閉器）を介して配線されなくてはならない。
この機能が車両検査時に確認できるよう、電動フュエルポンプにはテスト機能がなくてはならない。

01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストの先端には最低半径8mmの、中空でない球状の一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。

- 39.02 折りたたみ式でないスチール製フットレストの先端には、プラスチック、テフロンあるいはそれと同等の材質でできた先端（プラグ）が固定されなくてはならない（最低直径16mm）。

01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。また、下記角度の範囲内でなければならず、その部分はホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイール中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 43.03 リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。（151頁図D参照）
- 43.04 ストリームライニングがある場合、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの後側の垂直接線にまで達している場合には（許容誤差-50mm）、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

01.45 ストリームライニング（カウリング）

- 45.01 フロントホイールは（タイヤを除く）、フロントマッドガードに隠れる部分を除き、各サイドからはっきりと見えなくてはならない。
- 45.02 ストリームライニングのいかなる部分も、フロント・ホイール・アクスルから前方100mmを通る垂直線より前にあってはならない。ノーマルのマッドガードはストリームライニングとはみなされない。

※スポーツプロダクションクラスに限り、車両公認時の形状がこの項目に合致しない場合、種目別仕様である公認時の形状の維持が優先される。

- 45.03 ストリームライニングのいかなる部分も、リヤ・ホイール・アクスルを通る垂直線の後部にあってはならない。リヤ・ホイールのリムは、この線の後部円周180°に渡ってはっきり見えなくてはならない。モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・ホイール外側の後端の垂直接線より後方にあってはならない。

※スポーツプロダクションクラスに限り、車両公認時の形状がこの項目に合致しない場合、種目別仕様である公認時の形状の維持が優先される。

- 45.04 エアfoil、またはスポイラーは、それがフェアリングまたはシートと一体構造になっている場合に限り取り付けることができる。これは、フェアリングの幅を越えてはならない。ハンドルバーの高さを越えてはならない。尖っているエッジは、少なくとも半径8mmの丸みを持たせなくてはならない。
- 45.05 ウィンドスクリーンの先端と、全てのストリームライニングの露出部分の先端は丸められていなくてはならない。

- 45.06 通常のライディング・ポジションにおいてライダーは後方の両側及び上から全体（腕の前部を除く）が視認されなくてはならない。ライダーの顔またはヘルメットとストリームライニング（ウインドスクリーン含む）との間の最低スペースは100mmとする。この規則の適用を免れるために透明な材質を使用することは禁止される。
- 45.07 ライダーシートの後部の高さは最高150mmとする。この高さは、シートの固いベースの最下部から、ライダー後方のフェアリングの最上部までを測った場合のものである。
- 45.08 ハンドルバーの位置がどこにあっても、ストリームライニングとハンドルバー先端あるいはステアリング・ステム、およびそれに装着されている装備類との間隔は最低20mmなくてはならない。
- 45.09 ナンバープレートが固定されている前部の傾斜角度は垂直面から後部へ30°以上あってはならない。（151頁図D参照）
- 45.11 シートまたはその後方にある、いかなる部分（排気系を除く）の幅も450mm以上あってはならない。
- 45.12 燃料タンクのキャップは、フェアリングからはみ出さないように、また転倒の際に外れることがないように取り付けられなくてはならない。
- 45.13 スポーツプロダクションのフェアリング下部は、エンジンの破損時に、エンジンに使用されるエンジンオイルおよびエンジン・クーラント総量の最低半分を保持できる構造になっていなくてはならない。（国内のSPとストックバイクは推奨事項）
フェアリング下部（オイル受け）の端部は、一番低いところから最低50mmの高さであることが推奨される。
フェアリング下部の内側には、オイルを吸収する難燃性の素材が貼られてもよい。この規則を満足させるための最低限の外観変更が許可される。
上記変更以外に、スポーツプロダクションのフェアリングには、何も追加できない。

01.46 モーターサイクルの傾斜角とサスペンション

ロードレース（GPクラス）およびプロダクションレースにおけるモーターサイクルは、荷重がかからない状態において、タイヤ以外のいかなる部分も地面に触れることなく、垂直線から50°の角度に傾斜することができなくてはならない。（150～151頁図BおよびDを参照）

01.47 ホイールリムとタイヤ

- 47.01 メーカーが出荷した一体構造ホイール（キャスト、モールド、リベット）または従来の着脱式リムに対して、スポーク、バルブまたは安全ボルト以外へはいかなる改造も禁止される。
ただし、タイヤがリムから外れることを防ぐために使用される、テンションスクリューは例外とする。
- 47.02 リムの最大幅は下記の通りとする。（スポーツプロダクションは限く）
ホイールリムの幅は、ETRTO（ヨーロッパタイヤリム技術機構）の定める方法によりフランジウォールの内側にて測定される。
- 47.03 リムの最低直径は400mmとする。

クラス	最大幅
125	3.5インチ
250	5.5インチ
500	6.25インチ
スーパーバイク	6.25インチ

01.55 ナンバープレート

- 55.03 ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 55.04 プレートは平面から50mm以上カーブ（突出）してはならない。また、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 55.05 1枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなければならない。他の2枚はモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしてはならない。
- ナンバープレートの数字の間に穴を開けることができる。しかしどのような状況においても数字自体に穴を開けてはならない。穴の部分も規定の色に見えなくてはならない。
- 55.06 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーマたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 55.07 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消して書かれなければならない。
- 数字の最低寸法は下記のとおりとする。
- | | | | |
|--------|-------|----------|------|
| 数字の高さ | 140mm | 数字の幅 | 80mm |
| ストローク幅 | 25mm | 数字間のスペース | 15mm |
- 55.08 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 55.09 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 55.10 すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。
- 55.12 ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。（蛍光色は禁止）
- | | | | | | |
|-------|--------|----|--------|---------------|--------|
| GP125 | 黒地に白文字 | SP | 黒地に黄文字 | ストックバイク | 白地に黒文字 |
| GP250 | 緑地に白文字 | SB | 白地に黒文字 | | |
| GP500 | 黄地に黒文字 | 耐久 | 黒地に白文字 | （白文字は反射素材のもの） | |

01.56 フュエルタンク及びオイルタンク

- 56.01.1 フュエルタンクの最大容量は下記の通りとする。
- | | | | |
|----------|-----|-----|-----|
| ・ロードレース | 32ℓ | ・耐久 | 24ℓ |
| ・スーパーバイク | 24ℓ | | |
- ・その他スポーツプロダクションは各カテゴリーごとに設定する。
- 56.01.2 燃料はマシンにしっかりと固定された1つのタンク内に入れるものとする。シートタンクおよび補助タンクは禁止される。すべての競技において、給油の為に容易に脱着出来る取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 56.01.3 タンクの容量を減少させる一時的充填物の使用は禁止される。
- 56.01.4 タンクに防爆材を完全に充填することが義務づけられる。
- 国内SPクラス、STクラスで、車両公認時の燃料タンクに一切の改造、変更のない場合は、この条件を免除される。

- 56.02 オイルキャッチタンクとブリーザーシステム
 オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手が届く場所に設けられたキャッチタンクに行う。このタンクは競技の前に空にしなくてはならない。
 オイル・キャッチタンクの最低サイズは、ギヤボックス・ブリーザーの場合250ccとし、エンジン・ブリーザーの場合には500ccが勧められる。
 すべての4ストローク車両は、クローズド・ブリーザーシステムを備えていなければならない。オイルブリーザーパイプはエアボックス接続され、ボックス中に排出されなくてはならない。(150頁図A参照)
- 56.03 オイル・ドレーンプラグおよび供給パイプ
 すべてのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。
 オイルキャビティに進入する外部オイル・フィルターのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 56.04 燃料タンク・ブリーザー・パイプ
 ノン・リターン・バルブを燃料タンク・ブリーザー・パイプに取り付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた、最低容量250ccのキャッチ・タンクに放出されるようになっていなくてはならない。
- 56.05 燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップ
 燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

01.63 燃料、燃料／オイルの混合液

すべての車両には、MFJの定める無鉛ガソリンが使用されなくてはならない。(AVガス、航空機用燃料の使用は禁止される)

注意：'97年1月1日より、ロードレース2ストロークエンジンに対してもMFJの定める無鉛ガソリンに制限されている。

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(141頁参照)。

*大会特別規則(全日本ロードレース特別規則等)によりガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

01.79 音量規制

- 79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとする。
 ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
- 79.02 ノイズ・テストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更することが禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスペア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかななくてはならない。測定は所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 79.05 rpmは、エンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求め

られる。

$$\text{所定のエンジン回転数 (rpm)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$

- 79.06 ロードレースに関して、音量測定を実施する平均ピストンスピードは13m/秒(2ストロークエンジン)、および11m/秒(4ストロークエンジン)とする。(150頁・図C参照)
全日本・エリア選手権ロードレースにおいては下記規則が適用される。
国内の各クラスにも1998年1月1日より、下記固定回転数方式が適用される。
エンジン型式および排気量ごとに、エンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は下記固定回転数にて実施する。

スポーツプロダクション、スポーツプロダクションをベースとしたエンジン。スーパーバイク(国内SPクラス・'98年より)

	1 気筒	2 気筒	3 気筒	4 気筒
250cc(4-stroke)	5,500RPM	7,000RPM		
400cc(4-stroke)	5,000RPM	6,300RPM	7,200RPM	8,000RPM
600cc(4-stroke)	4,400RPM	5,500RPM	6,300RPM	7,000RPM
750cc(4-stroke)	4,000RPM	5,100RPM	5,900RPM	6,500RPM
over 750cc(4-stroke)	3,900RPM	5,000RPM	5,200RPM	5,500RPM

その他レース用エンジン、GP フォーミュラ。(国内SPおよびGPクラス・'98年より)

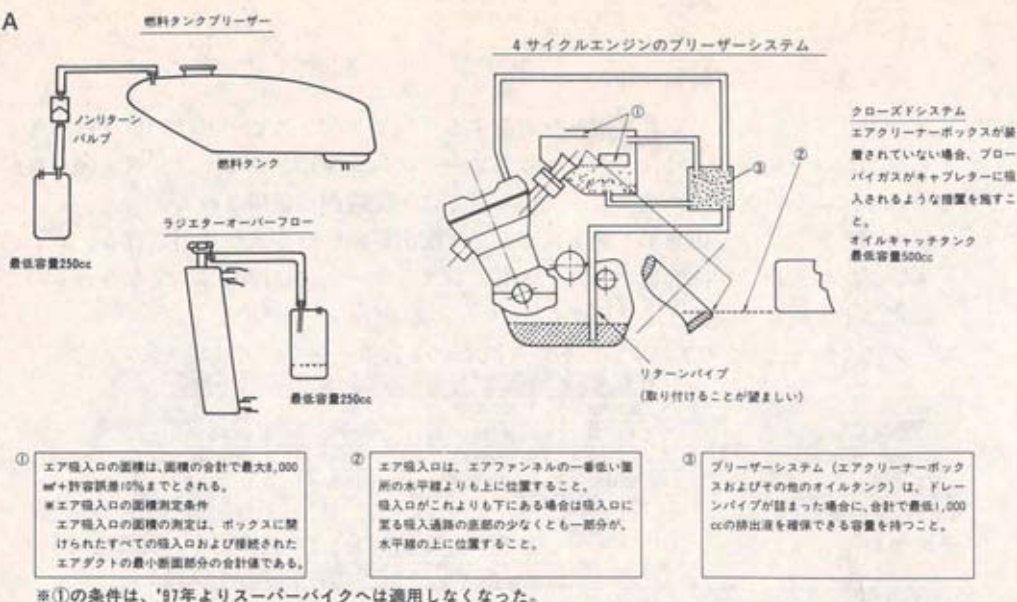
	1 気筒	2 気筒	3 気筒	4 気筒
125cc(2-stroke)	7,000RPM			
250cc(2-stroke)		7,000RPM		
500cc(2-stroke)		5,500RPM		7,000RPM

- 79.07 2気筒を越えるエンジンの音量計測は、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、レース前車検において再度測定を受けることができる。
- 79.10 バンケルエンジンの場合の測定回転数は、6,000rpmとする。
- 79.11 現行の音量規制値
2ストローク・エンジンについてはピストンスピード13m/secで測って105dB/Aまで。4ストローク・エンジンについては11m/secで測って105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。全日本・エリア選手権においては79.06の固定回転数を使用することもできる。
スーパーバイクの規制値は、102dB/A、国内のSPクラス、STクラスの規制値は99dB/A
- 79.12 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 79.13 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。

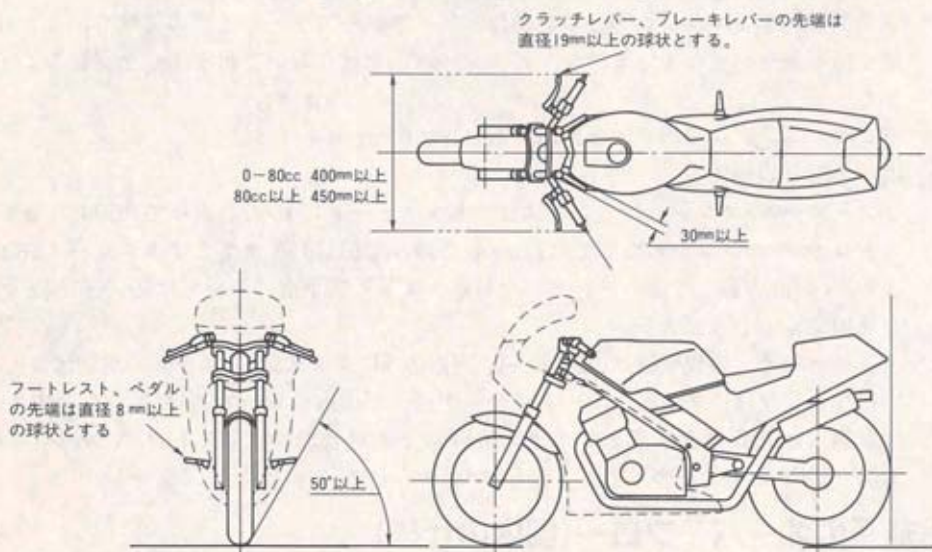
1 冷却系のオーバーフロー(国内の仕様)

- 1) 水冷式のすべての車両は冷却液オーバーフローパイプを取りつけた場合、最低容量250cc以上のキャッチタンクを取りつけること。

図A



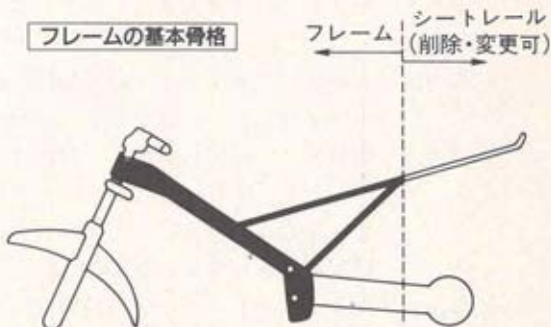
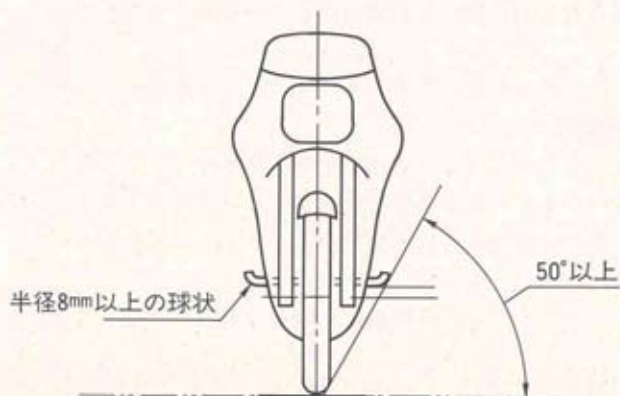
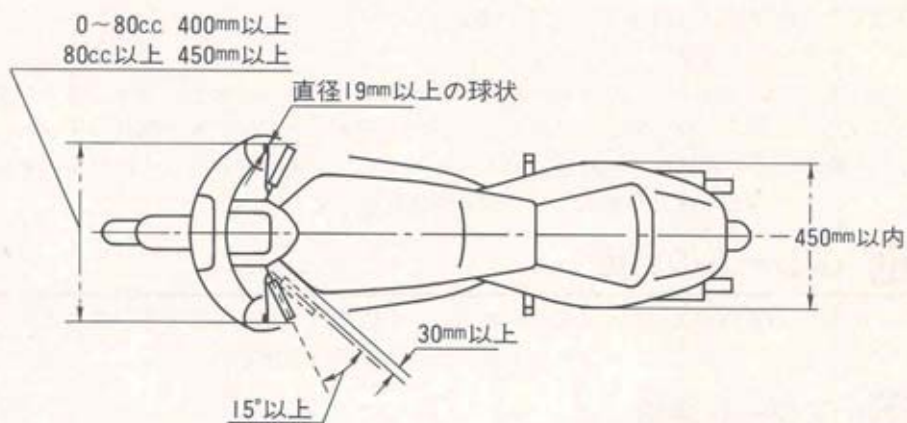
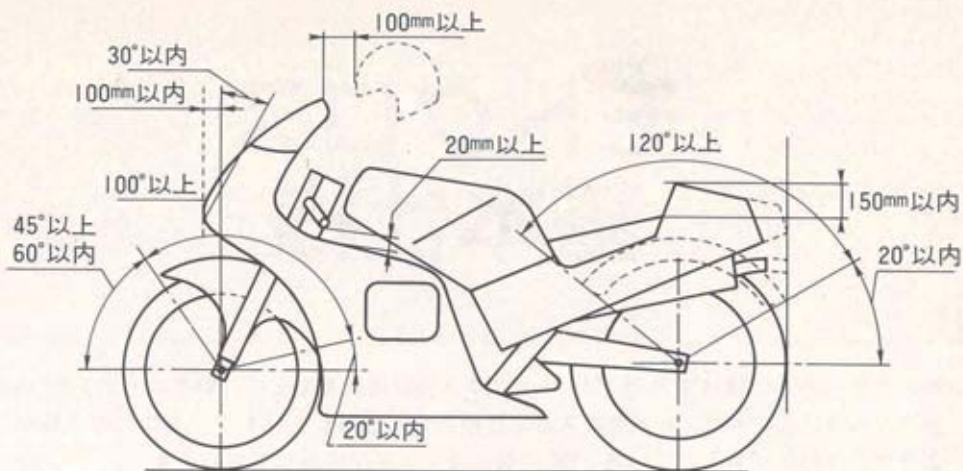
図B [スポーツプロダクション]



図C ピストンストロークに相応するエンジン回転数

ピストンストローク	2ストローク	4ストローク	ピストンストローク	2ストローク	4ストローク	ピストンストローク	2ストローク	4ストローク
30	13,000	11,000	42	9,285	7,857	54	7,222	6,111
31	12,580	10,645	43	9,069	7,674	55	7,090	6,000
32	12,187	10,313	44	8,863	7,500	56	6,964	5,893
33	11,818	10,000	45	8,666	7,333	57	6,842	5,789
34	11,470	9,706	46	8,478	7,174	58	6,724	5,690
35	11,142	9,429	47	8,297	7,021	59	6,610	5,593
36	10,833	9,167	48	8,125	6,875	60	6,500	5,500
37	10,540	8,919	49	7,959	6,735	61	6,393	5,410
38	10,263	8,684	50	7,800	6,600	62	6,290	5,323
39	10,000	8,462	51	7,647	6,471	63	6,190	5,238
40	9,750	8,250	52	7,500	6,346	64	6,093	5,156
41	9,512	8,049	53	7,358	6,226	65	6,000	5,077

図D [GP フォーミュラ]



※シートサポートはボルトオンの場合はフレームとみなさない。

モトクロス 基本仕様

*モトクロス基本仕様は'97年版 FIM モトクロス技術規則をもとに、'98年からの FIM のおもな変更点をもり込んで MFJ モトクロス基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった FIM 規則の項目番号が表示してあります。

01.25 基本仕様

下記仕様はモトクロスのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、主催者が特別の指示を与えた場合は例外とする。ある種の競技はさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則 (SR) に明記される。

25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

01.26 フレームの定義

フレームとは図 (156頁) で示す通り、エンジンが取り付けられる部分を中心にステアリング取り付け部分とリヤサスペンションの取り付け部を含む構造全体をいう。

01.27 スタート装置

- 1) スタート装置は義務づけられる。

01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。

- 31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 31.02 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出の仕方をしてはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

01.33 ハンドルバー

- 33.01 ハンドルバーの幅は、660mm未満でも850mmを越えてもならない。
- 33.02 ハンドルバーには、クロスバーの上に保護パッドを取り付けなくてはならない。クロスバーがない場合、ハンドルバーの中央にハンドルバークランプを広くカバーするパッドを取り付けなくてはならない。
- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.08 ハンドルをいっばいに切った時にハンドルバー（レバー類含む）とタンクの間に最低30mmのすき間を設けるためにハンドルストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取り付けなくてはならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、慎重に丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.10 ハンド・プロテクターが使用される場合には、非粉碎材質でなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部はレバーと一体構造に固定されなくてはならない。
- 35.03 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、または変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 37.03 モーターサイクルには有効なイグニッション・キルスイッチ、又はボタンがハンドルバーの右か左（ハンドルグリップを握って届く位置）に設けられなくてはならない。このスイッチは始動しているエンジンを停止できなくてはならない。

01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。（154頁図E参照）
フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。
- 39.02 フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。

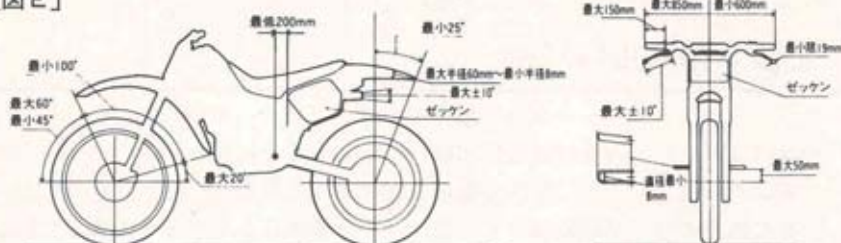
01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは、最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していないてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていないてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。(図E参照)
- 43.04 リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線から25°の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいないてはならない。
- 43.05 マッドガードの後端は丸められていないてはならず、この丸め方は最低半径8mmで、かつ半径60mmを越えてはならない。
- 43.07 キャストホイール、または溶接されたホイールが使用される場合には、頑丈なディスクでスポークを覆う形でプロテクションが施されなくてはならない。

[図E]



01.45 ストリームライニング

ストリームライニング(カウリング等空気整流効果のあるもの)の装着は禁止される。

01.47 ホイールリム、タイヤ

- 47.02 メーカー出荷時の一体構造ホイール(キャストホイール、モールドホイール、リベットホイール)、又はリムに対しては、スポーク、バルブ又は安全ボルト以外へはいかなる改造も禁止される。ただし、タイヤがリムから外れることを防ぐために使用されるビードストッパーは例外とする。

01.49 モトクロスタイヤ

- 49.01 使用されるタイヤの種類に制限はない。
- 49.02 スクープまたはパドル(横断面に連続したリップを持つ)タイヤ、あるいは高さが19.5mm以上のラグ(ブロックの高さ)を持つタイヤの使用は禁止される。
- 49.03 外観および外面的な寸法は制限されない。
- 49.04 タイヤ表面に後から滑り止めスパイク、特殊チェーン等の装置を取りつけることは禁止される。

01.55 ナンバープレート

- 55.03 ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていないてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 55.04 プレートは平面から50mm以上カーブ(突出)してはならない。またカバーされたり

曲げたりされてはならない。

55.05 フロントナンバープレート

一枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなくてはならない。ナンバープレートには数字の間に穴を開けてもよいが、いかなる場合においても、数字自体に穴を開けてはならない。

55.06 サイドナンバープレート

サイド・ナンバープレートは、リヤホイール・スピンドルを通る水平線より上に設けられ、ナンバープレートの前端はライダーのフットレスト後方200mmのところを通る垂直線より後方に位置してはならない。ナンバー・プレートは、はっきりと見えるように装着されなくてはならず、モーターサイクルの一部分や、シートに座ったライダー自身により隠れないようにしなくてはならない。

別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。

55.07 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消して書かれなければならない。数字の最低寸法は下記の通りとする。

数字の高さ	140mm	ストローク幅	25mm
数字の幅	80mm	数字間のスペース	15mm

55.08 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。

55.09 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。

55.10 すべてのナンバープレートの周囲には、最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。

55.12 ナンバープレートの色

ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

ジュニア……白地に赤文字	国内B級……白地に黒文字
国内A級……黄地に黒文字	国際B級……紺地に白文字
国際A級(125cc)……黒地に白文字	国際A級(250cc)……緑地に白文字

その他、ナンバープレートの地色および数字の色について、モーターサイクルのクラスや競技の形式などによって変わる場合があり、大会特別規則によって示される。

01.63 燃料、燃料/オイルの混合液

すべての車両にはMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなくてはならない。(AVガス・航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章、ガソリン・オイル・クーラントの項(141頁)参照。

※大会特別規則(全日本モトクロス特別規則等)により、ガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

01.79 音量規制

79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとするが、少なくとも地面から20cm上方でなくてはならない。もしこれが不可能な場合、計測は45°上方で行ってもよい。

79.02 ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた

状態で測定を受けなくてはならない。

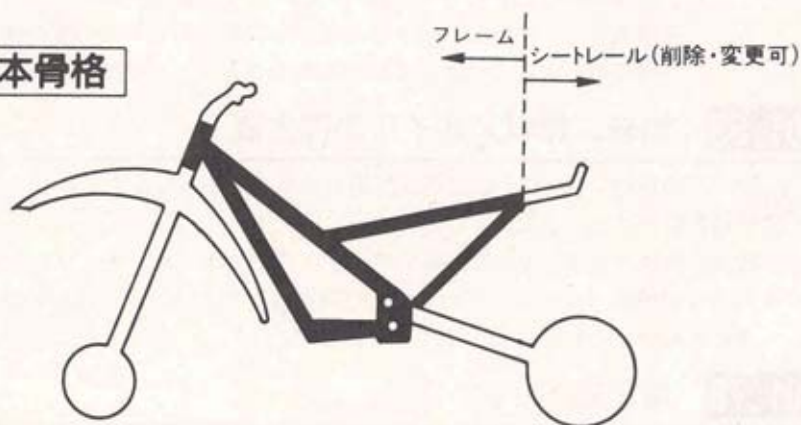
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更する事が禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスペア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定の rpm 域に達するまでエンジンの回転を増していかななくてはならない。測定は、所定の rpm に達した時に行うものとする。
- 79.06 現在のモトクロス車両は排気量ごとに、エンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は下記の固定回転数で実施する。
- | | | | |
|-----------------|----------|-----------------|----------|
| 80ccまで | 8,000rpm | 250ccを越え500ccまで | 4,500rpm |
| 80ccを越え125ccまで | 7,000rpm | 500ccを越える | 4,000rpm |
| 125ccを越え250ccまで | 5,000rpm | | |
- 79.07 2気筒以上のエンジンの音量計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、レース前車検において再度測定を受けることができる。
- 79.11 現行の音量規制値
最大98dB/A、13m/秒で測定する。(原則として事項79.06が適用される)
- 79.12 周辺の音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 79.15 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。
- 79.16 レース後の最終検査においては、2dB/Aの許容誤差が認められる。
- 80.08 メーターの読み方は常に切捨てとする。(100.9dB/A=100dB/A)

国内の仕様

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

- 2) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

フレームの基本骨格



トライアル 基本仕様

* トライアル基本仕様は'97年版 FIM トライアル技術規則をもとに、'98年からの FIM のおもな変更点をもり込んで MFJ トライアル基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった FIM 規則の項目番号が表示してあります。

01.25 基本仕様

下記の仕様は、指定されるグループのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、FIM スポーツコードに特別の規定がある場合は例外とする。ある種の競技へはさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則 (SR) に明記される。

25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアームの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用されてもよい。もし代替えとして非鉄製のファスナーまたはスピンドルを使用する場合、状況に応じて寸法も増さなくてはならない。

01.26 フレームの定義

フレームとは図 (161頁) で示す通り、エンジンが取り付けられる部分を中心にステアリング取り付け部分とリヤサスペンションの取り付け部を含む構造全体をいう。シートを取りつける為のサブフレームはフレーム本体に溶接されている場合はフレームと見なし、ボルトオンタイプ (脱着可能) のものはフレームとみなさない。

01.27 スタート装置

スタート装置は義務づけられる。

01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たしてはならない。

31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)

31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

01.33 ハンドルバー

33.01 ハンドルバーの幅は、600mm未満でも850mmを越えてもならない。

33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされてい

- なければならない。
- 33.08 ハンドルを左右いっばいに切った時ライダーの指が挟まないように、ハンドルとタンクの間には30mm以上のすきまを確保するように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分を作らないために、慎重に丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.10 ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉砕材質でなくてはならず、手を入れるための開口部分が常に開いていなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 35.03 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 37.03 モーターサイクルには、有効なキルスイッチまたはボタンが、ハンドルバーの容易に手の届く場所に設けられなくてはならない。

01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。（159頁図F参照）
フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。
- 39.02 フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。

01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは、最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

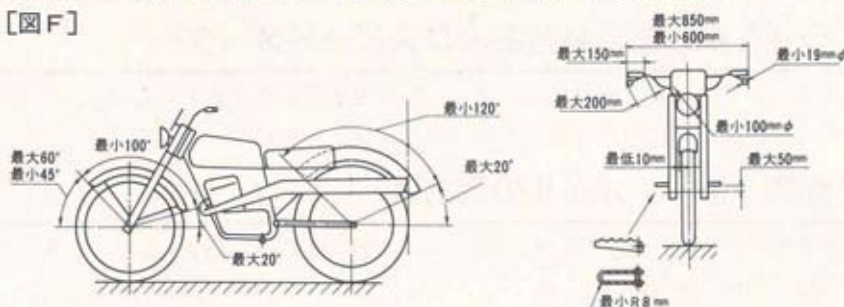
01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。
- 43.03 リヤ・マッドガードは（インドアトライアルを除く）、ホイールの周囲を最低120°にわた

ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は 20° を越えてはならない。リヤマッドガードのこの角度(最大 20°)は、ライダーがモーターサイクルに座った状態で計測される。

- 43.04 インドアトライアルまたはアリーナトライアルのような公道を使用しない競技会では、リヤ・マッドガードはリヤ・ホイールスピンドルを通る垂直線と、その垂直線に 25° の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。

【図F】



01.45 ストリームライニング

ストリームライニングの装着は禁止されている。

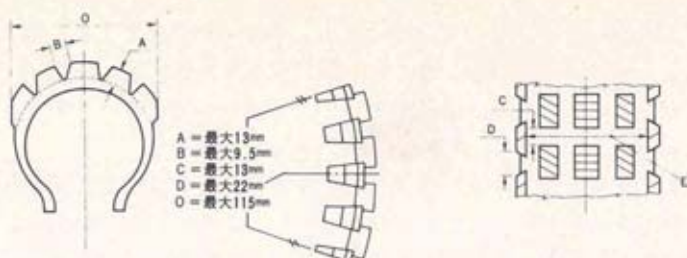
01.47 ホイールリム、タイヤ

- 47.02 メーカー出荷時の一体構造ホイール(キャストホイール、モールドホイール、リベットホイール)、又はリムに対しては、スポーク、バルブ又は安全ベルト以外へはいかなる改造も禁止される。ただしタイヤがリムから外れることを防ぐために使用されるビードストッパーは例外とする。

01.49 トライアルタイヤ

- 49.01 ホイールに正常に装着された状態でタイヤの全幅は、115mmを越えてはならない。
- 49.02 トレッドの深さ(A)はトレッド面から直角に測った場合、13mmを越えてはならない。同一円周のブロックはすべて同じ深さでなくてはならない。……160頁の図G参照
- 49.03 ブロック間のトレッドの幅は、タイヤ幅方向(B)で9.5mm、円周方向(C)で13mmを越えてはならない。
- 49.04 ショルダーブロック(D)間のトレッド幅は、22mmを越えてはならない。
- 49.05 トレッド横幅(E)は、タイヤウォールに直角に測った場合、ブロックで中断されていない限り、タイヤ全幅に及んでいなければならない。
- 49.06 すべてのトレッドブロック(ショルダーブロックを除く)は、両側辺が平行で、タイヤの軸に対し直角そして平行な長方形でなければならない。(タイヤは、図Gに適合し、逆回転させても同じ外観でなければならない。)
- 49.10 通常の販売ルート、または小売店を通じて入手できる一般公道用に認可されたタイヤのみが使用を許可される。
- 49.10.1 タイヤは一般の購入者が入手できるマニファクチャラーの商品カタログ、またはタイヤ仕様リストに掲載されているものでなくてはならない。
- 49.10.2 これらのタイヤは、荷重、スピードコードに関してヨーロッパ・タイヤ・リム技術機構(ETRTO)の定める条件に適合し、最低45Mの使用等級のものでなければならない。

[図G]



01.56 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) モーターサイクル及びその装置類は、特別規則 (SR) に記載されない限り、その車両が登録されている国の法的条件に適合してはならない。

01.63 燃料、燃料／オイルの混合液

すべての車両には MFJ の定める無鉛ガソリンを使用しなくてはならない。(AV ガス・航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細は MFJ 技術規則第 7 章ガソリン・オイル・クーラントの項 (141頁) 参照。

※大会特別規則 (全日本トリアル特別規則等) により、ガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

01.65 装備とウェア

練習中、競技中は布製か皮革製の保護ウェアと膝^{ひざ}までの高さのブーツを着用しなくてはならない。グローブの着用は義務ではない。

01.79 音量規制

- 79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとするが、少なくとも地面から20cm上方でなくてはならない。もしこれが不可能な場合、計測は45°上方で行ってもよい。
- 79.02 ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルのないマシンについては、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更する事は禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達したときに行うものとする。
- 79.06 現在のトリアル車両のエンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は5000rpmの固定回転数で実施する。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 79.11 現行の音量規制値
最大94dB/A、11m/秒で測定する。(原則として事項79.06が適用される)
- 79.12 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において80dB/Aまでとする。
- 79.15 温度による測定への影響のため、音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。
- 79.16 競技後の音量測定
競技後に音量測定が行なわれる場合、誤差+1dB/Aが認められる。

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。(日本で開催される国際格式競技会を除く)

1 マッドガードおよびホイールプロテクション

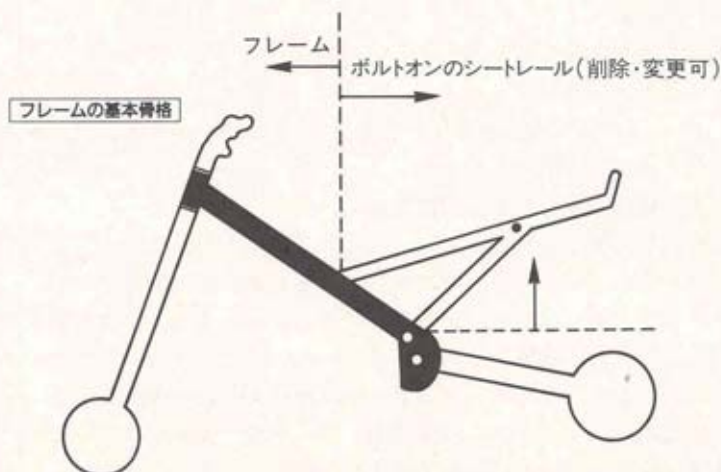
- 1) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線から25°の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。

2 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質でできていなくてはならない。最低寸法は175mm×150mmとする。
- 2) ナンバープレートは1枚を車両の前面に見やすいよう前向きに取り付けなくてはならない。
- 3) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線。「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 4) 数字および地色に蛍光色は一切認められない。
- 5) 判読しづらい文字等は車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 6) 国際A級及び国際B級部門についてはプレート下部にライダーの名前を記入するものとする。
- 7) 全日本選手権の国際A級・国際B級に関する特別規則
数字は英国式とし、観客とオフィシャルが明確に識別できるようにしなくてはならない。
(デザインされた書体の使用を認める)
- 8) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。
ジュニア……黒地に白赤字 国内B級……白地に黒文字
国内A級……黄地に黒文字 国際B級……緑地に白文字
国際A級……赤地に白文字 国際A級スーパークラス……赤地に黄文字

3 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) 灯火器のレンズの処理または取りはずし、保安部品(バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずしが義務づけられる。



第11章

SP クラスの 仕様

(スーパープロダクション)

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
400	250を越え400以下	×	○	4	6
250	125を越え250以下	○	×	2	6
250F	125を越え250以下	×	○	4	6
125	80を越え125以下	○	○	1	6
80	50を越え 80以下	○	○	1	6
50	50以下	○	○	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの、又はSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第8章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のホイールリムの最大幅は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状
- 5) クラッチの構造 *ただし04.22)参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクル車のシリンダー、ピストンによるポートタイミング、排気デバイス、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造および形状

- 12) シリンダー (2サイクル)、シリンダーヘッド (4サイクル) のポートの形状、寸法
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー(リード単体含む)
- 16)(1) キャブレター *ただし04.16) .(4)及び08.3) .(1)参照
- (2) マニホールドタイプのフュエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限
り認められる。
- 17) フュエルタンク *ただし04.17)参照
- 22) プライマリーギヤ *ただし04.22)参照
- 23) ミッション *ただし04.23)参照
- 27) 4サイクル車のエアクリーナーボックス *ただし04.27)参照
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43)参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 *ただし04.45)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) フロントフォーク *ただし04.51)参照
- 52)(1) リヤフォーク
- (2) リヤサスペンション、サスペンションのシステム *ただし04.52)参照
- 53) ステアリングステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ
- 54) ストリームライニング (カウリング) およびマッドガード (フェンダー) の外観形状 (原
則として取り外すことも認められない)。ストリームライニング (カウリング) には、いかな
るものも追加されてはならない。*ただし04.54)参照

04

公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様 (第8章) には適合していることを条件とする

- 12) 2サイクルエンジンにおいて、デトネーション現象からシリンダーを保護する目的の上面
加工及び異金属のリング圧入(断面は5mm×5mm程度)。ただし、この加工によりシリンダー
の寸法、形状が変更されてはならない。
- 16)(1) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブ
の範囲)
- (2) エアファンネルの取り付け又は寸法の変更 (キャブ本体は除く)
- (3) リストリクターの取り付け
リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければ
ならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由
とする。
- (4) 公認キャブレターの使用 (マグネシウム等高価素材のものは公認されない)
- 17)(1) フュエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
- (2) フュエルパイプ、フュエルコックの変更
- 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更 (但し音量規定に適合していること)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 23) ミッションギヤのレシオ (但し公認部品に限られる)
- 27)(1) 2サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造または取りはずしは許可される。
- (2) 4サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造は、下記条件の基に認められる。いずれ
の場合もクローズドシステム(ブローバイガスを直接大気へ放出しない)を維持していること。

- ① 公認キャブ取り付けのための改造（キャブ取り付け部分のみ）
 - ② 口径 $\phi 100\text{mm}$ 相当（8,000 mm^2 誤差10%）を最大とするエア吸入口の拡大
 - ③ ボックス内部の切削、取りはずし
 - ④ 公認エアクリーナーボックスへの交換（改造は認められない）
- (3) ブローパイプをエアクリーナーボックス内に導入する配管のための加工
- (4) エア吸入口の位置
- ① エアファンネルの一番低い箇所(150頁の図A参照)の水平線よりも上に位置すること。
 - ② 吸入口がエアファンネルの一番低い箇所の水平線よりも下にある場合は、吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、上記水平線の上に位置することを条件とする。
- (5) ブリーザーシステム
ブリーザーシステム(エアクリーナーボックスおよびその他のオイルキャッチタンク)は、ドレーンパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 48) タイヤは変更出来るが MFJ 公認 SP 用タイヤに限られる。ウエット時は MFJ 公認 SP 用レーシングレインタイヤの使用が認められる。
- 50)(1) フレームボディーの不要なステー類のカット（但しフレームボディーの強度、剛性に全く影響を与えないこと）
- (2) 車両公認時に装着されたステップは、突起物を取り外し車検長の許可を受ければ、その使用が認められる。
- 51)(1) フロントサスペンションの Springs の変更
- (2) フロントフォークの剛性アップの為にスタビライザーの取り付け
- 52) リヤサスペンションの Springs の変更
- 53) ハンドルバーの変更
- 54)(1) カウリングの材質（但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く）
- (2) ラジエター、オイルクーラー等にエアを取り入れるためのドリルによる穴開けは許可される。（直径10mm以下に限る）
- (3) 雨天時、寒冷時の追加カバー類は、以下の条件で許可される。
- ① ライダーのナックル部分をカバーするもので、必要最小限のものである。
 - ② ストリームライニング（カウリング）と別構造で、取り外すことができる。
 - ③ ハンドルバーの位置がどこにあっても、カバーとの間に最低20mmの間隔がある。
- (4) ストリームライニング下部は、エンジン破損時にエンジンに使用されるエンジンオイルおよびエンジンクラーント総量の最低半分を保持できる構造とすることが望ましい。
- 55)(1) シートカウルの形状・材質(但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)の変更
- (2) マッドガード（フェンダー）は、タイヤのサイズ変更に合わせて位置を変えることが許可される。
- 58) 公認ロードレースでは MFJ の定める無鉛ガソリンが使用されなくてはならない。
1997年1月1日以降は MFJ の定める無鉛に制限され、AV ガス、航空機用燃料等は使用できなくなっている。
仕様の詳細は MFJ 技術規則第7章ガソリン・オイル・クラーントの項（141頁）参照。
※大会特別規則により、ガソリンの銘柄および供給方法が指定された場合、これに従わなくてはならない。
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。
調整とは各 부품の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公

差内で意図的に選定すること（メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等）をいう。

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう（コンロッドみがき、ピストンみがき、シリンダーヘッドの燃焼室みがき等）2サイクル、4サイクルともにポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。

シリンダーポート、シリンダーヘッドポートにおけるバリとは以下のものを指す。

- ① 型合わせバリ ② シリンダー加工バリ（図参照）

「ポート内のザラつき」は鑄ハダと解釈し、切削、研磨は認められない。

- 60)(1) 不要なステー類（シートレールの一部含む）のカット
 (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加



05 重量

SPクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

クラス	最低重量	クラス	最低重量
400	145kg	250F	130kg
250	115kg	125	95kg

注）半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

クラス	最大径サイズ	クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下	250F	直径31mm相当以下
250	直径32mm相当以下	125	直径32mm相当以下

注）キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。マニホールドタイプのフュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストリクターによって口径を調整しなければならない。
- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク（250cc以上）の取り付け。
- (2) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け（250cc）
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け（容量は4サイクル車は500cc以上、2サイクル車は250cc以上）
- (2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること（150頁図A参照）
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない）。
- 36) 灯火器のレンズの処置また取り外し。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し。

- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部部品のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料）（カーボンサイレンサーは完全禁止。）
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。（ガソリン・オイル・クーラントの項141頁、ロードレース規則52頁細則12-11参照）

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。
*最低台数は第6章第2条完成車公認（140頁）参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は発売日から2ヶ月後の同日付けて公認発効する。
- 3) 車両は以下の条件に適合している事

- (1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

クラス	最大限サイズ	クラス	最大限サイズ
400	直径32mm相当以下	250F	直径31mm相当以下
250	直径32mm相当以下	125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。マニホールドタイプのフェューエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストリクターによって口径を調整しなければならない。
- (3) ホイールリム最大幅

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

- (4) 01条のクラス区分に適合していること（排気量内にあること）。
- 4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあつては、一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

（コンプリートマシンのベース機種の打刻型式に基づき判断される。）

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

（'92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組み合わせは禁止される）

耐久レースの追加仕様

(国内の各クラス)

01 クラス区分

一般生産車両をベースとしたSPクラスで行われる。スーパーバイクはFIM規則とする。

02 出場車両

- 1) 一般生産型車両でMFJが公認し、参加しようとする各クラスの仕様に適合していること。
- 2) ロードレースの基本仕様に合致していること。
- 3) 耐久用の仕様を満たしていること。

05 重量

それぞれの定められたスプリントレース用の最低重量に3kgを加えることとする。

灯火類の装備を義務づけられる耐久レースでは、定められたスプリント用の最低重量に5kgを加えられる。

11 耐久仕様

- 1) 車両には確実に作動するスタート装置が装備されていなくてはならない。
- 17)(1) フュエルタンクは給油口を改造することは認められるが、位置は変えられない。
 - (2) 給油口は最大直径62.5mmとし、2ヶ所取り付けが許可される。
 - (3) 最大容量を増やすための燃料タンクの改造は許されるが、サイドからの外観形状は変えられない。また、タンクの材質は車両公認時のものから変更できない。
 - (4) フュエルフィルターキャップをクイックフィルタイプに変更することが許可される。

SP400	18ℓ以下
SP250	18ℓ以下
SP250F	15ℓ以下
 - (5) 燃料は、マシンにしっかりと固定されたひとつのタンク内に入れられるものとする。シートタンク、および補助タンクは禁止される。すべての競技において給油のために簡単に脱着できる取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 31)(1) レースが夜間にかかる場合は公認された発電・充電装置を備えてあること。これらはレース期間中及びレース後の車検において正常に作動するものであること。
 - (2) 灯火器はヘッドライト、ストップランプは正常に作動すること。またエキストラのライトを追加することは認められる。
- 42) ホイールの交換を容易にするための改造は、各クラスの改造範囲でなければならない。
- 43) ブレーキ廻りのメンテナンス性向上のための改造は、各々のクラスの改造範囲内でなければ

ばならない。

- 49) ジャッキアップのための装置は一部をマシンに取りつけてもよいが、ストリームランニングから外側にあってはならず、レース期間中確実に固定されていること。これらはマシンの重量に含まれるものとする。



第14章

国内ロードレース GPクラスの仕様

(地方選手権)

車両規則は選手権ごとに下表のように適用される。特に国内ライセンスでは地方選手権とエリア選手権の両方に出場できるので、仕様の違いに注意すること。

選手権ごとの車両規則の適用

選手権	ライセンス区分	適用される車両規則	参照頁
地方選手権	国内ライセンス(NAT)	国内ロードレース GPクラスの仕様(第14章)	169頁~172頁
エリア選手権	国内ライセンス(NAT) 国際ライセンス(INT)	FIM規則01章 GPフォーミュラの技術仕様	179頁~193頁
全日本選手権	国際ライセンス(INT)	スーパーバイク規則(全日本選手権・エリア選手権へ適用)	

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
50	~50以下	1	6
80	50を越え 80以下	1	6
125	100を越え 125以下	1	6
250	175を越え 250以下	2	6

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両で MFJ が公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第8章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のリム幅(最大限リム幅)は下記のとおりとする。

クラス	最大幅
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

クラス	最大限サイズ
250	直径39mm相当以下
125	直径39mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

マニホールドタイプのフュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストリクターによって口径を調整しなければならない。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部分の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4)(1) クランクケース *ただし04.4)参照
- (2) 市販レーサーのシリンダー、シリンダーヘッド *ただし10条参照
- 10) バルブ数、ポート数、キャブ数
- 16) キャブレター *ただし04.16)及び10条参照
- 29) 特殊な高価な材質の使用 (チタニウム合金)
- 50)(1) 市販レーサーのフレームボディ
- (2) 一般市販車のフレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) 市販レーサーのフロントフォーク *ただし04.51)及び10条参照
- 52) 市販レーサーのリアフォーク及びサスペンションとリンク *ただし04.52)及び10条参照

04 公認車両に対して下記事項の変更出来るが、ロードレース基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする

- 4) クランクケースの切削に依る加工
- 12)(1) シリンダーの切削によるポートタイミングとポートエリアの変更。
- (2) シリンダーヘッドの切削による圧縮化、燃焼室の形状変更。
- (3) 2サイクルエンジンにおいて、デトネーション現象からシリンダーを保護する目的の上面加工及び異金属のリング圧入(断面は5mm×5mm程度)。ただし、この加工によりシリンダーの寸法、形状が変更されてはならない。
- 16) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)。
- 50)(1) フレームボディの補強(ただし一般生産車両に限り認められ、市販レーサーにはできない)
- (2) 不要なステー類の取りはずし。ただしフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと(ただし一般生産型車両に限り認められ、市販レーサーにはできない)
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更。
- 52) リヤフォークの補強とリヤサスペンションのスプリングの変更。
- 58) 公認ロードレースにはMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。
1997年1月1日以降はMFJの定める無鉛に制限され、AVガス、航空機用燃料等は使用できなくなっている。
仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(141頁)参照。
※大会特別規則により、ガソリンの供給方法が指定される場合がある。
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること(メタル合わせ、タベッククリアランス、点火時期等)
仕上げとは各部品の基準粗度を向上させる作業をいう(ポートみがき、コンロッドみがき、燃焼室みがき等)
- 60) フレームボディとリアフォークを除き、軽量化の為の改造はできるが、最低重量以上であること。

05 重量

- 1) GPクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

クラス	最低重量
50	70kg
80	70kg
125	70kg
250	100kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。
ダミーウェイトによる調整は認められない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

クラス	最大径サイズ
250	直径39mm相当以下
125	直径39mm相当以下

- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク（250cc以上）の取り付け。
(2) 電動式フルポンプを装備している場合は転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け（250cc以上）。
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け（4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザーは250cc以上）。
(2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に）。
- 36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし。
- 56) すべてのオイルドレンボルト及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金）
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。（ガソリン・オイル・クーラントの項141頁、ロードレース規則52頁細則12-11参照）

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または競技専用車両（市販レーサー）として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。
- * 詳細は MFJ 技術規則第 6 章公認制度（140頁）参照
- 3) 車両は以下の条件に適合していること。
- (1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

クラス	最大径サイズ
250	直径39mm相当以下
125	直径39mm相当以下

(2) 最大リム幅

クラス	最大限
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

(3) 01条のクラス区分内にあること

09 音量規定

- 1) FIM 方式で測定し105dB/A 以下のこと。
2 サイクルは13m/s、4 サイクルは11m/s のピストンスピードとする。
レース終了後は3 dB/A の誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあっては一切の追加工なして単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互の交換が認められる。
注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。
(コンプリートマシンのベース機種種の打刻型式に基づき判断される)
- 2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが出来る。
 - (1) ミッションアッセンブリーまたは単品
 - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
 - (3) リヤサスペンションユニットおよびリンク関係
 - (4) リヤフォーク
 - (5) キャブレター
 - (6) シリンダー
 - (7) シリンダーヘッド
- 3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。
 - (1) フロントフォークアッセンブリーまたは部品
 - (2) リヤサスペンションユニット、アッセンブリーまたは部品
 - (3) リヤフォーク
 - (4) キャブレター
 - (5) シリンダー
 - (6) シリンダーヘッド
 注) 部品公認申請条件を満たしていること。

第15章

国内モトクロスの仕様

(国際B級、国内A級、国内B級)

01 クラス区分

クラス	排気量	最大限気筒数	最大限変速段数
80	~80以下	1	6
125	100を越え125以下	1	6
250	175を越え250以下	1	6

*ジュニアクラスは80cc以下に限定される。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びモトクロス基本仕様(第9章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鑄造及び形状 *ただし10条参照
- 10) 吸排気系のパプル数、ポート数、キャブ数。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 16) キャブレター *ただし10条参照
- 19) 冷却方式の変更
- 23) ミッションギヤ *ただし10条参照
- 50) フレームボディ
- 51) フロントフォーク *ただし04.52)及び10条参照
- 52) リヤフォーク、リヤサスペンションユニット及びサスリンケージ *ただし04.52)及び10条参照

04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様(第9章)に適合していることを条件とする

- 5) クラッチの構造
- 11) クランクケースカバーの材質、形状

- 13) クランクシャフト (但しストローク変更は不可)、ピストン、リング。
 16) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
 17) フュエルタンク、フュエルコック、フュエルライン。
 18) エキゾースト系 (但し音量規定に適合していること)
 19) 冷却系 (但し方式の変更は不可)
 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更 (但し方式の変更は不可)。
 41) ファイナルレシオ
 42) リヤホイールの変更
 43) リヤブレーキ関係の変更
 44) フロントホイールの変更
 45) フロントブレーキの変更
 48) タイヤの変更
 51) フロントサスペンションの(Spring)の変更
 52) リヤサスペンションの(Spring)の変更
 58) すべての車両は MFJ の定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。(AV ガス、航空機用燃料等は使用できない)
 仕様の詳細は MFJ 技術規則第 7 章ガソリン・オイル・クーラントの項 (141頁) 参照。

- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ピストンみがき、シリンダーヘッドの燃焼室みがき等) シリンダーポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。

05 重量

- 1) 各クラスの最低車両重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80	61kg
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。
 分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。
 ダミーウェイトによる調整は認められない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない)
 36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし
 38) 保安部品 (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類) の取りはずし
 40) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着していなければならない。チェーンガードは、いかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけられていなければならない。
 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用 (チタニウム合金)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーザー又は、一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーザー	100台	10台

※詳細はMFJ技術規則第6章公認制度(140頁)参照。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し98dB/A以下のこと。
レース終了後は、2dB/Aの誤差値が認められる。
- 2) 音量測定の際のエンジン回転数(rpm)は、排気量により異なる。
80ccまで 8,000rpm
80ccを越え125ccまで 7,000rpm
125ccを越え250ccまで 5,000rpm
250ccを越える 3,000rpm
- 3) 4サイクルクラスが開催される場合、下記仕様が推奨される。
 - ・排気量オープン
 - ・音量規制値は94dB/A(ピストンスピード11m/sec)※詳細はMFJ事務局まで問い合わせして下さい。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にある場合は、一切の追加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。
- 2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが認められる。
 - (1) ミッションアッセンブリーまたは単品
 - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
 - (3) リヤサスペンションユニットまたはリンク関係
 - (4) リヤフォークアッセンブリーまたは単品
 - (5) キャブレター
 - (6) シリンダーコンプリート
 - (7) シリンダーヘッドコンプリート
- 3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。
 - (1) ミッションギヤセットまたは単品
 - (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
 - (3) リヤサスペンションユニットアッセンブリーまたは単品
 - (4) リヤフォークコンプリート

- (5) キャブレター
- (6) シリンダーコンプリート
- (7) シリンダーヘッドコンプリート

注) 部品公認申請条件を満たしていること。

第15章 補則 ジュニア部門の仕様

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様(第9章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対し、下記04以外の改造、変更は認められない

04 公認車両に対し、下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様(第9章)に適合していることを条件とする

- 16) キャブレターのセッティングパーツ(ジェット類)
- 18) エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー(音量規制値内のこと)
- 24) チェンジペダル。
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更。(但し方式の変更は不可)
- 34) ポジション変更目的のコントロールワイヤーの変更
- 40) ドライブチェーン
- 41) ファイナルレシオ
- 46) ブレーキペダル
- 48) タイヤの変更
- 50) ステップ類
- 51) フロントフォークスプリング
- 52) リヤサスペンションスプリング
- 53) ハンドル及びその付属品
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、燃焼室みがき等)

その他、フロントフォークオイル、ミッションオイル等オイル類は変更できる。

※ PC 部門は、大会特別規則による。

第16章

国内トライアルの仕様

(国内A級、国内B級、ジュニア)

01 クラス区分

排気量によるクラス区分は特に設定しない。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びトライアル基本仕様(第10章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鋳造及び形状
- 10) 吸排気系のバルブ数、ポート数、キャブ数
- 42) リヤホイールスピンドルの材質の変更
- 44) フロントホイールスピンドルの材質の変更

04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、トライアル基本仕様(第10章)に適合していることを条件とする

- 18) エキゾースト系(ただし音量規定に適合していること。)
- 48) タイヤは変更できるが、MFJ公認トライアルタイヤに限られる。タイヤにはチェーン、スパイクを装備する等、改造を加えてはならない。
- 50) フレームボディの改造
- 58) すべての車両はMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。(AVガス、航空機用燃料等は使用できない)
仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(141頁)参照。
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)
仕上げとは、各部品の基準付法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、シリンダーヘッドの燃焼室みがき等)

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 23) カウンターシャフトスプロケットには、指を挟まないようなカバーをつけること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類）の取りはずし。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へは、ゆるみ、脱落等によるオイル漏れをおこさないような処置を施すこと。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用。（チタニウム合金）

08 MFJ への公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー、又は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確となっていること。

	国産者	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	5台

※詳細は MFJ 技術規則第 6 章公認制度（140頁）参照。

09 音量規定

- 1) FIM 方式で測定し、94dB/A 以下のこと。エンジンスピードは5000rpm とする。競技終了後は 1dB/A の誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にあつては、一切の追加工なして単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。

第17章

全日本・エリア選手権 ロードレース 技術仕様

以下のクラスは全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様により開催される。

全日本・エリア選手権：GP フォーミュラクラス

全日本・エリア選手権：スーパーバイククラス

地方選手権は別に定める国内の仕様にて開催される。

GP フォーミュラの技術仕様は以下の種目別仕様、スーパーバイクは種目別仕様と MFJ 技術規則第8章ロードレース基本仕様に合致していることとする。種目別仕様とロードレース基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は種目別仕様を優先する。

規則の追加、改訂は MFJ ライディングにて告示される。

*全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様は、'97年版 FIM グランプリ技術規則、'97年版 FIM ロードレース技術規則をもとに、'98年からの車両規則のおもな規則変更点を盛り込んで MFJ 技術仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった規則の項目番号が表示してあります。

GP フォーミュラの技術仕様 (全日本選手権、エリア選手権へ適用)

2.1 序論

- 2.1.1 モーターサイクルとは、一本の軌跡を残す二輪車両で、内燃エンジンによって推進され、ひとりのライダーによってコントロールされるものである。
- 2.1.2 下記の MFJ ロードレース GP フォーミュラ規則に適合することを条件に、コンストラクターはデザイン、材質、およびモーターサイクルの全体的構造において自由に革新性を追求することができる。
- 2.1.3 テレメトリー
走行中のモーターサイクルから、またはモーターサイクルへの情報交換はおこなってはならない。オフィシャルのタイム計測装置は義務付けられる。

2.2 クラス

- 2.2.1 エンジン容積に基づいて下記のクラスに分類される
 - 125cc：80ccを越え125ccまで 最大単気筒
 - 250cc：175ccを越え250ccまで 最大2気筒
 - 500cc：350ccを越え500ccまで 最大4気筒

2.3 エンジン

- 2.3.1 エンジンは2ストロークまたは4ストロークの原理で作動するもののみとする。

全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様

- 2.3.2 エンジンは自然吸気であってはならない。
- 2.3.3 エンジンの排気量はシリンダーの行程容積によって定義される。すなわち、シリンダー・ボア面積×ストロークである。
- 2.3.4 排気量に許容誤差は認められない。
- 2.3.5 エンジン排気量は外気温のもとで測定されなくてはならない。

2.4 ギヤ

- 2.4.1 ギヤの最大段数は6速とする。

2.5 車重

- 2.5.1 下記が許可される最低車重である：

GP 3	125cc	……………	70kg	
GP 2	250cc	単気筒……………	100kg	*1
		2気筒……………	100kg	*2
GP 1	500cc	単気筒……………	101kg	
		2気筒……………	101kg	
		3気筒……………	116kg	
		4気筒……………	131kg	

*世界選手権においては*1=85kg、*2=95kgが適用される。

- 2.5.2 最低車重を達成するためにバラストの追加が許可される。
- 2.5.3 車重は最初の車検でチェックされる。しかし、最終的な車重検査は、プラクティス・セッション終了後、あるいはレース終了後に実施される。
モーターサイクルの車重は、モーターサイクルが出場する状態、すなわちオイル、水、及び他の液体を含み（燃料は除く）、他のすべての追加の装備（例えばオフィシャルのタイム計測装置、カメラ装備等）を装着した状態で計測される。
- 2.5.4 燃料の残量といった可変的な要素を除くために、モーターサイクルは燃料タンクなしの状態にて車両重量を計測され、その際全クラスについて2kgの許容誤差が認められる。

2.6 燃料タンク

- 2.6.1 燃料キャップはリーク・プルーフ（漏れ防止が施されているもの）で、ポジティブ・クロー징デバイス（確実にしめる装置）を装備していなくてはならない。
- 2.6.2 燃料タンク・ブリーザー・パイプにはノン・リターン・バルブが装着されていなくてはならない。
ブリーザーパイプは、最低容量250ccの適切な容器に排出しなくてはならない。
- 2.6.3 燃料タンクには火炎防止材質（防爆材）又はフュエルブラダダー（燃料セル袋）が充填されていなくてはならない。

2.7 安全および構造基準

注意：図1、2、3（183頁）も参照のこと

- 2.7.1 スロットルツイスト・グリップ
 - 2.7.1.1 スロットルツイスト・グリップは、開放時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 2.7.2 ステアリング
 - 2.7.2.1 ハンドルバーの幅は最低450mmとし、先端はソリッド（中空でない）またはゴムで覆われたものとする。

ハンドルバーの幅とは、ハンドルバー・グリップまたはスロットル・ツイストグリップの外側と外側の間隔で測定されたものとする。

2.7.2.2 中心線から両側に、最低15°のステアリング回転角度がなくてはならない。

2.7.2.3 ハンドル・ロックした状態でハンドルバーとタンクの間に最低30mmの間隔があるように、ストッパーを設置しなくてはならない。

2.7.3 ブレーキ

2.7.3.1 モーターサイクルには各ホイールに最低1個の、独立して操作されるブレーキが装備されなくてはならない。

2.7.4 エキゾースト

2.7.4.1 エキゾーストの排出口は、リヤ・タイヤの後端から垂直に引かれた線の後方に突出してはならない。

2.7.4.2 パイプ最後端の30mmは水平で、モーターサイクルの中心線と平行でなくてはならない。許容誤差は、 $\pm 10^\circ$ とする。

2.7.5 フットレスト

2.7.5.1 フットレストの先端は丸型で、中空でなく球状で、その半径は最低8mmでなくてはならない。

2.7.6 ハンドルバー・レバー

2.7.6.1 レバーの長さは、ピボットポイントから測定して200mm以上あってはならない。

2.7.6.2 レバーは原則として、端部がホール状でなくてはならない。

2.7.7 ストリームライニング(カウリング)

2.7.7.1 ウインドスクリーンエッジ、またはその他のすべてのストリームライニングの露出した部分のエッジは丸められていなければならない。

2.7.7.2 ストリームライニングの最大幅は600mmを超えてはならない。

シートまたはその後方にあるすべての物の幅は、450mmを越えてはならない。(エキゾースト・パイプは例外とする。)

2.7.7.3 ストリームライニングは、フロント・ホイール・スピンドルから前へ100mmのところ(マッドガードが装着される場合は例外とする)に垂直に引かれた線とリヤ・タイヤのエッジから垂直に引かれた線を超えてはならない。

2.7.7.4 横から見た場合、下記を判別することができなくてはならない：

a) 最低180°にわたるリヤ・ホイール・リム

b) マッドガードまたはフォークに覆われた部分を除くフロント・ホイール・リム全体

c) ノーマル・ポジションに座ったライダー。上腕を除く。

注意：上記の規則の裏をかくために、透明の材質を使用することは禁止される。

2.7.7.5 モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・タイヤの後端から垂直に引かれた線より後方に突出してはならない。

2.7.7.6 シートのベースとシートの一番高い地点と差は最大150mmとする。

2.7.7.7 マッドガードは義務づけられない。装着された場合、フロント・マッドガードは下記まで伸びてはならない：

a) フロント・ホイール・スピンドルを通る水平の線から上と前に45°に引かれた線の
前

b) フロント・ホイール・スピンドルからリヤまで水平に引かれた線の下

2.7.7.8 ウイングは、それがフェアリングあるいはシートの一部份で、フェアリングとシートの幅、ハンドルバーの高さを超えない場合には装置を許可される。

尖ったエッジは丸くされなくてはならない。動くエアロダイナミック・デバイスは禁止される。

2.7.8 クリアランス

2.7.8.1 荷重のかからない状態のモーターサイクルは、タイヤ以外が路面に接地しない状態で、垂直線から50°の角度で傾斜が可能でなくてはならない。

2.7.8.2 モーターサイクル・サスペンションがどのようなポジションにあり、リヤ・ホイール・アジャストメントがどのようなポジションにあっても、タイヤの円周に沿って最低15mmのクリアランスがなくてはならない。

2.7.9 ブリーザー・パイプ

2.7.9.1 エンジンまたはギヤボックスからのブリーザー・パイプは、最低容量250ccの適切な容器に排出しなくてはならない。個々のブリーザー・パイプごとに別個の容器が装備されなくてはならない。

2.7.10 チタニウム及び軽合金

フレーム、フロント・フォーク、ハンドル・バー、スイングアーム・スピンドルホイール・スピンドルの構造にチタニウムを使用することは禁止される。

ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。

2.8 タイヤとリム

2.8.1 レーシング・タイヤが使用されなくてはならない。

2.8.2 最大リム幅は下記の通りとする

		フロント	リヤ
GP 3	125cc	2.5インチ	3.5インチ
GP 2	250cc	4.0インチ	5.5インチ
GP 1	500cc	4.0インチ	6.25インチ

2.9 ナンバーとバックグラウンド(下地)

① 全日本選手権に適用されている規則

2.9.1 モーターサイクルのフロントと両サイドにレーシング・ナンバーが装着され、観客とオフィシャルが明白に識別できるようにしなければならない。

2.9.2 ナンバーは、図4 (183頁) に明記されている寸法に適合しなくてはならない。

2.9.3 ナンバーは黒か白とし、バックグラウンドの色の上に書かれた際に判別しやすいようにする。

2.9.4 バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなくてはならない。バックグラウンドに蛍光色は禁止される。

幅 275mm 高さ 200mm

2.9.5 ナンバープレートのバックグラウンドは垂直から30°以上傾斜してはならない。

2.9.6 ナンバープレートのバックグラウンドの湾曲による突出は、最低幅と最低高において60mm以上超えてはならない。

2.9.7 ナンバーの周囲には最低25mmのクリアー・エリア (余白) が設けられなくてはならない。

2.9.8 ナンバーの明瞭度に関して論議が持ち上がった場合、車検長の決定が最終的なものとする。

② エリア選手権に適用される規則 (国際ライセンス所持者は、上項①が適用される)

エリア選手権においてはロードレース基本仕様—01.55ナンバープレート (147頁) の規則が

適用される。(ナンバープレートの地色、及び数字の色等が規制されている)

2.10 燃料、オイル及びクーラント

国内におけるロードレース競技会(世界選手権を除く)において、燃料は下記の仕様に制限されている。

- ① 公認ロードレースには、MFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。
ガソリンの仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(141頁)参照
 - ② 大会特別規則(全日本ロードレース選手権特別規則等)によってガソリンの供給方法を指定した場合、これに従わなくてはならない。
- 注意：'97年1月1日より、ロードレース2ストロークエンジンに対しても、MFJの定める無鉛ガソリンに制限されている。

図1

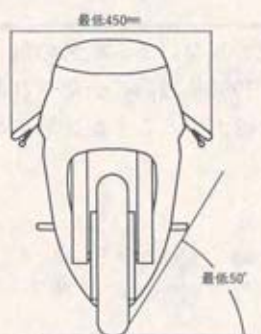


図2

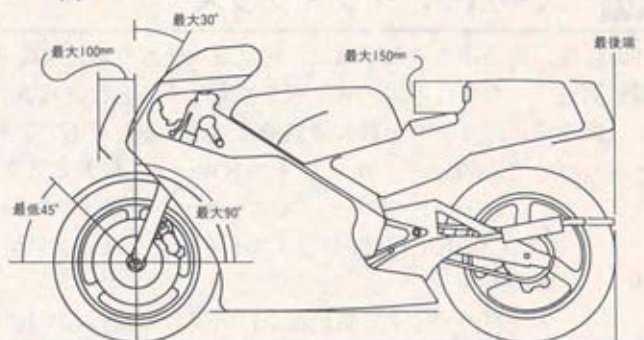
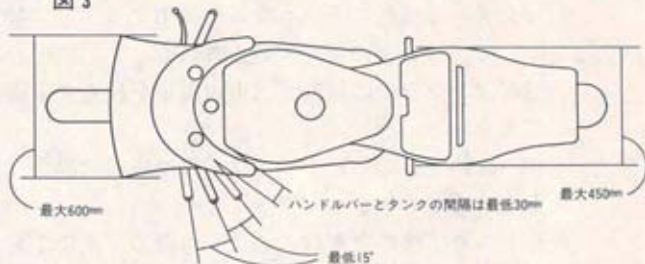


図4

ナンバープレート



図3



全日本選手権、エリア選手権の仕様

下記の項目は、国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よってFIM仕様と異なる場合、下記の解釈が優先される(日本で開催される世界選手権を除く)。

2.11 音量規制

FIM方式で測定し105dB/Aとする。詳細はロードレース基本仕様(148頁・音量規制)参照。

2.12 キャブレター

キャブレターのサイズ(気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
250	直径39mm相当以下
125	直径39mm相当以下

スーパーバイク規則 (全日本選手権・エリア選手権へ適用)

この規則は、'97年10月16日現在のFIMスーパーバイク規則原案を翻訳したものです。正式規則が発行され、全日本選手権にも適用する追加の変更があった場合は、随時ライディング誌上にて告知されます。

01.59 分野別仕様—スーパーバイク

スーパーバイク・モーターサイクルにはFIMの公認が必要とされる。モーターサイクルは、すべての要素に関してロードレース技術規則に明記されているロードレースの必要条件を満たしていなくてはならない。

スーパーバイク・モーターサイクルの前後および側面からの外観形状（別記された場合を除いて）は、原則として車両公認時（メーカー出荷時）のものと合致していなくてはならない。

59.01 スーパーバイク・クラス

1997年度以降公認された車両は、排気量は公認されたものから変更できない。クラスの最大排気量に到達するためにボア・サイズを拡大することは許可されない。1996年以前に公認されたマシンに関しては、クラスの最大排気量に到達するためボア・サイズを拡大することが許可される。

スーパーバイク：601cc～750cc	4ストローク	最大4気筒
601cc～900cc	4ストローク	最大3気筒
751cc～1000cc	4ストローク	最大2気筒

59.01.1 最低重量

スーパーバイク：最低重量は気筒数に関わらず162kg

フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム・スピンドルおよびホイール・スピンドルの構造にチタニウムを使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関して、軽合金の使用も禁止される。

燃料タンクなしの状態、車両重量を検査する場合、最低重量より4kgの差し引きが認められる。

レース終了後の最終車検では、水冷車両の場合、車重検査の前にラジエターに水を加えることができる。

レース終了後の車重検査では、車両の車重に1%の許容範囲が許可される。

ラジエターに水を加えることを除いて、レース後のモーターサイクルはレースを終えたままの状態、規定車重に適合していなくてはならない。すべての車両車重は、燃料なしの状態とする。

59.01.2 ナンバープレートの色

スーパーバイクのナンバープレートの色は、下地が白で数字が黒とするPAL色番号：黒=9005、白=9010（147頁事項01.55を参照）。

ナンバーの明瞭度に関して議論が持ち上がった場合、車検長（またはテクニカルスタッフワード）の決定を最終的なものとする。

59.01.3 キャブレションインストルメント（キャブレター、インジェクター等）

キャブレター、またはインジェクションシステムのインタークサイズに制限はしない。オートバイ製造メーカーは公認された車両のキャブレションまたはエアインタークコントロールとは別に、レース専用として一機種に一個、下記基準に従い特別公認を受けることが出来る。

1. 年間50,000台以上のモーターサイクルを製造するメーカーの場合、世界中に存在

- するディストリビュータを通じ最低100セットのキャブレターまたはインジェクター・インストルメントを供給しなければならない。
2. 年間50,000台以下のモーターサイクルの製造メーカーの場合、最低50セットを供給しなければならない。
 3. 各メーカーは最低数量の製造証明を提出しなければならない。
 4. キャブレターまたはインジェクターボディの材質は公認車両のものと同じでなければならない。
 5. キャブレター、またはインジェクションの部品はスペアパーツとして入手できるものとし、製造メーカーのレーシング・パーツリストに記載されていなくてはならない。
 6. 販売価格は、各メーカーの生産国での希望小売り価格の2倍以上になってはならない。(価格は公認申請用紙に明記される)
 7. これらのキャブレターに関しては、ジェット交換以外の変更は禁止される。
 8. これらの部品は公認発効後最低3年間は入手できなければならない。
キャブレターの公認は、モーターサイクルの公認と同じ期間に関して有効とする。
 9. 全てのモーターサイクル製造メーカーは、これらの部品のサンプルセットを1セット比較のため FIM に提出する。

59.02 燃料

すべてのスーパーバイクエンジンは、最大鉛含有量0.013 g/l (無鉛) と最大 MON 値89の通常の無鉛ガソリンで作動するものとする (完全な仕様に関しては141頁第7章を参照のこと)。

59.03 マシンの仕様

以下に明記されないすべてのアイテムは、公認車両として製造メーカーが製作した状態のままでなくてはならない。

59.03.1 メインフレームボディ

メインフレームは公認車両として製造メーカーが製作した状態のままでなくてはならない (143頁事項01.26を参照)。

メインフレームには、ガゼット (補強板) またはチューブを追加するという変更のみ許可される。ガゼット (補強板) やチューブを取り除くことはできない。

すべてのモーターサイクルには、メインフレームボディに車両識別番号が記されなくてはならない (シャシー・ナンバー)。

リアのサブフレームは、交換または改修してもよいが、材質は公認を受けたものと同じでなくてはならない。ペイントデザインに制限はない。

59.03.2 フロントフォーク

フロントフォークは全体的に、または部分的に交換することができ、公認車両に装着されたものと同じタイプとする (リーディング、テレスコピック、倒立等)。

上と下のフォーククランプ (三又、フォーク・ブリッジ) は交換してもよいし、モディファイしてもよい。

ステアリングダンパーを追加する、あるいはアフターマーケット・ダンパーと交換してもよい。

ステアリングダンパーは、ステアリングロック制御デバイス (ステアリングストッパー) としての役割を果たしてはならない。

- 59.03.3 リヤフォーク（スイングアーム）
リヤフォークは車両公認時に装着されているものから変更されてもよいし、交換されてもよい。カーボンファイバー、またはカーボンコンポジット材質は、車両公認時に装着されている場合を除いて許可されない。
- 59.03.4 リヤサスペンションユニット
リヤサスペンションユニットは変更されてもよいし、位置を移動してもよいが、同じシステムが採用されなくてはならない（すなわちデュアル、またはモノ）。
- 59.03.5 ホイール
ホイールとその関連部品は、車両公認時に装着されているものから改造されてもよいし、別の物に交換されてもよい。カーボンファイバー、またはカーボンコンポジットホイールは、製造メーカーが公認車両にこのタイプのホイールを装着している場合を除いて許可されない。
ベアリング、シール、およびアクスルは車両公認時に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。
直径16インチ未満のホイールリムは許可されない。
フロントホイールリムの最大幅：4.00インチ
リヤホイールリムの最大幅：6.25インチ
- 59.03.6 ブレーキ
フロントマスターシリンダーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。
リヤマスターシリンダーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。
フロントキャリパーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。
リヤキャリパーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。
ブレーキパッド、またはブレーキシューは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。
ブレーキホース、およびブレーキカップリングは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。
ブレーキディスクにカーボンファイバー、あるいはカーボンコンポジット材質を使用することは許可されない。
- 59.03.7 タイヤ
タイヤは、公認車両に装備されているものから別のものに交換されてもよい。
タイヤウォーマーの使用が許可される。
- 59.03.8 フットレスト/フットコントロール
フットレスト/フットコントロールの位置は移動してもよい。
フットレスト/フットコントロールはリヤ・アクスルの前に設けなくてはならない。
フットレストはリジットにマウントされたものか、あるいは通常的位置に戻すデバイス（装置）を持ったホールディングタイプ（折りたたみ式）のものでなくてはならない。
フットレストの先端は、最低半径8mmの固いボール状（中空でない玉）でなくてはならない。
ホールディングタイプ（折りたたみ式）ではないスチール製フットレストの先端には、

プラスチック、テフロン、あるいはそれと同等の材質でできた先端（プラグ）が固定されなくてはならない（最低半径8mm）。

59.03.9 ハンドルバーとハンドコントロール

ハンドルバー、ハンドコントロール、およびケーブルは公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

ハンドルバーには、エンジン・ストップ・スイッチ（キルスイッチ）を設けなくてはならない。

59.03.10 フェアリング（ストリームライニング）

フェアリング、マッドガードおよびストリームライニングは、原則としてメーカー出荷時の形状で車両公認時の形状に合致しなくてはならない。

ウインドスクリーンは別のものに交換されてもよく形状も変更されてよい。

フェアリングからエアボックスに至るオリジナルのエアダクトは、公認車両に装着しているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

フェアリング下部は、エンジン破損時に、エンジンに使用されるエンジン・オイルおよびエンジン・クーラント総量の最低半分（最低5ℓ）を保持できる構造でなくてはならない。フェアリング下部（オイル受け）の端部は、一番低いところから最低50mmの高さでなければならない。（'98年は「最低50mm」に関しては全日本/エリアは推奨、世界選手権は義務付け'99年からは全日本/エリアも義務付けとなる。）

フェアリング下部には、直径25mmの孔を最高二つまで設けてもよい。この孔はドライ・コンディションの時には閉じられなくてはならず、競技監督がウェット・レース・コンディションだと宣言した時にのみ開かれなくてはならない。

ホイール交換用のエレベーター（スタンド）を採用するため、およびフレームやエンジンにプラスチック製プロテクティブ・コーンを装着するために、フェアリングへの最低限の変更が許可される。

オイルクーラーに導入するエアの量を増大するために、フェアリングにドリルで孔を開けることが許可される。直径10mm以上の大きな孔はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆わなくてはならない。メッシュは周囲の材質にマッチするようにペイントされなくてはならない。

フロントマッドガードは、原則としてメーカー出荷時の形状で、車両公認時の形状に合致していなくてはならない。

冷却効率を上げるために、フロントマッドガードにドリルで孔を開けることが許可される。直径10mm以上の大きな孔はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆わなくてはならない。メッシュは周囲の材質にマッチするようにペイントされなくてはならない。

リヤマッドガードは追加してもよいし、取り外してもよい。

フロントマッドガード、リヤマッドガード、およびフェアリングの材質は、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。露出しているエッジ部分はすべて丸められなくてはならない

145頁事項01.45—ストリームライニング（カウリング）を参照。

59.03.11 燃料タンク

側面からオリジナルの外観形状が車両公認時のものに合致していれば、公認時のタンクを改造して最大容量を達成することが許可される。

タンクの各側の間にクロスオーバーラインを設けることが許可される（最大内径10mm）。

燃料タンクには防爆材（すなわち explosafe など）が完全に充填されなくてはならない。

タンクブリーザーパイプのついた燃料タンクには、適切な材質でできており、最低容量250ccのキャッチタンクに放出するノンリターン（戻らない）バルブが装備されなくてはならない。

燃料タンクフィルターキャップは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

燃料キャップは、閉じられている状態では漏れない構造になっていなくてはならない。さらに、どのような場合にも事故で開かないように保たれていなくてはならない。プラクティスで使用されたものと同じサイズの燃料タンクがイベントの期間中ずっと使用されなくてはならない。

燃料タンクの構造の材質は、公認車両に使用されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

59.03.12 シート及びシートカウル

シートは、認証モーターサイクルに装備されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

シート周辺のリヤボディワークの上部分をシングルシートに改造することができる。この場合シートカウルは、リヤゼッケンプレートと一体の構成になっていなくてはならない。前後および両側面からの外観形状は、原則として車両公認時のものと合致しなくてはならない。

シートカウル、またはリヤカウルは、正常な数字が表示できなくてはならない。冷却効率を上げるためにシートカウル、またはリヤカウルにドリルで孔を開けることが許可される。10mm以上の大きな孔はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆わなくてはならない。メッシュは周囲の材質にマッチするようにペイントされなくてはならない。

露出しているエッジ部分はすべて丸められなくてはならない。

シートの構造の材質は、公認車両に使用されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

145頁事項01.45—ストリームライニング（カウリング）を参照。

59.03.13 ラジエーター／オイルクーラー

オリジナルのラジエーター、またはオイルクーラーは、公認車両に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

ラジエーター、またはオイルクーラーを追加してもよい。

オイルクーラーはリヤマッドガードの上、またはそれ以上高い位置に設けられてはならない。

マシンの前、後ろ、および側面からの外観形状はラジエーターまたはオイルクーラーを追加したあとも、原則として車両公認時のものと合致していなくてはならない。

59.03.14 エアーボックス

エアーボックスは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい（レース用スペシャルデザインが許可される）。

エアーフィルターエレメントは取り外してもよい。

エアーボックスはインダクションベルマウス（エアファンネル）とすべてのエンジンブリーザー・チューブの周囲を完全に密閉すること。エアーはベルマウス・リップ（エアファンネルの縁）の一番低い位置より上からのみ吸気できるようにされなくてはな

らない(150頁図A参照)。キャブレーションインストルメントは、完全にエアボックスの中に収めることもできる。

エアボックスドレーンは密閉されなくてはならない。

すべてのスーパーバイクモーターサイクルはクローズド・ブリーザー・システムが義務づけられる。オイルブリーザー・ラインはエアボックスに連結され、ここに放出されなくてはならない。

ブリーザー・システム(エアボックス+ブリーザーオイルコレクターボックス)は、ドレーンパイプが詰まった時に、排出液を最低1000cc保持できるものとする。

59.03.15 キャブレター

キャブレーションインストルメントは公認車両に装備されたものとは異なる特別公認レーシングタイプに交換することができる。184頁事項59.01.3を参照

キャブレーションインストルメントの数は公認時のままとする。

キャブレーションインストルメントの研磨および軽量化は許可されない。

バタフライの交換、またはモディファイは禁止される。

キャブレタージェット、ニードル、およびスロットルバルブは別のものに交換されてもよい。

ベルマウス(エアファンネル)は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.16 フュエルインジェクションシステム

スロットルボディは、車両公認時に装備されたものとは異なる特別公認レーシング・タイプに交換することができる。184頁事項59.01.3を参照

キャブレーションインストルメントの数は公認時のままでなくてはならない。

キャブレーションインストルメントの研磨および軽量化は許可されない。

フュエルインジェクターは車両公認時に装着されたものとは異なる特別公認レーシングタイプに交換することができる。

バタフライの交換、またはモディファイは禁止される。

フュエルインジェクション・マネージメント・コンピューター・チップ(EPROM)を交換することはできる。

フュエルポンプとプレッシャー・レギュレーターはモディファイされてもよいし、改造、変更されてもよい。

59.03.17 燃料供給

フュエルラインは別なものに交換することができる。

フュエルベント・ラインは別なものに交換することができる。

フュエルフィルターを追加することができる。

フュエルコックは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.18 エンジン

公認時のエンジンデザインコンセプトを変更することはできない。

クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッド、およびギヤボックスハウジングの材質とキャストリングは公認時のものを用いる。クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドおよびギヤボックスハウジングの材質は溶接によってのみ追加され、機械加工でのみ削減できる。

カムドライブの方法は公認車両と同じでなくてはならないが、通常の販売ルートを通じてコンプリートキットが入手できる場合は例外とする。相当数のコンプリートキッ

トが販売され、レーシングスペアパーツブックに記載されていなくてはならない。
 パルブリテンションの方法は公認車両と同じでなくてはならない。(公認車両に装着されている場合を除いて、エアーパルブ・リテンション装置は許可されない)。
 エンジン内部の動くパーツ、ギヤボックスパーツ、およびクラッチパーツは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。材質の変更も許可される(改造、変更が許可されていない特定の部分に含まれる部品を除く)。

キャブレションインストルメントを除くエンジンパーツの研磨と軽量化は許可される(改造、変更が許可されていない特定の部分に含まれる部品を除く)。

59.03.19 シリンダーヘッド

シリンダーヘッドは公認時のままでなくてはならない。改造は許可される。

シリンダーヘッドは公認時の材質とキャスティングが使用されなくてはならない。シリンダーヘッドの素材は溶接による追加および、機械加工による切削のみ許可される。パルブ、ポート(インテークおよびエキゾースト)の数を含む吸排気システムは、公認時のままでなくてはならない。

通常、個人的な調整と考えられるガスフロー、シリンダーヘッド(燃焼室を含む)の修理のような、シリンダーヘッドのポーティング、研磨は許可される。

圧縮比は自由とする

燃焼室はモディファイしてもよい

パルブは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

パルブシートは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

パルブガイドは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

パルブスプリングは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

パルブリテーナーは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.20 カムシャフト

カムシャフトは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.21 カムプロケット、またはカムギア

カムプロケット、またはカムギアは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.22 クランクシャフト

クランクシャフトは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

クランクシャフトのストロークは公認時のままでなくてはならない。

研磨または軽量化が許可される。

クランクシャフト、ロッド、およびピストンのバランス取りが許可される。

59.03.23 オイルポンプおよびオイルライン

オイルポンプ及びオイルラインは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

正圧のかかるオイル・ラインは、もし交換されるならば金属強化構造のもの又は、ネジ式のコネクターを持つものを使用しなくてはならない。

59.03.24 コンロッド

コンロッド（コネクティングロッド）は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。カーボンコンポジット、またはカーボンファイバー材質は許可されない。

研磨または軽量化が許可される。

コンロッドのバランス取りが許可される。

59.03.25 ピストン

ピストンは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

ピストンのバランス取りが許可される。

研磨または軽量化が許可される。

59.03.26 ピストンリング

ピストンリングは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.27 ピストンピンとクリップ

ピストンピンとクリップは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.28 シリンダー

シリンダーは公認時の材質とキャスティングが使用されなくてはならない。シリンダーの素材は溶接による追加、機械加工による切削のみ許可される。シリンダーはスリーブリングまたはライニングによって修理できるが、材質タイプ、表面加工、およびボアは公認時のままでなくてはならない。

1997年度の公認から、排気量は公認時のサイズのままでなくてはならない。クラスの最大排気量に到達するためにボアサイズを拡大することは許可されない。1997年以前に認証されたマシンに関しては、クラスの最大排気量に到達するためボア・サイズを拡大することが許可される。

59.03.29 クランクケース／ギヤボックスハウジング

クランクケースとギヤボックスハウジングには公認時の材質とキャスティングが使用されなくてはならない。クランクケースとギヤボックス・ハウジングの素材は溶接による追加、機械加工による切削のみ許可される。

59.03.30 トランスミッション／ギヤボックス

すべてのトランスミッション／ギヤボックスレシオは自由とする。

プライマリーギヤレシオは自由とする。

ギヤの最大数は6速に制限される。

クイックシフトシステムのようなものをギヤボックス、またはセレクター機構に追加することが許可される。

カウンターシャフトスプロケット、リヤホイールスプロケット、チェーンピッチとチェーンサイズは変更できる。

59.03.31 クラッチ

クラッチスプリングは変更できる。

フリクションディスクとドライブディスクは変更できる。

クラッチタイプと作動方法は、車両公認時に装備されているものから改造、変更され

- てもよいし、別のものに交換されてもよい。
- 59.03.32 イグニッション/エンジンコントロールシステム
イグニッション/エンジンコントロールシステムは、モディファイされてもよいし、交換されてもよい。
スパークプラグとプラグワイヤーは別なものに交換することができる。
- 59.03.33 ジェネレーター
ジェネレーター、電気式、手動式の始動装置（キックレバー、キックペダル、スタータークランクギヤ、スターターシャフト等）は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。
- 59.03.34 エキゾーストシステム
エキゾーストパイプとサイレンサーは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。
※1997年1月1日から、スーパーバイクのノイズ・リミットは102dB/A。
- 59.03.35 下記のアイテムは車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。
どの種類の潤滑油、ブレーキフルード、サスペンションフルードを用いてもよい。
どの種類のスパークプラグ、およびプラグキャップを用いてもよい。
どのインナーチューブ（装着される場合）またはインフレーションバルブを用いてもよい。
ホイールのバランスウェイトは外されてもよいし、交換されても、追加されてもよい。
どの種類、あるいはどのブランドのベアリング（ボール、ローラー、テーパー、プレーン等）を用いてもよい。
ファスナー（ナット、ボルト、スクリュー類）
エレクトロニックデバイス、電気ケーブル、コネクター、バッテリー、およびスイッチ
外部の表面加工、およびデカール
- 59.03.36 下記のアイテムは取り外すことができる
ライトとリフレクター
計器類と計器用ブラケットおよび関連ケーブル
ホーン
ナンバープレートブラケット
ツールボックス
タコメーター
スピードメーター
ラジエターファンとワイヤー
パッセンジャー用フットレスト
パッセンジャー用グラブレール
チェーンガード

59.04 下記のアイテムは変更されなくてはならない

モーターサイクルには、始動しているエンジンおよび、その他のすべての電気部品を停止することのできる効果的なイグニッションキルスイッチ、またはボタンが、ハンドルバーの右あるいは左に設けられていなくてはならない（グリップを握った状態で手の届く距離になくてはならない）。

スロットルコントロールは手で握っていない時には自動的に閉じるものでなくてはならない。

電動フュエルポンプは、レースでの事故の際に自動的に作動する回路遮断システムを介してなくてはならない。

電動フュエルポンプの設計には、車検の時にテストできるように回路遮断のテスト機能が設けられていなくてはならない

セーフティパー、センタースタンド、およびサイドスタンドは取り外されなくてはならない（固定されたブラケットは、そのままでなければならない）。

すべてのドレインプラグはワイヤーロックされなくてはならない。外部オイルフィルタースクリューおよびオイルフィルターボルトでオイルキャピティ（オイルパン）に進入するものは、すべて安全にワイヤーロックされなくてはならない。

ブリーザーパイプ、またはオーバーフローパイプが装備される場合、排出はそのパイプの排気口からなされなくてはならない。公認時のクローズドシステムは維持されなくてはならず、大気へ排出することは禁止される。

オイルブリーザーパイプが装備される場合、排出は簡単に手の届く位置に設けられたキャッチタンクにされなくてはならない。

キャッチタンクは、レース前に空にされなくてはならない。

オイルクーラーは、リヤ・マッドガードの上、またはそれ以上高い位置に設けられてはならない。

キャッチタンクの最低サイズは、ギヤボックスブリーザーパイプの場合250cc、エンジンブリーザーパイプの場合500ccとする。

すべての4ストロークモーターサイクルには、クローズドブリーザーシステムが採用されなくてはならない。オイルブリーザーラインはエアボックスに連結され、これに排出されなくてはならない。

ヘッドライト、リヤライト、およびウインカーは取り外さなくてはならない。これらを外したあとの穴は、適切な材質で覆わなくてはならない

59.05 追加の装備

車両公認時にはない、追加の装備を設けることができる（すなわちデータ収集器具、コンピューター、記録機器等）。しかしながら、事項01.18（テレメトリー）は守られなくてはならない。

01.18 テレメトリー

動いているモーターサイクルから情報を受信する、または送信することは禁止される。公式計測装置を搭載することが要請される場合もある。

自動ラップタイマー（オンバイクラップタイムディスプレイユニット）はテレメトリーとは考えられない。

第18章 FIM 技術仕様(モトクロス・トライアル)

モトクロス

国際A級部門は下記に示す FIM 技術仕様にて開催される。よって下記に示す規則と MFJ 基本仕様第9章モトクロス基本仕様に合致してはならない。FIM 技術仕様と MFJ 基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は、FIM 技術仕様を優先する。

FIM 規則01章 モトクロス技術仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数
125	100を越え125以下	1
250	175を越え250以下	—

02 出場車両

- 1) 出場の車両に制限はない
- 2) 車両は MFJ 技術規則第9章モトクロス基本仕様に示される、すべての条件に適合していなければならない。

05 重量

車両の最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80	65kg
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着しなければならない。チェーンガードはいかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけていなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードが取り付けられていなければならない。

トライアル

国際A級・国際B級部門は下記に示す FIM 技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則と MFJ 技術規則第10章トライアル基本仕様に適合していることとする。FIM 規則と MFJ 規則が相違する場合は、FIM 技術規則を優先する。

FIM 規則01章 トライアル技術仕様

01 クラス区分

国際A級

国際B級

*車両の排気量によるクラス区分は設定されない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

カウンターシャフト・スプロケットには安全ガードが取り付けられていなければならない。



ドラッグレースの 仕様

ドラッグレースの基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金のナットとボルトの使用は許可される。

03 エギゾースト・パイプ

エギゾースト・パイプはリヤホイールの後ろに伸びてはならない。またライダー、燃料タンク、およびタイヤから離れて放出されるようにする。フレキシブル・パイプは許可されない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm。80ccを越えるマシンは最低450mmとする。500ccを越えるマシンは最低560mmとする。
- 2) ハンドルバーの最低幅はグリップ外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) ハンドルバーの先端が露出される場合は固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 4) ハンドルバーは、標準仕様の位置でなければならない。溶接された鋼鉄またはクロモリ鋼鉄延長ハンドルバーは認める。但し、標準ハンドルバーの位置より100mm以上越えてはならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する回転角度は最低各15°以上なくてはならない。
- 6) ストリームライニングがある場合、ハンドルバーの位置がどこにあっても、フロント・ホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 7) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっばいに切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間、最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 8) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 9) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部が丸くなっていなければならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー（ハンドルおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がったり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 2) オートマチック・クラッチを用いるモーターサイクルには、パーナウトの後でアシスタントがマシンをスターティングラインに押し戻す際に、スロットルが開くのを防ぐための安全装置が装着されていなければならない（ツイストグリップ・スリーブとハンドルバーにピンを介し、目立った飾りふさを装着すれば十分）。

07 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には半径最低8mmの、一体構造のプロテクションが設けられている事が望ましい。
- 2) もしフットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を半径最低8mm以上の球形に丸められていることが望ましい。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも100mm以上、上に設けられてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも380mm以上前にはなくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作が行いやすい位置にしくはなくてはならない。

08 ホイール

モーターサイクルにはフロントにモーターサイクル用に製造されたホイールを装備していなければならない。リヤ・ホイールリムの幅はリヤ・タイヤの接地面よりも50mm以上狭くなければならない。

09 タイヤおよびチューブ

タイヤはスリック・タイプまたはトレッドの深さが最低2mmのものとする。トップスピードが200km/hを越えるモーターサイクルの場合、フロント・タイヤは最低“V”レートあるいはロードレース・タイプとする。リヤ・タイヤのチューブは天然ゴム製のレーシングタイプとする。

10 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつ、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。
- 2) ディスクブレーキの最低直径は175mm、ドラムブレーキの最低直径は、150mmとする。500cc以上のモーターサイクルはフロント及びリアにディスクブレーキを装備していなければならない。フロントシングルディスクは、最低254mm(10インチ)×5mm、フロントダブルディスク

ドラッグレースの基本仕様

は最低203mm(8インチ)×5mm。フロントシングルディスクの場合、リアディスクは、最低254mm(10インチ)×5mm。フロントダブルディスクの場合、リアディスクは、最低216mm(8½インチ)×5mm。ラインロックの使用を認める。

11 フロントフォーク

フロントフォークは油圧タイプとする。フォーク・チューブはトップ・フォーク・クラウンより30mm以上突出してはならない。最低ストロークは、50mmとする。フォークがボトムした状態で、ホイール以外のいかなる部分も路面に接地してはならない。

トップ・フォーク・チューブの最低直径は：

350ccを越え750cc以下 28mm

750ccを越え 32mm

12 最低地上高

ライダーがポジションにつき、正当な空気圧(リヤタイヤ4 PSI(0.3気圧))で、フォークが完全に圧縮された状態での最低地上高は50mmとする。垂直位置からモーターサイクルを左右に12°づつ傾けることが可能でなければならない。これはホイール以外のいかなる部分も路面に接地しない状態で達成されなければならない。

13 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。この部分において、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は120°を越えてはならない。
- 4) ストリームライニングがある場合には、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの外側の垂直接線にまで達している場合には(許容誤差-50mm)、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

14 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングは、ライダーがストリームライニングのパーツを取り外さずにマシンに乗り降り出来るようにできていなければならない。また、ライダーがモーターサイクルを操作するのを妨げてはならない。

15 シート

シートはライダーに安全なライディング・ポジションを提供するように作られ、危険なほど不快であってはならない。最低シート高は500mm(ライダーが乗車してリヤタイヤ0.3気圧において)。

16 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質でできていなければならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) ナンバープレートはモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしなくてはならない。ワイリーバーが付いている車両はワイリーバーに付けることが望ましい。
- 4) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 5) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に地の色同様につや消して書かなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 6) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線
- 7) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 8) すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。
- 9) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

PB	(プロトックバイク)	黄地に黒文字
SB-EX	(ストックバイクエキスパート)	白地に黒文字
SB	(ストックバイク)	白地に黒文字

※その他の種目は主催者の定める大会特別規則による。

17 ウイリーバー

ワイリーバーの装着が強く勧められる。ワイリーバーの長さは、フロントアクスルセンターからワイリーバーアクスルセンターまで最大3.300mm以内である事。金属製のワイリーバー車輪は禁止する。

18 プロテクティブ・カバー

すべてのオープン・トランスミッションにはカバーが設けられ、回転するパーツとの接触が保護される。機械式駆動のコンプレッサーには“ポップ・オフ・バルブ” インテーク・マニフォルドへのゴム製コネクション、または爆発を防ぐための他のデバイスが設けられていなければならない。

19 フュエルタンク及びオイルタンク

- 1) 燃料タンクはフレームに安全に固定されていなければならない。

- 2) すべてのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなければならない。オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリーやボルトには、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 3) 燃料およびオイル・フィルター・キャップ
燃料およびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で濡れないようになっていないと
はならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロ
ックされていないと
はならない。

20 燃料システム

すべてのモーターサイクルには、機械的な燃料シャット・オフ・バルブが装着されていないと
ならない。ポンプによって駆動されるフュエル・インジェクション・システムにはエアロクイッ
プまたは同様のハイプレッシャー・チューブがもうけられていなければならない。イグニッショ
ンによって停止できないエンジンの場合、すぐに作動する燃料シャット・オフ・バルブがもうけ
られていなければならない。これはライダーが両手でハンドルを握った状態で操作できなければ
ならない。また、これは、ライダーがモーターサイクルを離れた際にエンジンへの燃料の供給を
止めるような構造（どの方向においても作動するように）になっていなければならない。シャッ
ト・オフ・バルブはエンジンスタート時に延長された状態で1m以内の長さのコードによって、
常にライダーに連結されなければならない。

21 キャブレターとフュエル・インジェクション

キャブレターとフュエル・インジェクター・インレットは、バックファイヤーが生じた際に、
ライダーが怪我をしないような位置に置かれるか、覆われていなければならない。フュエル・イ
ンジェクションには、デュアル・ケーブルのポジティブ・リターン・スロットル（または2本の
リターン・スプリング）が必要とされる。

22 キル・スイッチ

モーターサイクルには、ライダーがモーターサイクルのコントロールを失った時に、エンジン
へのすべての電源をカットする電気式接触が装備されていないと
ならない。これはエンジン始
動時には常にライダーにコネク
トされていないと
ならない。

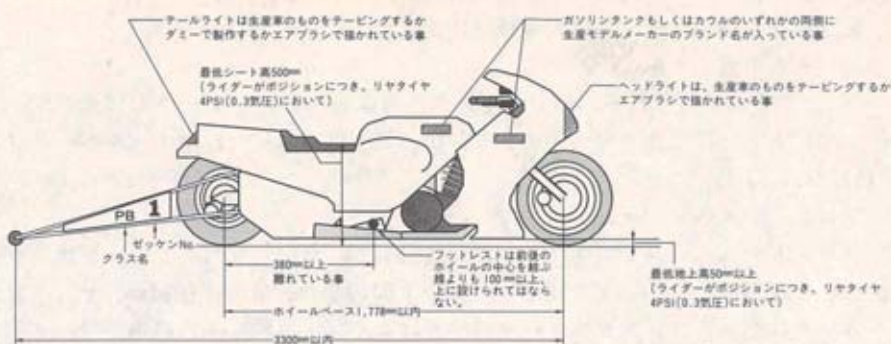
23 オイル・キャッチ・タンク

- 1) オイル・ブリーザー・パイプが装着されている場合、排出口はキャッチ・タンクに放出す
るようになっていなければならない。（下記の物も安全なようにワイヤー・ロックされてい
なければならない。リヤ・スプロケット、フロント・アクスル、リヤ・アクスル、ブレーキ・
キャリパーのピン、ブレーキ・ディスク、フットブレーキのマスターシリンダー。）
- 2) オイルキャッチタンクはアクシデント発生時でも容易に破損したり脱落せず、かつ高温に
耐えられる材質であること。
- 3) キャッチタンクに溜まったオイルはエンジンにもどるリターンパイプを取り付けることが
望ましい。……ロードレース基本仕様の図A（150頁参照）。

24 チェーン

チェーンはマスターリンクのないクローズド・タイプとする。またはマスターリンクがある場
合には安全にワイヤーロックされなければならない。

※外観はストック状態を維持すること
(生産モデルの外見と同じ形をしていなければならない。
他のモデルと違ってはならない)



ワイヤーロック

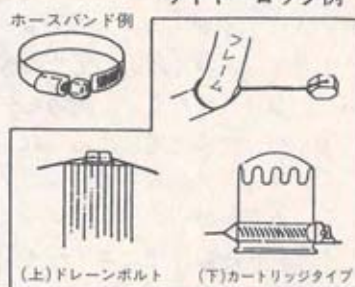
1) 必ず行う部分

- ① オイルドレーンボルト
- ② 外部オイルフィルター
- ③ 圧カライン系
- ④ ホイールスピンドルエンド

2) 推奨される部分

上記以外の回転部分を固定するボルト類

ワイヤーロック例



PB(プロストックバイク)クラスの 車両規制 (A級)

01 クラス区分

定義：このクラスはストック（生産モデル）の外観で自然吸気によりガソリンを燃焼するモーターサイクル用のクラスである。

クラス	ベースエンジン	最大限排気量	最大限気筒数	最大限実速数
プロストック バイク(PB)	ハーレーVツイン	2,294.18cc (140立方インチ)	2	6
	2バルブエンジン	1,507.60cc (92立方インチ)	6	6
	4バルブエンジン	1,294.57cc (79立方インチ)	6	6

03 車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数

04 下記部品は各項の制限内で改造出来る(ドラッグレースの基本仕様 に合致すること)

- 42)(2) リヤホイールは交換出来るが下記制限内とする。

ドラッグレースの基本仕様

- 最低直径 15インチ 最大直径 18インチ
- 44)(1) フロントホイールは交換出来るが下記制限内とする。
最低直径 16インチ 最大直径 19インチ
- 50)(1) フレームボディ
修正・変更は認められる。但しキャスター角は最大で40°、シート高は最低50cm（ライダーがポジションにつきリヤタイヤ4 PSI(0.3気圧)において。）ホイールベースは70インチ(1778mm) 以内
- 51)(1) フロントサスペンション
フロントサスペンションユニットは交換出来る。ただしサスペンションストロークは最低35mm(O.E.M.タイプ)。アフターマーケット製の場合、最低直径34mm。サスペンションストロークは38mm。フロントフォークの延長は4インチ(約10cm) 以内。
- 52)(1) リヤサスペンション
リヤサスペンションの改造・変更(リジット化含む)は認められる。
- 54) カウリング
- (1) オートバイ用として生産されていなければならない。生産モデルの外見と同じ形をしていなければならない。他のモデルと混じってはならない。
 - (2) パーツの変更は認められるが生産時の形状を維持しなければならない。カウルの両側にブランド名が入っていること。
 - (3) カウルの下部はエキゾーストパイプのクリアランスのために修正及び取り除いてもよい。
 - (4) カウルの外側にエアインテークホースの取り付けは認められない。
 - (5) ヘッドライト、テールライトはエンプラシ等で描かれていること。
- 55) シート・シートカウル
改造変更出来るがライダーが後ろに滑るのを防ぐステップがついていることが望ましい。

05 重量

重量、最大排気量

PBクラスの最低重量は下記とする。

ライダーが全装備で乗車した状態で、249.47kg(550ポンド)、ハーレーVツイン272.15kg(600ポンド)。

06 車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 17) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け(4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 40) チェーンガード
リヤアクスルを越えてチェーンの上部をカバーすること。チェーンガードは鋼鉄製または厚さ3.2mm以上のアルミ製のものに限る。固定は3カ所以上とする。
- 53) ステアリング・ダンパーの取り付け
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。
- 61) ウイリーバーの取り付け
フロントアクセルセンターからウイリーバーアクセルセンターまでは最大3,300mm以内で

ある事。金属製のワイリーパー車輪は禁止する。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 23) シフトは手動またはエアシフターとし、コンピュータによるシフトチェンジは禁止する。
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) 燃料はガソリンとし、アルコール等の燃料は禁止する。燃料及び添加剤等のいかなる手段でも亜酸化窒素、一酸化二窒素の使用は一切認めない。輸入レーシングガソリンの使用は事前に申告し許可を得た場合以外は使用を認めない。
- 59) 情報収集以外の目的でのコンピューターの使用。
- 60) キック、電気スターター以外のエンジン始動（押しがけ等）。



ロードレース ジュニアクラスの仕様

01 クラス区分

カテゴリー	クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
SP (スーパープロダクション)	50	~50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6
GP	50	~50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。または一般生産型車両をベースとしたSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びロードレース基本仕様（第8章）に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) ホイールリム直径が16インチ以上で、80cc以下の二輪車。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、取りはずしをいう)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナーを含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質、鋳造および形状
- 5) クラッチの構造
- 6) エンジン内部の部品の材質及び寸法形状
- 7) 4サイクルエンジンのバルブの径、バルブのリフト量、バルブタイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクルエンジンのシリンダー、ピストンによるポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気システムのシステム、バルブの数、ポートの数、キャブレターの数
- 11) クランクケースカバー類の材質、鋳造、及び形状
- 12) 2サイクルのシリンダー、4サイクルのシリンダーヘッドのポートの寸法、形状
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストンの材質、寸法、形状
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリーの材質、形状、

寸法

- 16) キャブレター *ただし04.16)及び08.3)(1)参照
- 17) フュエルタンク
- 22) プライマリーギヤのレシオ、及び寸法形状 *ただし04.22)参照
- 23) ミッションギヤのレシオ、及び寸法形状
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43)参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係*ただし04.45)参照
- 48) タイヤ *ただし08.3)(4)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) フロントフォーク *ただし04.51)参照
- 52) リヤフォーク、リヤクッション、リヤクッションリンケージ
- 53) ステアリングステム、トップ、ボトムブリッジ *ただし04.53)参照
- 54) ストリームライニングの形状 *ただし04.54)参照

04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする

- 16) キャブレターのセッティング、(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲) エアーファンネルの取り付け、または寸法の変更。(キャブ本体を除く)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 25) スタート装置の取り外し
- 27) エアクリナーボックスの改造
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 51) フロントサスペンションセッティングのためのオイル交換、セット荷重調整
- 53) ステアリングダンパーの取り付け
- 54) カウリングの材質(但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 55) シートカウルの形状、材質(但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 59) すべての部品についての調整・仕上げは自由である。
- 60) 不要なステー類のカットは可(但し軽量化目的の材料は除く)

05 重量

クラス	最低限重量
SP	50 77kg
	80 79kg
GP	50 77kg
	80 79kg

最低限重量は半乾燥重量とする。
半乾燥重量とは走行可能状態からガソリンを抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合 改造変更が義務付けられる

- 16)(1) キャブレターのサイズ(気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
50(SP, GP)	直径18mm相当以下
80(SP, GP)	直径28mm相当以下

ロードレースジュニアの仕様

- (2) 規制を越えるキャブレター装着車は公認キャブで、かつ規制以下のキャブレターに交換すること。
- 17) 電動式フューエルポンプを装着している車両は、転倒時に自動的に停止する装置を備えていること。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザー250cc以上)
- (2) 4サイクル車のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置にとりつけなくてはならない。)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類。)
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用 (チタン合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)
(カーボンサイレンサーも完全禁止)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項141頁参照)

08 MFJへの公認手続、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	25台	10台

* SPコンプリート車は、ベースとなる車両が公認を取得していること。台数の制限はない。

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付きて公認発行する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付け出公認発行とする。但し市販レーサー、SPコンプリート車は各々1ヵ月後とする。
- 3) 申請する車両は以下の仕様に適合していることを条件とする。
- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大限サイズ
50(SP, GP)	直径18mm相当以下
80(SP, GP)	直径28mm相当以下

注) キャブレターのサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリムのサイズ
直径は16インチ以上であること。

クラス	最大幅フロント	最大幅フロント
50(SP、GP)	2.15インチ	2.75インチ
80(SP、GP)	2.15インチ	2.75インチ

- (3) タイヤはメーカーのラインで装着されている50/80ccクラスの一般公道用タイヤで、上記リムサイズに適合しているもの。
- (4) 01条のクラス区分内にあること。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内においては一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められるが、'93年1月1日以降の公認車両同士に限られる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。
(コンプリートマシンのベース機構の打刻型式に基づき判断される。)



ミニバイクの仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
N5(スクーター50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S5(スポーツバイク50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S8(スポーツバイク80cc一部改造)	50ccを越え80cc以下	○	○	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両で、MFJが公認したもの。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更または取り外しをいう)

- 1) エンジンの型式。
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク。
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状。
- 5) クラッチの構造(但しディスクの材質とスプリングは除く) —04.22参照。
- 6) エンジン内部の部品の材質。
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比。
- 8) 2サイクル車のシリンダーピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比。
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き。
- 10) 吸入、排気システムのシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数。
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造および、形状。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン。
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー。
- 16) キャブレター(メインジェットのみ変更可)。
- 17) フュエルタンク。
- 22) プライマリーギヤ。
- 23) ミッション。
- 27) ブリーザーシステム。

- 42) リヤホイール。
- 43) リヤブレーキ関係。
- 44) フロントホイール。
- 45) フロントブレーキ関係。
- 50) フレームボディ。
- 51) フロントフォーク。
- 52)(1) リヤフォーク。
- (2) リヤサスペンション。
- 53) ステアリングステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ。
- 54) ストリームライニング。

04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第8章)には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのメインジェットの変更は可。
- (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加ができる。
- 30) イグニッションコイル、点火ユニット、リミッターの改造・変更は可。
- 31) プラグの変更は可。
- 36) スピードメーターの取りはずしは可。
- 40) チェーンの変更は可。
- 41) スプロケットの変更は可。
- 48) タイヤ
一般市販され通常ルートで購入出来るもののみ交換は可。ただし、スリックタイヤ(インターミディエイト含む)および摩耗限度を越えたタイヤの使用は禁止。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合 改造・変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置に)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類)の取り外し
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用(チタニウム合金、カーボン強化繊維等の高価な材料)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入できるか各サーキットのスタンドで購入できるMFJの定める無鉛ガスに限る。

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

ミニバイクの仕様

		国産車	輸入車
一般生産型車両	250cc以下	500台	25台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付けて公認発行。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付けて公認発行する。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあつては一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。
'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。
('93年1月1日以降の公認車両同士に限られる)



ストックバイククラス の仕様

(略称 ST)

ストックバイク規則は公道用一般車両をベースに最小限の改造とコストで性能を参加しやすいレベルに抑えることを基本理念とする。

用語の定義：改造＝もとの部品を使って切削・追加・研磨を行う行為

変更＝もとの部品から他の部品に置き換える行為

1 出場車両

- 1) ストックバイククラスに出場する車両は一般生産型モーターサイクルでMFJの公認車両でなければならない。
- 2) 公認車両のリストは巻末に記載する。

2 排気量区分

50ccクラス	～50cc	125ccクラス	81cc～125cc	400ccクラス	251cc～400cc
80ccクラス	51cc～80cc	250ccクラス	126cc～250cc		

3 燃料／オイル

- 1) 使用する燃料はMFJが規定する無鉛ガソリンで、当該サーキットから購入できるものを使用しなければならない。
- 2) オイルは一般に市販されているものから選択しなければならない。
- 3) 上記以外の起爆剤・添加剤は使用してはならない。

4 仕様

- 1) レースのために行わなければならない変更
 - (1) 取り外さなければならない部品
 - ① ライト／ウインカー／リフレクター
 - ② バックミラー
 - ③ ナンバープレートとブラケット
 - ④ セーフティーバー／センタースタンド／サイドスタンド
 - ⑤ 同乗者用フットレスト／グラブレール
 - ⑥ その他車検時に安全上取り外しを指示された部品
 - (2) 車両公認時の状態で下記の各項目に適合していない時は、改造・変更が義務付けられる。特にガソリン／オイル等をコースに撒き散らすことは事故原因になるのでその為の対策を主眼とする。
 - ① アクセルは手で握っていないときは、自動的に閉じるようになっていること。
 - ② キルスイッチをハンドルを握ったまま操作できる位置に取り付けること。
 - ③ 電動式フューエルポンプがついている車両は、転倒した時にポンプが自動的に停止す

るための回路遮断システムを備えていなければならない。

- ④ 4サイクル車両はクローズドブリーザーシステムになっていなければならない。すなわち、オイルブリーザーラインはエアクリーナーボックスに連結され、これに排出する構造となっていること。エアクリーナーボックスの下部に排出穴があいている場合は、オイルを受けられるように塞がなければならない。(215頁図を参照)
- ⑤ オイルブリーザーパイプが装着されている車両には、オイルキャッチタンクを取り付けなければならない。
最低の容量：2サイクル：250cc　4サイクル：500cc
- ⑥ オイルドレーンプラグ及び供給パイプ
エンジンのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の位置に固定しなければならない。
オイルパンに進入する外部オイルフィルターのスクリューやボルトは安全にワイヤーロックされていなければならない。(215頁図参照)
- ⑦ 燃料タンクブリーザーパイプがついている車両は、ノンリターンバルブを燃料タンクブリーザーパイプに取り付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた最低容量250ccキャッチタンクに放出されるようになっていなくてはならない。
- ⑧ 燃料タンクフィルターキャップ及びオイルフィルターキャップは閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらに、これらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。
- ⑨ ラジエーターオーバーフローパイプがついている車両は、最低重量250cc以上のキャッチタンクを取り付けなければならない。

(3) ナンバープレートの取り付け

- ① ナンバープレートは、フロントと両サイドの3枚を取り付けなければならない。
- ② ナンバープレートの地色は白で、文字は黒色。
- ③ プレート・文字サイズは図を参照のこと。

2) レースの為にチューニングが許可される部分

記載されている事以外は一切改造・変更はできない。

(1) フレーム

- ① 追加が認められるパーツの取り付けを目的としたステーの追加。
- ② リヤサブフレームにボルトオンされたアクセサリーの取り外し。

(2) サスペンション

- ① フロントサスペンションのスプリングの変更。
- ② 車高調整を目的としたフロントフォークの上下の取り付け位置の調整。
- ③ リヤサスペンションのスプリングの変更。
- ④ サスペンションフルードの変更。

(3) ブレーキ

- ① 前後ブレーキパッドとホースの変更。
- ② ブレーキフルードの変更。

(4) タイヤ・ホイール

- ① スピードメーター駆動部の取り外しとスパーサーへの交換。
- ② タイヤ
 - a. タイヤは変更できるが、一般公道用のタイヤに限られる。レース用のスリックタイヤ/レーシングレインは天候に関わらず使用できない。
 - b. タイヤは入門者クラスとして公平を期すため、排気量クラスごとに銘柄と種類を限定する。当該銘柄で使用できるタイヤは下記に限定される。

年 度	クラス	メーカー	パターン	年 度	クラス	メーカー	パターン
1998～1999年	ST250	ブリヂストン	BT92または BT54	2000～2001年	ST250	井上ゴム	未定
	ST400	ダンロップ	GPR80または D205		ST400	ミシュラン	未定

- c. タイヤの追加工（再グルーピング等）は禁止される。
- d. 磨耗限度を超えたタイヤは使用できない（残溝はインジケーターによる）。
- e. 1レースのタイヤの使用本数は、前後とも1本づつとする。
- f. タイヤウォーマーの使用は禁止する。
- g. 上位入賞車両は再車検にて詳細検査を行い、登録タイヤと異っていた場合は失格とする。
- (5) フートレスト・チェンジレバー・ブレーキペダル
- フートレストは改造・変更されてもよいが、下記条件を満たさなければならない。ただし車両公認時から改造・変更しない場合は突起物を取り外し、車検長の許可を得た場合は下記仕様を満たさなくても使用できる。
- ① フートレスト／フートコントロールの位置は移動してもよいが、ブラケットは元の取り付け位置に固定しなければならない。
 - ② フートレストの先端は、最低半径8mmの中空でない一体構造の球状になっていなければならない。
 - ③ 折りたたみ式の場合は、自動的に戻るようになっていなければならない。
 - ④ スチール製フートレストで折りたたみ式でない場合、その先端にはプラスチック、テフロンあるいはそれと同等の材質でできた先端（プラグ）が固定されていなくてはならない。（最低半径8mm）
- (6) ハンドルバー・レバー類
- ① ハンドルバー、ブレーキ／クラッチレバー及びブレーキ／クラッチケーブル／スロットルケーブルの変更。ただし、取り付け位置は公認時から変更してはならない。
 - ② ハンドルバーの末端が露出している場合は、固形物質を詰めるかゴムでカバーされていなければならない。
 - ③ ハンドルバーの最低幅は80ccまでは400mm、81cc以上は450mm。
 - ④ ブレーキ／クラッチレバーの先端はボール状でなくてはならない（最低直径19mm）。このボールを平たくすることができるが、端部は丸くなっていなければならない（最低の厚み14mm）。
- (7) カウリング
- ① カウリングとウインドスクリーンはアフターマーケットのものに変更することができる。ただし、外観はノーマルと同じでなければならない。
 - a. スクリーンエッジは丸く加工する。
 - b. カーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材のものは使用できない。
 - ② 取り付けブラケットの改造・変更。
 - ③ 露出しているエッジは、全て丸められていなければならない。
 - ④ 大会期間中に破損した場合の補修と取り外し。
- (8) シート
- オプションのシングルシートまたはアフターマーケットのものに変更できる。ただし、外観はノーマルと同じでなければならない。カーボン／ケブラー強化繊維等の高価素材のものは使用できない。
- (9) シリンダー
- ① 4サイクルのシリンダーヘッドポートのバリ取りとカーボン除去。バリとは以下のものを指す。
 - a. 型合わせバリ

b. シリンダー加工バリ (214頁図参照)

※ポート内のザラ付きは錆ハダと解釈し、切削、研磨は認められない。

② 2サイクルのシリンダーヘッドとポートのカーボン除去。

シリンダーポートのバリ

(10) クラッチ

- ・クラッチスプリングの変更。

(11) キャブレター

- ・ジェットとニードルの変更。

(12) 燃料供給

- ① フューエルラインの変更。
- ② フューエルベントラインの変更。
- ③ フューエルフィルターの追加・変更。

(13) ワイヤハーネス

- ・不要なワイヤハーネスのカット。

(14) スプロケット/チェーン

- ・カウンターシャフトスプロケット、リヤホイールスプロケット、チェーンの変更。ただし、チェーンは公認時のサイズとする。

(15) エンジンレプリミッター/スピードリミッター

- ・エンジンレプリミッター/スピードリミッターの変更。

(16) 点火時期/スパークプラグ

- ・スパークプラグ、プラグキャップの変更。ハイテンションコードの変更。
- ・点火時期の調整。

(17) ボルト・ナット類

- ① ボルト・ナット類の変更。ただし、同じ材質でなければならない。
- ② ボルト・ナット類はセーフティーワイヤーをつける為に孔を開けてもよい。しかし、軽量化する改造は認められない。
- ③ カウルのボルト・ナット類はクイックタイプに変更できる。

(18) 取り外すことができる部品

- ① 計器類と計器用ブラケット及び関連ケーブル。
- ② ホーン
- ③ ツールボックス
- ④ タコメーター
- ⑤ スピードメーター
- ⑥ ラジエーターファンと配線
- ⑦ 2サイクル分離給油用のオイルポンプとオイルタンクの取り外しと、取り外し後のカバー類の取り付け。
- ⑧ リヤフェンダーと結合していない場合のチェーンガード。
- ⑨ リヤサブフレームにボルトオンされたアクセサリ。

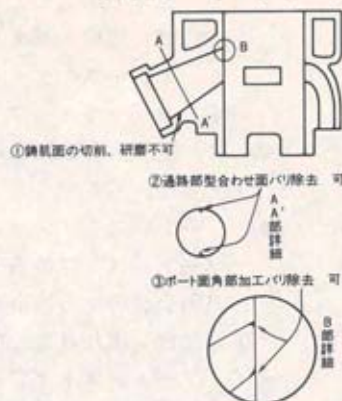
(19) ノーマルマフラーに対する曲げによる接地対策は許可される(切り取り、追加は許可されない)。また、取り付けのためのブラケットの変更も許可される。

3) その他の制限

- (1) チタン合金部品の使用は禁止される。
- (2) 買い取り制度

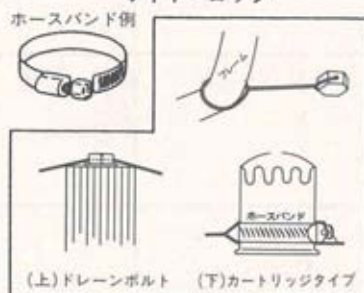
1大会にて6位以内に入賞した車両は、購入希望者がいた場合下記価格にて販売しなければならない。売買によって発生する税金は、この金額に含まれない。

80ccクラス以下	50万円	250ccクラス	100万円
125ccクラス	70万円	400ccクラス	100万円

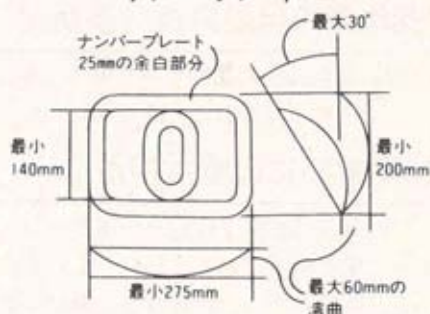


- ① 購入希望者は6位以内に入賞した車両が車両保管されている時間内に限り、購入申請することができる。
- ② 購入申請は主催者指定の用紙に必要事項を記入し主催者に提出すること。
- ③ 購入希望者が複数の場合、主催者により抽選が行われ、決定される。
- ④ 購入者が決定した時点で、購入者は購入申請日に以下のものをそろえて主催者へ提出しなければならない。
 - ・購入申請用紙
 - ・購入者の運転免許証のコピー
 - ・購入申請保証金50,000円（購入申請保証金は購入代金の一部とされる）。
- ⑤ 購入者が決定した時点より、主催者は車両を売買契約日まで保管しなければならない。
- ⑥ 売買契約日は、購入申請日から起算して10日以内の間に設定されなければならない。売主・購入者、そして主催者3者合意のもと、売買契約日を決定する。
- ⑦ ⑥にて決定された売買契約日に購入代金（現金）と、車両の受け渡しが行われる。
- ⑧ 売買契約日に売主・購入者双方とも、身分証明のコピーを主催者に提出しなければならない。
- ⑨ 売買契約は売主・購入者双方と主催者の立ち会いのもと行われる。
- ⑩ ⑥にて決定された売買契約日に購入者が購入代金を支払うことができない場合は、この売買契約は無効となり購入申請保証金50,000円は返却されない。また、この場合に発生する経費（運搬費等）は購入希望者が負担する。
- ⑪ 主催者が購入申請を行うことができる。
- ⑫ 売買された車両が、売主のエントラントから出場登録された場合、主催者はこれを拒否する事ができる。

ワイヤーロック

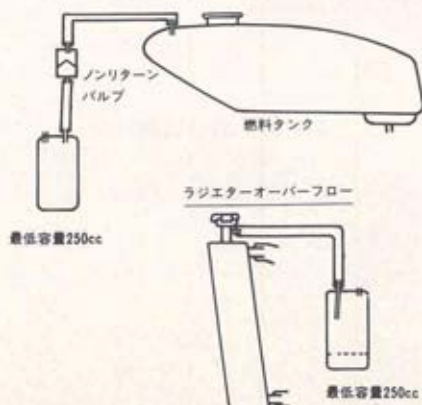


ナンバープレート

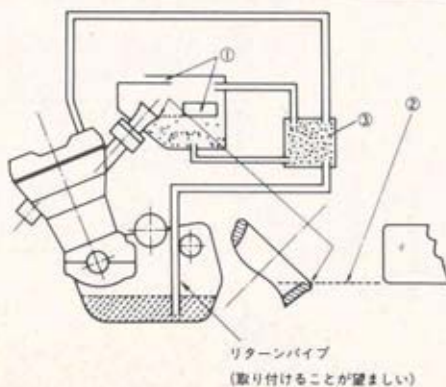


キャッチタンク

☒ A 燃料タンクブリーザー



4サイクルエンジンのブリーザーシステム



クローズドシステム
エアクリーナーボックスが装
備されていない場合、ブロー
パイプがキャブレターに吸
入されるような措置を施すこ
と。
オイルキャッチタンク
最低容量500cc

細則 10

MFJ ライセンス 昇格・降格に関する 規則

1 目的

本規則は、(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(以下MFJという)が発給管理する競技ライセンスの昇格・降格に関して規定し、モーターサイクル競技の公正を図ることを目的とする。

2 自動昇格

1) 自動昇格とは

- (1) 下記に述べる期間内に規定の得点または順位を得た場合、ライセンスは上位区分に昇格する。自動昇格者にはMFJより昇格が通知される。
- (2) 昇格後のライセンス区分が有効になるのは翌年の1月1日からとする。(’97年の成績で昇格した場合’98年1月1日から有効とする。)

3 ’98年度の自動昇格対象期間

’98年度の自動昇格対象期間は1998年1月1日から1998年10月31日までとし、昇格した後、有効となるのは’99年1月1日からとする。

4 自動昇格に必要な得点

- 1) 自動昇格に必要な得点(以下ポイントという)は公認競技会の格式別に完走者に対しその成績に応じて下記のように与えられる。(ドラッグレースは別途定める)
- 2) ジュニア部門の公認競技会におけるポイントは競技会の格式にかかわらず下記②その他の公認競技会のポイントとする。(トライアルは別途定める)

①全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会(台数…予選出走台数)

順位	台数	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8								
9位	7	7	7	7									
10位	6	6	6										
11位	5	5											
12位	4	4											
13位	3												
14位	2												
15位	1												

②その他の公認競技会

順位	予選出走台数					0-4
	12以上	10-11	8-9	6-7	5	
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	
3位	8	8	8	8		
4位	7	7	7	7		
5位	6	6	6			
6位	5	5	5			
7位	4	4				
8位	3	3				
9位	2					
10位	1					

注：出走台数は、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選のスタートラインに並んだ総台数とする。

5 ロードレースライセンスの昇格

1) ジュニア→フレッシュマン・国内

- (1) ジュニアライセンスにてGP50・GP80クラスにて優秀な成績をおさめ昇格を希望するものは、当該シリーズの主催者の推薦を得て申請しMFJスポーツ委員会にて認められた場合に昇格できる。
- (2) 当該年度に16歳になる者は、自動的にフレッシュマンとなる。
- (3) 昇格した後も16歳に達するまでは参加できるクラスは原則的に下記を上限とする。
GP125、SP250F(この解除を希望する場合は、親権者の承諾書を添えてスポーツ委員会に申請し許可を得ること)

2) フレッシュマン→国内

下記条件のいずれかを満たし申請することにより、国内ライセンスが随時取得できる。

- (1) 公認サーキットでの3時間走行証明を得る(複数のサーキットでの合計は不可)。
※走行証明の有効期間は発行より1年間。
- (2) 承認ロードレース競技会にて6位以内の成績を修めること。(過去2年以内)
- (3) 承認ロードレース競技会にて過去2回以上参加した実績を有する。(過去2年以内)
- (4) 国内ライセンス講習会を受けること。
※講習会終了証の有効期限は6ヶ月。

3) 国内→国際

国内部門から国際部門への昇格

1. 毎年1月～10月に開催された各地方選手権のGP125/250で下記のポイントで自動昇格。
(SP250/400にて下記のポイントを得た場合は希望者のみ昇格できる。※申請期限：'98年1月31日まで)

北海道(HSP選手権、十勝選手権の合計)	60点以上
SUGO選手権	60点以上
仙台選手権	60点以上
エビス選手権	50点以上
関東選手権(筑波・富士・那須・もてぎ)	50点以上
筑波選手権	50点以上
間瀬選手権	50点以上
那須選手権	60点以上
もてぎ選手権	50点以上
鈴鹿選手権	50点以上
近畿選手権(猪名川)	60点以上
中山選手権	60点以上
西日本選手権(CP MINÉ)	50点以上
TI選手権	60点以上
四国選手権(阿讃)	60点以上
九州選手権(HSR九州・SPA直入)	60点以上

2. エリア選手権のGP125/250/スーパーバイクで獲得ポイントが30点以上の者
(SPクラスで30点以上の者は申請により昇格できる)
3. エリア選手権で国内ライセンスにて出場し優勝した場合は、国際ライセンスに昇格する権利を与えられる。

6 モトクロスライセンスの昇格

1) ジュニア→国内B級

- (1) 公認競技会（10月31日まで）において各地方で下記に示す得点以上を獲得し、昇格申請を提出した者。（複数のブロックにまたがる得点の合計はしない。）

注：得点は〔④自動昇格に必要な得点〕（216頁）による。（当該年度に16歳になる者は自動的に国内B級となる）

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	20	20	20	20	20	20	20	20

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
 (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2) 国内B級→国内A級

- (1) 公認競技会（10月31日まで）において各地方で下記のポイントを得た者（複数のブロックにまたがるポイントの合計はしない。）

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	40	40	30	30	30	50	50	40

- (2) オフロード全国大会（8/23HARP）選抜 NB クラスで得たポイントは、その選手が参加するブロックのポイントに加算できる。
 (3) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
 (4) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3) 国内A級→国際B級

- (1) 公認競技会（10月31日まで）において各地方で下記のポイントを得た者（複数のブロックにまたがるポイントの合計はしない。80ccクラスは昇格の対象としない）

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	85	85	50	50	50	70	80	60

- (2) オフロード全国大会（8/23HARP）選抜 NA クラスで得たポイントは、その選手が参加するブロックのポイントに加算できる。
 (3) 前記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
 (4) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4) 国際B級→国際A級

- (1) 全日本選手権ランキングで、各クラス 1位から10位 にランクされた者。
 (2) 各地方ブロックの地方選手権にてシリーズチャンピオン（250cc、125cc）となり本人が希望し、かつ当該ブロックの許可を得た者。
 (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

5) その他

オフロード全国大会（8/23HARP）選抜 NB クラスの総合（125/250）優勝者は、IB クラスへの昇格申請ができる。選抜 NA クラスの総合（125/250）優勝者は、IA クラス（IA125）への昇格申請ができる。

7 トライアルライセンスの昇格

1) ジュニア→国内A級

- (1) ジュニア部門は国内B級部門との混走が認められ、昇格の基準は国内B級と同格に扱われる。(当該年度に16歳になる者は自動的に国内B級となる)
- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2) 国内B級→国内A級

- (1) 公認競技会(10月31日まで)において各地方で下記のポイントを得た者(複数のブロックにまたがるポイントの合計はしない)。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	45	50	45	45	45	45	60	60

注) 得点は細則10 [④自動昇格に必要な得点] (216頁) による(地方選手権、その他の公認競技会による年間のポイントを昇格の基準とする)。

- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3) 国内A級→国際B級

- (1) 各ブロックごとの地方選手権(10月31日まで)において、下記の人数でポイント上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
人数	2	5	15	10	10	6	3	7

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、ブロック支部の承認推薦された者で、MFJ スポーツ委員会が承認した者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4) 国際B級→国際A級

- (1) 全日本選手権ランキングで、1位から8位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。
- (2) 各地方ブロックの地方選手権にてシリーズチャンピオンとなり、本人が希望し、かつ当該ブロックの許可を得た者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

5) その他

トライアルグランドチャンピオン大会(11/8坂内バイクランド)グランドチャンピオンクラス(J/NB/NA混走)の上位15位(参加25台以上の場合)までの入賞者は、IBクラスへの昇格申請ができる。

8 ドラッグレースライセンスの昇格

1) B級部門→A級部門

- (1) 対象クラス: ストックバイク
- (2) 昇格基準: 地方選手権において100ポイント以上のポイントを得たもの。
- (3) ドラッグレース委員会が認めた者。

9 自動降格の基準

- 1) ライセンスの更新がなされなかった場合は、その欠格期間（ライセンスを取得しなかった期間）によって下表によりライセンス等級が自動降格される。

●自動降格基準表

欠格期間	種目 部門	モトクロス・トライアル				ロードレース	スノーモビル
		国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際	A級
1年		国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際	A級
2年		//	//	//	//	//	//
3年		//	国内B級	国内A級	//	//	//
4年		//	//	国内B級	国際B級	国内	B級
5年		//	//	//	//	//	//
6年以上		//	//	//	国内A級	//	//

※ロードレース国内ライセンスについては5年以上の欠格期間がある場合は、MFJ公認サーキットの走行証明が必要。

10 特別昇格およびその手続き

- 1) 昇格基準と同等とみなされる成績を得た（当該年の11月1日以降の公認競技会の成績も考慮される）者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。
- 2) 申請は、前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着することを要し、それ以外の申請は受理されない。
- 3) 申請は所定の申請書に必要事項を記入し、所属する県支部、ブロック支部の承認を得て、MFJ事務局に申請するものとする。
なお、所定の申請書は、MFJ事務局に用意されており、請求に応じて送布される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えて、県支部に提出すること。
- 5) 特別昇格についての最終決定はMFJスポーツ委員会の審査結果による。

11 特別降格およびその手続き

- 1) MFJ競技ライセンス資格の降格を希望する者は次の手続きによって申請し、MFJスポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格することができる。
- 2) 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着することを要する。申請者の用紙は、MFJ事務局に準備され、それに必要事項を記入し申請料3,000円を添えて県支部、ブロック支部の承認を得、MFJ事務局に申請する。
- 3) 降格承認後は降格が決められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えて、県支部へ提出すること。
- 5) 特別降格についての最終的な決定は、MFJスポーツ委員会の審査結果による。

※特別降格申請は、原則的にそのライセンス区分にて、得点を得られないまま1年以上経過した者のみを対象とする。

12 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則として次の競技会からライセンス等級がひとつずつ再昇格する。基準に適合した者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ事務局に返納しなければならない。（但し、この規則は特別降格申請が認められた年度および自動降格が適用された年度のみ適用する。）

1) ロードレース

- (1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
- (2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

2) モトクロス

- (1) 国際B級部門から国内A級部門に降格した場合は、スポーツ委員会にて審議し、承認された者。
- (2) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ 公認競技会において優勝した者。
- (3) MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

3) トライアル

- (1) 国際B級部門に降格した場合、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
- (2) 国内A級部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。
- (3) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ 公認競技会において6位以内に入賞した者。
- (4) その他 MFJ スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

附 則

本規則は、1998年1月1日から施行する。

全日本選手権ランキング決定基準

1) 全日本選手権ランキング順位決定方法

全日本選手権ランキングの順位づけは次の方法により決定される。

- (1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の多い者から順位を決定する。ただし、40点未満のものはチャンピオンとせず、ランキング2位とする。
- (2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多い者が上位となる。
- (3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
- (4) 上記3)で決定できない場合、MFJ スポーツ委員会において最終決定する。

全日本選手権認定表彰式典〔平成10年12月12日(土)暫定〕

全日本選手権ランキング決定基準に基づき決定された、下記の全日本選手権各クラス上位1位～3位の者は、その栄誉をたたえ、1998年12月12日(土)(暫定)に開催される'98MFJ全日本選手権ランキング認定表彰式にて表彰される。受賞者は必ず出席しなければならない。

ロードレース	モトクロス	トライアル	ドラッグレース	スノーモビル
国際 GP125	国際 A 級125	国際 A 級スーパークラス	A 級プロストックバイククラス	A 級 S1
国際 GP250	国際 A 級250	国際 A 級		A 級 S2
国際スーパーバイク	国際 B 級125	国際 B 級		A 級 S3
	国際 B 級250			A 級 S4

MFJ 公認クラブ等の 名称に関する規程

この規程は、財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会（以下「MFJ」という）に登録するクラブ及び団体（以下「クラブ等」という）の名称の取り扱いに関して規定する。

第1条 クラブ等の登録

クラブ等が、MFJに登録する場合は、5名以上のライセンス（Lライセンスを含む）を取得していなければならない。クラブ等が、公認競技会の主催者となる場合の条件は、別に定める。

第2条 クラブ等の名称の使用

クラブ等の名称は、MFJの承認を受けたものでなければ使用してはならない。
承認の申請は、MFJに行なわなければならない。

第3条 使用してはならない名称

次の各項に掲げる名称については承認されない。

1. 国際モーターサイクリスト連盟（FIM）及びFIM加盟の各国モーターサイクリスト連盟（各国モーターサイクル協会）の名称及びその略称。
2. MFJに既に登録されているクラブ等の名称及びその略称、ただし、当該クラブ等の同系列であり、地名等を付し、かつ、名称に関する権利保有者の名称使用についての同意書を得た場合はこの限りでない。
3. 著名な商品名、会社名及びこれに類似する名称。ただし、当該関係会社（二輪車メーカーを除く）と同系列等直接又は間接に関係があり、かつ名称使用の同意書がある場合はこの限りでない。
4. 連盟（Federation）、協会（Association）、組合（Union）など、および同義語など。
5. 日本、国際、アジア、極東、ナショナル、ロイヤル、インペリアル、太平洋などの誇大にわたる名称及びこれとの同意義語。

第4条 その他承認されない名称

新規登録の場合、第2条の各項に該当する以外の名称であっても、公序良俗に反するか、または社会通念上奇異に感じられる名称並びに実質と内容が伴わない名称については、MFJスポーツ委員会において審査し、却下または変更を求めることがある。

更新登録の場合において、その名実が相反することとなった場合は、改称を求めることがある。

第5条 使用の文字

クラブ等の名称は、漢字、片仮名、平仮名および数字のいずれかを用いた組合せによって表示

されなければならない。略称は、ローマ字で示すこととする。ただし地名を付記するものはこの限りではない。

第6条

クラブ等が新規に登録する際、必要により当該クラブ等に対しその名称の由来について、説明書の添付を求めることがある。

第7条 名称の変更

MFJに既に登録されたクラブ等の名称変更の申請がなされたときは、これを審査し、この規程の趣旨に反しないと認めた場合は、これを承認することとする。

第8条 附則

本規程は、昭和61年2月20日から施行する。本規定施行の際、既に承認されているクラブ等の名称は、この規程の趣旨に反しない限りはなお従前の例による。



MFJ 共済会制度

(平成10年1月1日～12月31日までの競技会)

種 目	MFJ 共済会掛金 (1名1大会)	共済会見舞金支払額		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払額	
ロードレース (81cc以上)	3,000円	MFJ 共済会見舞金 1,000万円 (MFJ 共済会が契約 した傷害保険含む)	MFJ 共済会見舞金 A 通院実日数(ギプス等 の固定期間および通 勤、通学、就業が不可 能として診断された 日数含む)×1,000円 B 入院実日数×2,000円 C 診断書作成補助金 5,000円	○MFJ 共済会見舞金請 求書 (様式9) ○完治したときの医師の 診断書 (様式10) 死亡、後遺症の場合は、 上記、様式9のほかに 傷害保険請求用紙(三 井海上)等の各種書類 が必要となります。
ロードレース (80cc以下)	1,500円			
ドラッグレース	1,500円			
ダートトラックレース	500円			
モトクロス (市販車、レーサー125cc以上)	1,500円			
ミニモトクロス (80cc以下)	500円			
トライアル	300円			
ミニバイクレース	500円			
エンデューロ	1,000円			
ジムカーナ	500円			
スノーモビル	500円			
ツーリング・ラリー	500円			
バイクトレッキング	500円			
ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	1,000円			
モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	500円			
トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含む)	300円			
スノーモビルライセンス講習会	500円			
ミニバイク講習会	500円			
ロードレース競技役員講習会	200円			
モトクロス競技役員講習会	200円			
トライアル競技役員講習会	200円			
ビットクルー	年間 500円			

☆見舞金の支払われる期間は、受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数分となります。

★見舞金の請求期限は、受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。

☆見舞金の支払われる適用範囲は、公認または承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行われた競技中、または公式練習中に発生した事故とする(※サーキットが行う特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)。

☆同一大会で二種目以上出場する場合は、掛金の高い種目が適用されます。

☆MFJ 共済会は治療費の支払いはありません。

☆死亡、後遺症見舞金を受ける場合は、入院見舞金および診断書作成補助金は受けられません。

☆死亡見舞金の請求者は、法定相続人に限られます。

☆競技役員、講師の共済会見舞金は別に定めるMFJ 競技役員傷害保険によります。

共済会見舞金請求の手続きは…

1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

2. 大会主催者から MFJ 共済会 見舞金請求書(様式9)と 診断書書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者またはMFJに、MFJ 共済会見舞金請求書(様式9)とMFJ 共済会指定の診断書(様式10)を請求してください。

3. 請求先は主催事務局

請求書中に必要な事項を記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼してください。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が主催者事務局長宛に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヶ月以内に指定口座に振り込まれます。



MJFJ公認車両

★は公認が継続された車輛

('97年12月15日現在)

■本田技研工業株 〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1 ☎03-3423-1111

●一般市販車 (オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
NSR250R	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.1.10	○					
NSR250R SE	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.1.10	○					
NSR250R SP	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.2.10	○					
CBR400RR	NC29	NC23E	399	55.0×42.0	'94.2.28	○					
RVF/RC45	RC45	RC45E	749	72.0×46.0	'94.3.25	○	○				
RVF	NC35	NC13E	399	55.0×42.0	'94.3.25	○					
NSI	AC12	AC08E	49	39.0×41.4	'94.5.22	○					
CB400SUPERFOUR	NC31	NC23E	399	55.0×42.0	'94.5.22	○					
NSR50	AC10	AC08E	49	39.0×41.4	'94.5.22	○					
★NSR250R(初回公認 '91年)	MC21	MC16E	249	54.0×54.5	'96.1.23	○					
★CBR400RR(初回公認 '87年)	NC23	NC23E	399	55.0×42.0	'96.6.25	○					

●一般市販車 (オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
CRM250	MD24	MD24E	246	66.0×72.0	'94.5.22						

●スポーツ専用市販車 (モトクロスカー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'94.9.23				○		
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'94.9.23				○		
★XR250R(初回公認 '89年)	ME06	ME06E	249	73.0×59.5	'95.7.25				○		
XR250R	ME08	ME08E	249	73.0×59.5	'95.8.25				○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'95.9.22				○		
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'95.9.22				○		
CR80R	HE04	HE04	79.4	46.0×47.8	'95.11.24				○		
CR80R2	HE04	HE04	79.4	46.0×47.8	'95.11.24				○		
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'96.8.23				○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'96.10.24				○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'97.7.23				○		
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'97.9.24				○		

■株式会社ホンダレーシング 〒351-0024 埼玉県朝霞市泉水3-15-1 ☎048-461-9511

●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
'94RS250R	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.1				○		
★'89RS250R(初回公認 '88年)	RS250SF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
★'89RS125R(初回公認 '89年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
★'88RS250R(初回公認 '88年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
★'90RS250R(初回公認 '89年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
★'90RS125R(初回公認 '89年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'94.1.25				○		
'95RS125R	JR01	JR01E	124.0	54.0×54.5	'94.11.1				○		
'95RS250R	MR01	MR01E	249.0	54.0×54.5	'94.12.1				○		
★'91-RS250R(初回公認 '90年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'95.1.24				○		
★'90-NSR250R(初回公認 '90年)	NH3F	NH3E	249	54.0×54.5	'95.1.24				○		
'96RS125R	JR01	JR01E	124	54.0×54.5	'95.11.1				○		
'96RS250R	MR01	MR01E	249	54.0×54.5	'95.12.1				○		
★'91RS125R(初回公認 '90年)	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'96.1.23				○		
★'92RS250R(初回公認 '91年)	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'96.1.23				○		
'97RS125R	JR01	JR01E	124	54.0×54.5	'96.11.1				○		
'97RS250R	MR01	MR01E	249	54.0×54.5	'96.12.1				○		
★'92RS125R(初回公認 '91年)	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'97.1.28				○		
★'93RS250R(初回公認 '92年)	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'97.1.28				○		
'98RS125R	JR01	JR01E	124	54.0×54.5	'97.10.29				○		
'98RS250R	MR01	MR01E	249	54.0×54.5	'97.11.1				○		

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
'94TLR260	TLR260F	TLRE	261.0	71.0×66.0	'94.1.1					○	
★'88TLM250R(初回公認 '88年)	TLM250F	NNI	249.0	74.0×58.0	'94.1.25					○	
★'88RTL250S(初回公認 '88年)	RTL250SF	NNI	249.0	70.0×64.9	'94.1.25					○	
★'89TLM250R(初回公認 '88年)	TLM250F	NNI	249.0	74.0×58.0	'94.1.25					○	
★'89RTL250S(初回公認 '88年)	RTL250SF	NNI	249.0	70.0×64.9	'94.1.25					○	
'95TLR260	TLR260F	TLRE	261.0	71.0×66.0	'95.1.1					○	
★'91TLM260R(初回公認 '90年)	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'95.1.24					○	
★'90TLM260R(初回公認 '90年)	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'95.1.24					○	
★'92TLM260R(初回公認 '91年)	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'96.1.23					○	
'97RTL250R	RTL250RF	NN3E	249	72.2×61.0	'97.3.1					○	
'98RTL250R	RTL250RF	NN3E	249	72.2×61.0	'97.12.1					○	

付録

■ヤマハ発動機株式会社 〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

●一般市販車（オンロードタイプ）

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
TZR250R SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'94. 2. 15	○					
TZR250RS	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'94. 3. 12	○					
TZM50R	4KJ	4EU	49	40.0×39.7	'94. 4. 26	○					
XJR1200	4KG	4CC	1188	77.0×63.8	'94. 5. 4						
★ TZR125（初回公認'88年）	2UT	2RM	124	56.4×50.0	'94. 4. 26	○					
★ TZR125（初回公認'87年）	2RM	2RM	124	56.4×50.0	'94. 4. 26	○					
XJR400S	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'94. 8. 28	○					
★ FZR750R（初回公認'89年）	3FV	3FV	749	72.0×46.0	'95. 1. 24	○	○				
TZR250SPR	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'95. 2. 15	○		○			
YZF750SP	4JD	4JD	749	72.0×46.0	'95. 3. 9	○	○				
TZR50R	4EU	4EU	49	40.0×39.7	'95. 4. 1	○					
TRX850	4NX	4NX	849	89.5×67.5	'95. 5. 1		○				
XJR1200	4KG	4CC	1188	77.0×63.8	'95. 5. 1						
XJR400	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'95. 5. 10	○					
XJR400R	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'95. 4. 28	○					
★ TZR250SP（初回公認'91年）	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'96. 1. 1	○					
XJR400 R II	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'96. 3. 23	○					
★ TZR250R（初回公認'89年）	3MA	3MA	249	56.0×50.7	'96. 4. 23	○					
★ TZR250SP（初回公認'90年）	3MA	3MA	249	56.0×50.7	'96. 4. 23	○					
★ TZR250（初回公認'90年）	3MA	3MA	249	56.0×50.7	'96. 4. 23	○					
XJR400R	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'96. 5. 1	○					
XJR1200	4KG	4CC	1188	77.0×63.8	'96. 5. 10	○					
XJR1200R	4KG	4CC	1188	77.0×63.8	'96. 5. 10	○					
XJR400	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'96. 5. 26	○					
SRV250	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'96. 6. 1	○					
DTS50LC	17W	5R2	49	40.0×39.7	'96. 6. 20						
SR400	1JR	2H6	399	87.0×67.2	'96. 12. 1	○					
SR500	1JN	2J2	499	87.0×84.0	'96. 12. 1	○					
FZ400	4YR	4YR	399	56.0×40.5	'97. 5. 20						
★ TZR250RS（初回公認'92年）	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'97. 2. 25	○					
★ TZR250RS（初回公認'93年）	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'98. 1. 1	○					
★ TZR250RSP（初回公認'93年）	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'98. 1. 1	○					
★ FZR400RRSP（初回公認'93年）	3TJ	1WG	399	56.0×40.5	'98. 1. 1	○					
ST225	5BT	5BT	223	70.0×58.0	'97. 7. 10						

●一般市販車（オフロード）

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
TT250Raid	4GY	4GY	249	73.0×59.6	'94. 5. 28						
TY250ZS	4ML	4ML	249	74.0×58.0	'95. 2. 1					○	
XT225W	4JG	1KH	223	70.0×58.0	'95. 4. 1						
TT250R	4GY	4GY	249	72.0×59.6	'95. 5. 1						
TT250RRaid	4GY	4GY	249	72.0×59.6	'95. 6. 1						
TT250RRaid	4WA	4GY	249	73.0×59.6	'96. 5. 1						
XT225WE	4JG	1KH	223	70.0×58.0	'97. 6. 10						

●スポーツ専用市販車（ロードレーサー）

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'94. 12. 20			○			
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'95. 1. 5			○			
★ TZ250（初回公認'89年）	3TC	3TC	249	56.0×50.7	'95. 1. 24			○			
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'95. 10. 26			○			
TZ250	4TW	4TW	249	56.0×50.7	'95. 11. 24			○			
★ TZ250（初回公認'91年）	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'96. 1. 1			○			
★ TZ250（初回公認'90年）	3YL	3YL	249	56.0×50.7	'96. 1. 23			○			
★ TZ250（初回公認'90年）	3YL	3YL	249	56.0×50.7	'96. 6. 25			○			
★ TZ250（初回公認'88年）	3LC	3LC	249	56.0×50.7	'96. 6. 25			○			
★ TZ250（初回公認'87年）	3AK	3AK	249	56.0×50.7	'96. 6. 25			○			
TZ125	4JT	4JT	124.8	56.0×50.7	'96. 11. 1			○			
TZ250	4TW	4TW	249.6	56.0×50.7	'96. 12. 1			○			
★ TZ250（初回公認'92年）	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'97. 2. 25			○			
TZ125	CE02C	E102E	124.8	54.0×54.5	'97. 10. 1			○			
TZ250	CG03C	4TW	249.6	56.0×50.7	'97. 11. 1			○			

●スポーツ専用市販車（モトクロスカー）

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
YZ125	4PE	4PE	124	54.0×54.5	'94. 9. 10				○		
YZ280LW	4LB	4LB	79.4	46.0×47.8	'94. 9. 1				○		
YZ250	4MX	4MX	249	68.0×68.8	'94. 10. 20				○		
WR250Z	4JW	4JW	249	68.0×68.8	'94. 11. 1				○		
★ YZ250（初回公認'88年）	3JE	3JE	246	68.0×68.0	'95. 2. 28				○		

GPZ1100	ZXT10E	ZXT10CE	1052	76.0×58.0	'95. 5.28										
* ZXR400R (初回公認 '91年)	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'95. 12.26	○									
* ZEPHYR (初回公認 '91年)	ZR400C	ZX400AE	399	55.0×42.0	'95. 12.26	○									
* ZXR750R (初回公認 '91年)	ZX750J	ZX750JE	749	71.0×47.3	'95. 12.26	○	○								
* ZXR400R (初回公認 '91年)	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'95. 12.26	○									
* ZXR750 (初回公認 '91年)	ZX750J	ZX750JE	749	71.0×47.3	'95. 12.26	○									
VULCAN Classic	VN400A	VN400AE	399	62.0×66.2	'97. 2.26	○									
ZEPHYRX	ZR400C	ZX400AE	399	55.0×42.0	'96. 5.26	○									
ZEPHYRX	ZR400C	ZX400AE	399	55.0×42.0	'97. 6.22	○									

●一般市販車 (オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
KLX250ES	LX250E	LX250DE	249	72.0×61.2	'94. 5.22				○		
KDX220SR	DX220B	DX220AE	216	69.0×58.0	'94. 6.26				○		
Super SHERPA	KL250G	KL250GE	249	72.0×61.2	'97. 4.25						

●スポーツ専用市販車 (モトクロスカー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
KDX220R	DX220A	DX220AE	216	69.0×58.0	'94. 5.26				○		
* KX250 (初回公認 '87年)	KX250F	KX250FE	249	64.7×70.0	'94. 4.26				○		
KX250	KX250K	KX250KE	249.3	66.4×72.0	'94. 8.20				○		
KX125	KX125K	KX125KE	124.8	54.0×54.5	'94. 8.20				○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'94. 9.10				○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'94. 9.10				○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'94. 9.10				○		
KX250	KX250K	KX250KE	249.3	66.4×72.0	'95. 8.20				○		
KX125	KX125K	KX125KE	124.8	54.0×54.5	'95. 8.20				○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'95. 9.10				○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'95. 9.10				○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'95. 9.10				○		
KLX300R	LX300A	LX300AE	292.4	78.0×61.2	'96. 5.23				○		
KX250	KX250K	KX250KE	249	66.4×72.0	'96. 8.25				○		
KX125	KX125K	KX125KE	124	54.0×54.5	'96. 8.25				○		
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'96. 8.25				○		
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'96. 8.25				○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'96. 8.25				○		
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'97. 7.23				○		
KX80	KX080X	KX080XE	79	47.0×45.8	'97. 7.23				○		
KX80-II	KX080Z	KX080XE	79	47.0×45.8	'97. 7.23				○		
KX125	KX125K	KX125KE	124	54.0×54.5	'97. 7.23				○		
KX250	KX250K	KX250KE	249	66.4×72.0	'97. 7.23				○		

■株式会社オオタニモータープロダクト

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
FANTIC K-R00	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'94. 4.22					○	

■株式会社カスノモーターサイクル 〒612-8474 京都府京都市伏見区下鳥羽円面田町95 ☎075-622-0225

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
ファンティックセクション249R	FM364	FM364	249.4	74.0×58.0	'95. 3.28					○	
FANTICセクション250 '97	FM403	FM403	249.9	74.0×58.0	'97. 2.25					○	

■(有)モリワキエンジニアリング 〒513-0816 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-82-4501

●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
'96MORIWAKI MH80R	MH80RF	HE04	79.4	46.0×47.8	'96. 1.26				○		
* MORIWAKI MH80R (初回公認 '91年)	MH80RF	HE04	79.4	46.0×47.8	'97. 3.26				○		

■株式会社レイズ 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西5-80 ☎06-746-1010

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
BETA TECHNO250	BETA B4	BETA6300	247.7	72.5×60.0	'94. 1.28					○	
BETA SYNT125	BETA B5	BETA6300	123.6	54.0×54.0	'94. 5.26					○	
BETA TECHNO250	BETA B6	BETA6605	247.5	72.5×60.0	'94. 12.22					○	
BETA TECHNO125	BETA B5	BETA6300	123.6	54×54	'95. 5.25					○	
BETA TECHNO250	BETA B6	BETA6605	247.5	72.5×60.0	'96. 3.27					○	
BETA TECHNO250	BETA B6	BETA6605	247.5	72.5×60.0	'97. 2.28					○	

■株式会社 千154-0004 東京都世田谷区太子堂2-7-1 ☎03-3419-6053

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
GAS-GAS CONTACT JT25	VTR GG		237.9	71.0×60.0	'94. 2.25					○	
GASGAS CONTACT JT25Cinco	VTRGG		237.9	71.0×60.0	'95. 3.28					○	
GASGAS CONTACT JT16	VTRGG		143.1	60.0×50.6	'95. 3.28					○	
GASGAS CONTACT JTR25	VTRGG		237.9	71.0×60.0	'96. 2.23					○	
GASGAS CONTACT JTX200	VTRGG	GG20F	162.8	64.0×50.6	'97. 3.26					○	
GASGAS CONTACT JTX250	VTRGG	GG25F	237.9	71.0×60.0	'97. 3.26					○	

■(有)アルプスヴァン 千407-0263 山梨県韭崎市穴山町7804 ☎0551-23-2658

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
スコルバワークス294	ST	376	272	72.0×68.0	'94. 7.28					○	
スコルバワークス295	SC29	376	249.7	68.9×67.0	'95. 7.27					○	
SCORPA EASY	SC296	420	248.9	68.8×67.0	'96. 3.27					○	
スコルバイージートップ	SC29	425	248.9	68.8×67.0	'97. 2.26					○	

■ヤマハオートセンター株式会社 千444-0007 愛知県岡崎市大平町字市木28 ☎0564-24-5312

●一般市販車 (オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
ベルガルダヤマハTZR125RR	4DL	4DL	124.8	56.0×50.68	'94. 9.26	○					

■株式会社 サイクルワールド 千651-2132 兵庫県神戸市西区森友4-13 ☎078-928-6644

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
MONTESA COTA 315RV	VTDMT03A0VE	NN3E	249	72.2×61.0	'97. 5.28					○	

■株式会社 ボスコ・モト 千562-0012 大阪府箕面市白島2丁目22番25号 ☎0727-25-3311

●一般市販車 (オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SB	GP	MX	TR	ED
アブリリア RS125	GS	ROTAX123	124.8	54.0×54.5	'98. 1.25	○					

MFJ公認部品

('97年12月15日現在)

●株菅生RC・SUGO 〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
FZR400RR-SPインダクションボックスセット	3TJ-14400-7B	FZR400RR-SP	'94. 1.26	○			
FZR400RR'92インダクションボックスセット	3TJ-14410-70	FZR400RR	'94. 2.23	○			
YZF750SP'94インダクションボックスセット	4FN-14410-71	YZF750SP	'94. 2.23	○			
YZF750SP'93インダクションボックスセット	4FN-14410-70	YZF750SP	'94. 2.23	○			
FZR750R'91~'92インダクションボックスセット	3FV-14410-72	FZR750R(OWD1)	'94. 2.23	○			
XJR400クロスミッションASSY	4HM-Y7400-70	XJR400	'95. 2.10	○			

●株エムシー・インターナショナル 〒550-0013 大阪市西区新町4-15-18 ☎06-536-0901

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
リザーバータンク一体型リアショック	WP3614 BA/VAP	TZ125/250 RS125/250	'95. 2.24		○		
★ USD FORK (初回公認 '90年)	WP-3548RC/MA	125ccレーサー	'95. 1.24		○		

●株オートリメッサ 〒431-0201 静岡県浜松市篠原町21339 ☎053-448-9851

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
リヤクッションASSY	17E	GSX-R750/W/SP	'94. 5.26				
キャブレターボックス	17E	GSX-R750SP	'94. 4.26	○			
フロントフォークASSY	17E	GSX-R750/W/SP	'94. 5.26				
トランスミッション	17E	GSX-R750WN/SP	'92. 4.10	○			
トランスミッション	B9240	RGV-T250SP	'96. 4.28	○			

●株カロツツェリアジャパン 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町1-6-8 ☎03-3863-4333

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
オーリンズショックアブソーバー	HD4040	RC45	'94. 5.26				
オーリンズショックアブソーバー	YA3040	TZR250	'94. 5.26				
オーリンズショックアブソーバー	YA4010	TZ125	'94. 5.26		○		
オーリンズ倒立フロントフォーク	FG9360	各機種750	'94. 5.26				
オーリンズ倒立フロントフォーク	FG9410	各機種125	'94. 5.26		○		
リアサスペンション (初回公認 '91年)	H05160ビギーバックタイプ	RS125R	'95. 6.23		○		
リアサスペンション	H05070ビギーバックタイプ	RS250R	'95. 6.23		○		

●カワサキモーターズジャパン(株) 〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-922-5039

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750 '93~ZXR750R'93~	'94. 2. 4	○			
ZXR400・400R・ザンザス用エアボックスキット		ZXR400 ZXR400Rザンザス('91~'94)	'94. 2. 5	○			
'91~'93ZXR400・400R・ザンザス用エアボックスキット		ZXR400 ZXR400Rザンザス('91~'93)	'94. 1.28	○			
'93~ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750 '93~ZXR750R'93~	'94. 1.26	○			
ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750'91・'92 ZXR750R'91・'92	'94. 1.26	○			
★ ZXR400Rトランスミッション (初回公認 '91年)	J9	ZX400H, ZX400J, ZX400L, ZX400M, ZX400N	'95. 12.26		○		
ダクト	J914073-1694	ZXR400, ZXR400R, サンザス	'96. 12. 1		○		

●株日本ビート工業 〒591-8014 大阪府堺市八下町4-102-10 ☎0722-57-7600

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
NASSERTクロスミッションASSY	ZRM-C	ZEPHYR400/750 GP2400R/600R	'94. 5.26	○			
NASSERTクロスミッションASSY	ZRM-E	ZRX, ZZR400/600	'94. 7.28	○			

●南バムレーシング 〒110-0016 東京都台東区台東4-13-23 ☎03-3833-5232

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
PWK39MS	1000-45R-0000	TZR125 RS125R	'94. 2.25		○		
PJ39Sキャブレター	1000-S32-A000	RS125R RS250R	'94. 2.25		○		
FLATCR4連小型32φVFR用インシュレータセット	FCR-D, FCR32(インシュレータ)	VFR400R RVF	'92. 5. 7	○			
★ 2・4サイクルE/G用キャブレターASSY(初回公認'90年)	PWK39SS	RS250R/RS125R	'96. 2.27		○		
★ 2・4サイクルE/G用キャブレターASSY(初回公認'90年)	PWK38SS	RS250R/RS125R	'96. 2.27		○		
PWM38キャブレター	1000-S56-A000	RS125R, TZ125	'96. 4.26		○		
PWM38キャブレター	1000-S55-A000	RS125R, TZ125	'96. 4.26		○		
★ CBR400RR用キャブレター(初回公認'92年)	FLAT CR4連 小型32φ	NC29(CBR400RR)	'97. 6.24		○		

●株ホンダレーシング 〒351-0024 埼玉県朝霞市泉木3-15-1 ☎048-461-9511

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
トランスミッション NSR250R(MC28)		NSR250R	'94. 1.28	○			
エアクリナーアッパーカバー	NKA	VFR400R RVF	'94. 2.23	○			
エアクリナーボックスセット	NKB	CBR400RR	'94. 3.15	○			
トランスミッション		RVF(NC35)	'94. 3.22	○			
VFR400Rトランスミッション	NLJ	VFR400R RVF(NC35)	'92. 2. 4	○			
★ NSR250Rトランスミッション (初回公認 '90年)	NH3	NSR250R	'95. 1.24		○		
★ NSR250Rフロントクッション (初回公認 '90年)	NH3	NSR250R	'95. 1.24		○		
★ NSR250Rリアクッション (初回公認 '90年)	NH3	NSR250R	'95. 1.24		○		
★ NSR250Rトランスミッション (初回公認 '90年)	NH3	NSR250R(NC18)	'95. 4.25		○		
★ VFR400Rトランスミッション (初回公認 '90年)	NL1	VFR400R(NC30)	'95. 4.25		○		
★ VFR400Rトランスミッション (初回公認 '90年)	NL1	VFR400R(NC30), VFR400R/RVF(NC35)	'96. 1.23		○		
★ CBR400RRトランスミッション (初回公認 '92年)	NKB	CBR400RR	'97. 1. 1		○		
★ NSR250Rトランスミッション (初回公認 '91年)	NKD	NSR250R	'97. 1. 1		○		

●オートショップスガハラ南 〒114-0002 東京都北区王子3-20-2 ☎03-3914-7500

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
エアボックスキット		CBR400RR'90~	'94. 3. 10	○			

●株式会社クレイション 〒152-0002 東京都目黒区目黒本町2-23-14 ☎03-5721-2878

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
QUANTUM RACING DAMPER(リア・ダンパー)	QRS-4	VFR750 YZF750 GSX-R750 ZXR750	'94. 2. 25	○			
QUANTUM RACING DAMPER(リア・ダンパー)	QRS-4	RS125R RS250R TZ125 TZ250	'94. 2. 25		○		

●T-CRAFT COMPETITION 〒320-0055 栃木県宇都宮市下戸祭2-4-3 ☎028-621-5500

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
ラムエアボックスセット	TC91AI	ZXR750R'91	'94. 2. 23				

●南イトウ 〒355-0077 埼玉県東松山市大字上唐子1244 ☎0493-23-0113

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
エアクリーナーBOX		ZXR750'91・'92	'94. 3. 23	○			

●株式会社ショーワ 〒437-1117 静岡県磐田郡浅羽町松原2601 ☎0538-23-2200

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
リヤダンパーキット	45B	CR125/250	'95. 4. 28			○	
フロントフォークキット	45B	CR125/250	'95. 4. 28			○	

●株式会社カスノモーターサイクル 〒612-8474 京都府京都市伏見区下鳥羽円面田町95 ☎075-622-0255

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
マルノックマグナム45フロントフォーク		YZ125/250, CR125/250, KX125/250	'96. 3. 29			○	

●株式会社路欧 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-7-1 ☎03-3419-6053

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
270KIT	VTR	GASGAS CONTACT JTR25	'96. 4. 26				○

●南ライダーズサロン横浜 〒236-0055 神奈川県横浜市金沢区片吹66-19 ☎045-783-3638

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
フロントフォーク405		GP125	'96. 5. 23		○		
リアーダンパーCOMP		GP125	'96. 5. 23		○		

●株式会社精機製作所 〒221-0016 神奈川県川崎市中原区市ノ坪386 ☎044-411-6381

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
キャブレターASSY	PWK35/32	RZ250/350, RGT125/250	'97. 3. 28	○			

●プロジェクトサイエンス 〒437-0065 静岡県袋井市堀越2-18-3 ☎0538-43-0315

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	GP	MX	TR
フロントフォークキット	47B	CR250	'97. 2. 1			○	

MFJ公認ヘルメット

取得規格/T用=ツーリング用, M用=モトクロス用, TR用=トライアル用,
R用=ロードレース用, R特選=ロードレース特選
形状/J=ジェットタイプ, F=フルフェイスタイプ

●昭栄化工(株)

〒110-0005東京都台東区上野5-8-5 cp10ビル ☎03-5688-5185

名	称	取得規格	形状	公認年月
JET-X		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
RSV		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
VZ		JIS-C・M用	F	'89.6.13
VZ-II		JIS-C・M用	F	'89.6.13
VX-4R		JIS-C・M用	F	'89.11.7
FX-1		JIS-C・R用	J	'90.5.8
RHV		JIS-C・R用	F	'90.9.4
FX-TOURING		JIS-C・M用	J	'90.4.10
X-8		JIS-C・R特選用	F	'93.1.27
TSV		JIS-C・R特選用	F	'93.1.27
VF-X		JIS-C・M用	F	'93.1.27
X-8 SP		JIS-C・R特選用	F	'93.2.24
FX-AFREET		JIS-C・M用	F	'93.2.24
NEW SR-X7		JIS-C・TR,T用	J	'93.2.24
TR-2P		JIS-B・TR用	J	'93.2.24
FX-J		JIS-C・M用	F	'93.2.24
BL-J		JIS-B・TR,T用	J	'93.2.24
ES-J		JIS-B・T用	F	'93.2.24
X-FOUR Light		JIS-C・R用	F	'93.4.28
NRV		SNELL M90 JIS-C種	F	'93.11.23
X-8V		SNELL JIS-C・R特選	F	'94.12.1
VF-X2		SNELL JIS-C・M用	F	'94.12.1
KH-S(NRV)		SNELL, JIS-C RR特選	F	'95.1.25
KM-SA(FX-1)		JIS-C・MX用	F	'95.1.25
FX-HORNET		JIS-C・MX用	F	'95.3.1
RPD		JIS-C・R用	F	'95.6.10
ZKV		SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96.1.24
X-8J		JIS-C・R用	F	'96.1.24
FX-R		JIS-C・M用	F	'96.1.24
VYRCE		JIS-C・R用	F	'96.4.24
X-8SP II		SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96.7.24
SR-FREEDOM		JIS-C・TR, T用	J	'96.7.24
RDV		JIS-C・R用	F	'96.10.23
Z-CRUZ		JIS-C・R用	F	'97.1.29
WYVERN		JIS-C・R用	F	'97.2.26
Boel2		JIS-C・R用	F	'97.3.26
RHEOS XS-1		JIS-C種・M用	F	'97.1.29
RHEOS RS-1		SNELL・JIS-C種・R特選	F	'97.1.29

●(株)アライヘルメット

〒330-0841埼玉県大宮市東町2-12 ☎048-641-3825

名	称	取得規格	形状	公認年月
F-V		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
GIGA		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
ASTRO-R		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
MX-2		JIS-C・M用	J	'89.6.13
RAPIDE-VIHR		JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
RAPIDE-μ		JIS-C・R用, SNELL M85	F	'90.5.8
MX-Enduro		JIS-C・M用, SNELL M85	J	'90.5.8
AT-S		JIS-B・TR用	F	'90.5.8
Super cLc RX-7RR		JIS-C・R特用	F	'93.1.27
OW		JIS-C・R,M用	F	'93.2.24
VX		JIS-C種 M用	F	'94.11.30
NT-X NT GALAXY Windy II		JIS-C種 R用	F	'96.4.24
OMNI-R		SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96.4.24

●テイ・エステック(株)

〒351-0012埼玉県朝霞市栄町3-7-27 ☎048-462-1121

名	称	取得規格	形状	公認年月
AMI(L-06)		JIS-B・TR,T用	F	'87.10.7
AMI(L-07)		JIS-B・TR,T用	F	'87.10.7
AMI(L-08)		JIS-B・TR,T用	F	'87.10.7

RHEOS(R-21)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-92)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-93)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-94)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-95)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-96)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-97)	JIS-C・R用	F	'87.10.7
SEED(J-23)	JIS-B・TR,T用	J	'87.10.7
Ami	JIS-B・TR,T用	J	'88.1.18
SEED-R22	JIS-C・R用	F	'88.1.18
SEED-R23	JIS-C・R用	F	'88.1.18
RHEOS R98	JIS-C・R用	F	'88.1.18
RHEOS R99	JIS-C・R用	F	'88.1.18
RHEOS R92LED	JIS-C・R用	F	'88.7.5
RHEOS RR101	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR102	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR103	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR104	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR301	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR302	SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS PA101	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS PA102	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS PA103	JIS-C・R用	F	'89.2.14
RHEOS(RC)	JIS-C・R用	F	'91.2.20
Rheos(RD)	JIS-C・R用	F	'92.3.11
Rheos(JB)	JIS-C・M・T用	J	'92.4.17
HONDA Rheos(RC)	SNELL R特選	F	'92.5.13
Rheos RC	JIS-C・R用	F	'93.6.20
ami L10	JIS-C・TR,T用	J	'93.7.28
ami J10	JIS-C・TR,T用	J	'93.7.28
RHEOS		J	'93.1.7
RHEOS(RE2)	JIS-C種	F	'94.4.27
RHEOS HRC RE-2	JIS-C・R用	F	'95.3.1
RHEOS FANG Junior	JIS-C種・M用	J	'96.1.24
RHEOS RE-3	JIS-C種・R用	F	'96.7.24
RHEOS JE 6	JIS-C種・M用	J	'96.8.28
RHEOS RE 3	SNELL, JIS-C種・R用	F	'96.10.23
RHEOS HRC YASHA(RJ2)	JIS-C種・R用	F	'97.7.23
RHEOS HRC YASHA(RJ1)	SNELL, JIS-C種・R特選	F	'97.6.25

●(株)コミネオートセンター

〒111-0056東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9811

名	称	取得規格	形状	公認年月
KF-RV		JIS-C・R用	F	'86.3.26
KF-RC		JIS-C・R用	F	'86.9.9
ANSWER		SNELL JIS-C・M用	F	'86.9.9
NARVA NC-2		JIS-C・R特選	F	'88.10.5
NARVA CROSS		JIS-C・M用	J	'90.1.9
Spazio		JIS-C・R用	F	'90.4.3
JT		JIS-C・M用	J	'90.4.3
Answer		SNELL・MX用	F	'95.8.23

●(株)エフイーティ

〒157-0063東京都世田谷区粕谷1-9-24 ☎03-3329-3951

名	称	取得規格	形状	公認年月
NOLAN N35 AIR		JIS-C・R用	F	'88.5.6
NOLAN N35 AIR		JIS-C・R用	F	'88.5.13
AXO SPORT X-49		JIS-C・M用	F	'89.6.13
AXO SPORT RX-1		JIS-C・M用	J	'91.8.20
AXO SPORT RX-2		JIS-C・M用	F	'92.9.25

●大日本インキ化学工業(株)

名	称	取得規格	形状	公認年月
DIC(TY-1)		JIS-C・R用	F	'86.4.30
DIC(DF-1)		JIS-C・R用	F	'86.1.9
DIC(DF-2)		JIS-C・R用	F	'87.3.31
DIC(GP87)		JIS-C・R用	F	'87.7.7
DIC(K)		JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(AR)		JIS-C・R用	F	'87.9.4
DIC(ZIO)		JIS-C・R用	F	'87.11.4
SUZUKI(ONE)S50C			F	'81.1.18

●興和精機(株)

〒105-0014東京都港区芝1-13-17 ☎03-3453-6011

名	称	取得規格	形状	公認年月
GRIFFIN(G100TD)		JIS-B・TR・T用	J	'86.10.23
GRIFFIN(GS-520)		JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GX-707)		JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GS530)		JIS-B・T用	F	'86.11.23
GRIFFIN(GX707)		JIS-C・M用	F	'87.3.4
GRIFFIN(GS530)		JIS-C・R用	F	'87.3.4

●(株)光輪モーターズ

〒110-0015東京都台東区東上野4-26-4 ☎03-3841-3411

名	称	取得規格	形状	公認年月
AGV(KR2000)		JIS-C・R用	F	'86.1.30
AGV QUASAR		JIS-C・R用	F	'95.3.1

●ワールド通商(株)

〒113-0033東京都文京区本郷1-24-1 本郷MFビル3F ☎03-3818-5451

名	称	取得規格	形状	公認年月
ボルシェ・デザイン(CP-4)		JIS-C・R用	F	'86.2.25
KIWI(K-16)		JIS-C・R用	F	'86.7.2
KIWI(K-20)		JIS-C・R用	F	'88.1.6

●(株)モトワールド

〒110-0016東京都台東区台東3-31-4

名	称	取得規格	形状	公認年月
ANSWER A-TECH-5			F	'88.8.4

●(株)谷尾商会

〒530-0037大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-358-0651

名	称	取得規格	形状	公認年月
NAVA 3A/C		JIS-C・R用	F	'86.4.28
NAVA-8		JIS-C・R用	F	'87.7.7

●(株)ヤナセ

名	称	取得規格	形状	公認年月
FJ(FJ-01)		JIS-C・R用	F	'86.5.28
FJ(FJ-02)		JIS-C・R用	F	'86.4.28
F-J(FJ-II・インテグラ)		JIS-C・R用	F	'87.7.7

●クノー工業(株)

〒141-0031東京都品川区西五反田7-22-17 TOC内 ☎03-3494-3371

名	称	取得規格	形状	公認年月
EF-2		JIS-C・M用	J	'86.8.5
DELTA		JIS-C・M用	J	'86.8.5
AIGLE		JIS-C・M用	J	'86.8.5
LYNX		JIS-C・M用	J	'86.8.5
SETA(045)		JIS-C・R用	F	'87.3.4

●ユニコ(株)

〒106-0032東京都港区六本木7-3-17 ☎03-3478-2707

名	称	取得規格	形状	公認年月
VS-2		JIS-C・R用	F	'86.3.26
NEF(VS-2)		JIS-C・R用	F	'86.12.15
NEF-RO2		JIS-C・R用	F	'88.6.10

●(株)立花

〒133-0044東京都江戸川区本一色3-16-20 ☎03-3653-6277

名	称	取得規格	形状	公認年月
カスタム ES-2 (A型)		JIS-A・T用	J	'92.4.8
カスタム(A型)		JIS-A・T用	J	'92.3.11
ライジン(A型)		JIS-A・TR用	J	'93.2.24
ライジン(レザートップ)		JIS-A・TR用	J	'93.2.24

●ヤマハ大船渡製造(株)

〒022-0002岩手県大船渡市大船渡町字欠の方向1-1 ☎0192-27-4101

名	称	取得規格	形状	公認年月
GEORAMA-TS		JIS-C・R用	F	'86.1.30
GEORAMA-RS		JIS-C・R用	F	'86.2.24
FE-X		JIS-C・R用	F	'86.2.24
OE		JIS-C・M用	F	'86.2.24
GEORAMA-GFV			F	'86.3.15
GEORAMA-GFV-R		JIS-C・R用	F	'89.9.5

GFS		JIS-C・R用	F	'89.10.11
YFR		JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV		JIS-C・R用	F	'90.5.8
INPURE(YOA)		JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV(HJJ)		SNELL・R特選	F	'91.7.3
GFV(YON)		JIS-C・R用	F	'92.6.3
YJ-X(YON)		JIS-C・M用	J	'92.7.8
STAIR		JIS-C・R特選	F	'93.6.23
GIBSON		JIS-C・M用	F	'92.2.5
YSF(YOH)		JIS-C種 R用	F	'94.7.27
YSF(RODEM)(YOH)		SNELL・R特選	F	'95.1.25

●(株)ジャパンプロダクト

〒133-0041東京都江戸川区上一色416-1 ☎03-3655-9055

名	称	取得規格	形状	公認年月
R120N R2-1		JIS-C・R用	F	'86.7.2

●(株)RSタイチ

〒574-0013大阪府大東市中埜内3-1-25 ☎0720-74-3268

名	称	取得規格	形状	公認年月
JT(ALS-1)		JIS-C・M用	J	'87.9.4
JT(ALS-2)		JIS-C・M用	F	'87.9.4

●旺文社バシフィック(株)

名	称	取得規格	形状	公認年月
NAVA		JIS-C・T用	セミJ	'86.7.26

●(株)大都

〒110-0014東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

名	称	取得規格	形状	公認年月
BELL(MAG-4)		SNELL JIS-C・M用	J	'86.9.30

●(株)丸万茂又

〒530-0047大阪府大阪市北区西天満6-1-5 ☎06-364-4678

名	称	取得規格	形状	公認年月
MAC		JIS-C・R用	F	'87.8.5

●(株)ドルフィン・インターナショナル

〒193-0832東京都八王子市散田町5-24-11 ☎0426-65-7843

名	称	取得規格	形状	公認年月
BELL MOTO5		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.5.9

●日栄プラスチック(株)

〒362-0806埼玉県北足立郡伊奈町大字小室字志久4429 ☎048-723-0611

名	称	取得規格	形状	公認年月
DIC(DFX)		SNELL・R特選	F	'91.2.15
Gibson(YX)		JIS-C・M用	F	'91.2.5
DIC(RT35・06)		JIS-C・R用	F	'92.7.8
DIC-VR		JIS-C・R用	F	'89.12.12
SYDEEN		SNELL C・R用	F	'89.3.7
DIC-Inc State		JIS C・M用	J	'89.5.9
DIC-zio-SX		JIS C・R用	F	'89.7.20
DIC ZR		JIS C・R用	F	'89.11.7

●オージーケー販売(株)

〒577-0037大阪府東大阪市御厨西ノ町60 ☎06-783-5906

名	称	取得規格	形状	公認年月
RS-1		JIS C・R用	F	'91.6.6
RS-1R		JIS C・R用	F	'92.9.25
EX-R/S-93G		JIS C・R用	F	'93.6.23
S-94G		JIS-C・R用	F	'95.4.20
RX-R		JIS-C・R用	F	'95.4.20
RX-V		SNELL, JIS-C種・R特選	F	'97.2.26
RG-V		SNELL, JIS-C種・R特選	F	'97.2.26
S-95G		SNELL, JIS-C種・R特選	F	'97.2.26

●ヤマハ発動機(株)

〒438-8501静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

名	称	取得規格	形状	公認年月
YZ07		JIS C・R用	F	'93.6.23

付録

●(株)イエローコーン

〒154-0014東京都世田谷区新町2-7-1 ☎03-3439-3752

名 称	取得規格	形状	公認年月
SIMPSON (BANDIT5)	JIS C種	F	'94. 1. 26

●エッチージェイシージャパン

名 称	取得規格	形状	公認年月
FG-X 3	JIS-C・MX用	F	'95. 4. 26
FG-10K	JIS-C・RR特選	F	'95. 4. 26

●フランコ商事(株)

〒540-0005大阪府大阪市中央区上町1-14-13 TAPSビル4F ☎06-761-6505

名 称	取得規格	形状	公認年月
SHARK (XRC-CARBON)	JIS-C・R用	F	'95. 8. 23

●山本光学(株)

〒577-0056大阪府東大阪市長登3-25-8 ☎06-783-1109

名 称	取得規格	形状	公認年月
YAMAHA	JIS-B・TR用	F	'95. 1. 25

●岡田商事(株)

〒105-0012東京都港区芝大門1-3-7 ☎03-5473-0371

名 称	取得規格	形状	公認年月
BELL (MOTO6)	JIS C種	F	'94. 5. 10
BELL (RACE STAR)	JIS C種	F	'94. 6. 29
FG-TECH	SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96. 6. 26
CL-X	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96. 6. 26
FG-X3	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96. 6. 26
CL-10	SNELL, JIS-C種・R特選	F	'96. 6. 26
FG-Light	JIS-C種・R用	F	'96. 7. 24

●(株)洪進クラウン

大韓民国京畿道龍仁郡二東面西里54-2

名 称	取得規格	形状	公認年月
FG-TECH	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96. 6. 26
CL-X	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96. 6. 26
FG-X3	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96. 6. 26
CL-10	SNELL, JIS-C種・M用	F	'96. 6. 26
FG-Light super	JIS-C種・R用	F	'96. 7. 24

●(株)ダックスコーポレーション

〒566-0073大阪府摂津市島飼和道2-8-5 ☎0726-53-0299

名 称	取得規格	形状	公認年月
BieFe BR16	SNELL, JIS-C種・R特選	F	'97. 11. 26

公認レーシングスーツ

●(株)カドヤ

〒111-0035東京都台東区西浅草3-29-21 ☎03-3843-2000

名 称	型 式	公認年月
ON THE RACE G2	RP, PX, MM, RD, PT	'90. 10. 23
NEW CONCEPTER	MDシリーズ(MD1, 214系)	'90. 10. 23
KADOYA	OR-SR	'90. 10. 23
ON THE RACE G2	RP-FS 0020	'91. 4. 10
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RP-125)	'92. 3. 11
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RP-07, 08)	'92. 3. 11
KADOYA	OR	'95. 6. 28
K'S LEATHER	CLASH KING	'95. 6. 28

●(株)クシタニ

〒430-0853静岡県浜松市三島町231 ☎053-441-2251

名 称	型 式	公認年月
KUSHITANI	KR KRN	'90. 10. 23
KUSHITANI	KI	'90. 10. 23
KUSHITANI	K	'91. 1. 18
KUSHITANI	KV	'91. 1. 18
KUSHITANI	オーダーメイド	'91. 2. 8
KUSHITANI	KI-101, 102, 103	'91. 4. 10
KUSHITANI	KX-1	'91. 11. 5
KUSHITANI	KX-1	'91. 11. 5

KUSHITANI	KI-X (KI-107X)	'92. 11. 1
KUSHITANI	KI-XM (KI-106)	'92. 11. 1
KUSHITANI	KI-X	'93. 3. 24
KUSHITANI	KI-X (KI-109, KI-111)	'94. 1. 10
KUSHITANI	KI-X (KI-112, KI-113)	'94. 11. 23
KUSHITANI	K-DR (K-161, K-162, K-163)	'96. 12. 26
KUSHITANI	KI-XW (KI-114XX)	'95. 12. 26
KUSHITANI	KI-XW (KI-115XX)	'95. 12. 26
KUSHITANI	KI-XW (KI-160XX)	'95. 12. 26
KUSHITANI	KI-XG (KI-118XX)	'95. 12. 26
KUSHITANI	KI-XV (KI-150XX)	'96. 9. 25
KUSHITANI	KI-XV (KI-116XX)	'96. 9. 25
KUSHITANI	KI-XV (KI-117XX)	'96. 11. 27

●(株)ルック

〒125-0061東京都葛飾区亀有4-3-7 ☎03-3604-7800

名 称	型 式	公認年月
SR	SR01-03	'90. 10. 23
RS	RS1-V	'90. 10. 23
SS	SS1-III	'90. 10. 23
Look	(オーダー)	'90. 10. 23
ラファール3	オーダーメイド	'91. 4. 20
GPシリーズ		'92. 11. 28
SPシリーズ	SP	'93. 11. 24

●(株)RSタイチ

〒574-0013大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720-74-3268

名 称	型 式	公認年月
Nixeレーシングレザースーツ	NXL	'90. 9. 29
NIXEレーシングレザースーツ	NXL005, 006, 007, 008, 009	'91. 9. 8
NIXEレーシングレザースーツ	NXL, NXL (オーダー)	'91. 1. 18
NIXEレーシングレザースーツ	NXL (NXL001)	'92. 10. 7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL (NXL012, 015)	'92. 10. 7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL (NXL011)	'92. 10. 14
NIXE NXL	NXL016	'94. 1. 26
NIXE NXL	NXL017・018	'94. 1. 26
NIXEレーシングレザースーツ	NXL	'94. 12. 28
NIXE NXL	NXL030	'95. 12. 26
NIXE NXL	NXL031	'95. 12. 26
NIXE NXL	NXL032	'95. 12. 26
NIXE NXL	NXL035	'96. 11. 27
NIXEレーシングレザースーツ	NXL038	'97. 1. 29
NIXEレーシングレザースーツ	NXL037 (条件付公認)	'97. 1. 29

●(株)アズ・スポーツ

〒158-0096東京都世田谷区玉川台1-1-3 ☎03-3709-3750

名 称	型 式	公認年月
Justys /	J-001R-J-023R	'90. 10. 23
Justys / J-PRO-R	JPR-001R-JPR-004R	'90. 10. 23
A's Racing	AS001SO-AS007SO	'90. 10. 23

●(株)大部

〒110-0014東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

名 称	型 式	公認年月
THE BIKE	RCシリーズ	'90. 10. 23
D'S	DRS-3007, 3008	'91. 5. 8
THE BIKE	オーダーメイド	'91. 5. 8
THE BIKE	FR-10, 11, 12, 13	'91. 6. 5
THE BIKE	FR-3, 5, 6, 7, 8, 9	'91. 2. 6
THE BIKE	GP-3, GP-5	'91. 2. 6
THE BIKE	RC-355, RS-NB	'93. 8. 25

●(株)光輪モーターズ

〒110-0015東京都台東区東上野4-26-4 ☎03-3841-3411

名 称	型 式	公認年月
PLICANA	グループC (PT-MS)	'90. 10. 23
PLICANA	グループA (PT-RXIGP)	'91. 2. 6
PLICANA	グループB (PT-NIGP)	'91. 2. 6
PLICANA	グループH (PT-ATILS)	'91. 2. 6
PLICANA	PT-ZEAI	'91. 11. 5
PLICANA	グループA PT-DELTA MAX	'95. 12. 26
PLICANA	グループC PT IS1	'95. 12. 26

PLICANA	グループC PT ラッキースタイク	'95.12.26
PLICANA	グループA PT-DELTA MAX	'95.12.26
PLICANA	グループC PT IS1	'95.12.26
PLICANA	グループC PT ラッキースタイク	'95.12.26

●(有)セクレテール

〒152-0002東京都目黒区目黒本町6-21-15 ☎03-3714-0533

名 称	型 式	公認月日
セクレテール	RF, RC, RS, TR, MFR	'90.10.23
セクレテール	(オーダー)	'90.10.23
セクレテール	MFR-912	'92.3.11
セクレテール	RS-26,27	'92.3.11
セクレテール	RS-28,29,30,REP,	'92.11.28
セクレテール	RF, RS, REP	'93.5.26
セクレテール	RF3, RS4, RFF94, RFF95	'94.10.25

●(株)テグナー

〒607-8463京都府京都市山科区上花山講田町57-1 ☎075-501-7137

名 称	型 式	公認月日
テグナー	R-1	'90.10.23
テグナー	R-2	'90.10.23
テグナー	R-6	'90.10.23

●(株)ナカタケ

〒721-0964広島県福山市港町2-16-22 ☎0849-23-2423

名 称	型 式	公認月日
ナカタケ	NS・ゴーズアップシリーズ	'90.10.23
ナカタケ	NS-R	'91.11.5

●(株)邑輝総研

名 称	型 式	公認月日
Boldor	レーシングワンピース	'90.10.23

●ツナギのクウタ

〒300-3505 茨城県結城郡八千代町佐野16 ☎0296-49-0626

名 称	型 式	公認月日
クウタ	(オーダー)	'90.9.29

●(有)ライブラ

〒491-0934愛知県一宮市大和町菊安賀字角出62 ☎0586-44-6451

名 称	型 式	公認月日
ライブラレーシングスーツ	LRS-01	'90.10.23
COSMIC (Libra)	オーダーメイド	'92.1.9

●東京ベルト(株)

〒181-0013東京都三鷹市下連雀1-13-7 ☎0422-45-2970

名 称	型 式	公認月日
TO BEL	TBシリーズ	'90.10.23

●(有)エムシーコレクション

〒270-2231千葉県松戸市穂台37 ☎0473-64-6555

名 称	型 式	公認月日
フォーヘッド(FOR HEAD)	(オーダーメイド)	'90.11.17
フォーヘッド(FOR HEAD)	FH-001,002,009	'90.11.17

●(株)レインボー

〒110-0014東京都台東区北上野1-5-5 ☎03-3843-5606

名 称	型 式	公認月日
レインボー	(オーダーメイドレーシング)	'90.11.17

●(有)アールシーエム

〒661-0041兵庫県尼崎市武庫の里1-11-1-104 ☎06-431-8066

名 称	型 式	公認月日
Toril	オーダーメイド	'91.5.8
ファルコン	オーダーメイド	'91.5.8
HAL	オーダーメイド	'91.5.8
FALCON	FS	'91.3.12
Toril	TX, TXR	'91.3.12
HAL	01A, 02A, 03A, 05A, 06A	'91.5.8
ブラスト	オーダーメイド	'91.11.5

●(株)アイアンドエ

〒660-0823兵庫県尼崎市大物町1-1-15 ☎06-401-1011

名 称	型 式	公認月日
B-LINE	オーダーメイド	'91.5.8

●(株)アダチ

〒462-0063愛知県名古屋市中区丸新町453 ☎052-902-7519

名 称	型 式	公認月日
JRP	オーダーメイド	'91.2.6
MOTO FLASH	オーダーメイド	'91.2.6
RSA	オーダーメイド	'91.2.6
MOTOR KING MICHIKO KOSHINO	オーダーメイド	'92.3.11

●(株)アチーブ

〒340-0025埼玉県草加市谷塚仲町288-1 ☎0489-24-7519

名 称	型 式	公認月日
レーシングスーツYONEZO	オーダーメイド	'91.1.8

●(有)エフワン

〒114-0003東京都北区豊島4-14-2 ☎03-3912-5149

名 称	型 式	公認月日
エフワン	FR 2A, 6B, 6A, ZI, Z2, カスタム66	'91.5.8
F-ONE	FR-G2B	'91.2.6

●ジュベットのレザーハウス

〒435-0017静岡県浜松市薬師町148 ☎053-421-7722

名 称	型 式	公認月日
JUBET	オーダーメイド	'91.4.10

●(株)キジマ

〒123-0841東京都足立区西新井4-16-3 ☎03-3897-2167

名 称	型 式	公認月日
KISS	オーダーメイド	'91.4.10
KISS RACING	プロトワン・プロトツー	'91.2.6

●(株)ギャロップ

〒171-0031東京都豊島区目白2-2-2平口ビル2F ☎03-3982-7531

名 称	型 式	公認月日
FORZA	FO-404, 405, 406	'91.2.6
FORZA	オーダーメイド	'91.2.6
R-SPORTS	R-SPORTS02, 401, 402, 403	'91.5.8
FORZA	FO-407	'91.10.16
STREET SLIDER	SSシリーズSS-03	'92.9.5
TRX	X-Sシリーズ	'93.1.27
FORZA	FOシリーズ	'93.2.24
ワンズワン	GOシリーズ	'93.5.26
STREET SLIDER	SSシリーズ	'93.5.26
モトブラザGT	GTシリーズ	'93.11.23
FORZA FOシリーズ	FO-411	'94.4.27
FORZA FOシリーズ	FO-412	'94.9.15
FORZA FOシリーズ	FO-413	'94.10.31
FORZA FOシリーズ	FO-414	'96.11.27
FORZA FOシリーズ	FO-415	'97.1.29
FORZA FOシリーズ	FO-416	'97.1.29

●(株)ホンダショップアルトモスポーツグラッド

〒537-0012大阪府東成区大今里3-15-25 ☎06-971-6381

名 称	型 式	公認月日
KIKUTANI	AK	'93.2.24

●(有)後藤商店

〒208-0011東京都武蔵村山市学園3-18-1 ☎0425-65-6663

名 称	型 式	公認月日
GOTO MD-Performance	MD-1-Ⅷ	'91.1.8
GOTO	オーダーメイド	'91.1.8
GOTO MD-Performance	MD-Y9, 10, 11	'91.4.28

付録

●(株)コミネオートセンター

〒111-0056東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9811

名 称	型 式	公認月日
Spazioレーシング	A,S-11	'91.2.6
KOMINE Spazio	オーダーメイド	'91.2.6
Spazio	S-14R	'91.5.8
Spazio	S-B,S-8,S-10,S-14	'91.6.5
Spazio	S-15	'92.1.9
Spazio	S-16	'92.11.28

●ジニアス

〒579-8043大阪府東大阪市常功町4-14 ☎0729-87-0165

名 称	型 式	公認月日
ジニアス	SIR-G	'91.2.6

●ステーシラザ

〒341-0037埼玉県三郷市高州2-387-3 ☎048-955-5146

名 称	型 式	公認月日
PRO STAGE	レーシングワンピース	'91.1.18

●ダイネーゼジャパンインク

〒560-0036大阪府豊中市堂池西町2-13-7第2岡ビル1F ☎06-854-9921

名 称	型 式	公認月日
ダイネーゼ	T.MONZA,T.MISANO,T.SILVERSTONE	'91.8.7
ダイネーゼ	T.GRAPHICAT.FERRIJA.T.OHLT.TEAM	'91.8.7
ダイネーゼ	T.STROM.T.FGH.T.BIBBI.T.SPUMATA	'92.5.13
ダイネーゼ	T.K.S	'93.4.28
ダイネーゼ T-SAFETY PRO	T-SAFETY PRO	'94.6.29
ダイネーゼ	T.SCOTT RUSSEL REPLICA	'95.12.26
ダイネーゼ	T.BELZEBU	'95.12.26
ダイネーゼ	T.CAPIROSSI REPLICA	'95.12.26
ダイネーゼ	T.FOGARTY REPLICA	'96.3.27
ダイネーゼ	T.BIAGGI REPLICA	'96.3.27
ダイネーゼ	DAINESE T.RD1	'96.4.24

●(株)谷尾商会

〒530-0037大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-358-0651

名 称	型 式	公認月日
ラビーン	RVX-1-5	'91.1.18

●南海部品(株)

〒530-0002大阪府大阪市北区曾根崎新地2-6-28 ☎06-344-1581

名 称	型 式	公認月日
ナンカイ	SDシリーズ	'91.2.6
SRシリーズ	SRシリーズ	'91.2.8
ナンカイ	オーダーメイド	'91.6.5
ナンカイ	NR-011R平レブリカスーツ	'91.6.5
ナンカイ	NR-50プロレーシングスーツ	'91.6.5
ナンカイ	NRシリーズ	'91.1.8
ナンカイ	SR-16	'92.5.13
ナンカイ	SR-17	'92.5.13
ナンカイ	NR-51	'92.5.13
ナンカイ	SD-8	'92.11.1
ナンカイ	NR-52	'92.11.1
ナンカイ	NR-51,SR-16,17	'93.3.24
ナンカイ	SRシリーズ	'93.11.24
'94年ドゥーハンレブリカニューモデル	NR-06R8,NR-013R1	'93.4.27
SDシリーズ	SD-SPECIAL	'94.4.27
'94D・ビーター・マルボロレーシングレブリカ	NR-015R1	'94.4.27
'94原田哲也レーシングレブリカ	NR-018R1	'94.7.27
'94A・パロスラックスライクレーシングレブリカ	NR-014R1	'94.7.27
'94辻村猛レーシングレブリカ	NR-016R1	'94.7.27
'94井形とも子レーシングレブリカ	NR-017R1	'94.7.27
ナンカイ	NR-53プロレーシングスーツ	'95.3.1
ナンカイ	NR-54プロレーシングスーツ	'95.3.1
ナンカイ	SD-12レーシングスーツ	'95.3.1
ナンカイ	SD-13レーシングスーツ	'95.3.1
ナンカイ	プロレーシングレブリカスーツ	'95.10.25
ナンカイ	NR-558耐セレブリカスーツ	'96.9.25
ナンカイ 廉価版レーシングスーツ	SR-20	'96.11.27
ナンカイ 廉価版レーシングスーツ	SR-21	'97.1.29
ナンカイプロレーシング	NR-56	'97.1.29

●(有)ハイブ

〒116-0003東京都荒川区南千住6-59-16 ☎03-3803-6292

名 称	型 式	公認月日
ハイブ	オーダーメイド	'91.3.12

●バギー(株)

〒636-0203奈良県磯城郡川西町梅戸226 ☎07454-3-0177

名 称	型 式	公認月日
バギー,ベルベットBR	オーダーメイド	'91.4.10
バギー,ベルベットBR	A,AP,AR	'91.1.18

●(有)ビッグスター

〒110-0014東京都台東区北上野1-5-5 ☎03-3487-1480

名 称	型 式	公認月日
ビッグスター	オーダーメイド	'91.4.10

●ファクトリースズキ

〒982-0003宮城県仙台市太白区郡山穴田東25-1 ☎022-248-5315

名 称	型 式	公認月日
PRIDE ONE	オーダーメイド	'91.9.4

●(有)フジタレザ

〒502-0814岐阜県岐阜市福光西2-10-15 ☎0582-33-5620

名 称	型 式	公認月日
フジタレザ	オーダーメイド	'91.6.5
フジタレザ	レザモーター(フルタイム)スーツ	'95.12.26

●ユニバース

〒183-0056東京都府中市寿町1-1-10 ☎0423-60-6311

名 称	型 式	公認月日
STUFF U	SU1003,5,6,7 STAGE	'91.3.12
STUFF U	オーダーメイド	'91.3.12
PROSPEC	RC-001,RC-002	'91.6.5

●ブレンレザ

〒579-8014大阪府東大阪市中石切町2-44-22 ☎0729-88-2664

名 称	型 式	公認月日
ブレンレザ	オーダーメイド	'91.3.12

●モータースポーツミスターヒロ

〒580-0012大阪府松原市立部2-499-1 ☎0723-36-1550

名 称	型 式	公認月日
Mr.hiro	オーダーメイド	'91.9.4

●アレス

〒340-0007埼玉県草加市青柳町7-11-22 ☎0489-31-4319

名 称	型 式	公認月日
アレス	オーダーメイド	'91.2.6

●ヤマハ発動機(株)

〒438-8501静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4420

名 称	型 式	公認月日
YAMAHA YL-Aシリーズ	YL-340,336,337,338	'91.2.6
Takai R	TR TRL	'90.10.23
PRO SHOP TAKAI	オーダーメイド	
Takai R	TR TRL	'91.5.8

●ライディングコスチュームT&T

〒651-2111兵庫県神戸市西区池上4-13-8 ☎078-974-8682

名 称	型 式	公認月日
T&T	TS	'91.1.18

●レーシングプロショップO.S.F.C

〒959-0400新潟県西蒲原郡西川町新栄町296 ☎0256-88-7441

名 称	型 式	公認月日
レーシングプロショップO.S.F.C	O.S.F.C	'91.2.6

●(有)ワンステップライダー

〒452-0813愛知県名古屋市中区西区赤城町1 ☎052-502-7517

名 称	型 式	公認月日
OSR	YR-07	'90.11.17

●バス

〒116-0003東京都荒川区南千住2-16-15高畑ビル1F ☎03-3801-0438

名 称	型 式	公認月日
Papa's	オーダーメイド	'92.1.9

●(有)福富洋商会

〒300-1151茨城県稲敷郡阿見町大字荒川沖1924-1 ☎0298-42-8161

名 称	型 式	公認月日
SURE (シュアー)	オーダーメイド	'92.1.9

●BCビロータ

〒193-0922東京都八王子市千人町3-4-21 ☎0426-46-9661

名 称	型 式	公認月日
BCビロータ	オーダーメイド	'92.1.9

●(株)ブランツ

〒111-0043東京都台東区駒形1-10-7 ☎03-3847-2891

名 称	型 式	公認月日
ハロスギア レーシングスーツ	OP-1オーダーメイド	'92.1.9

●レザーハウスA&M

〒277-0812千葉県柏市花野井1925-6 ☎0471-33-1664

名 称	型 式	公認月日
レザースーツA&M	オーダー	

●美津濃(株)

名 称	型 式	公認月日
MIZUNO	オーダーメイド	'92.3.11

●WORK BOX KASAI

〒985-0831宮城県多賀城市笠神2-2-1 ☎022-366-6879

名 称	型 式	公認月日
[bulit]	オーダーメイド	'92.3.11

●ツカサブランニング

〒120-0012東京都足立区青井3-34-3 ☎03-3801-0438

名 称	型 式	公認月日
HELIO TROPE	HELIO RACING	'92.3.11

●(有)レーシングショップアイティーエ

〒982-0822宮城県仙台市太白区若葉町25-25 ☎022-229-0490

名 称	型 式	公認月日
ITAレーシングスーツ	ITAオーダー	'92.3.11

●アトリエ・ワン

〒485-0024愛知県小牧市南外山長田64-1 ☎0568-71-3040

名 称	型 式	公認月日
A-ONE RACING	オーダーメイド	'92.7.8

●レースサービスAxtas

〒182-0036東京都調布市飛田給1-34-16 ☎0424-84-9115

名 称	型 式	公認月日
Axtas	AYシリーズ	'94.2.23

●(株)ホンダアクセス

〒352-0011埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎048-477-9143

名 称	型 式	公認月日
Super Bold'on	デイトナ、イモラ、ホッケンハイム、キャラ、ラダナセカ、アッセン、イースタンブリーク、スズカ、ヘレス、シルバーストーン、94イカダ	'94.9.28

●(株)アール・エス・エー・レザーズ

〒481-0001愛知県西春日井郡師崎町六ツ師女越110 ☎0568-25-7830

名 称	型 式	公認月日
RSA Leathers	フルオーダー	'95.8.23
ドレーパークラブ	フルオーダー	'96.9.25

MFJ 公認タイヤ

●井上ゴム工業株

〒454-0844愛知県名古屋市中川区業池町1-80 ☎052-353-6176

ク イ ヤ 名	サ イ ズ	公認月日
TRIAL WINNER	4.00R18, TR-7	'86.3.26
TRIAL WINNER TR-9	4.00R18	'86.7.8
PRO-TECH NS-50F	2.75-174PR, 2.75-184PR, 80/100R16, 80/90R16	
NS-50R	2.75-174PR, 3.00-174PR, 90/90R18, 90/90R17	
PRO-TECH NS-10F	90/90R18, 100/80R17, 100/90R16, 110/70R17, 110/80R17, 110/80R16, 120/70R17, 120/80R16	
NS-10R	110/80R18, 120/80R17, 120/80R16, 130/70R17, 130/90R16, 140/60R18, 140/70R18, 160/60R18	
SPATOLA SPO 1F RADIAL	110/70R17 54H, 120/60R17 55H, 150/60R17 66H, 160/60R17 69H	'92.7.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBE TYPE	2.75-21	'92.10.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBELESS	4.00R18	'92.10.1

●日本ミシュランタイヤ株

〒102-0071東京都千代田区富士見1-6-1富士見ビル ☎03-5210-2731

ク イ ヤ 名	サ イ ズ	公認月日
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18 TL	'87.7.8
ラジアル A59X	130/60R16, 120/80R16, 130/60R17 (59H, 59Z), 110/70R17, 120/70R17 (58, 58Z)	
ラジアル M59X	160/60R16, 160/80R16, 180/55R17, 160/60R17 (69H, 69Z), 160/60R18, 150/70R17	
ハイスポートラジアル TX11	120/80R16, 130/60R17, 120/70R17, 100/80R17, 110/80R17, 120/60R17 (55H, 55Z), 110/70R17, 110/80R18	
ハイスポートラジアル TX23	160/80R16, 180/55R17, 150/60R17, 160/60R17 (69H, 69Z), 130/70R17, 150/70R17	
P2301	12/60R17	
P3104	15/61R17, 18/67R17	
P1201	12/60R17	
P3103	15/61R17, 18/67R17	
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TT	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TL	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18TL	'91.11.1
A59X	120/60R17 55Z	'92.4.3
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18TL	'92.5.1
ハイスポートラジアル TX11B/TX23	110/70ZR17, 120/70ZR17, 120/60ZR17, 190/50ZR17, 180/55ZR18	'94.7.28
ハイスポートラジアル TX15	130/70ZR16, 110/70ZR17, 120/60ZR17	'95.5.25
ハイスポートラジアル TX25	150/60ZR17, 160/60ZR17	'95.5.25
ハイスポートラジアル TX15RACE	130/70ZR17, 130/70ZR17, 120/60ZR17	'95.9.22
ハイスポートラジアル TX25RACE	150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/55ZR17	'95.9.22

付録

P3106	使用可能リム3.00~3.50	12/60-17	'96.6.25
P3107	使用可能リム3.00~3.50	12/60-17	'96.6.25
P4105	使用可能リム4.50~5.50	16/62-17	'96.6.25
P4107	使用可能リム4.50~5.50	16/62-17	'96.7.25
ハイスポートラジアル TX25RACE2	使用可能リム4.00~4.50	150/60ZR17	'97.2.28
	使用可能リム4.25~5.00	160/60ZR17	
	使用可能リム4.25~5.50	170/60ZR17	
	使用可能リム5.50~6.00	180/55ZR17	
P1107	使用可能リム2.50	9/58-17	'97.1.24
ハイスポートラジアル TX15RACE3	使用可能リム3.00~3.50	110/70ZR17	'97.7.24
	使用可能リム3.50~3.75	120/60ZR17	
	使用可能リム3.50~3.75	120/70ZR17	
ハイスポートラジアル TX25RACE3	使用可能リム4.00~4.50	150/60ZR17	'97.8.1
	使用可能リム4.25~5.00	160/60ZR17	
	使用可能リム4.25~5.00	170/60ZR17	

●阿部商会株

〒101-0053東京都千代田区神田美土代町3 ☎03-3233-2212

タイヤ名	サイズ	公認月日
ビレロントラリアルタイヤ・MT73ガソラリアル	2.75-21 MT73	'90.9.7
MP7スポーツレーシング	110/70ZR17, 120/60ZR17	'91.7.4
	120/70ZR17, 150/60ZR17	
	160/60ZR17, 180/55ZR17	
	140/60ZR18, 170/60ZR18	
MT75レーシング	100/80T16, 100/80T17,	'91.7.4
	130/70T17, 140/70T17,	
	130/70T18	

●株日本ダンロップ

〒651-0072兵庫県神戸市中央区臨浜町3-6-9 ☎078-265-3000

タイヤ名	サイズ	公認月日
K320	2.75-21 4PR	'86.11.23
K320	4.00R18 4PR	'86.11.23
TT500F GP	80/90R16, 90/90R16,	
	100/90R16, 90/80R17,	
	100/18R17(52H, 57H, 54H)	
TT50GP	90/90R17, 120/80R17,	
	140/80R17, 130/70R17,	
	140/70R17, 100/90R18,	
	130/70R18	
RIDEEN GPR-30E	110/70R17, 120/70R17,	
	120/60R17, 100/60R17,	
	150/60R17, 160/60R17,	
	170/60R17, 140/60R18,	
MR677	3.25/4.75R17, 4.00/6.00R18,	
	2.50/3.00R18, 2.75/3.75R18,	
	3.25/5.75R17, 3.25/5.75R18,	
	2.65/3.25R17, 2.85/4.00R17,	
3.80/6.00R17, 3.60/6.70R18		
RIDEEN GPR-60F	110/70R175H, 120/60R1755H	'91.5.9
RIDEEN GPR-60	150/60R1766H, 160/60R1769H 140/60R1864H, 150/60R1867H	'91.5.9
TT700F GP	100/80-1752H, 110/70-1754H 100/90-1654H	'91.5.9
TT700 GP	130/70-1762H, 140/70-1766H	'91.5.9
	130/80-1761H, 130/70-1863H	
	130/90-1667H	
TT700F GP	90/90-18, 110/80-17	'92.3.4
TT700 GP	110/80-18, 110/90-18,	'92.3.4
	120/80-18, 140/70-18,	
	150/70-17	
K375F	100/80-17	'92.2.4
K375FG	100/80-17	'92.2.4
K375	120/80-17	'92.2.4
K420GP チューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
K420GP チューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
TT500F GP	100/80-17 52S	'92.6.20
TT500GP	120/80-17 61S	'92.6.20
K420 チューブタイプ	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420 チューブレスタイプ	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420GP チューブタイプ	2.75-21 (45M)	'92.12.3

K420GP チューブレス	2.75-21 (45M)	'92.12.3
K420GP チューブタイプ	4.00R18 (64M)	'92.12.15
K420GP チューブレス	4.00R18 (64M)	'92.12.15
GPR50F	110/70R17 54H	'93.2.20
	120/60R17 54H	
	120/70R17 58H	
GPR50	140/60R17 63H	'93.2.20
	140/60R18 64H	
	150/60R17 66H	
	150/60R18 67H	
	160/60R17 69H	
MR777	150/60R17	'93.3.23
MR977	90/75R17, 115/65R17,	'94.3.22
	120/70R17, 160/60R17,	
D801F チューブタイプ	2.75-21, 4P.R (45M)	'94.5.1
D801F チューブレスタイプ	2.75-21, 4P.R (45M)	'94.5.1
D801 チューブタイプ	4.00R18, 4P.R (64M)	'94.5.1
D801 チューブレスタイプ	4.00R18, 4P.R (64M)	'94.5.1
MR977	110/70R17	'94.7.28
Rideen GPR-50F SP	110/70R17 54H, 120/60R17 55H	'95.2.15
	120/70R17 58H	
Rideen GPR-50 SP	140/60R17 63H, 140/60R18 64H	'95.2.15
	150/60R17 66H, 150/60R18 67H	
	160/60R17 69H	
TT900F GP	80/90-16 4PR, 90/90-17 48S, 100/90-17 52S, 100/90-16 54H, 100/90-17 52H, 100/90-17 57H, 110/70-17 54H	'95.2.15
	90/90-17 60P, 100/90-17 52S, 120/80-17 61S, 120/90-17 61H, 120/90-18 62H, 120/70-17 62H, 140/70-17 66H, 150/70-17 68H, 150/70-18 70H	
	110/90-17 60H	
	120/80-17 61H	
TT100GP	3.00-18 47S	'96.12.26
	3.50-18 56H	
	4.00-13 64H	
	90/90-18 51H	
110/90-18 61H		
100/90-19 57H		
Rideen GPR70F	使用可能リム2.75~3.50	'97.2.10
	使用可能リム3.00~3.50	
	使用可能リム3.00~3.50	
Rideen GPR70	使用可能リム3.50~4.50	'97.2.10
	使用可能リム3.50~4.50	
	使用可能リム3.50~4.50	
	使用可能リム4.00~4.50	
	使用可能リム4.00~4.50	
	使用可能リム4.50~5.00	
SPORTMAX D207F GP	使用可能リム3.50~4.00	'97.8.10
	使用可能リム3.00~3.50	
SPORTMAX D207 GP	使用可能リム4.50~5.50	'97.5.25
	使用可能リム5.50~6.00	
	使用可能リム5.50~6.00	
MR977	使用可能リム2.50	'97.7.24
	使用可能リム3.00~3.50	
	使用可能リム3.00	
	使用可能リム3.50~3.75	
KR244	使用可能リム4.50~5.50	'97.7.24
Rideen GPR70	使用可能リム4.00~4.50	'97.7.24
	使用可能リム4.50~5.00	

●株ブリヂストン

〒104-0031東京都中央区京橋1-10-1 ☎03-3563-6819

タイヤ名	サイズ	公認月日
BATTLAX BT-72FS	110/80R17, 110/70R17, 120/60R17, 120/70R17	
BATTLAX BT-72RS	140/70R17, 140/60R17,	
	150/60R17, 160/60R17,	
	120/80R18, 140/60R18, 150/60R18, 170/60R17	

BATTLAX BT-09SS	90/90-16,90/80-17		
BATTLAX BT-70FS	110/70-17,120/60-17, 120/70-17,130/60-17, 140/60-17,140/60-18, 150/60-17,150/60-18, 160/60-17,170/60-17		
ME72	85/595R18,85/575R17, 110/590R17,95/600R18, 140/630R18,120/595R17, 150/600R17		
ME76	105/575R17,150/635 R18,155/620R17		
BATTLAX BT-50F	120/70ZR17,130/60ZR17	'91.6.7	
BATTLAX BT-50R	170/60ZR17,180/55ZR17 160/60ZR18	'91.6.7	
ME77	90/575R17	'91.6.1	
ME78	105/585R17	'91.6.1	
BATTLAX BT-09SS SOFT	90/90-16,90/80-17,100/ 80-17	'92.4.20	
BATTLAX BT-10SS SOFT	120/80-17,100/90-18	'92.4.20	
BATTLAX BT-80S F RADIAL	110/70R17,120/70 R17,120/60R17	'92.3.20	
BATTLAX BT-80S R RADIAL	150/60R17,160/60R17, 150/60R18	'92.3.20	
BATTLAX BT-50	120/70ZR17	'92.4.20	
ME77	90/570R17	'92.6.10	
ME77	105/585R17	'92.6.10	
ME77	160/625R17	'92.6.20	
ME77	150/635R18	'92.6.20	
ME77	155/620R17	'93.7.1	
BATTLAX BT-39F SS	90/80-17,100/80-17,80/90-16		
BATTLAX BT-39R SS	100/90-18,120/80-17,100/80-17		
BATTLAX BT-80S F RADIAL	130/70R17,120/60R17,130/70R17		
BATTLAX BT-80S R RADIAL	150/60R17,160/60R17,150/60R18		
ME01Z	120/600R17	'94.2.10	
BATTLAX BT-80F-RADIAL	110/70R17 54H,120/60R17 55H,120/70R17 58H	'94.7.20	
BATTLAX BT-80R-RADIAL	150/60R17 66H,160/60R17 69H	'94.5.20	
BATTLAX BT-90F-RADIAL	110/70 R17 54H 120/60 R17 55H 120/70 R17 58H	'95.1.20	
BATTLAX BT-90R-RADIAL	150/60 R17 66H 160/60 R17 69H 140/60 R18 64H 150/60 R18 67H	'95.1.20	
BATTLAX BT-90F RADIAL	110/70R17 54H,120/60R17 55H 120/70R17 58H	'95.1.20	
BATTLAX BT-90R RADIAL	150/60R17 66H,160/60R17 69H 140/60R18 64H,150/60R18 67H	'95.1.20	
ME01F	90/580R17	'95.3.15	
RACING BATTLAX RADIAL WET ME01Z	110/590R17	'95.5.1	
BATTLAX BT-90F RADIAL	110/70R17 54H,120/70R17 58H	'95.7.19	
ME77Z 使用可能リ△2.75-3.50	110/585R17	'95.11.28	
ME76 使用可能リ△3.00-3.75	120/595R17	'95.11.28	
ME04Z 使用可能リ△4.50-5.50	160/620R17	'95.11.28	
RACING BATTLAX WET ME02Z 使用可能リ△2.75-3.50	115/590R17	'96.4.20	
RACING BATTLAX WET	ED1 使用可能リ△2.15-2.50 ED4Z 使用可能リ△2.75-3.50 ME01Z 使用可能リ△3.50-3.75 ME04Z 使用可能リ△4.50-5.50	90/560R17 115/590R17 120/600R17 160/620R17	'97.4.25

●横浜ゴム株

ク イ ヤ 名	サ イ ズ	公 認 月 日
F-003A2	80/90R16,90/90R16, 90/80R17,90/90R17, 100/90R18.	
F-610	80/595R18,85/570R17, 90/600R18,100/580R17, 110/600R17,120/605R17, 135/640R18,150/600R17, 150/630R18,180/630R17, 180/655R18	
F-003	110/70R17,120/60R17, 140/60R17,150/60R17, 160/60R17,140/60R18, 150/60R18,120/70R17, 170/60R17,170/60R18	
F-006	110/70R17,120/60R17, 140/60R17,150/60R17, 160/60R17,140/60R18, 150/60R18,120/70R17, 170/60R17,170/60R18	
GETTAR F007RR	110/70F1754H,120/60F1755H	'91.6.10
GETTAR F007RR	140/60R1763H,150/60R1867H	'91.7.1
GETTAR F007RR	150/60F1766H,160/60F1769H	'91.6.10
GETTAR F007RR	110/70R17 54H	'92.4.3
GETTAR F007RR	120/60R17 55H	'92.4.3
GETTAR F007RR	140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92.4.3
GETTAR F007RR	110/70R17 54H 120/60R17 55H	'92.7.15
GETTAR F007RR	140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92.7.15
GETTAR F610 GETTAR R610	110/600R17,120/605R17, 150/600R17,105/580R17,	'93.6.15
GETTAR F007RR GETTAR R007RR	100/80-17 52S 120/80-17 61S	'93.6.10
GETTAR R610	150/600R17,150/630R18,	'94.2.25
GETTAR R007A SPRINT	110/70R17 54H,120/60R17 55H 150/60R17 66H,160/60R17 69H 140/60R18 64H,150/60R18 67H	'94.7.20

MFJ 公認車両(スノーモビル)

クラス		SJクラス	S4クラス	S3クラス	S2クラス	S1クラス
部門	水冷エンジン	—	~125ccまで	126cc~350ccまで	351cc~500ccまで	オープン
	空冷エンジン	~125ccまで	126cc~350ccまで	351cc~500ccまで	501cc~750ccまで	オープン
排気量						
モ デ ィ フ ァ イ ス ポ ー ツ	SV80(E) SV125E	CS340(E) S340 S250 ET250 ET300 ET340 GPX338 EC340 TXL340 S300T S350DX INDY SPORTS INDY LITE	PZ480 PZ480ED PZ480E PZ480LT PZ480SP S440 SS440 GPX433 INDY-TRAIL CUTLASS-SS TXL-INDY VT480E FORMURA-SL INDY Super Sports MXZ500F-SP PZ480SE	S540 EC540 XL540 INDY500(SP) INDY400 PROWER440 SKI-DOO FORMULA MX-Z VX500E EX570SX EX570LT VX500LT INDY XCR440 FORMURA-Z INDY 500EPI Formula SLS INDY 440XC FORMULA500 MXZX440 VX500XTC INDY440XCR MXZ500	S540 EC540 XL540 INDY500(SP) INDY400 PROWER440 SKI-DOO FORMULA MX-Z VX500E EX570SX EX570LT VX500LT INDY XCR440 FORMURA-Z INDY 500EPI Formula SLS INDY 440XC FORMULA500 MXZX440 VX500XTC INDY440XCR MXZ500	EX570(E) EX570SP INDY650(FXL) FORMULA-MACH1 EL-TIGER WILD-CAT WILD-CAT700 FORMULA-PLUS VX750 INDY XLT ARCTIC CAT INDY STORM INDY XLT SPECIAL SKI-DOO MACH Z VX600E EX570LT VX600LT VX600XT VX800E VX800LT INDY XCR600(SP) MXZ583 Formula III INDY Ultra SPX SE INDY Ultra SP INDY 660XC MXZ 670 ZRT 600 VX700SX VX700LT VX600XTC VX600SX VX600LT SRX700LT SRX700S SRX600S INDY700XC *他クラス車両

その他の部門車両区分 ▶ フレッシュマンレース、レディース・ジュニア、OBレースのクラス区分は主催者により定める。

MFJ 全国公認サーキット

北海道：HSP(北海道スピードパーク)
：十勝インターナショナルスピードウェイ

宮城県：スポーツランドSUGO
：仙台ハイランドレースウェイ

福島県：エビスサーキット
：エビスサーキット西コース

新潟県：日本海間瀬サーキット

栃木県：那須モータースポーツランド
：ツインリンクもてぎ

：ツインリンクもてぎ北ショートコース
茨城県：筑波サーキット

静岡県：富士スピードウェイ(FISCO)

三重県：鈴鹿サーキット
：鈴鹿サーキット南コース

兵庫県：猪名川サーキット

岡山県：TIサーキット英田
：中山サーキット

山口県：セントラルパークMINÉサーキット

徳島県：阿讃サーキット

大分県：スポーツ&セーフティライディングフィールド・SPA直入
：オートポリスインターナショナルレーシングコース

熊本県：HSR九州(ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州)

▶ HSP(北海道スピードパーク)

〒044-0085 北海道虻田郡倶知安町字峠下155
☎0136(23)3880

全長距離/1,389.44m
最大直線長/365m
ピット数/15個
走行路幅/9~12m
交通/札幌市内より95km



▶ 十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-1573 北海道河西郡更別村字弘和477番地
☎0155(52)3910

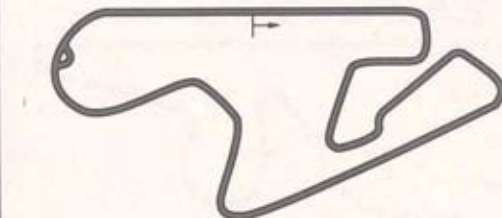
全長距離/グランプリコース・5,091.45m
クラブマンコース・3,405.87m
最大直線長/1,010m
ピット数/36個
走行路幅/13.5~15m
交通/帯広空港から15km
帯広駅から40km



▶ スポーツランドSUGO

〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
☎0224(83)3127

全長距離/3,737.5m
最大直線長/704.5m
ピット数/45個
走行路幅/10~12.5m
交通/東北自動車道・村田ICより約10km



▶ 仙台ハイランドレースウェイ

〒989-3434 宮城県仙台市青葉区新川早坂12
☎022(395)2120

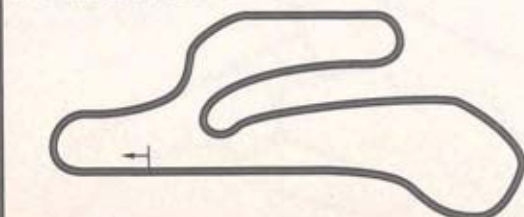
全長距離/4,029.60m
最大直線長/584.34m
ピット数/35個
走行路幅/12~15m
交通/東北自動車道
仙台宮城ICより約20km



▶ エビスサーキット

〒964-0088 福島県二本松市沢松倉1
☎0243(24)2972

全長距離/2,061m
最大直線長/420m
ピット数/20個
走行路幅/10~12m
交通/東北自動車道・二本松ICより約10km



▶ エビスサーキット西コース

〒964-0088 福島県二本松市沢松倉1
☎0243(24)2972

全長距離/2,103m
最大直線長/275.92m
ピット数/60個
走行路幅/10~15m
交通/東北自動車道・二本松ICより約10km



▶ 日本海間瀬サーキット

〒953-0105 新潟県西蒲原郡岩室村間瀬610
☎0256(85)2201
全長距離/2,000m
最大直線長/500m
ピット数/25個
走行路幅/8~12m
交通/関越自動車道・巻湯東I.Cより約20km



▶ 那須モータースポーツランド

〒325-0011 栃木県黒磯市寺子字坂の上677
☎0287(63)7300



全長距離/1,148m
最大直線長/281m
ピット数/12個
走行路幅/7.5~12m
交通/東北自動車道・那須I.Cより約10km

▶ ツインリンクもてぎ

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町大字松山120-1
☎0285(64)0001

全長距離/4,801.379m(フルコース)
最大直線長/762m
ピット数/45個
走行路幅/12~15m



交通/常磐自動車道・
水戸I.Cより40分
那珂I.Cより40分
東北自動車道・
鹿沼I.Cより90分
宇都宮I.Cより80分

▶ ツインリンクもてぎ北ショートコース

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町大字松山120-1
☎0285(64)0001

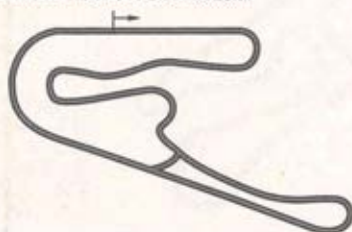
全長距離/1,020.084m
最大直線長/153.748m
ピット数/16個
走行路幅/8m~10m
交通/常磐自動車道・
水戸I.Cより40分
那珂I.Cより40分
東北自動車道・
鹿沼I.Cより90分
宇都宮I.Cより80分



▶ 筑波サーキット

〒304-0824 茨城県結城郡千代川村岡字西原
☎0296(44)3146

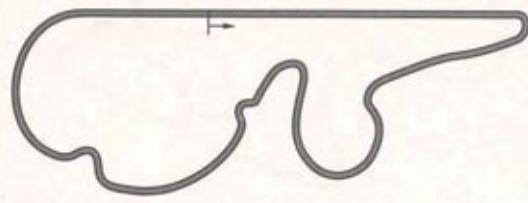
全長距離/2,070m
最大直線長/437.75m
ピット数/30個
走行路幅/10~15m
交通/常磐自動車道・谷和原I.Cより約25km



▶ 富士スピードウェイ(FISCO)

〒410-1308 静岡県駿東郡小山町大御神
☎0550(78)1234

全長距離/4,474m
最大直線長/1,600m
ピット数/45個
走行路幅/12~15m
交通/東名自動車道・御殿場I.Cより約10km
中央自動車道・東富士五湖道路 須走I.Cより約10km



▶ 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市福生町7992
☎0593(78)1111

全長距離/5,864.03m
最大直線長/900m
ピット数/48個
走行路幅/10~14m
交通/東名阪自動車道・鈴鹿I.Cより約13km



▶ 鈴鹿サーキット南コース

〒510-0295 三重県鈴鹿市福生町7992
☎0593(78)1111

全長距離/1,264m
最大直線長/190m
ピット数/20個
走行路幅/10m
交通/東名阪自動車道・
鈴鹿I.Cより約13km



▶猪名川サーキット

〒606-0214 兵庫県川辺郡猪名川町清水字前谷72-1
☎0727(69)0193

全長距離/1,021m
最大直線長/131.7m
ピット数/30個
走行路幅/8~12m
交通/ 県道川西篠山線から約1.5km



▶TIサーキット英田

〒701-2612 岡山県英田郡英田町滝宮1210
☎08687(4)3311

全長距離/3,703m
最大直線長/680m
ピット数/54個
走行路幅/12~15m
交通/ 中国自動車道 美作I.Cより約26km



▶中山サーキット

〒709-0432 岡山県和気郡和気町大中山751
☎0869(93)2333

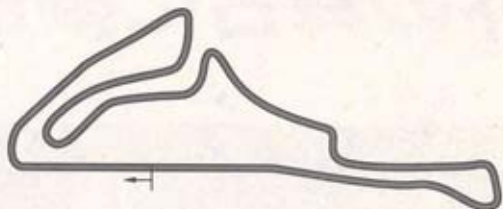
全長距離/2,007m
最大直線長/250m
ピット数/56個
走行路幅/10~18m
交通/ 山陽自動車道・和気I.Cより約800m



▶セントラルパークMINÉサーキット

〒759-2152 山口県美祿市西厚保町長尾
☎08375(8)0321

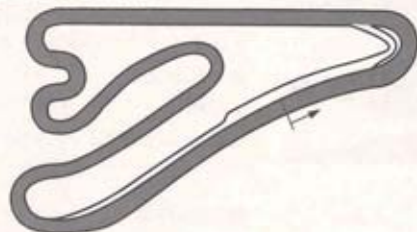
全長距離/3,238.98m
最大直線長/900m
ピット数/46個
走行路幅/10~15m
交通/ 中国自動車道・美祿西I.Cより約5km



▶阿讃サーキット

〒771-2503 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319
☎0883(79)3705

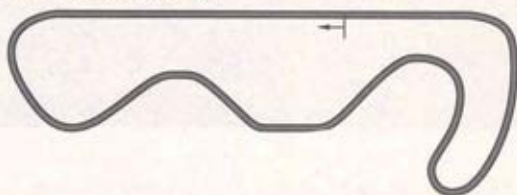
全長距離/1,004.31m
最大直線長/229.549m
ピット数/10個
走行路幅/9~12m
交通/ 徳島市内より約70km



▶スポーツ&セーフティ ライディングフィールド・SPA直入

〒878-0403 大分県直入郡直入町大字上田北字浦原510-15
☎0974(75)3191

全長距離/1,430m
最大直線長/420m
ピット数/24個
走行路幅/10~11m
交通/ 大分市内より約40km



▶オートポリスインターナショナルレーシングコース

〒877-0312 大分県日田郡上津江村大字上野田1110-12
☎0973(55)1111

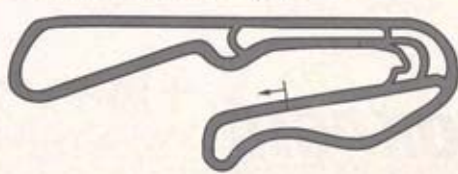
全長距離/4,674m
最大直線長/902m
ピット数/46個
走行路幅/12~15m
交通/ 九州自動車道・菊水I.Cより約45km
大分自動車道・日田I.Cより約45km



▶HSR九州 (ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州)

〒869-1231 熊本県菊池郡大津町大字平川11500
☎096(293)1370

全長距離/2,963m
最大直線長/700m
ピット数/30個
走行路幅/10~15m
交通/ 九州縦貫道路・熊本I.Cより約15km





TOKACHI RIDING CLUB ご案内

世界の舞台に夢馳せる。



■入会資格

- モータースポーツ参加を希望するライダーの方に、TISにおいてスポーツ走行をしていただくためのクラブ・ライセンスです。
- 普通運転免許証の免許所持者の方であれば取得できます。
- ※取得を希望する方が未成年者(満20歳未満)の場合、親権者の承諾が必要となります。

■新規・更新費用

- ①発給料……………24,000円
- ②共済金……………6,000円
- ※取得年度の12月末日迄有効 30,000円

■各種利用料金

- グランプリ・クラブマンコース・スポーツ走行料
- 2輪……………3,000円/1単位:25分
- ジュニアコース・スポーツ走行料
- ミニバイク……………2,000円/1単位:60分
- タイム計測料
- 2輪……………1,000円/1単位
- ガレージ使用料(レースウィーク)
- 2輪……………1,000円/1台:1日

■割引・特典

- 入場料
- 平常時:無料(本人及び同伴者1名)
- イベント時:1名様無料(クラブマン&ロードレース入場)
- 無料走行券 ●無料走行券
- 初回1単位無料走行券進呈
- 10回単位走行毎に1単位無料走行券進呈
- レースウィーク無料走行券
- 1単位無料券発行(各大会エントリーの方)
- スクール・走行会優待
- 2,000円割引(TIS主催)
- クラブ定例走行会開催:年2回開催

1998 十勝ロードレース選手権シリーズ・スケジュール

		GP125	SP250 / SP400	ミニバイク Open 50	ミニバイク Normal 50
第1戦	5月10日	○	○	○	○
第2戦	7月5日	○	○	耐久	○
第3戦	8月2日	○	耐久	—	○
第4戦	9月6日	○	○	○	耐久
第5戦	10月4日	○	○	○	○

※日程及びレース内容が変更になる場合があります。

TOKACHI
INTERNATIONAL SPEEDWAY

十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-1573 北海道河西郡更別村字弘和477番地

GO TO サーキット

Tel.0155-52-3910 Fax.0155-53-3366

歴代チャンピオンレース

ROAD RACE

TRIAL

SNOWMOBILE

DRAG RACE

MOTOCROSS

STADIUM TRIAL

ROAD RACE

●ロードレース部門（'67～'97年）

年	部門	クラス	氏名
'67	ジュニア	50cc	柴田 正之
		90cc	陸造 安男
		125cc	大沢 耕治
		250cc	太田 善次
セニア	セニア	50cc	伊藤 光夫
		90cc	滋野 晴穂
		125cc	増田 恒弘
		250cc	矢野 啓司
アマチュア	アマチュア	90cc	角谷 新二
		125cc	鈴木 聖弘
		250cc	大船 俊夫
		251cc以上	中山 仁
ジュニア	ジュニア	90cc	酒井 壹吾
		125cc	森井 一夫
		250cc	谷口 茂夫
		251cc以上	菱木 哲哉
セニア	セニア	90cc	神谷 良明
		125cc	馬場 忠雄
		250cc	和田 正宏
		251cc以上	松永 善
アマチュア	アマチュア	90cc	野田 正彦
		125cc	斉藤 茂憲
		250cc	中尾 康夫
		251cc以上	数井 陸
ジュニア	ジュニア	90cc	角谷 新二
		125cc	高井 次郎
		250cc	尾崎 俊彦
		251cc以上	里村 祥二
セニア	セニア	90cc	小田 豊
		125cc	隅谷 守男
		250cc	金谷 秀夫
		251cc以上	隅谷 守男
ノービス	ノービス	90cc	岩道 博
		125cc	柴谷 正昭
		250cc	小塚 法廷
		251cc以上	鍋田 正明
ジュニア	ジュニア	90cc	江崎 正
		125cc	青山 英二
		250cc	糟野 雅治
		251cc以上	只野 光男
セニア	セニア	90cc	近藤 英二
		125cc	小田 豊
		250cc	大船 俊夫
		251cc以上	河崎 裕之
ノービス	ノービス	90cc	平井 裕
		125cc	上田 公次
		250cc	大橋 富夫
		251cc以上	松谷 光明
ジュニア	ジュニア	90cc	渡辺 富士夫
		125cc	青木 辰巳
		250cc	内田 隆
		251cc以上	加藤 昇平
エキスパート	エキスパート	90cc	江崎 正
		125cc	渡藤 恒雄
		250cc	中尾 康夫
		251cc以上	浅見 真男
セニア	セニア	90cc	金谷 秀夫
		125cc	杉本 泉
		250cc	大船 俊夫
		251cc以上	金谷 秀夫
ノービス	ノービス	90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
		251cc以上	富江 昭季
ジュニア	ジュニア	90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
		250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 敬済
エキスパート	エキスパート	125cc	渡辺 富士夫
		250cc	阿部 孝夫
		251cc以上	内田 隆
		251cc以上	内田 隆
セニア	セニア	125cc	小田 豊
		125cc	小田 豊
		250cc	小田 豊
		251cc以上	小田 豊

●ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'73	ノービス	90cc	杉野 順三
		125cc	松山 守
		250cc	橋本 久仁啓
	ジュニア	90cc	新田 茂
		125cc	坂 公平
		250cc	山崎 達衛
エキスパート	125cc	佐藤 順造	
	250cc	毛利 良一	
	750cc	片山 敬済	
セニア	125cc	角谷 根本	
	250cc	新二 健	
	750cc	新二 健	
'74	ノービス	90cc	岡崎 隆史
		125cc	佐藤 健正
		250cc	酒井 克
	ジュニア	90cc	合津 悟志
		125cc	石井 康夫
		250cc	橋本 久仁啓
エキスパート	125cc	鈴木 修	
	250cc	岩道 裕介	
	750cc	藤本 裕介	
セニア	125cc	青木 辰巳	
	250cc	高井 幾次郎	
	750cc	高井 幾次郎	
'75	アマチュア	90cc	片橋 英治
		125cc	東金 賢男
	ジュニア	250cc	楠谷 俊彦
		350cc	山梨 保克
エキスパート	125cc	酒井 大島	
	250cc	相沢 清男	
	350cc	石井 康夫	
	750cc	江崎 正	
'76	ノービス	90cc	牧野 栄浩
		125cc	川上 惠司
	ジュニア	250cc	木下 惠司
		350cc	東金 賢男
エキスパート	125cc	水谷 一博	
	250cc	太田 博	
	350cc	飯田 浩之	
	750cc	飯田 浩之	
'77	ノービス	90cc	毛利 良一
		125cc	佐藤 順造
	ジュニア	250cc	高井 幾次郎
		350cc	鈴木 利彦
エキスパート	125cc	伊藤 裕之	
	250cc	藤本 泰東	
	350cc	川上 浩久	
	750cc	山名 仁久	
'78	ノービス	90cc	徳外 裕之
		125cc	飯田 修
	ジュニア	250cc	飯田 修
		350cc	毛利 良一
エキスパート	90cc	平野 芳男	
	125cc	上田 幸也	
	250cc	長谷川 嘉久	
	750cc	伊藤 裕之	
セニア	125cc	伊藤 巧	
	250cc	藤本 泰東	
	350cc	上田 公次	
	750cc	上田 公次	
'79	ノービス	125cc	石川 岩夫
		250cc	上野 真一
	ジュニア	125cc	富田 英志
		250cc	斉藤 光雄
国際A級	125cc	吉村 俊宏	
	350cc	阿部 三吉	
セニア	250cc	平 忠彦	
	750cc	青藤 三夫	
セニア	250cc	藤本 水子	
	750cc	水谷 恵司	

付録

付録

●ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'80	ノービス	125cc	五百部 徳雄
		250cc	窪田 正二
	ジュニア	125cc	山本 陽一
		250cc	堀内 清孝
国際A級	350cc	田中 光男	
	125cc	一ノ瀬 明彦	
	350cc	平 忠彦	
'81	ノービス	125cc	荒木 利春
		250cc	中山 博文
	国際B級	125cc	竹村 浩生
		250cc	七尾 道夫
国際A級	350cc	新井 亮一	
	125cc	一ノ瀬 明彦	
	350cc	藤本 泰東	
'82	ノービス	125cc	藤田 雅樹
		250cc	三浦 昇
	国際B級	125cc	荒木 利春
		250cc	小林 大
国際A級	125cc	一ノ瀬 明彦	
	250cc	福田 照男	
	500cc	水谷 勝	
'83	ノービス	フォーミュラ3	宮城 光一
		125cc	吉田 健一
	国際B級	125cc	宮城 健一
		250cc	藤田 雅樹
国際A級	125cc	坂口 彰	
	125cc	栗谷 二郎	
	500cc	齊藤 光雄	
'84	ノービス	フォーミュラ3	斉藤 兼一
		125cc	山田 浩史
	国際B級	250cc	塩森 俊彦
		フォーミュラ1	宮城 光一
国際A級	フォーミュラ3	宮城 光一	
	125cc	清水 雅広	
	250cc	田村 圭二	
'85	国際B級	フォーミュラ1	八代 俊二
		フォーミュラ3	江崎 正
	国際A級	125cc	栗谷 二郎
		500cc	小林 忠彦
ジュニア	フォーミュラ1	神田 利明	
	フォーミュラ3	太田 浩一	
	125cc	井上 賢博	
'86	国際B級	250cc	塩森 俊彦
		フォーミュラ1	辻本 聡
	国際A級	フォーミュラ3	山本 陽一
		125cc	山本 久
ジュニア	250cc	小林 大	
	500cc	平 忠彦	
	フォーミュラ3	宇井 陽一	
'87	国際B級	125cc	井上 賢博
		250cc	町井 邦生
	国際A級	フォーミュラ1	山本 聡
		125cc	辻本 信二
ジュニア	250cc	吉田 健一	
	500cc	片山 木下	
	フォーミュラ3	新垣 敏之	
国際A級	125cc	佐藤 聡一	
	250cc	嶋村 健太	
	フォーミュラ3	田口 益充	
	500cc	大島 欽本	

●ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'88	ジュニア	フォーミュラ3	白井 直樹
		125cc	原田 哲也
	国際A級	250cc	永井 康友
		フォーミュラ3	塩森 俊彦
'89	ジュニア	フォーミュラ1	宮崎 祥司
		125cc	廣瀬 利彦
	国際A級	250cc	藤原 儀彦
		500cc	藤原 儀彦
'90	ジュニア	フォーミュラ3	福島 聡
		125cc	坂田 和人
	国際A級	250cc	新井 秀也
		フォーミュラ3	ダグ・ボレン
'91	国内A級	フォーミュラ1	ダグ・ボレン
		125cc	山崎 冬樹
	国際A級	250cc	岡田 忠之
		500cc	藤原 儀彦
'92	国内A級	SP750	吉川 和
		フォーミュラ3	高橋 勝義
	国際A級	77cc-125cc(240cc)	渡辺 学
		125cc	仲内 正人
'93	国内A級	250cc	森兼 正明
		500cc	茨木 繁
	国際A級	フォーミュラ1	鶴田 竜二
		125cc	森北 貴行
'94	国内A級	250cc	小林 敏也
		500cc	坂田 和人
	国際A級	125cc	岡田 忠之
		500cc	伊藤 真一
'95	国内A級	フォーミュラ3	松戸 直樹
		SP750	阿部 幸則
	国際A級	125cc	福垣 圭
		250cc	宇川 圭
'96	国内A級	フォーミュラ1	椎名 明
		125cc	高橋 勝義
	国際A級	フォーミュラ3	宮崎 祥司
		125cc	小野 真央
'97	国内A級	250cc	岡田 忠之
		500cc	ビーター・ゴット
	国際A級	125cc	斉藤 明
		250cc	原田 哲也
'98	国内A級	500cc	丸本 昭一
		フォーミュラ1	丸本 昭一
	国際A級	125cc	加藤 義昌
		250cc	宇川 圭
'99	国内A級	500cc	阿部 典史
		フォーミュラ1	北川 圭一
	国際A級	125cc	宮坂 賢
		250cc	宇川 圭
'00	国内A級	スーパーバイク	吉川 和
		125cc	宇井 陽一
	国際A級	250cc	沼田 憲保
		スーパーバイク	青木 拓磨
'01	国内A級	125cc	東 雅雄
		250cc	沼田 憲保
	国際A級	スーパーバイク	青木 拓磨
		125cc	秋田 貴志
'02	国内A級	250cc	加藤 大治郎
		スーパーバイク	芳賀 紀行

●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
'68	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
	ジュニア	125cc	堀 和男
		250cc	山下 和男
'69	アマチュア	50cc	蛇名 博昭
		90cc	蛇名 博昭
	ジュニア	125cc	西 信之
		250cc	西 信之
'70	アマチュア	251cc以上	ロバート・エーモ
		50cc	星野 一義
	ジュニア	90cc	星野 一義
		125cc	星野 一義
'71	アマチュア	50cc	田中 敏男
		90cc	多田 茂次
	ジュニア	125cc	中里 道夫
		250cc	中里 道夫
'72	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
	ジュニア	125cc	野村 孝司
		250cc	鈴木 秀明
'73	アマチュア	90cc	鈴木 秀明
		125cc	山本 隆
	ジュニア	125cc	矢島 金次郎
		250cc	鈴木 忠男
'74	アマチュア	50cc	一色 薫
		90cc	小田切 信雄
	ジュニア	125cc	平野 芳男
		250cc	青木 雅和
'75	アマチュア	90cc	鈴木 都良夫
		125cc	岩尾 一敏
	ジュニア	250cc	岩尾 一敏
		125cc	吉村 太一
'76	アマチュア	90cc	栗原 和年
		125cc	栗原 和年
	ジュニア	250cc	齊藤 英夫
		90cc	中村 忠
'77	アマチュア	125cc	杉浦 正治
		250cc	竹沢 信保
	ジュニア	125cc	瀬尾 勝彦
		250cc	瀬尾 勝彦
'78	アマチュア	125cc	矢島 金次郎
		250cc	上野 広一
	ジュニア	90cc	藤 秀信
		125cc	藤 秀信
'79	アマチュア	250cc	藤 秀信
		125cc	小田切 信雄
	ジュニア	250cc	池田 勝
		90cc	唐沢 栄三郎
'80	アマチュア	125cc	唐沢 栄三郎
		250cc	唐沢 栄三郎
	ジュニア	125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 都良夫
'81	アマチュア	90cc	青家 惠
		125cc	村上 光剛
	ジュニア	250cc	青家 惠
		90cc	古田 哲郎
'82	アマチュア	125cc	古田 哲郎
		250cc	古田 哲郎
	ジュニア	125cc	岸川 清秀
		250cc	藤 秀信
'83	アマチュア	125cc	鈴木 都良夫
		250cc	鈴木 秀明
	ジュニア	90cc	谷川 徹二
		125cc	光安 鉄美
'84	アマチュア	250cc	大賀 広美
		125cc	渡辺 明
	ジュニア	250cc	渡辺 明
		125cc	鈴木 秀明
'85	アマチュア	250cc	鈴木 秀明
		90cc	北村 隆
	ジュニア	125cc	青山 金助
		250cc	青山 金助
'86	アマチュア	125cc	東福寺 保雄
		250cc	東福寺 保雄
	ジュニア	125cc	杉尾 良文
		250cc	増田 耕二

MOTOCROSS

●モトクロス部門 ('67~'97年)

年	部門	クラス	氏名
'67	アマチュア	50cc	黒川 隆
		90cc	河野 和憲
	ジュニア	125cc	高橋 道雄
		250cc	高橋 道雄
'68	アマチュア	251cc以上	森下 博
		90cc	山本 隆
	ジュニア	125cc	吉村 太一
		250cc	山本 隆

●MOTOCROSS

年	部 門	クラス	氏 名
'76	ジュニア	90cc	月岡 尚人
		125cc	月岡 尚人
		250cc	横山 隆夫
エキスパート ジュニア	125cc	光安 鉄美	
	250cc	青山 金助	
	125cc	鈴木 良夫	
セニア	125cc	竹沢 正治	
	250cc		
	250cc		
'77	ジュニア	90cc	渡辺 義巳
		125cc	小沢 孝
		250cc	福田 正敏
エキスパート ジュニア	125cc	佐藤 健二	
	250cc	大泉 浩一	
	125cc	瀬尾 勝彦	
セニア	125cc	瀬尾 勝彦	
	250cc		
	250cc		
'78	ジュニア	90cc	原本 松市
		125cc	庄司 覚
		250cc	タイン/レイコ
エキスパート ジュニア	125cc	佐々木 隆	
	250cc	佐々木 隆	
	125cc	瀬尾 勝彦	
セニア	125cc	光安 鉄美	
	250cc		
	250cc		
'79	ジュニア	90cc	斎藤 武男
		125cc	大久保 和親
		250cc	堀口 雅史
エキスパート ジュニア	125cc	秋元 春夫	
	250cc	原口 剛	
	125cc	光安 鉄美	
セニア	125cc	光安 鉄美	
	250cc		
	250cc		
'80	ジュニア	125cc	小野沢良一
		250cc	小野沢良一
		125cc	谷川龍太郎
国際B級	125cc	庄司 覚	
	250cc		
	125cc	東福寺保雄	
国際A級	125cc	杉尾 良文	
	250cc		
	250cc		
'81	ジュニア	125cc	平山 勝一
		250cc	茶谷 学
		125cc	岡部 篤史
国際B級	125cc	岡部 篤史	
	250cc		
	125cc	東福寺保雄	
国際A級	125cc	福本 敏夫	
	250cc		
	250cc		
'82	ジュニア	125cc	ロン・キンダー
		250cc	馬場 善人
		125cc	小橋 勝年
国際B級	125cc	小橋 勝年	
	250cc		
	125cc	大関 昌典	
国際A級	125cc	東福寺保雄	
	250cc		
	250cc		
'83	ジュニア	125cc	天田 淳
		250cc	天田 淳
		125cc	茶谷 学
国際B級	125cc	茶谷 学	
	250cc		
	125cc	庄司 覚	
国際A級	125cc	杉尾 良文	
	250cc		
	250cc		
'84	ジュニア	125cc	講所 伸一
		250cc	小栗 伸幸
		125cc	菅原 義広
国際B級	125cc	鶴田 忍	
	250cc		
	125cc	東福寺保雄	
国際A級	125cc	スティーブ・マーン	
	250cc		
	250cc		
'85	ジュニア	125cc	長沼 朝之
		250cc	花田 茂樹
		125cc	田沼 武
国際B級	125cc	川崎 智之	
	250cc		
	125cc	岡部 篤史	
国際A級	125cc	スティーブ・マーン	
	250cc		
	250cc		
'86	ジュニア	125cc	藤本 正勝
		250cc	吉田 和泉
		125cc	花田 茂樹
国際B級	125cc	花田 茂樹	
	250cc		
	125cc	伊田井佐夫	
国際A級	125cc	東福寺保雄	
	250cc		
	250cc		
'87	ジュニア	125cc	岸田 隆夫
		250cc	橋本 慎二
		125cc	吉田 和泉
国際B級	125cc	石橋 博也	
	250cc		
	125cc	岡部 篤史	
国際A級	125cc	東福寺保雄	
	250cc		
	250cc		

●MOTOCROSS

年	部 門	クラス	氏 名
'88	ジュニア	125cc	大塚 元和
		250cc	大塚 元和
		125cc	大塚 忠和
国際B級	125cc	大塚 忠和	
	250cc		
	125cc	阿部 篤史	
国際A級	125cc	東福寺保雄	
	250cc		
	250cc		
'89	ジュニア	125cc	黒古 尚利
		250cc	黒古 尚利
		125cc	芹沢太麻樹
国際B級	125cc	榎本 正剛	
	250cc		
	125cc	光安 鉄美	
国際A級	125cc	阿部 篤史	
	250cc		
	250cc		
'90	国内A級	125cc	萩島 忠雄
		250cc	萩島 忠雄
		125cc	元木 龍幸
国際B級	125cc	村橋健太郎	
	250cc		
	125cc	東福寺保雄	
国際A級	125cc	東福寺保雄	
	250cc		
	250cc		
'91	国際B級	125cc	半場 謙吾
		250cc	城田 賢一
		125cc	萩島 忠雄
国際A級	125cc	宮内 隆行	
	250cc		
	250cc		
'92	国際B級	125cc	佐々木裕介
		250cc	田沢 豊晃
		125cc	請川 恵次
国際A級	125cc	エディ・ウォレン	
	250cc		
	250cc		
'93	国際B級	125cc	益留信太郎
		250cc	益留信太郎
		125cc	佐々木裕介
国際A級	125cc	ロン・ティチナー	
	250cc		
	250cc		
'94	国際B級	125cc	倉林啓一郎
		250cc	成田 亮
		125cc	小田切一剛
国際A級	125cc	ロン・ティチナー	
	250cc		
	250cc		
'95	国際B級	125cc	矢島 健一
		250cc	溝口 哲也
		125cc	川島雄一郎
国際A級	125cc	ジュフ・マゼビツ	
	250cc		
	250cc		
'96	国際B級	125cc	井上 真一
		250cc	井上 真一
		125cc	川島雄一郎
国際A級	125cc	ジュフ・マゼビツ	
	250cc		
	250cc		
'97	国際B級	125cc	増田 一将
		250cc	増田 一将
		125cc	高見 俊次
国際A級	125cc	ジュフ・マゼビツ	
	250cc		
	250cc		

●TRIAL

年	部 門	クラス	氏 名
'83	国際B級	和田 弘行	
	国際A級	山本 弘昌	
'84	国際B級	米山 満夫	
	国際A級	沢本 裕朗	
'85	国際B級	泉山 本直	
	国際A級	林本 直樹	
'86	国際B級	小山 直樹	
	国際A級	谷藤 敦志	
'87	国際B級	成伊 田 匠志	
	国際A級	成伊 田 匠志	
'88	国際B級	宮成 道昌	
	国際A級	宮成 道昌	
'89	国際B級	前野 繁志	
	国際A級	前野 繁志	
'90	国際B級	本中 元治	
	国際A級	本中 元治	
'91	国際B級	小川 友幸	
	国際A級	バスカル・クトゥリエ	
'92	国際B級	田中 善弘	
	国際A級	バスカル・クトゥリエ	
'93	国際B級	寺澤 慎也	
	国際A級	成田 亮	
'94	国際B級	成田 亮	
	国際A級	成田 亮	
'95	国際B級	田中 太健	
	国際A級	田中 太健	
'96	国際B級	淡谷 勲	
	国際A級	淡谷 勲	
'97	国際B級	淡谷 勲	
	国際A級	淡谷 勲	

STADIUM TRIAL

●スタジアムトライアル部門 ('91~'93年)

年	部 門	クラス
'91	国際A級	中川 義博
'92	国際A級	バスカル・クトゥリエ
'93	国際A級	バスカル・クトゥリエ

SNOW MOBILE

●スノーモビル部門 ('71~'97年)

年	部 門	クラス
'71	モディファイ300cc	大月 信和
	モディファイ400cc	青木 雅和
	モディファイ401cc	大月 信和
'72	モディファイ300cc	丹治 章
	モディファイ400cc	丹治 章
	モディファイ401cc	丹治 章
'73	モディファイ340cc	伊藤 盛男
	モディファイ400cc	小田切信雄
'74	モディファイ340cc	伊藤 盛男
	モディファイ440cc	伊藤 盛男
'75	モディファイ340cc	伊藤 盛男
	モディファイ440cc	伊藤 盛男
'76	モディファイ340cc	春名 薫
	モディファイ440cc	春名 薫
'77	モディファイ340cc	藤本 整司
	モディファイ440cc	高橋 和雄
'78	モディファイ340cc	丹治 章
	モディファイ440cc	丹治 章

TRIAL

●トライアル部門 ('73~'97年)

年	部 門	クラス
'73	選抜	木村 治男
'74	ノービス	伊吹 健次
	ジュニア	近藤 博志
'75	ジュニア	蜂巣 秀男
	エキスパート	加藤 文男
'76	ジュニア	町田 晴男
	エキスパート	黒山 一
'77	ジュニア	山本 昌博
	エキスパート	近藤 也志
'78	ジュニア	山田 民雄
	エキスパート	近藤 博志
'79	ジュニア	佐藤 雄一
	国際A級	近藤 博志
'80	ジュニア	広木 一美
	国際A級	丸山 正保
'81	ジュニア	石原 正一
	国際A級	黒山 一
'82	国際B級	高田 雅孝
	国際A級	高田 雅孝

● SNOW MOBILE

'79	モディファイ340cc モディファイ440cc	高橋 和雄 古川 四郎
'80	モディファイ340cc モディファイ440cc	高橋 和雄 高橋 和雄
'81	モディファイオープン モディファイ340cc モディファイ340cc モディファイ300cc	領毛 信治 本田 勝義 佐々木 善之 南雲 静夫
'82	モディファイオープン モディファイ540cc モディファイ340cc モディファイ300cc	高橋 和雄 高橋 和雄 佐野 博 古川 啓八
'83	モディファイオープン モディファイ540cc モディファイ340cc モディファイ300cc	藤本 正勝 中山 忠志 中山 忠志 高橋 和雄
'84	モディファイオープン モディファイ540cc モディファイ340cc モディファイ300cc	高橋 和雄 藤本 正勝 今野 孝博 佐野 博
'85	モディファイオープン モディファイ540cc モディファイ340cc	高橋 和雄 江口 享二 今野 孝
'86	モディファイオープン モディファイ540cc モディファイ340cc	熊谷 留夫 熊谷 留夫 江口 享一
'87	モディファイオープン モディファイ540cc モディファイ340cc	松田 勇五郎 米田 幸一 松田 勇五郎
'88	モディファイオープン モディファイ540cc モディファイ340cc	遠藤 和也 江口 享一 遠藤 和也
'89	モディファイオープン モディファイ540cc モディファイ340cc	熊谷 留夫 江口 享二 遠藤 和也
'90	モディファイA級S1 モディファイA級S2 モディファイA級S3 モディファイA級S4 モディファイB級S1 モディファイB級S2 モディファイB級S3 モディファイB級S4	江口 享二 熊谷 留夫 江口 享一 沼倉 照義 羽田野 達也 梅沢 文雄
'91	モディファイA級S1 モディファイA級S2 モディファイA級S3 モディファイA級S4 モディファイB級S1 モディファイB級S2 モディファイB級S3 モディファイB級S4	成田 正弘 江口 享一 大野 勇 内野 令一 梅沢 康二 木村 明剛
'92	モディファイA級S1 モディファイA級S2 モディファイA級S3 モディファイA級S4 モディファイB級S1 モディファイB級S2 モディファイB級S3 モディファイB級S4	成田 正弘 上葛 泰隆 高橋 晴彦 山内 康裕 又村 哲哉 八木橋 光治
'93	モディファイA級S1 モディファイA級S2 モディファイA級S3 モディファイA級S4 モディファイB級S1 モディファイB級S2 モディファイB級S3 モディファイB級S4	上葛 泰隆 三好 一浩 高橋 晴彦 千葉 賢一 千葉 賢一 泉沢 克美

● SNOW MOBILE

'94	モディファイA級S1 モディファイA級S2 モディファイA級S3 モディファイA級S4 モディファイB級S1 モディファイB級S2 モディファイB級S3 モディファイB級S4	上葛 泰隆 上葛 泰隆 中村 光貴 高橋 晴彦 関井 誠 大和 長武 郷 和幸 戸田 幸廣
'95	モディファイA級S1 モディファイA級S2 モディファイA級S3 モディファイA級S4 モディファイB級S1 モディファイB級S2 モディファイB級S3 モディファイB級S4	戸沢 真司 上葛 泰隆 三好 一浩 上野 忠夫 松田 智典 柏倉 秀伸 熊谷 聡宣 熊谷 智典
'96	モディファイA級S1 モディファイA級S2 モディファイA級S3 モディファイA級S4 モディファイB級S1 モディファイB級S2 モディファイB級S3 モディファイB級S4	上葛 泰隆 戸沢 真司 山下 力 上野 忠夫 黒沢 直也 日野 義克 長内 義基 日野 義克
'97	モディファイA級S1 モディファイA級S2 モディファイA級S3 モディファイA級S4 モディファイB級S1 モディファイB級S2 モディファイB級S3 モディファイB級S4	郷 敬司 戸沢 真司 山下 力 日野 義克 渋谷 博樹 渋谷 博樹 村角 修司 渋谷 博樹

DRAG RACE

●ドラッグレース部門 ('93~'97年)

年	クラス	氏名
'93	プロストックバイク	田中 文樹
'94	プロストックバイク	田中 文樹
'95	プロストックバイク	上中 靖司
'96	プロストックバイク	生田目 俊之
'97	プロストックバイク	川上 英二

SUPERCROSS

●スーパークロス部門 ('94~'97年)

年	クラス	氏名
'94	125cc 250cc	高見 俊次 榎本 正則
'95	125cc 250cc	辻本 幸二 小橋 雅也
'96	125cc 250cc	溝口 哲也 熱田 高輝
'97	125cc 250cc	加賀 真一 熱田 孝高

タイトルホルダーの証
MFJチャンピオンカード

MFJ [財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会] では、全日本選手権での最上級クラスでチャンピオンを獲得したライダーの功績をたたえ、チャンピオンを獲得したライダーに対し、MFJチャンピオンカードを発給しています。このチャンピオンカードを提示すると、全日本選手権等のイベント(特別イベント等除く)の入場がフリーパスとなり、過去の功績のあるライダーが気軽にサーキットに来れるものです。その中で建設的な意見を具申するなど、モーターサイクルスポーツ界に寄与してほしいと考えています。

'98 HSPロードレースシリーズ大会

開催日		受付期間	SP125	NK	SP250&400	GP125
1 戦	5/31	4/22 ~ 4/31	●	●	★	★
2 戦	6/28	5/19 ~ 5/28	●	●	★	★
3 戦	7/26	6/17 ~ 6/26	●	●	★	★
4 戦	8/30	7/21 ~ 7/30	●	●	★	★
5 戦	9/27	8/18 ~ 8/27	●	●	★	★
必要ライセンス		MFJ競技ライセンス 区分➡	フレッシュマン・国内	フレッシュマン・国内・国際		
		HSPライセンス、又は、暫定ライセンス(暫定は、シリーズランキングの対象外とする)				

★印 MFJ昇格 ポイント有り

HSPライセンス講習会

1.開催日程と場所 注意：開始時間の30～20分前迄に会場にお越し下さい。

	札幌市内	倶知安町内
開催場所	旭川公園記念会館(2F) 札幌市中央区南9条西18丁目	HSP北海道スピードパーク 虻田郡倶知安町字峠下155
開始時間	PM6:30 ~ PM9:00	AM9:30 ~ PM12:00
日	4月 4日(土)	26日(日)
に ち	5月 16日(土)	3日(日) 10日(日)
	6月 6日(土)	14日(日) 21日(日)
	7月	5日(日) 12日(日)
	8月	2日(日) 16日(日)

2.取得資格

公安委員会発行の運転免許証を所持している事。(原付きでも可)

3.持ち物

①運転免許証 ②認印 ③筆記用具(ボールペン) ④ライセンス料金 ¥15,000 (フレッシュマンライセンス希望者→¥20,500) ⑤写真(3cm×3cm) 2枚 (フレッシュマンライセンス希望者→4枚) ⑥20歳未満の方は、HSPより承諾書を取りよせ、その承諾書に親権者の署名及び実印を捺印の上、印鑑証明書(承諾書に捺印の印鑑)を添付し、講習会に持参下さい。

4.該当車両

※GP80cc又は125cc以上の市販バイクカレース用バイク

5.走行料金

※1単位30分 ¥2,500

6.事故・怪我等

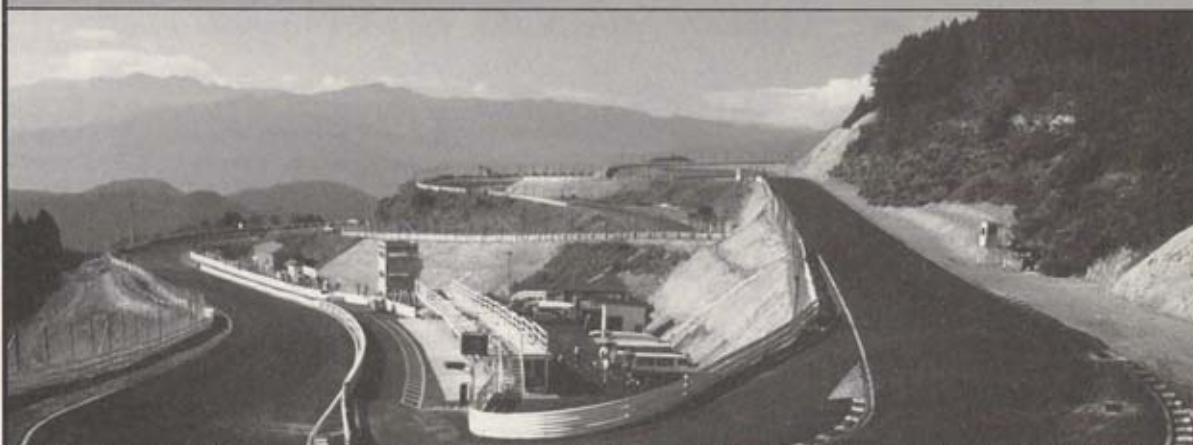
事故時による車両の破損、怪我、死亡は、走行される本人の責任とし、HSP管理責任者、従業員、運営者等、HSPは一切の責任及び補償は負いません。



〒044-0085 北海道虻田郡倶知安町字峠下155番地
Tel.0136-23-3880 Fax.0136-23-3660

HSP 北海道スピードパーク
automobile racing course

ASAN CIRCUIT



'98阿讃ロードレース選手権シリーズ開催日程

- ★ 第1戦 4月19日(日)
- ★ 第2戦 6月7日(日)
- ★ 第3戦 7月19日(日)
- ★ 第4戦 8月23日(日)
- ★ 第5戦 10月4日(日)

※ウキタCUP50ccロードレースと同日開催

阿讃はMFJライセンスがあれば、
練習走行もエントリーも可能。



有限会社モーターランド阿讃

阿讃サーキット

〒771-25 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319
TEL0883-79-3705 FAX0883-79-3733

ピットクルーに関する 指導要項

ピットクルーはライダーを補佐し、レースを円滑に進めるレースに欠かせない重要な役割を担っている。ライダーに代わって必要な情報を得たり、事務手続きをするなどのマネージャー的な役割や、レースの作戦を立てる監督的な役割、直接マシンの調整・修理をするメカニックまで、様々な立場の人がピットクルーライセンスを取得してレースに参加している。実際にレースにおいてピットクルーとして登録し作業する際には、下記のことには注意しなければならない。

1) ピットクルーの登録

① 基本的に下記の人数のピットクルーが登録可能である。

- ・ロードレース
地方選手権以下：2名以内
エリア選手権：4名以内
全日本選手権：6名以内
- ・モトクロス
地方選手権以下：2名以内
全日本選手権：2名以内

② ロードレースの場合、地方選手権においては最低1名のピットクルーを登録することが義務づけられる。これはライダーが負傷した場合、帰りの交通手段の確保や病院での手続き、家族への連絡が必ず必要となるためである。

2) ピットクルーの登録と変更・追加

ピットクルーはエントリー用紙のピットクルー登録欄に記入し、登録する。いったん登録したピットクルーは選手受付時に変更することは可能だが、申請人数より追加することはできない。変更の際は変更手数料1,000円が必要となる。

3) ピットクルーの服装

安全上長袖・長ズボンを着用すること。ロードレースのピットロードやスタート時にエンジン始動を手伝うときや足場の悪いモトクロスなどは半ズボンやサンダル履きは避け、品位ある服装にすること。

4) ピットクルーの立ち入り範囲

- ① ロードレース
ピット作業エリアとピットサインを出すプラットフォーム、スタート進行時にはコース上に入ることができる。
- ② モトクロス
各大会ごとにコースレイアウトによってサインエリアが定められ公式通知、ライダーズミーティング等で説明される。

5) ピットクルーの遵守事項

全てのピットクルーは、自らの参加する競技に関する規則を熟知していなければならない。
また、安全に対する認識を持っていること。

① ロードレース

- ・ピットロードにおいては、ピットイン・ピットアウト車両に十分注意すること。
また、無資格のゲスト等がピットロードに出ないように注意する。
- ・火気に注意する。特に喫煙は指定の場所で行うこと。
- ・スタート進行時は、スタートが遅延しないよう作業すること。時間がきたら速やかにコース外に退去すること。
- ・メカニックは特にブレーキ系とオイル回りの安全対策を常にチェックすること。

② モトクロス

- ・指定されたサインエリアの区分から出てサインを出さないこと。
- ・指定のエリアを遵守すること。

6) ペナルティ

ピットクルーが犯した行為に対するペナルティは、そのピットクルーが登録されているライダーに対して与えられる。

7) レース運営への協力

ライダーが黒旗を提示された場合は、ピット側に向けてもそれを提示するので、ピットサインでもその状況を伝え早急に停止するように伝達する。

特にオイルを撒いて走行しているときや、部品が脱落しそうな場合は他のライダーに大きな危険を及ぼすので、各自緊急時のサインを取り決めておくこと。

8) MFJ 共済会

MFJ ピットクルーライセンス料には、年間のMFJ 共済会掛金が含まれています。このMFJ 共済会見舞金制度は、当該ピットクルーが正式に登録され、参加する大会の公式期間中に発生した事故等に対し適用される。



開催日程(二輪・四輪)	スケジュール	持参するもの	申込用紙、運転免許証、印鑑、筆記用具、写真2枚(2.5cm×3cm)、承諾書・印鑑証明(未成年のみ)、入会金・年会費・受講料・保険証
2月	開催日によりタイムスケジュールが異なりますので、ご予約の際ご確認ください。 *日程の追加及び中止の場合があります。	走行に必要なもの	二輪 実技車両(125cc以上のスポーツバイク・レーサー可) 皮ツナギ、ヘルメット、グローブ、ブーツ 四輪 実技車両(JAF国内競技車両にもとづく車両、又ノーマル車両、シートベルトは3点式以上のもの) ヘルメット、グローブ、レーシングシューズ、レーシングウェア(運転に適した服装)
3月			
4月	定員	申込方法	●必ず電話予約してください。 ●開催日の1ヶ月前より受付開始いたします。 ●予約先…エビススポーツクラブ事務所☎0243-24-2972
5月	100名		
6月	二輪		
7月	60名		
8月	四輪		
9月	*員、定員になり次第お知らせいたします。		
10月			
11月			
12月			

ESCライセンス料金とスポーツ走行料金 (ロード二輪・四輪は、西東コース共通会員とする。)

	ロード二輪	ロード四輪	ロードミニバイク	スーパーカート東	モトクロス	カート	ミニバイク	ジムカーナ
入会金	8,000円	8,000円	5,000円	5,000円	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円
年会費	12,000円	20,000円	10,000円	15,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,500円
講習料	5,000円	5,000円						
合計	25,000円	33,000円	15,000円	20,000円	11,000円	11,000円	11,000円	11,500円
*更新料	12,000円	20,000円	10,000円	15,000円	8,000円	8,000円	8,000円	8,500円
走行料	会員 30分 2,000円	30分 平日2,500円 土日祝3,000円	30分 1,500円	2,500円	1日 1,000円	半日 2,500円	半日 2,500円	半日 3,000円
	非会員				1日 3,000円	半日 4,500円	半日 4,500円	半日 5,500円
保険料(1口)	500円	500円	500円	500円	500円	500円	500円	500円

*更新料は更新時期によって料金が異なります。

エビスサーキット

福島県二本松市沢松倉1 TEL0243-24-2972

MFJ

ライセンスのご案内

レース参加!! その前にライセンスを!!

モーターサイクルスポーツに
チャレンジしたい方、大募集!!

MFJではモーターサイクルスポーツを楽しむ仲間を募集しています。自分にあった競技を選び、その種目の“MFJ競技ライセンス”を取得してモーターサイクルスポーツにチャレンジして下さい。MFJでは、そんなみなさんを競技会を通じて応援します。

SNOWMOBILE



DRAG RACE



ROAD RACE



TRIAL



MOTOCROSS



MFJライセンス HOT LINE
03-5565-0900

ライセンス取得者の特典

- ① 全国各地で開催されている公認・承認競技会への参加。
- ② 最寄りのMFJスポーツ協力店を通じて、各種イベントやレジャー情報の提供。
- ③ 月刊「ライディング」誌、「MFJ国内競技規則書」の送付。
- ④ MFJオリジナルステッカーの贈呈。
- ⑤ MFJオリジナルグッズのメンバー価格でご提供。
- ⑥ 全日本ロードレース、モトクロス、トライアル各選手権シリーズ全戦入場料の特別割引の実施。
- ⑦ ライダーズビッグ保障プラン(ライダーのための生命保険)の加入料減。
- ⑧ レース中、万が一ケガをされた場合、MFJ共済会制度の適用により見舞金の給付。その他、特典がいっぱい。



〒104 東京都中央区築地2-11-24
☎03-5565-0900 Fax 03-5565-0907

'98年度MFJライセンス料金 (ライセンスの取得条件と料金を)

種目	クラス	ライセンスの取得条件 ①か②のどちらか		料金
		①	②	
ロードレース	国内 プロダクション、レーサー 250ccまで、SP400まで、 マイキット、GP80	全国サーキットでの3時間 以上走行証明(走行券不 可)を受けた方(サーキ ットライセンスが必要)	全国ロードレース・国内 ライセンス講習会を受講 した方	9,500円
	フレッシュマン レーサー125ccまで、SP400 まで、マイキット、GP80、 シングル・ツインレース	全国サーキットライセンス 講習会を受講し、サーキ ットライセンスを取得し た方	全国ロードレース・フレ ッシュマンライセンス講 習会を受講した方	8,000円
	ジュニア (12~15歳) SP50・80、GP50・80	全国ロードレース・ジュニアライセンス 講習会を受講した方		7,500円
モトクロス	国内B級	講習会を受けている方 (条件以上)	全国モトクロスラ イセンス講習会を受 講した方	9,500円
	ジュニア 9~15歳まで (80ccまで)			7,500円
	PC 8歳以下		PCライセンス講習会 を受講した方	7,500円
トライアル	国内B級	講習会を受けている方 (条件以上)		9,500円
	ジュニア 9~15歳まで		全国トライアル、 スノーモビルライ センス講習会を受 講した方	7,500円
スノーモビル	B級	講習会を受けている方 (条件以上)		8,000円
	ジュニア 9~15歳まで			7,500円
ドラッグレース	B級		全国ドラッグレースライセンス講習会を受講した方	8,000円
エンデュロ			全国エンデュロライセンス 講習会を受講した方	3,000円
ライセンス			全国ライセンス講習会を 受講した方	3,000円
ビッドクルー			16歳以上	7,500円

※ライセンス料金は、お間違のないようご注意ください。発行が遅れます。
※PCライセンスは、8歳以下のお子さまでも取得するライセンスです。教習者と
一緒に講習会を受けるだけでライセンスが発行されます。また、教習者は
その当該ライダーに限りビッドクルーとします。
(申請書は、MFJ事務局にご送付下さい)

ご不明な点等がございましたら、お気軽にMFJ事務局までお問い合わせ下さい。

ライセンスの申請書は、MFJ事務局にご請求下さい。あなたの元へ、無料でご送付いたします。



'98 仙台ハイランドミニバイク
6時間耐久レース 8月15日開催

Hi-Land Raceway

「1998年の仙台ハイランドはミニバイクレースが充実!!」

開催日	地方選手権						
	承 SP12	認 S80	公 SP125	認 SP250	認 SP400	認 GP125	認 GP250
第1戦 申込期間 4月19日(日) 3月10日(火)~3月19日(木)	○	○	○	○	○	○	○
第2戦 申込期間 6月14日(日) 5月5日(火)~5月14日(木)	○90分耐久 ○スプリント	○	○	○	○	○	○
第3戦 申込期間 8月15日(土)~8月16日(日) 7月7日(火)~7月16日(木)	○6時間耐久 (B/15) ○スプリント (B/16)	○	○	○	○	○	○
第4戦 申込期間 10月18日(日) 9月8日(火)~9月17日(木)	○	○	○	○	○	○	○
開催回数	6	4	4	4	4	4	4
MFJライセンス区分	厩舎免許以上 1ライセンス以上 (ビシクルライ センス含む)	フレッシュマン 以上	フレッシュマン 国内				国内

※SP250及びSP400クラスを公道レースとする。但し賞金は、クラス毎に行われる。
※第2戦及び第3戦のSP12クラスは、1大会において同一車両でのスプリントと耐久のダブルエントリーは認めず。

■走行ライセンス・走行料金のご案内

■受付時間

AM8:30~9:00まで

■当日持参するもの

運転免許証、印鑑、健康保険証、写真2枚(3cm×2.5cm、無背景、無帽)、筆記用具(万年筆またはボールペン)、ヘルメット、皮手袋、皮ツナギ、ブーツ、2輪車(No付、レーサー共に可)

※20歳未満の方については、所定の契約書に親権者の署名と、なつ印(実印)を必要とします。

■費用

新規ライセンス発給料20,000円・共済費5,000円
・合計25,000円

■開催日

3月から12月までの間

■申込方法

申込希望日の前日までに電話で予約してください。
※MFJ国内ライセンス以上の所持者の方は簡単な座学(15分)のみで発給しております。

■走行料金

1単位、25分につき2,000円

スプリング
キャンペーン
先着100名様
新規走行ライセンス
発給料が、15,000円に!
(年間共済費含む)

その他多数特典あり!!
この機会にぜひ取得下さい。

※対象期間:3月~5月末日まで

■'98スプリングキャンペーン実施中

- ・新規ライセンス発給料を大幅割引
- ・レースウェアステッカー進呈
- ・2単位無料走行券進呈
- ・走行料優待券、入場料優待券各10枚進呈

〒989-3434 仙台市青葉区新川早坂12
仙台ハイランドレースウェイ

☎ 022-395-2120.2123

これからバックオフはオフバイクの魅力を提唱します。
バイクで地球を感じよう!

大自然の中で



キャンプ

広大な大地を



海外ツーリング

気ままに走ろう



林道ツーリング

バイクで腕だめし



エンデューロ

みんなで盛り上がる



林道祭り

BACK OFF

月刊バックオフ **DIRT & OFF BIKE MAGAZINE**

毎月6日発売
定価490円
(税込み)

レーシング・ギアを脱いだ後は、
少しはオシャレをしたいもの。
いいモノを身に着けることは、
何もレーシングスーツやジャージとは限らない。
レースの後やオフの日は
いつもと違ったスタイルで過ごしたい。
そんな時は、MFJオリジナル・コレクションがお勧め。
きつといつもと違った自分が発見できるだろう。

ライフスタイル一新

by MFJコレクション!



★Tシャツ
商品No:GTS-94-A
カラー:ホワイト(WH)、ブラック(BK)、
ルージュピンク(RP)、
アッシュグレー(AG)
サイズ:M-L
メンバー価格:¥2,500
一般小売価格:¥2,800



特典 サービス

★ポロシャツ半袖(刺繍タイプ)
商品No:GSS-94-B
カラー:ホワイト(WH)、ブラック(BK)、
レッド(RD)、
ネイビー(NY)、
グリーン(GN)
サイズ:M-L
メンバー価格:¥4,300
一般小売価格:¥4,900



好評発売中!

★キーホルダー
商品No:KH-001
メンバー価格:¥500
一般小売価格:¥600



★ステッカーセット
商品No:STS1
カラー:シルバー
サイズ:小・中(3枚/組)
メンバー価格:¥250
一般小売価格:¥300

特典 サービス

★ポロシャツ半袖(ワッペンタイプ)
商品No:GSS-94-A
カラー:ホワイト(WH)、ブラック(BK)、
レッド(RD)、ネイビー(NY)、
グリーン(GN)
サイズ:M-L
メンバー価格:¥4,200
一般小売価格:¥4,800



表

裏

★MFJクレデンシャルケース

商品No:KD-B
カラー:ブルー
メンバー価格:¥1,200
一般小売価格:¥1,400
・多機能なクレデンシャルケース
・サーキットで使えばとても便利

ニューデザインのMFJワッペン お付けします!

ポロシャツ(ワッペンタイプ)をお買い求めの方に、下記ワッペンの中から1つを左胸または左袖のどちらかにお付けします。



商品No:GWP-94-A 商品No:GWP-94-B 商品No:GWP-94-C

※ご注文の際にご希望のワッペン商品No、取付位置(左胸または左袖のいずれか)を忘れずにご記入下さい。

特典 サービス マークについて

特典サービスマークが表示されている商品については、
下記のサービスが受けられます。
①1着以上同時購入の方:イニシャルを左袖に刺繍入れ致します。
②10着以上一括購入の方:イニシャルサービスに加えて、チーム名などを
左袖に刺繍入れ致します。
※ただし、チーム名などは10文字以内(日本語・英字)とさせていただきます。
■ご注文の際にイニシャル、チーム名を必ずご記入下さい。ご記入無き
場合は、特典サービスを受けることはできません。

メンバーサポートのご案内

MFJでは、メンバーの皆さんのモーターサイクルスポーツ活動を
さらに応援するために、各地区大会、競技会、イベント等の記念品
や賞品のご注文を承っております。
一般商品への大会名の名入れから、オリジナル商品の製作、Tシャツ・
トレーナーなど、オリジナルウェアのオリジナルデザインでの製作
まで、特別価格にてご提供させていただきます。どうぞお気軽にお問
合わせ下さい。
●問い合わせ先:MFJオリジナル・グッズ係
☎03-5565-0900
お申し込みは簡単、下記要領でどうぞ。

MFJクレデンシャルケース
新登場!!

- お申し込み方法 ご希望の商品名、商品No、サイズ、カラー、数量、そしてあなたのメンバーNo、名前、住所、電話番号を用紙に記入して、現金書留でお申し込み下さい。
- 送料 購入商品が合計5,000円以上お買い上げの方は無料。5,000円未満の方は、300円の送料をプラスしてお申し込みください。
- お申し込み先 〒104 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F
☎03-5565-0900
 財日本モーターサイクルスポーツ協会 MFJオリジナル・グッズ係
※表示のメンバー価格は、通信販売の料金設定です。
※料金はすべて消費税込みの価格です。
※写真と実際の商品が若干異なる場合がありますのでご了承下さい。
※商品によっては発送が少し遅れる場合がありますので、ご了承下さい。

 国旗	 赤旗	 黄旗	 黒旗
 白旗	SIGNAL FLAGS		 青旗
 緑旗	 赤ストライプ付黄旗	 チェッカー旗	 オレンジボール

サイズ60×80cm (赤のみ) 80×100cm

PLAYER'S NUMBER



生地 ターポリン
色 白・赤・緑・青・黄色

生地 メッシュ
色 白・赤・紺・青・黄色



生地 布
色 希望の色

ブルゾン



生地 ポリエステル (防水加工)
サイズ S・M・L・LL・3L
色 オレンジ・ピンク・緑・黄色

株式会社 中尾商事

〒164 東京都中野区上高田1-1-43
TEL 03-3364-5621
FAX 03-3367-4437

流れる空気を集めて大量に取り入れる
マルチエアスクープ

規格はスネルM95モクリア

約20%空力性を向上(当社比)

シールド形状の全面的な見直しを行い、従来品に比べヘルメットの浮き上がり(抑える力)を約20%向上。高速走行時のヘルメットの浮き上がりを軽減させ、ライダーの首への負担を少なくしました。

内部に空気のバイパス
ハイパーデュアルライナー

レーザー使用のスペシャルアイテム
プレスカード

乱気流を防ぐ
サイトレーション

排気効率アップ
ポーラックスベンチレーション

瞬間シールド脱着
Q.R.S.B.システム

内装脱着
O.R.L.P.システム

息を逃がす
サイドブローシステム

風の巻き込み防止
チンカーテン

シールドの曇りを防ぐ
ロアエアインターーク

機能と軽さの 頂点へ。

SHOEIの技術を結集したフルフェイスの最高峰「X-BOSP」登場。



流れる空気を
集めて大量に
取り入れる

アッパーエアインターークは、エア導入口を大型化して吸入孔を4箇所にしたマルチエアスクープを採用しました。レーザーなどカウリング作業中に集った場合でも、空気の吸入が妨げられないようヘルメット上部に設置。後に流れようとする空気を集めて大量に効率よく取り入れます。



息を逃がす

ヘルメット内の口元にこもった呼吸による熱気や湿気を、走行風の負圧効果によって速やかに排出するサイドブローシステム。帽体を包みこみ、精神なムードを演出するとともに、剛性もアップしました。



排気効率アップ

当社従来モデルの180%の負圧効果(空気を吸い出す力)を実現したポーラックスベンチレーションシステム。ライダーへの影響を最小限に抑えながら最大限の効果を発揮する、高効率排気システムです。



内部に空気の
バイパス

ヘルメット内部に設置した、その際空気の流れはフルフェイスの特殊な形状のバイパスライナーに導かれ、ヘルメット上部に設置したバイパスシステムへ送られ、走行風による乱気流に誘われ、ヘルメット内部の温度、湿度を速やかに排出します。



洗濯可能

内装のすべてが取り外せるO.R.L.P.(クイックリリースインターナード)システム採用。誰でも手軽に脱着でき、洗濯できます。しかもチークパッド(オプション)の交換によりサイズの微調整もできます。

徹底的な軽量化

シールドの形状・素材改良、ハイブリッド樹脂の採用、4点全周走行時の重量チェックなど徹底的な軽量化を追求。シールド裏面に採用した「X-BOSP」は、763mm×214mmのコンパクトなヘルメットボディの理想を900g程度で実現しました。



ホワイト



ウォームグレイメタリック



ブラック

●規格:スネルM95規格(25規格)●カラー:ホワイト、ウォームグレイメタリック、ブラック ●サイズ(S:55-56cm)、M(57-58cm)、L(59-60cm)、XL(61-62cm) ●構造:新素材(超高強度・高弾性率繊維)とファイバーガラスH.L.構造 ●付属:SP1プレスカード
およびSP1チンカーテン 【オプションパーツ】●標準装備:CR-1シールド/ソフトスモーク標準装備、リアアー、スモーク、アンバー各3,800円 ●オプション:CR-1シールド/2枚目面、リアオフフィルム対応/ソフトスモーク、ライトマーク各4,500円 ●チニアフフィルム15枚セット1,000円
●QRベースセット1,800円 ●ブリットヘッド1,200円 ●X-BOSP1センターパッド1,250円 ●チークパッド1枚6,900円 ●ZRV内装:4,500円 ●チンストラップカバー1枚6,900円 ●ZRV内装:300円 ●SP1プレスカード:1,500円 ●SP1チンカーテン:1,000円

セル一発で気持ちよく
始動する。

発進加速で気持ちよく
ダッシュする。

**そんなプラグ、
あります。**

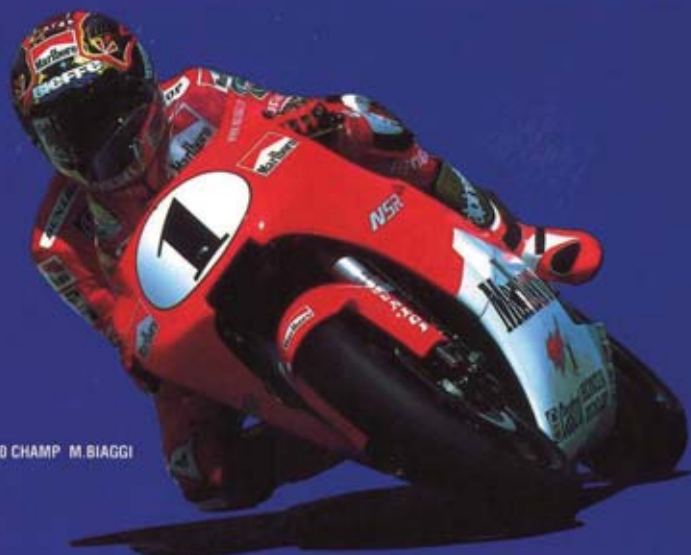


NGK VX プラグ

極めて細いプラチナの中心電極と、鋭く尖った側方電極により、さらに着火性能を向上させた、高性能プラグ。始動性や加速性、パワー等エンジン性能をフルに引き出します。



日本特殊陶業



GP250 CHAMP M. BIAGGI

THE CHAMP WINS AGAIN

'97世界選手権ロードレースで、ダンロップタイヤ装着車が2クラス制覇。
GP250クラスでは5年連続の快挙!



GP125 CHAMP V. ROSSI

CHAMP SPEC
Rideen

GPR-70

